2020
講義要綱
SYLLABUS

北翔大学　教育文化学部　３年次

HOKUSHO UNIVERSITY
School of education and culture

令和２年度　北翔大学・北翔大学短期大学　学事日程

月		火		水		木		金		土		日		備考
				4／1		4／2	健康診断	4／3	生涯スポーツ学部オリエンテーション	4／4	健康診断	4／5		
4／6	短期大学部オリエンテーション	4／7	教育文化学部オリエンテーション	4／8	生涯スポーツ学部オリエンテーション	4／9	短期大学部オリエンテーション	4／10	教育文化学部オリエンテーション	4／11		4／12		
4／13	①	4／14	①	4／15	①	4／16	①	4／17	①	4／18		4／19		
4／20	②	4／21	②	4／22	②	4／23	②	4／24	②	4／25		4／26		教育学科養護教諭コース３年次 養護実習：４/10～５/１
4／27	③	4／28	③	4／29	③昭和の日	4／30	③	5／1	③	5／2		5／3	憲法記念日	
5／4	みどりの日	5／5	こどもの日	5／6	振替休日	5／7	④	5／8	④	5／9		5／10		こども学科２年次 教育実習：５/18～６/５
5／11	④	5／12	④	5／13	④	5／14	⑤	5／15	⑤	5／16		5／17		
5／18	⑤	5／19	⑤	5／20	⑤	5／21	⑥	5／22	⑥	5／23		5／24		
5／25	⑥	5／26	⑥	5／27	⑥	5／28	⑦	5／29	⑦	5／30		5／31		
6／1	⑦	6／2	⑦	6／3	⑦	6／4	⑧	6／5	⑧	6／6		6／7		
6／8	⑧	6／9	⑧	6／10	⑧	6／11	⑨	6／12	⑨	6／13		6／14		
6／15	⑨	6／16	⑨	6／17	⑨	6／18	⑩	6／19	⑩	6／20		6／21		健康福祉学科(介護) ４年次 訪問介護実習：６/16～６/26
6／22	⑩	6／23	⑩	6／24	⑩	6／25	⑪	6／26	⑪	6／27		6／28		健康福祉学科(介護) ２年次 介護基礎実習:６/24～26
6／29	⑪	6／30	⑪	7／1	⑪	7／2	⑫	7／3	⑫	7／4		7／5		教育学科養護教諭コース２年次 看護学臨床実習：７月～９月
7／6	⑫	7／7	⑫	7／8	⑫	7／9	⑬	7／10	⑬	7／11		7／12		
7／13	⑬	7／14	⑬	7／15	⑬	7／16	⑭	7／17	⑭	7／18		7／19		
7／20	⑭	7／21	⑭	7／22	⑭	7／23	⑮海の日	7／24	⑮スポーツの日	7／25		7／26		
7／27	⑮	7／28	⑮	7／29	⑮	7／30	補講・試験日(木)	7／31	補講・試験日(金)	8／1		8／2		こども学科２年次 保育実習Ⅰ・Ⅱ（保育所）：８月～９月
8／3	補講・試験日(月)	8／4	補講・試験日(火)	8／5	補講・試験日(水)	8／6		8／7		8／8		8／9		心理カウンセリング学科４年次 精神保健福祉援助実習：８月～９月
8／10	山の日	8／11		8／12		8／13		8／14		8／15		8／16		心理カウンセリング学科３年次 心理実習：８月～９月
8／17		8／18		8／19		8／20		8／21		8／22		8／23		教育学科４年次 保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲ ：８/17～８/29
8／24		8／25		8／26		8／27		8／28		8／29		8／30		教育学科３年次
8／31		9／1		9／2		9／3		9／4		9／5	創立記念日	9／6		教育実習Ⅰ(幼･小)： 幼稚園８/24～９/11 小学校 ８月中旬～９月中旬
9／7		9／8		9／9		9／10		9／11		9／12		9／13		健康福祉学科(介護) ３年次 介護実習Ⅱ：８/17～９/25
9／14		9／15		9／16		9／17		9／18		9／19		9／20		健康福祉(他) ３年次･ 健康福祉(介) ４年次 相談援助実習：８/17～９/23
9／21	敬老の日	9／22	秋分の日	9／23		9／24	オリエンテーション	9／25	大学祭準備	9／26	大学祭	9／27		
9／28	①	9／29	①	9／30	① 前学期学位記授与式	10／1	①	10／2	①	10／3		10／4		
10／5	②	10／6	②	10／7	②	10／8	②	10／9	②	10／10		10／11		
10／12	③	10／13	③	10／14	③	10／15	③	10／16	③	10／17		10／18		こども学科２年次 保育実習Ⅰ（施設）：10月～12月
10／19	④	10／20	④	10／21	④	10／22	④	10／23	④	10／24		10／25		
10／26	⑤	10／27	⑤	10／28	⑤	10／29	⑤	10／30	⑤	10／31		11／1		
11／2	⑥	11／3	⑥文化の日	11／4	⑥	11／5	⑥	11／6	⑥	11／7		11／8		
11／9	⑦	11／10	⑦	11／11	⑦	11／12	⑦	11／13	⑦	11／14		11／15		
11／16	⑧	11／17	⑧	11／18	⑧	11／19	⑧	11／20	⑧	11／21		11／22		
11／23	⑨勤労感謝の日	11／24	⑨	11／25	⑨	11／26	⑨	11／27	⑨	11／28		11／29		
11／30	⑩	12／1	⑩	12／2	⑩	12／3	⑩	12／4	⑩	12／5		12／6		
12／7	⑪	12／8	⑪	12／9	⑪	12／10	⑪	12／11	⑪	12／12		12／13		
12／14	⑫	12／15	⑫	12／16	⑫	12／17	⑫	12／18	⑫	12／19		12／20		
12／21	⑬	12／22	⑬	12／23	⑬	12／24		12／25		12／26		12／27		
12／28		12／29		12／30		12／31		1／1	元旦	1／2		1／3		
1／4	11/23の振替休日	1／5		1／6		1／7	⑬	1／8	⑬	1／9		1／10		
1／11	成人の日	1／12	11/３の振替休日	1／13	⑭	1／14	⑭	1／15	⑭	1／16		1／17		
1／18	⑭	1／19	⑭	1／20	⑮	1／21	⑮	1／22	⑮	1／23		1／24		
1／25	⑮	1／26	⑮	1／27	補講・試験日(水)	1／28	補講・試験日(木)	1／29	補講・試験日(金)	1／30		1／31		心理カウンセリング学科３年次 精神保健福祉援助実習：２月～３月
2／1	補講・試験日(月)	2／2	補講・試験日(火)	2／3		2／4		2／5		2／6		2／7		心理カウンセリング学科２年次 心理実習：２月～３月
2／8		2／9		2／10		2／11	建国記念の日	2／12		2／13		2／14		教育学科３年次 保育実習Ⅰ(保育所)：２/８～２/20
2／15		2／16		2／17		2／18		2／19		2／20		2／21		健康福祉学科(介護) ２年次 介護実習Ⅰ：２/15～３/12
2／22		2／23	天皇誕生日	2／24		2／25		2／26		2／27		2／28		
3／1		3／2		3／3		3／4		3／5		3／6		3／7		教育学科３年次 保育実習Ⅰ(施設)：３/１～３/13
3／8		3／9		3／10		3／11		3／12		3／13		3／14		
3／15		3／16		3／17		3／18	学位記授与式	3／19		3／20	春分の日	3／21		
3／22		3／23		3／24		3／25		3／26		3／27		3／28		
3／29		3／30		3／31										

※　備考欄の実習日程については、変更になる場合があります。

講義要綱 SYLLABUS の利用にあたって

この冊子は、2020（令和２）年度に開講される授業科目の概要が記載されています。
授業の概要や到達目標をよく確認して授業を選択する参考にしてください。シラバスには、授業の担当教員名や、単位数等の他、次のような事項が記載されています。シラバスに記載された内容をよく理解し、授業に臨んでください。

・授業のねらい
・到達目標
・授業計画
・準備学習の内容（事前・事後の学習）
・使用するテキスト（教科書）や、参考書
・成績評価の方法（どのような基準で評価が決まるのか）
・質問への対応（連絡先など）
・その他（履修に当たっての特に注意すべき事項が記載されています）

《学習形態》

「授業の計画」各回の右欄に書かれている記号は学習形態を表し、授業の進め方、指導方法を表しています。

学習形態の用語説明

記号	学習形態	概要説明
A	講義	
B	演習	
C	実験	
D	実習	
E	実技	
F	プレゼンテーション	学生が、指示されたテーマや課題について、グループもしくは単独で調査・学習・実習等を行い、そのことについて他の受講生や教員等聴衆の前で発表する学習方法である。発表形式は、パワーポイントなどの情報機器を活用したものやポスターセッションなど様々である。発表後は、聴衆からの質疑に応答する。○○発表会、○○報告会等を含む。
G	レポートライティング	与えられたテーマや課題について調査や実験等を行い、調べた事実やデータを分析して、その過程と結果・考察などを文書にまとめる。あるいは、授業で学習したことを自分の言葉でまとめたり、自分の経験したことや体験したことなどについて、感じたことを理由とともにまとめるなど、知識や経験を自分の力で文書で表現する学習方法である。
H	グループワーク	教員から与えられた課題に対して、小グループ（３人から６人程度が一般的）内で共同作業やコミュニケーションをとりながら学修を進めていく協同学習である。コミュニケーション能力、メンバーが役割を分担した上で相互に協力・協働して課題に取り組む姿勢、自分の意見を主張する力と他人の意見を受け入れる力、決められた時間内に課題を解決して答えを出す力などを養成し、学生が社会に出てから活動するために必要な力を身につける。

I	ディベート	ある公的な主題について異なる立場（肯定側と否定側）に分かれ議論することを通して、第三者を客観的な証拠に基づいて説得するコミュニケーション形態（討論をする形式）である。 ディベートを通して学生の思考が活性化され、自分の意見や問題意識を持ったり、より論理的な考え方ができるようになるといった効果が期待される。
J	事例研究	ある事例について調査・研究し、問題の所在・原因を究明し、どのように対処するか解決策を見出す学習活動である。指導者は、学生の個別または集団研究に対して、研究の場を設定し、具体的な助言をしたり、事例を紹介したり、研究をコーディネートしたりして、学生の研究を導く立場で関わる。
K	ワークシート	授業前あるいは授業中に、学習の課題や問題等を提示した用紙を用い、調べたことや理解したことを確認し、理解の深化を促す学習方法である。また、講義の内容を書き込めるように準備された用紙等で理解の確認を行ったり、ワークシートに記入された個々の考えをもとに、ペアやグループワークで話し合い、学習内容を共有することもある。
L	ふり返り	授業の途中や終了時に、理解したことや分からなかったこと等について確認を行い、理解の促進を図る学習方法である。確認の方法としては、振り返りシート等の記入、ペア・グループワークによる意見の共有などがある。
M	フィールドワーク	社会調査における情報収集技法の一つである。研究者が直接現場へ出かけ一定期間滞在し、人々の生活に密着しながら出来事を観察・記述し、その空間の社会的構造をリアルに分析しようとするものである。 アクティブ・ラーニングの視点から、本学での「フィールドワーク」とは教員が提示したテーマや課題等について、学生が直接現場へ出かけ実地調査や研究等を通して、より深く分析し課題解決に向かうことをねらいとした学習形態である。
N	ロールプレイ	現実に起こる場面を想定して、参加者がそれぞれに与えられた役割を演じ（ロールプレイ）、疑似体験（シミュレート）をする学習方法である。技術・技能の修得や、現実的なケースにおける多面的な見方、態度・姿勢の涵養、他人の立場への理解などを促進する際に効果的である。

教 育 課 程 表

教育文化学部　全学共通科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次・単位数 3年次 前	後	教員名	実務経験	展開他	免許・資格	ページ
教養科目								
情報処理（中級）	演習	2		松澤　衛	○			1
				小杉直美				
情報処理（上級）	演習		2	松澤　衛	○			2
就業力養成科目								
キャリア演習Ⅰ	演習	①		小坂守孝				3
				二宮孝行				
				森井　綾				
				永井秀岳				
キャリア演習Ⅱ	演習・講義		①	小川美夏				4
就業力特別講義Ⅱ	講義	1		小室晴陽	○			5
				菊池隆夫	○			
インターンシップ	実習	← 2 →		キャリア支援センター長	○	集中講義		6

《免許・資格欄表記》［教］：教育学科、［芸］：芸術学科、［心］：心理カウンセリング学科、［ス］：スポーツ教育学科、［健］：健康福祉学科
実務経験欄：実務経験のある教員等による授業科目に該当する科目

教育文化学部　教育学科　発展科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次・単位数 3年次 前	後	教員名	実務経験	展開他	免許・資格	ページ
社会と生活に関する科目群								
社会教育概論	講義		2	谷川松芳	○	スポーツ教育学科専門科目	[教][芸][心]社会教育主事_必修	7
高齢社会の街づくり	講義		2	佐藤克之		健康福祉学科専門科目	[ス][教][心]社会教育主事_選必 [芸]社会教育主事_選必、1・2級建築士_選必 [健]介護福祉士_選必、社会教育主事_選必	8
食生活学	講義・演習	2		山部秀子	○	健康福祉学科専門科目	[健]介護福祉士_必修	9
衣生活学	講義・演習	2		長谷川あい		健康福祉学科専門科目	[健]介護福祉士_必修	10
住生活学	講義・演習	2		佐藤克之		健康福祉学科専門科目	[健]介護福祉士_必修	11

教育文化学部　芸術学科　発展科目

科目名	授業形態	年次・単位数 3年次 前	後	教員名	実務経験	展開他	免許・資格	ページ
社会と生活に関する科目群								
社会教育概論	講義		2	谷川松芳	○	スポーツ教育学科専門科目	[教][芸][心]社会教育主事_必修	7
高齢社会の街づくり	講義		2	佐藤克之		健康福祉学科専門科目	[ス][教][心]社会教育主事_選必 [芸]社会教育主事_選必、1・2級建築士_選必 [健]介護福祉士_選必、社会教育主事_選必	8
食生活学	講義・演習	2		山部秀子	○	健康福祉学科専門科目	[健]介護福祉士_必修	9
衣生活学	講義・演習	2		長谷川あい		健康福祉学科専門科目	[健]介護福祉士_必修	10
住生活学	講義・演習	2		佐藤克之		健康福祉学科専門科目	[健]介護福祉士_必修	11

教育文化学部　心理カウンセリング学科　発展科目

科目名	授業形態	年次・単位数 3年次 前	後	教員名	実務経験	展開他	免許・資格	ページ
社会と生活に関する科目群								
社会教育概論	講義		2	谷川松芳	○	スポーツ教育学科専門科目	[教][芸][心]社会教育主事_必修	7
高齢社会の街づくり	講義		2	佐藤克之		健康福祉学科専門科目	[ス][教][心]社会教育主事_選必 [芸]社会教育主事_選必、1・2級建築士_選必 [健]介護福祉士_選必、社会教育主事_選必	8
食生活学	講義・演習	2		山部秀子	○	健康福祉学科専門科目	[健]介護福祉士_必修	9
衣生活学	講義・演習	2		長谷川あい		健康福祉学科専門科目	[健]介護福祉士_必修	10
住生活学	講義・演習	2		佐藤克之		健康福祉学科専門科目	[健]介護福祉士_必修	11

教育文化学部　学部共通科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次・単位数 3年次 前	後	教員名	実務経験	展開他	免許・資格	ページ
青少年学習コーチング論	講義	2		佐々木　邦子		発展科目	[教][芸][心]社会教育主事_必修 [ス][健]社会教育主事_選必	13

教育学科　学科専門科目　コース共通科目

科目名	授業形態	年次・単位数 3年次 前	後	教員名	実務経験	展開他	免許・資格	ページ
専門演習Ⅰ	演習	②		担当教員		集中講義		15
専門演習Ⅱ	演習		②	担当教員		集中講義		16
知的障害教育Ⅰ	講義	②		磯貝隆之	○	スポーツ教育学科同時展開	[教][ス]特支１種_必修	17
肢体不自由教育Ⅰ	講義	2		阿部達彦		スポーツ教育学科同時展開	[教][ス]特支１種_必修	18
病弱教育	講義	2		中澤幸子	○	スポーツ教育学科同時展開 集中講義	[教][ス]特支１種_必修	19
視覚・聴覚障害者の心理・生理・病理	講義		1	佐藤至英	○	スポーツ教育学科同時展開	[教][ス]特支１種_必修	20
重複障害者の心理・生理・病理	講義		1	任龍在		スポーツ教育学科同時展開 集中講義	[教][ス]特支１種_必修	21
視覚・聴覚障害者の教育課程及び指導法	講義		1	佐藤至英	○	スポーツ教育学科同時展開	[教][ス]特支１種_必修	22
重複障害者の教育課程及び指導法	講義		1	阿部美穂子	○	スポーツ教育学科同時展開 集中講義	[教][ス]特支１種_必修	23
特別支援教育実習事前指導	講義		1	石川　大	○		[教]特支１種_必修	24
				石塚誠之	○			
				磯貝隆之	○			
特別支援学校論Ⅰ	演習	2		磯貝隆之	○	集中講義		25
特別支援学校論Ⅱ	演習		2	磯貝隆之	○	集中講義		26
特別支援実践論Ⅰ	演習	2		石川　大	○			27
				石塚誠之	○			
				磯貝隆之	○			
特別支援実践論Ⅱ	演習		2	石川　大	○			28
				磯貝隆之	○			

教育学科　学科専門科目　初等教育コース・幼児教育コース専門科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次・単位数 3年次 前	後	教員名	実務経験	展開他	免許・資格	ページ
教育経営学（幼・小）	講義	②		前川　洋	○		[教]幼・小1種_必修	29
教育課程論（幼・小）	講義	②		杉浦　勉	○		[教]幼・小1種_必修	30
教育方法論(情報機器・教材活用を含む)(幼・小)	講義	②		西出　勉	○		[教]幼・小1種_必修	31
				横山　光	○			
教育相談論(カウンセリングを含む)(幼・小)	講義	②		三浦公裕	○		[教]幼・小1種_必修	32
教育実習事後指導(幼・小)	講義		1	二宮孝行	○	集中講義	[教]幼・小1種_必修	33
				礒島年成	○			
				山崎正明				
				伏見千悦子				
教育実習（幼・小）	実習	4		二宮孝行	○	集中講義	[教]幼・小1種_必修	34
				礒島年成				
				山崎正明				
				伏見千悦子				

教育学科　学科専門科目　初等教育コース専門科目

科目名	授業形態	年次・単位数 3年次 前	後	教員名	実務経験	展開他	免許・資格	ページ
国語科指導法Ⅲ	講義	2		二宮孝行	○		[教]小1種_選択	35
社会科指導法Ⅱ	講義	2		礒島年成	○	選択必修科目	[教]小1種_選択	36
				中川洋一	○			
社会科指導法Ⅲ	講義		2	礒島年成	○		[教]小1種_選択	37
				中川洋一	○			
算数科指導法Ⅲ	講義		2	三浦公裕	○		[教]小1種_選択	38
理科指導法Ⅱ	講義		2	横山　光	○	選択必修科目	[教]小1種_選択	39
生活科指導法Ⅲ	講義		2	西出　勉	○		[教]小1種_選択	40
音楽科指導法Ⅲ	講義		2	澤田悦子			[教]小1種_選択	41
図画工作科指導法Ⅱ	講義	2		山崎正明	○	選択必修科目	[教]小1種_選択	42
家庭科指導法Ⅱ	講義	2		木下教子	○	選択必修科目	[教]小1種_選択	43
				角田成子				
体育科指導法Ⅱ	講義	2		浅尾秀樹		選択必修科目	[教]小1種_選択	44
体育科指導法Ⅲ	講義		2	浅尾秀樹			[教]小1種_選択	45
小学校教育研究Ⅰ	講義	②		二宮孝行	○			46
小学校教育研究Ⅱ	講義		2	杉浦　勉	○			47

教育学科　学科専門科目　幼児教育コース専門科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次·単位数 3年次 前	後	教員名	実務経験	展開他	免許·資格	ページ
保育内容指導（健康）	演習	2		岡　健吾			[教]保育士_選必	48
保育内容指導（人間関係）	演習	2		近江　さつき	○		[教]保育士_選必	49
保育内容指導（環境）	演習	2		西出　勉	○		[教]保育士_選必	50
				横山　光	○			
保育内容指導（言葉）	演習	2		伏見　千悦子			[教]保育士_選必	51
保育内容指導（表現）	演習	2		澤田　悦子			[教]保育士_選必	52
こども理解	講義	②		吉田　耕一郎	○	集中講義	[教]幼1種_必修、保育士_必修	53
				滝澤　真毅				
幼稚園教育研究Ⅰ	講義	②		山崎　正明	○			54
				伏見　千悦子				
幼稚園教育研究Ⅱ	講義		2	岡　健吾			[教]保育士_選必	55
				澤田　悦子				
保育の心理学Ⅰ	講義		2	岸　靖亮			[教]保育士_必修	56
こどもの保健Ⅱ	演習	1		鎌田　晴美	○		[教]保育士_必修	57
家庭支援論	講義		2	遠山　景広			[教]保育士_必修	58
乳児保育	演習		2	那須　杏奈	○		[教]保育士_必修	59
社会的養護内容	演習	1		佐藤　恵美子	○		[教]保育士_必修	60
保育実習Ⅰ	実習		4	工藤　ゆかり	○	集中講義	[教]保育士_必修	61
				岡　健吾				
				澤田　悦子				
保育実習指導Ⅰ	演習		2	工藤　ゆかり	○		[教]保育士_必修	62
				岡　健吾				
				澤田　悦子				

教育学科　学科専門科目　養護教諭コース・音楽コース専門科目

科目名	授業形態	年次·単位数 3年次 前	後	教員名	実務経験	展開他	免許·資格	ページ
教育相談論(カウンセリングを含む)	講義	②		三浦　公裕	○	芸術学科同時展開	[教]養教1種_必修、中·高1種(音楽)_必修 [芸]中·高1種(美術)_必修	63

教育学科　学科専門科目　養護教諭コース専門科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次·単位数 3年次 前	後	教員名	実務経験	展開他	免許·資格	ページ
学校保健演習Ⅰ	演習	2		島瀬史子		選択必修科目		64
学校保健演習Ⅱ	演習		2	島瀬史子				65
養護活動実習Ⅰ	実習	②		今野洋子	○		[教]養教1種_必修	66
				佐藤朱美	○			
				島瀬史子				
養護活動実習Ⅱ	実習		2	今野洋子	○	選択必修科目	[教]養教1種_選択	67
				佐藤朱美	○			
精神保健	講義	②		武藤福保	○		[教]養教1種_必修	68
教育課程論	講義	②		諏江康夫	○	芸術学科同時展開	[教]養教1種_必修 [芸]中·高1種(美術)_必修	69
教育方法論(情報機器·教材活用を含む)	講義		②	西出勉	○		[教]養教1種_必修	70
養護実習事後指導	講義	1		今野洋子		集中講義	[教]養教1種_必修	71
				佐藤朱美				
				島瀬史子				
養護実習	実習	4		今野洋子	○	集中講義	[教]養教1種_必修	72
				佐藤朱美				
				島瀬史子				
養護教諭教育研究Ⅰ	講義	②		今野洋子				73
				佐藤朱美				

教育学科　学科専門科目　音楽コース専門科目

科目名	授業形態	年次·単位数 3年次 前	後	教員名	実務経験	展開他	免許·資格	ページ
指揮法	演習	②		今井敏勝			[教]中·高1種(音楽)_必修	74
合奏Ⅱ	演習	←2→		千葉圭説		選択必修科目		75
				今井敏勝				
生涯学習音楽指導論	講義	2		鈴木しおり	○	選択必修科目		76
ピアノ応用	講義	2		坂田朋優				77
ピアノ総合演習Ⅰ	演習		2	坂田朋優		集中講義		78
コードと即興	講義	2		南山雅樹				79
教育課程論	講義	②		諏江康夫	○	スポーツ教育学科同時展開	[教]中·高1種(音楽)_必修 [ス]中·高1種(保健体育)_必修	80
音楽科教育法Ⅲ	講義	2		河本洋一			[教]中·高1種(音楽)_必修	81
音楽科教育法Ⅳ	講義		2	枡谷隆男	○		[教]中·高1種(音楽)_選択	82
教育方法論(情報機器·教材活用を含む)	講義	②		西出勉	○	芸術学科同時展開	[教]中·高1種(音楽)_必修 [芸]中·高1種(美術)_必修	83
教育実習事前指導	講義		1	千葉圭説			[教]中·高1種(音楽)_必修	84
音楽教育研究Ⅰ	演習	②		千葉圭説				85
音楽教育研究Ⅱ	演習		2	坂田朋優				86

芸術学科　学科専門科目　基本科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次·単位数 3年次 前	後	教員名	実務経験	展開他	免許·資格	ページ
芸術理解								
美学	講義	2		大石和久			[芸]中·高1種(美術)_必修	87
情報技術								
プログラミングによるCG	演習		2	松澤衛	○			88

芸術学科　学科専門科目　専門科目

科目名	授業形態	年次·単位数 3年次 前	後	教員名	実務経験	展開他	免許·資格	ページ
アート教育・文化								
生涯学習と芸術	講義	2		浅川泰	○	選択必修科目		89
学校教育と芸術	演習		2	船木ゆずか	○			90
				森井綾				
博物館資料保存論	講義	2		園部真幸	○		[芸]学芸員_必修	91
博物館展示論	講義	2		細川健裕	○	選択必修科目	[芸]学芸員_必修	92
				柴勤	○			
博物館情報·メディア論	講義		2	小杉直美	○		[芸]学芸員_必修	93
博物館教育論	講義		2	中島宏一	○		[芸]学芸員_必修	94
写真	演習	2		松澤衛	○	選択必修科目		95
ファッション文化論	講義		2	冨田玲子		選択必修科目		96
				大信田静子				
マンガ表現研究	演習	2		かじさやか	○	選択必修科目		97
都市と空間の法規	講義	2		村中敬維	○		[芸]1·2級建築士_必修、インテリアプランナー_選必	98
住宅と空間の生産	講義		2	新貝孝之	○		[芸]1·2級建築士_必修、インテリアプランナー_選必	99
平面表現								
版画	演習	2		森迫暁夫		選択必修科目		100
立体表現								
陶芸Ⅱ	演習	2		北川智浩	○			101
木材工芸	演習	2		阿部吉伸	○		[芸]中1種(美術)_必修	102
舞台衣装Ⅰ	演習	2		冨田玲子		集中講義		103
				大信田静子				
舞台衣装Ⅱ	演習		2	冨田玲子		集中講義		104
				大信田静子				
建築一般構造演習	演習		2	小室晴陽	○		[芸]1級建築士_必修、2級建築士_選必	105
3Dグラフィックス Ⅱ	演習	2		松澤衛	○			106

芸術学科　学科専門科目　専門科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次・単位数 3年次 前	後	教員名	実務経験	展開他	免許・資格	ページ
空間・身体表現								
サウンドデザイン	演習	2		向山千晴				107
トータルビューティ	演習		2	中田純子	○			108
バックステージ研究Ⅰ	演習	2		村松幹男		札幌円山キャンパス実施科目		109
				田光子		選択必修科目		
				平井伸之				
				五ノ井浩	○			
				福田恭一	○			
				藤原宏行	○			
				干場美恵子	○			
				吉田ひでお	○			
バックステージ研究Ⅱ	演習		2	村松幹男		札幌円山キャンパス実施科目		110
				田光子		選択必修科目		
				平井伸之				
				五ノ井浩	○			
				鈴木静悟				
				福田恭一	○			
				藤原宏行	○			
				干場美恵子	○			
				吉田ひでお	○			
俳優論（演習を含む）	演習	2		村松幹男				111
				平井伸之				
構造のかたちと力	講義	2		千里政文	○		[芸]1級建築士_必修、2級建築士_選必、インテリアプランナー_選必	112
空間設備	講義		2	千里政文	○		[芸]1級建築士_必修、2級建築士_選必、インテリアプランナー_選必	113
生活環境	講義		2	小室晴陽	○		[芸]1級建築士_必修、2級建築士_選必、インテリアプランナー_選必	114
発想・企画・プレゼンテーション								
3次元造形演習	演習	2		松澤衛	○			115
				山下圭介				
ブランディングデザイン論	演習	2		冨田玲子		選択必修科目		116
ディスプレイデザイン	実習		2	早坂眞梨子	○			117
インテリア設計Ⅱ	演習	2		千里政文	○	選択必修科目	[芸]1・2級建築士_選必、インテリアプランナー_選必	118
店舗デザイン	演習		2	新貝孝之	○		[芸]1・2級建築士_選必、インテリアプランナー_選必	119
ステージ総合実習	実習	← 2 →		端谷真子		集中講義		120

芸術学科　学科専門科目　応用実践科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次・単位数 3年次 前	後	教員名	実務経験	展開他	免許・資格	ページ
総合・統合								
地域と芸術	演習	2		森井　綾		集中講義		121
				浅井貴也				
				大信田静子				
				小室晴陽				
				千里政文				
				冨田玲子				
				林　亨				
				松澤　衛				
				村松幹男				
				山下圭介				
ポートフォリオ制作Ⅰ	演習		1	浅井貴也				122
				大信田静子				
				小室晴陽				
				千里政文				
				冨田玲子				
				林　亨				
				松澤　衛				
				村松幹男				
				森井　綾				
				山下圭介				
専門演習Ⅰ	演習	②		担当教員		集中講義		123
専門演習Ⅱ	演習		②	担当教員		集中講義		124

教育文化学部　芸術学科　教職に関する科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次・単位数 3年次 前	後	教員名	実務経験	展開他	免許・資格	ページ
教育課程論	講義	②		諏江康夫	○	教育学科(養)同時展開	[芸]中・高1種(美術)_必修 [教]養教1種_必修	125
美術科教育法Ⅲ	講義	②		林亨 山下圭介	○		[芸]中・高1種(美術)_必修	126
美術科教育法Ⅳ	講義		2	林亨 山下圭介	○		[芸]中・高1種(美術)_選択	127
教育方法論(情報機器・教材活用を含む)	講義	②		西出勉	○	教育学科(音)同時展開	[芸]中・高1種(美術)_必修 [教]中・高1種(音楽)_必修	128
教育相談論(カウンセリングを含む)	講義	②		三浦公裕	○	教育学科(養・音)同時展開	[芸]中・高1種(美術)_必修 [教]養教1種_必修、中・高1種(音楽)_必修	129
教育実習事前指導	講義		①	林亨 山下圭介	○		[芸]中・高1種(美術)_必修	130

心理カウンセリング学科　学科専門科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次・単位数 3年次 前	後	教員名	実務経験	展開他	免許・資格	ページ
コミュニケーション心理学(学習・言語心理学Ⅱ)	講義		2	風間雅江	○		[心]公認心理師_必修、認定心理士_選必、福祉心理士_選必	131
家族心理学(社会・集団・家族心理学Ⅱ)	講義		2	飯田昭人	○		[心]公認心理師_必修、認定心理士_選必、福祉心理士_選必	132
産業・組織心理学	講義		2	小坂守孝	○		[心]公認心理師_必修、認定心理士_選必、福祉心理士_選必	133
ポジティブ心理学	講義		2	風間雅江	○		[心]認定心理士_選必、福祉心理士_選必	134
臨床心理援助技法論Ⅰ(精神分析療法)	講義	2		澤聡一	○		[心]認定心理士_選必、福祉心理士_選必	135
臨床心理援助技法論Ⅱ(認知行動療法)	講義	2		入江智也	○		[心]認定心理士_選必、福祉心理士_選必	136
臨床心理援助技法論Ⅲ(ブリーフ・セラピー)	講義	2		新川貴紀			[心]認定心理士_選必、福祉心理士_選必	137
心理演習	演習	4		小坂守孝	○		[心]公認心理師_必修、認定心理士_選必、福祉心理士_選必	138
				飯田昭人	○			
				風間雅江	○			
				佐藤至英	○			
心理実習	実習	← 2 →		新川貴紀	○	2年次後学期から通年集中講義	[心]公認心理師_必修	139
				飯田昭人				
				風間雅江				
				小坂守孝				
				澤聡一				
				佐藤至英				
スクールカウンセリング	講義		2	新川貴紀			[心]認定心理士_選必、福祉心理士_選必	140
生命倫理学	講義		2	森口眞衣				141
地域福祉論Ⅰ	講義	2		尾形良子		健康福祉学科同時展開	[心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必、社会福祉主事_選必 [健]介護福祉士_選必、社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必	142
地域福祉論Ⅱ	講義		2	尾形良子		健康福祉学科同時展開	[心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必、社会福祉主事_選必 [健]社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必	143
医療福祉論	講義		2	寺田香	○		[心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必、社会福祉主事_選必	144
権利擁護と成年後見制度	講義		2	森田弘之		健康福祉学科同時展開	[心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必 [健]社会福祉士_必修	145
精神保健Ⅰ	講義	2		武藤福保	○		[心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必	146
精神保健Ⅱ	講義		2	橋本菊次郎	○		[心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必	147
精神科リハビリテーション	講義	4		橋本菊次郎	○		[心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必	148
精神保健福祉援助技術各論Ⅱ	講義	2		今井博康			[心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必	149
精神保健福祉援助演習Ⅰ	演習		2	橋本菊次郎	○		[心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必	150
				寺田香	○			

心理カウンセリング学科　学科専門科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次·単位数 3年次 前	後	教員名	実務経験	展開他	免許·資格	ページ
精神保健福祉援助実習指導	演習		3→	橋本　菊次郎	○	4年次後学期まで通年	[心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必	151
				今井　博康	○			
				寺田　香	○			
精神保健福祉援助実習	実習		7→	橋本　菊次郎		4年次後学期まで通年	[心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必	152
				今井　博康	○	集中講義		
				寺田　香				
就業力特別演習	演習	1		澤　聡一	○			153
				橋本　菊次郎	○			
専門演習Ⅰ	演習	②		担当教員		集中講義	[心]認定心理士_選必	154
専門演習Ⅱ	演習		②	担当教員		集中講義	[心]認定心理士_選必	155

全学共通科目

科目名	情報処理(中級)	授業形態	演習	単位数	2
教員名	松澤　衛、小杉　直美				

授業の目的		
	ねらい	どのような社会分野でも情報処理の技術が、求められる時代になってきた。本学でも情報処理の基礎としての科目を用意しており、社会人生活で最低限必要な知識と技術を身につけることができる。「情報処理(中級)」では、基礎技術をベースとして、より高い社会の要求に対応できる人材育成を目的として、アプリケーションを自在に操るマクロ、情報の整理整頓を行うデーターベースを中心に、コンピュータでのデータ処理の知識、技術を習得することを目的とする。
	到達目標	(1)アプリケーションを操るマクロを理解できる。 (2)データの収集、整理、解析の方法が理解できる。 (3)データベースの構築の方法が理解できる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】15回の授業の流れを説明し、身につけるべき知識、技術について説明する。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で学びたいことを整理して、関連する資料を調べておく。	A、B、L	第9回	【テーマ】表計算を使ったデータベース4 【計画内容】自分取材、収集したデータをデータベース化する方法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】第8回に配付した資料を読んでおくこと。	B、L
	第2回	【テーマ】マクロを使った簡単な表計算制御1 【計画内容】表計算アプリケーションを使用して、簡単な制御について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】第1回に配付した資料を読んでおくこと。	B、L	第10回	【テーマ】マクロを使ったデータベースソフト作成1 【計画内容】パソコンにおけるデータ処理について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】第9回に配付した資料を読んでおくこと。	B、L
	第3回	【テーマ】マクロを使った簡単な表計算制御2 【計画内容】表計算アプリケーションを使用して、セルの制御、演算の方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】第2回に配付した資料を読んでおくこと。	B、L	第11回	【テーマ】マクロを使ったデータベースソフト作成2 【計画内容】データ入力処理について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】第10回に配付した資料を読んでおくこと。	B、L
	第4回	【テーマ】マクロを使った簡単な表計算制御3 【計画内容】表計算アプリケーションを使用して、条件文による分岐処理について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】第3回に配付した資料を読んでおくこと。	B、L	第12回	【テーマ】マクロを使ったデータベースソフト作成3 【計画内容】データ処理を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】第11回に配付した資料を読んでおくこと。	B、L
	第5回	【テーマ】データベースとは？ 【計画内容】facebook、Twitter などのバックエンドで動いているデータベースについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】第4回に配付した資料を読んでおくこと。	B、L	第13回	【テーマ】マクロを使ったデータベースソフト作成4 【計画内容】データ出力処理について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】第12回に配付した資料を読んでおくこと。	B、L
	第6回	【テーマ】表計算を使ったデータベース1 【計画内容】表計算アプリケーションを使用した簡単なデータベース作成を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】第5回に配付した資料を読んでおくこと。	B、L	第14回	【テーマ】マクロを使ったデータベースソフト作成5 【計画内容】ボタンなどを利用してユーザーインターフェイスについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】第13回に配付した資料を読んでおくこと。	B、L
	第7回	【テーマ】表計算を使ったデータベース2 【計画内容】表計算アプリケーションを使用したデータベース制御について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】第6回に配付した資料を読んでおくこと。	B、L	第15回	【テーマ】まとめ･発表 【計画内容】他の履修者とデータベースを共有する。 【授業時間外の学修内容】第14回に配付した資料を読んでおくこと。	B、L
	第8回	【テーマ】表計算を使ったデータベース3 【計画内容】表計算アプリケーションを使用したデータベースの様々な出力処理について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】第7回に配付した資料を読んでおくこと。	B、L			

テキスト	プリントを使用します
参考書	プリントを使用します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%		35%	15%
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	第15回で、作成したマクロについて、授業内容を振り返りながら講評します。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	松澤 衛／情報映像系事業経営
		科目との関連	松澤 衛／プログラム作成経験を活かし、マクロ作成を教授する。

質問への対応	質問等は、E-Mail:mmamoru@hokusho-u.ac.jp までメールをください。 Microsoft Teams を利用した授業を行います。
資格	
その他	Excel が使えることを前提とした授業内容です。

科目名	情報処理(上級)	授業形態	演習	単位数	2
教員名	松澤　衛				

授業の目的	
ねらい	どのような分野でも仕事を行う上での必須アイテムがコンピュータである。 この科目は、コンピュータ、スマホに代表される携帯端末、ネットワーク、ユーザーインターフェースの仕組みを理解し、実際のプログラミングの方法を学ぶ。 アプリケーションを使うだけではない、より高度な情報処理技術を学ぶ。
到達目標	(1)コンピュータの仕組みを理解できる。 (2)ネットワークの仕組みを理解できる。 (3)コンピュータ、スマホのプログラミングが理解できる。

授業の計画						
第1回	【テーマ】オリエンテーション：コンピュータはどのように動いているのか？ 【計画内容】この授業で何をやるのか他履修生と簡単なグループワークを行い、プログラミングや授業の意義について共有します。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読んで、自分なりに授業について考えてきてください。	A、L	第9回	【テーマ】スマホアプリの構造3 【計画内容】ユーザーインタフェースを使用した画面遷移について学びます。 【授業時間外の学修内容】第8回で配付した資料を読んでおくこと。	B、L
第2回	【テーマ】コンピュータ言語の説明1 【計画内容】コンピュータでプログラムを行う上での言語の特徴とプログラムの基礎知識を学びます。 【授業時間外の学修内容】第1回で配付した資料を読んでおくこと。	B、L	第10回	【テーマ】オリジナルアプリ開発1 【計画内容】オリジナルアプリの構想をします。他の履修者と知識、情報を共有し、自分で作るものを決めます。 【授業時間外の学修内容】第9回で配付した資料を読んでおくこと。	B、L
第3回	【テーマ】コンピュータ言語の説明2 【計画内容】簡単なプログラムを作成し、コンピュータでの動きを学びます。 【授業時間外の学修内容】第2回で配付した資料を読んでおくこと。	B、L	第11回	【テーマ】オリジナルアプリ開発2 【計画内容】構想を形にしていきます。アプリの流れを考えます。 【授業時間外の学修内容】第10回で配付した資料を読んでおくこと。	B、L
第4回	【テーマ】プログラムの文法1 【計画内容】定数と変数について学びます。 【授業時間外の学修内容】第3回で配付した資料を読んでおくこと。	B、L	第12回	【テーマ】オリジナルアプリ開発3 【計画内容】プログラミングを行い実際にシュミレーターで動かします。 【授業時間外の学修内容】第11回で配付した資料を読んでおくこと。	B、L
第5回	【テーマ】プログラムの文法2 【計画内容】繰り返し文について学びます。 【授業時間外の学修内容】第4回で配付した資料を読んでおくこと。	B、L	第13回	【テーマ】オリジナルアプリ開発4 【計画内容】自分の構想とシミュレーターでの違いを把握し、構想に近づけます。 【授業時間外の学修内容】第12回で配付した資料を読んでおくこと。	B、L
第6回	【テーマ】プログラムの文法3 【計画内容】条件文について学びます。 【授業時間外の学修内容】第5回で配付した資料を読んでおくこと。	B、L	第14回	【テーマ】オリジナルアプリ開発5 【計画内容】プログラムを完成させます。 【授業時間外の学修内容】第13回で配付した資料を読んでおくこと。	B、L
第7回	【テーマ】スマホアプリの構造1 【計画内容】iPhone と Android の違いについて学びます。 【授業時間外の学修内容】第6回で配付した資料を読んでおくこと。	B、L	第15回	【テーマ】作品発表と好評 【計画内容】完成したアプリを発表し、他の履修者と共有します。 【授業時間外の学修内容】第14回で配付した資料を読んでおくこと。	B、F、L
第8回	【テーマ】スマホアプリの構造2 【計画内容】スマホの簡単なユーザーインターフェースを持ったアプリ開発を学びます。 【授業時間外の学修内容】第7回で配付した資料を読んでおくこと。	B、L			

テキスト	プリントを使用します
参考書	プリントを使用します

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			30%	30%	25%	15%
補足						

課題に関するフィードバックの方法	第15回で、作成したプログラムについて、学んだ内容を振り返りながら講評します。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	情報映像系事業経営
		科目との関連	プログラム作成経験を活かし、アプリ開発を教授する。

質問への対応	担当：松澤までメールをしてください。E-Mail:mmamoru@hokusho-u.ac.jp Microsoft Teams を使用して授業を行います。
資格	
その他	

科目名	キャリア演習Ⅰ	授業形態	演習	単位数	1
教員名	小坂　守孝、二宮　孝行、森井　綾、永井　秀岳				

授業の目的		
	ねらい	本演習は、自らのキャリア構築のための実践的な対自己基礎力、対人基礎力、コミュニケーション基礎力の向上を目指す。対自己基礎力では、就職活動の自己アピール文を作るための自己分析を行い、自分の強みを正しく理解する。対人基礎力では、他者へ訴求できることを目指し、実践的な自己 PR 演習を行う。また就職活動に欠かせない履歴書の作成を通して、言語的コミュニケーション基礎力の向上を目指す。まとめとして、就職活動で成功するために自らの目標を設定し、実現のための具体的な行程表を作成する。
	到達目標	(1)自分の強みを正しく理解し、他者へ訴求できるようになる。 (2)受講生が見ている場面で、自己 PR できるようになる。 (3)履歴書を正しく記載することができるようになる。 (4)成功するために、自ら「目標」を設定し、「実現のための具体的な行程表」を作成する。

授業の計画			
	第1回	【テーマ】自分の強みを知る自己分析① 【計画内容】課題のワークシートをもとに具体的な自己 PR を作り上げる。 【授業時間外の学修内容】課題を完成させたうえで、講義に臨むこと。	A、K、L
	第2回	【テーマ】自分の強みを知る自己分析② 【計画内容】自己分析を行い、2分間のプレゼンテーションができるための自己 PR 文を完成させる。 【授業時間外の学修内容】この回で完成できない場合は自宅で完成させてくること。	K、L
	第3回	【テーマ】自己 PR 大会①　前半 【計画内容】一人ひとり全員の前で、2分間の自己 PR 発表を行う。 【授業時間外の学修内容】当日の発表者以外も練習を重ねて臨むこと。	F、L
	第4回	【テーマ】自己 PR 大会②　中盤 【計画内容】一人ひとり全員の前で、2分間の自己 PR 発表を行う。 【授業時間外の学修内容】当日の発表者以外も練習を重ねて臨むこと。	F、L
	第5回	【テーマ】自己 PR 大会③　後半 【計画内容】一人ひとり全員の前で、2分間の自己 PR 発表を行う。 【授業時間外の学修内容】当日の発表者以外も練習を重ねて臨むこと。	F、L
	第6回	【テーマ】履歴書を書いてみよう① 【計画内容】履歴書の基本を理解し、ルール通りに書くことを意識する。事前に配付した進路登録票も提出する。 【授業時間外の学修内容】事前配付のワークシートを記載しておくこと。進路登録票を完成させて臨むこと。	A、K、L
	第7回	【テーマ】履歴書を書いてみよう② 【計画内容】人事担当者に評価される履歴書を意識し、訴求する履歴書を完成させる。 【授業時間外の学修内容】前回の進み具合で、進度が遅い学生は自宅で内容を詰めた上で参加すること。	K、L
	第8回	【テーマ】まとめ：私が内定した理由を教えます 【計画内容】希望先に内定したと仮定。成功イメージから逆算して、やるべきことを自ら整理･設定する。 【授業時間外の学修内容】十分に準備･整理した上で、出席すること。準備の度合いも評価対象とする。	H、L

テキスト	プリント等を使用します
参考書	適宜紹介します

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			30%	30%	40%	
補足			中間	中間	平時	

課題に関するフィードバックの方法	ポータルにて、行います。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	講義終了後、質問を随時受け付ける。
資格	
その他	日々、ニュースを見る、新聞を読むという社会人の基本は継続すること。

科目名	キャリア演習Ⅱ	授業形態	演習・講義	単位数	1
教員名	小川　美夏				

授業の目的		
	ねらい	本演習は、進路決定のための実践的な就職活動の基本について学ぶ。模擬面接、模擬グループディスカッション等の実践的な演習を通じて、自己のコミュニケーション能力を正しく把握し、さらなる自主努力の必要性を理解し、自発的行動への意識を喚起する。民間企業、福祉施設、教員、公務員など、志望分野は異なっていても、社会・職業への移行に必要な力・本質は同じであることを正しく理解する。また、ビジネスマナーを通じて、社会人としての立ち居振る舞いの修得を目指す。
	到達目標	(1)就職活動の基本を理解する。 (2)ビジネスマナーを通じて、社会人(大人)の立ち居振る舞いを修得する。 (3)現在の自分のコミュニケーション能力を正しく把握し、さらなる自主努力の必要性を理解する。

授業の計画			
	第1回	【テーマ】就職活動の基本 【計画内容】具体的なスケジュールの確認など就職活動の基本をおさえる。 【授業時間外の学修内容】『キャリアガイドブック』を読んで出席すること。	A、K
	第2回	【テーマ】自己理解(1)　社会人基礎力測定(リテラシー: 問題解決力、言語・非言語処理能力) 【計画内容】自分の基礎力の現状を客観的に把握するために、社会人基礎力診断 PROG(リテラシー)を受験する。 【授業時間外の学修内容】『キャリアガイドブック』を読んで出席すること。	A
	第3回	【テーマ】自己理解(2)　社会人基礎力測定(コンピテンシー: 対人基礎力、対自己基礎力、対課題基礎力) 【計画内容】自分の基礎力の現状を客観的に把握するために、社会人基礎力診断 PROG(コンピテンシー)を受験する。 【授業時間外の学修内容】『キャリアガイドブック』を読んで出席すること。	A
	第4回	【テーマ】ビジネスマナー(1) 【計画内容】ビジネスマナーがコミュニケーションの基本であることを理解する。 【授業時間外の学修内容】『キャリアガイドブック』を読んで出席すること。	A、B、K
	第5回	【テーマ】ビジネスマナー(2) 【計画内容】コミュニケーションの基本であるビジネスマナーを実践する。 【授業時間外の学修内容】『キャリアガイドブック』を読んで出席すること。	A、B、K
	第6回	【テーマ】グループディスカッション対策 【計画内容】グループディスカッションの概要、ポイントを学ぶ。 【授業時間外の学修内容】『キャリアガイドブック』を読んで出席すること。	A、K
	第7回	【テーマ】自己理解(3)　社会人基礎力測定結果報告 【計画内容】社会人基礎力で測定した主観的結果と客観的結果を統合し、自己理解を深める。検査の結果をもとに、自分の行動目標を立てる。 【授業時間外の学修内容】『キャリアガイドブック』を読んで出席すること。	A、B
	第8回	【テーマ】面接対策 【計画内容】面接の概要、ポイントを学ぶ。 【授業時間外の学修内容】『キャリアガイドブック』を読んで出席すること。	A、K

テキスト	『キャリアガイドブック』
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			40%		60%	
	補足			第1回・第8回		平時	

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	講義終了後、質問を随時受け付けます。
資格	
その他	日々、ニュースを見る、新聞を読むという社会人の基本を継続すること。

科目名	就業力特別講義Ⅱ	授業形態	講義	単位数	1
教員名	小室　晴陽、菊池　隆夫				

授業の目的	ねらい	社会人は常に変化・成長を求められるため、「はじめて」の出来事を経験することも多い。新しい知識を学習し続けるのはもちろんのこと、今持つ知識だけでは対応しきれないことも多々ある。社会人として仕事をするために、その都度、自分の置かれた状況を考慮しながら、論理的に道筋を立てて考え、行動することが求められている。 そこで、本講義では社会人基礎力の一つである論理的思考力の醸成を図ることを授業のねらいとする。具体的には、SPI 非言語の頻出単元である「推論」「分割」「割合」「図形」「確率」の5項目を扱いながら、粘り強く筋道を立てて論理的に考える思考習慣を持つ人材となることを目指す。
	到達目標	(1)曖昧さを排除し、粘り強く論理的に考えることができる。 (2)状況を的確に把握し、与えられた状況から数式・数字を使って、適切に解釈することができる。 (3)決められた課題を毎回提出することができる。

授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション・論理的思考とは　基礎計算力チェック 【計画内容】本講義の概要説明を行い、論理的思考とはどういうことかについて考えます。また、推論基礎問題・基礎計算力のチェックを行います。(小室晴陽) 【授業時間外の学修内容】計算力に自信のない学生はよく復習しておくこと。	A、B、H
	第2回	【テーマ】『推論』 【計画内容】根拠に基づいて判断する練習を行います。「数字シミュレーション」「数式解釈」「条件整理」を学びます。(小室晴陽) 【授業時間外の学修内容】ＳＰＩ非言語「推論」を学習しておくこと。	A、B
	第3回	【テーマ】『分割』 【計画内容】分けて考えてみよう。「仕事算」「水槽算」「分割支払い」を通じて分けて考える思考を学びます。(菊池隆夫) 【授業時間外の学修内容】ＳＰＩ非言語「仕事算」「水槽算」「分割支払い」を学習しておくこと。	A、B
	第4回	【テーマ】『割合』 【計画内容】割合のおさらいをします。「損益算」「濃度算」「速度算」等を用いて割合について考えます。(菊池隆夫) 【授業時間外の学修内容】ＳＰＩ非言語「損益算」「濃度算」「速度算」等を学習しておくこと。	A、B
	第5回	【テーマ】『図形』 【計画内容】角度・面積・展開図・空間図形の問題について。(菊池隆夫) 【授業時間外の学修内容】各種図形の面積や角度を求めるための公式について確認をしておくこと。	A、B、K
	第6回	【テーマ】『確率』 【計画内容】順列と組み合わせ、確率、余事象など。(菊池隆夫) 【授業時間外の学修内容】小中高までの教科書などを使って「確率」(順列・組合せ)を復習しておくこと。	A、B
	第7回	【テーマ】『確率・総合演習』 【計画内容】順列と組み合わせ、確率、余事象など。(菊池隆夫) 【授業時間外の学修内容】小中高までの教科書などを使って「確率」(確率・余事象)を復習しておくこと。	A、B
	第8回	【テーマ】復習解説及び総合的な問題を出題し理解状況を確認 【計画内容】これまでの講義内容の復習と理解状況の確認問題(小室晴陽・菊池隆夫) 【授業時間外の学修内容】本授業全体の総復習をしておくこと。類題を解いておくこと。	A、B、K

テキスト	自作の講義テキストを配付します
参考書	プリントを使用し講義時に説明します

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			50%		30%	20%
補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
該当	経験内容	小室晴陽／職業能力開発大学校教員、菊池隆夫／高等学校教諭
	科目との関連	数学担当教諭及び工学系職業能力指導員の経験を活かして論理的思考や数学的アプローチによる問題解法を教授する。

質問への対応	講義時や講義の前後に質問を受け付けます
資格	
その他	学んだ内容を振り返りながら、提出されたワークシート等に対してコメントを伝えます。

科目名	インターンシップ	授業形態	実習	単位数	2
教員名	キャリア支援センター長				

授業の目的		
	ねらい	インターンシップは、企業等での研修を通じて、就業力を育成することを目的としている。インターンシップは、①日々学んでいる専門性を実践の場で発揮する機会として、②自ら選択した職種の適性を判断する機会として、③進路とは異なる業種、職種を経験する機会として等、各自の目的に応じて活用することが可能であり、将来の進路選択の際に必要となるさまざまな知識の吸収や社会に通用する価値観の獲得、および社会人としての基礎力を培うことを目指す。
	到達目標	(1)ビジネスマナーを身につける。 (2)自己の適性について理解を深める。 (3)適切な職業観を養う。 (4)行動力やコミュニケーション能力を身につける。 (5)各業界の取り組みを通じて、企業(団体含む)理解を深める。

授業の計画	
【計画内容】 【インターンシップ事前指導】 (1)4月の就職ガイダンスに出席し、自己の進路について考え、就職に向けて意識を高める。インターンシップの概要を理解する。 (2)インターンシップ説明会に出席(必須)し、インターンシップの意義、概要、流れを理解する。 (3)希望実習先の企業研究を行い、実習先の希望業種と希望職種について検討する。 (4)希望実習先の選定と志望理由書を作成し、期日までにキャリア支援センターにてインターンシップの申込みを行う。 (5)キャリア支援センターにて必要に応じて個人面談を受けながら、インターンシップ中の自己のテーマや目標を考え、実習先の学内選考を受ける。 (6)ビジネスマナー講座を受講(必須)し、社会人としての最低限のマナーを身につける。	A、D、L、N
【インターンシップ実習】 就労体験を通じて、自らの適性と仕事についての理解を深め、就業力を養う。 (1)仕事とはどういうものかを感じ取り、理解する。 (2)企業・組織を知り、社会のしくみを理解する。 (3)企業・組織の一員として、できることを明確にする。 (4)社会人としての価値観や基礎を身につける。	F、L
【インターンシップ事後指導】 (1)インターンシップ実習を振り返り、自己評価および報告書を作成し、期日までにキャリア支援センターに提出する。 (2)インターンシップ報告会のプレゼンテーションの準備をする。 (3)インターンシップ報告会で自分の実習体験を発表(必須)し、プレゼンテーションを学ぶ。 (4)指定テーマに基づきグループワークを行い、結果を発表する。その際、グループ内の役割課題に取り組む。	F、G、H
【授業時間外の学修内容】希望実習先の企業研究を行う。	

テキスト	必要に応じて随時資料を配付します
参考書	必要に応じて随時資料を配付します

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			30%	50%	20%	
補足			報告書	実習先の評価	平時	

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連	該当	経験内容	
		科目との関連	

質問への対応	キャリア支援センター窓口(7号棟1F)にて、随時質問対応します。 企業とのマッチング等の業務はキャリア支援センターが担当します。 インターンシップ説明会にて詳細は説明しますが、不安なこと、心配なことはキャリア支援センター職員に遠慮なくお尋ねください。
資格	
その他	インターンシップ希望者は、前学期のうちに実施される「インターンシップ説明会」に必ず出席のこと。日程は別途キャリア支援センターより明示します。希望者には申込書と志望理由書作成を課します(必要に応じて面談を実施する場合もあります)。学内選考を経て、インターンシップに参加となります。インターンシップ参加前のマナー講座は必修です。大学を通しての派遣になりますので、相応しい服装、髪型、礼儀を守ることを約束できることが前提です。なお、インターンシップにかかる交通費、食費等は自己負担となりますのでご了承ください。 ＜履修上の注意＞ 夏期休暇を利用して2週間程度で行うインターンシップ、もしくは数ヶ月にわたり組織の中で一つのプロジェクトを遂行するプロジェクト型インターンシップなど、インターンシップにも様々なスタイルがあります。受け入れ先企業との連絡・調整などを経て、インターンシップ体験となりますので、その都度キャリア支援センターの指示に従ってください。

発　展　科　目

科目名	社会教育概論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	谷川　松芳				

授業の目的		
	ねらい	本講は社会教育主事の資格を取得するための必修科目で、社会教育の本質を学び、社会教育主事として必要な知識を習得する。 さらに、生涯学習社会における社会教育の位置づけと役割などを学び、将来、社会教育行政や社会教育施設などで活かされる社会教育の専門的知識を習得する。
	到達目標	(1)社会教育の本質を理解する。 (2)社会教育主事としての役割を理解する。 (3)生涯学習社会における社会教育の役割を理解する。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション·社会教育の意義と目的について 【計画内容】講義の内容、15回の授業計画·成績評価の方法について説明する。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読しておくこと。	A、I	第9回	【テーマ】社会教育の方法と形態について 【計画内容】社会教育の方法、学習形態、方法の開発と成果の評価などについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付する資料を読み、疑問点をまとめる。	A、I
	第2回	【テーマ】社会教育の誕生と社会教育法について 【計画内容】社会教育はなぜ誕生したのか。社会教育はなぜ制定されたのかを学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に配付された資料を読み、疑問点をまとめる。	A、I	第10回	【テーマ】社会教育における専門的職員について 【計画内容】社会教育主事及び図書館司書、学芸員の果たす役割とその専門性について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付する資料を読み、疑問点をまとめる。	A、I
	第3回	【テーマ】生涯学習社会と社会教育の関係性について 【計画内容】生涯学習社会のあり方を考え、社会教育との関係性を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付する資料を読み、疑問点をまとめる。	A、I	第11回	【テーマ】社会教育委員、社会教育関係団体と社会教育について 【計画内容】社会教育委員の果たすべき役割と現状·課題について学びます。社会教育関係団体の意義及び目的について、また社会教育関係団体と行政との関わりについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付する資料を読み、疑問点をまとめる。	A、I
	第4回	【テーマ】生涯学習と社会教育について 【計画内容】生涯学習と社会教育の関係について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】教育基本法(第3条)を熟読しておくこと。配付する資料を読み、疑問点をまとめる。	A、I	第12回	【テーマ】社会教育施設の役割について 【計画内容】社会教育施設としての公民館、図書館、博物館、体育館等の役割について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】社会教育法(第5章)を熟読しておくこと。配付する資料をみ、疑問点をまとめる。	A、I
	第5回	【テーマ】社会教育実践から学ぶ意義について 【計画内容】我が国の社会教育の歴史を踏まえながら、社会教育の意義と特質、社会教育の実際について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付する資料を読み、疑問点をまとめる。	A、I	第13回	【テーマ】学校教育と社会教育の連携·融合について 【計画内容】学社連携·融合の意義及び内容について学びます。また社会教育と学校教育との関わりを通して現状·課題について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付する資料を読み、疑問点をまとめる。	A、I
	第6回	【テーマ】教育基本法及び社会教育法の概要について 【計画内容】教育基本法及び社会教育法が制定されてから今日に至るまでのあゆみを踏まえながら、教育基本法及び社会教育法の主な内容について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】教育基本法及び社会教育法を熟読しておくこと。	A、I	第14回	【テーマ】地方自治体におけるまちづくりと社会教育活動の関係について 【計画内容】住民による社会教育実践活動とまちづくりの関係性について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付する資料を読み、疑問点をまとめる。	A、I
	第7回	【テーマ】社会教育と社会教育行政について 【計画内容】社会教育行政の果たす役割と現状·課題について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付する資料を読み、疑問点をまとめる。	A、I	第15回	【テーマ】まとめと振り返りについて 【計画内容】これまでの社会教育概論のまとめを行う。 【授業時間外の学修内容】これまで配付した資料をまとめておくこと。	A、I
	第8回	【テーマ】社会教育の内容と方法·形態について 【計画内容】社会教育の内容の具体例、教育·学習内容の分類とその視点について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付する資料を読み、疑問点をまとめる。	A、I			

テキスト	プリントを使用します
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	60%				40%	
	補足	レポート		レポート			

課題に関するフィードバックの方法	講義時に配付し講評する

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	社会教育主事
		科目との関連	社会教育主事の経験を活かし、社会教育理論と社会教育実践方策を教授する

質問への対応	講義の前後で行う。
資格	[教][芸][心]社会教育主事_必修
その他	·社会教育主事(任用資格)取得に意欲のある学生を求む。 ·「生涯学習論」の単位を修得済みのこと。

科目名	高齢社会の街づくり	授業形態	講義	単位数	2
教員名	佐藤　克之				

授業の目的

ねらい

今日の福祉環境整備における国及び自治体の制度･政策について学ぶ。特に重要な公共的建築物の福祉環境整備調査項目、①駐車場･アプローチ･玄関出入り口･手すり･スロープ等、②トイレ･エレベーター･エスカレーター等、③自動販売機･コンセント･スイッチ･標示板等について、大学のキャンパス内で検証し、バリアフリー･ユニバーサルデザインについての考え方をグループにより調査･研究を行い、その成果をポスター･パワーポイントで発表する。また、住宅の整備項目についてはホームワークとして各自がレポートを作成し提出する。

到達目標

(1)福祉環境整備の国･自治体の制度･政策の理解
(2)バリアフリーの理解
(3)ユニバーサルデザインの理解
(4)公共的建築物の整備項目及び住まいの整備項目の理解
(5)グループ研究のあり方の理解

授業の計画

第1回	【テーマ】オリエンテーション1 【計画内容】講義の紹介、15回の講義計画･テキスト･参考書･成績評価の方法について解説する。 【授業時間外の学修内容】シラバスをよく読んでおくこと。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	A	第9回	【テーマ】公共的建築物の福祉環境整備調査2-3 【計画内容】発表時のプレゼンテーションの効果を検討し、タイトル･文章の配置、撮影等、ポスター化を行う。また、住宅の整備項目についても解説する(ホームワークは各自がレポートとして作成し最終講義に提出する)。 【授業時間外の学修内容】事前に、グループ内の役割分担を十分に検討する。	A、H、J、K
第2回	【テーマ】オリエンテーション2 【計画内容】北海道での福祉環境整備についてビデオ教材により学ぶ。その後グループ化を行う。 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容を熟読する。	A	第10回	【テーマ】公共的建築物の福祉環境整備調査2-4 【計画内容】公共的建築物の福祉環境整備調査2のポスター･パワーポイント発表を行う。発表者は作成した内容について要領よく丁寧に解説する。特に、関連企業の資料、図面、写真等、グループでの意見を述べる。また、住宅の整備項目についても解説する(ホームワークは各自がレポートとして作成し最終講義に提出する)。 【授業時間外の学修内容】事前に、グループ内の役割分担を十分に検討する。	A、F
第3回	【テーマ】公共的建築物の福祉環境整備調査1-1 【計画内容】大学キャンパス内で複数箇所を比較検証する。実地調査では、公共的建築物の福祉環境整備調査1の中から1項目を選定し、計測、撮影、図面化等、発表時のプレゼンテーションの効果を検討し、実地調査をグループごとにチームワークを考慮し実施する。 【授業時間外の学修内容】事前に、グループ内の役割分担を十分に検討する。	A、H、J、K	第11回	【テーマ】公共的建築物の福祉環境整備調査3-1 【計画内容】大学キャンパス内で複数箇所を比較検証する。実地調査では、公共的建築物の福祉環境整備調査3の中から1項目を選定し、計測、撮影、図面化等、発表時のプレゼンテーションの効果を検討し、実地調査をグループごとにチームワークを考慮し実施する。 【授業時間外の学修内容】事前に、グループ内の役割分担を十分に検討する。	A、H、J、K
第4回	【テーマ】公共的建築物の福祉環境整備調査1-2 【計画内容】公共的建築物の福祉環境整備調査1の中から1項目を選定した内容を補足するため、関連企業のホームページから資料の収集を行う。また、前回の追加調査及びタイトル･文章の作成、図面化、撮影の印刷等、グループでチームワークを考慮し実施する。 【授業時間外の学修内容】事前に、グループ内の役割分担を十分に検討する。	A、H、J、K	第12回	【テーマ】公共的建築物の福祉環境整備調査3-2 【計画内容】公共的建築物の福祉環境整備調査3の中から1項目を選定した内容を補足するため、関連企業のホームページから資料の収集を行う。また、前回の追加調査及びタイトル･文章の作成、図面化、撮影の印刷等、グループでチームワークを考慮し実施する。また、住宅の整備項目についても解説する(ホームワークは各自がレポートとして作成し最終講義に提出する)。 【授業時間外の学修内容】事前に、グループ内の役割分担を十分に検討する。	A、H、J、K
第5回	【テーマ】公共的建築物の福祉環境整備調査1-3 【計画内容】発表時のプレゼンテーションの効果を検討し、タイトル･文章の配置、撮影等、ポスター化を行う。 【授業時間外の学修内容】ポスター化を行うので文房具等を用意し、グループ内の役割分担を十分に検討する。	A、H、J、K	第13回	【テーマ】公共的建築物の福祉環境整備調査3-3 【計画内容】発表時のプレゼンテーションの効果を検討し、タイトル･文章の配置、撮影等、ポスター化を行う。また、住宅の整備項目についても解説する(ホームワークは各自がレポートとして作成し最終講義に提出する)。 【授業時間外の学修内容】事前に、グループ内の役割分担を十分に検討する。ホームワークは各自がレポートとして作成し最終講義に提出する。	A、H、J、K
第6回	【テーマ】公共的建築物の福祉環境整備調査1-4 【計画内容】公共的建築物の福祉環境整備調査1のポスター･パワーポイント発表を行う。発表者は作成した内容について要領よく丁寧に解説する。特に、関連企業の資料、図面、写真等、グループでの意見を述べる。 【授業時間外の学修内容】事前に、グループ内の役割分担を十分に検討する。	F	第14回	【テーマ】公共的建築物の福祉環境整備調査3-4 【計画内容】公共的建築物の福祉環境整備調査3のポスター･パワーポイント発表を行う。発表者は作成した内容について要領よく丁寧に解説する。特に、関連企業の資料、図面、写真等、グループでの意見を述べる。また、住宅の整備項目についても解説する(ホームワークは各自がレポートとして作成し最終講義に提出する)。 【授業時間外の学修内容】事前に、グループ内の役割分担を十分に検討する。ホームワークは各自がレポートとして作成し最終講義に提出する。	A、F
第7回	【テーマ】公共的建築物の福祉環境整備調査2-1 【計画内容】大学キャンパス内で複数箇所を比較検証する。実地調査では、公共的建築物の福祉環境整備調査2の中から1項目を選定し、計測、撮影、図面化等、発表時のプレゼンテーションの効果を検討し、実地調査をグループごとにチームワークを考慮し実施する。 【授業時間外の学修内容】事前に、グループ内の役割分担を十分に検討する。	A、H、J、K	第15回	【テーマ】札幌円山キャンパスでの発表 【計画内容】公共的建築物の福祉環境整備調査結果についてのポスター･パワーポイント発表(追加)等を札幌円山キャンパスで行う。発表者は作成した内容について要領よく丁寧に説明する。特に、関連企業の資料、図面、写真等、グループでの意見を含め述べる。また、ホームワークのレポートを提出する。 【授業時間外の学修内容】ホームワークは各自がレポートとして作成し最終講義に提出する。	F
第8回	【テーマ】公共的建築物の福祉環境整備調査2-2 【計画内容】公共的建築物の福祉環境整備調査2の中から1項目を選定した内容を補足するため、関連企業のホームページから資料の収集を行う。また、前回の追加調査及びタイトル･文章の作成、図面化、撮影の印刷等、グループでチームワークを考慮し実施する。 【授業時間外の学修内容】事前に、グループ内の役割分担を十分に検討する。	A、H、J、K			

テキスト	佐藤克之、2008年、『人にやさしいまちづくり･住まいづくりフォトマニュアル』、ライフシステム研究所
参考書	適宜紹介します

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			60%	20%	20%	
補足			課題1･2･3	住宅レポート		

課題に関するフィードバックの方法	
実務経験と授業の関連	経験内容： 科目との関連：
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します
資格	[ス][教][心]社会教育主事_選必 [芸]社会教育主事_選必、1・2級建築士_選必 [健]介護福祉士_選必、社会教育主事_選必
その他	講義では、各グループでの調査を行い、結果についてポスター化を行います。 毎回、リアクションペーパーへ記入します。データの保存のために各自 USB を準備してください。

科目名	食生活学	授業形態	講義・演習	単位数	2
教員名	山部　秀子				

授業の目的		
	ねらい	食生活を営む上で必要な食事の基礎知識から、福祉の現場や実生活で実践できる食に関する技術について学びます。食事は生活の楽しみであると同時に健康に生きる上で重要な要素です。授業では、食品や調理などの食生活に関する基礎的な知識と技術について学び、実生活や他者への支援に役立たせることができる方法について習得します。
	到達目標	(1)日常的に利用する食品の栄養的な特徴や機能について理解する。 (2)基本的な調理方法について理解し、食生活で実践できる。 (3)高齢化とともに現れる身体的変化に合わせた食事について理解し、実践できる。 (4)現代の食生活の問題点について認識し、課題解決の方法を考えることができる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】本講義のねらいと達成目標および授業の展開、評価基準について説明します。また、自らの食生活について振り返り、課題を見つけます。 【授業時間外の学修内容】テキスト pp.2-5を熟読してきてください。	A	第9回	【テーマ】肉・魚介類の種類と特徴およびたんぱく質について 【計画内容】さまざまな肉類や魚介類の特徴と調理について学び、食生活に応用できるようにします。 【授業時間外の学修内容】テキスト 肉類、魚介類の項を概観しておいてください。	A
	第2回	【テーマ】現代の食生活の問題点と望ましい食生活 【計画内容】最新の国民健康栄養調査結果等から、現代の食生活の問題点を探ります。自らの食生活の課題の解決策について考えます。 【授業時間外の学修内容】自らの食生活の問題点や課題について考えて来てください。	A	第10回	【テーマ】いも類・豆類の種類と特徴について 【計画内容】いも類や豆類、また大豆の加工品の特徴や調理について学び、食生活に応用できるようにします。 【授業時間外の学修内容】テキスト いも類、豆類の項を概観しておいてください。	A
	第3回	【テーマ】加齢に伴う身体的変化と、高齢者にとっての望ましい食事 【計画内容】生涯にわたっておいしく食事を食べるためのポイントについて学びます。加齢に伴って起こる変化について考え、おいしく食べる方法・おいしく提供する方法を考えましょう。 【授業時間外の学修内容】テキスト pp.8-9を熟読してきてください。	A	第11回	【テーマ】その他の食品と調味料の種類と特徴について 【計画内容】でんぷん類や油脂類、海藻類、調味料等調理を行う際に必要な食品について学び、食生活に応用できるようにします。 【授業時間外の学修内容】テキスト 上記で学んでいない項について概観しておいてください。	A
	第4回	【テーマ】食事の組み立て方① 【計画内容】食事バランスガイドについて学びその概念を理解します。年齢・性別・生活活動に応じて必要な栄養が変化することを理解します。 【授業時間外の学修内容】テキスト pp.6-7を熟読してきてください。	A	第12回	【テーマ】食品衛生と食中毒 【計画内容】調理に必要な衛生管理の方法、様々な食品の保存方法、賞味期限や消費期限等について理解します。また食中毒に関する知識を深め、予防方法を学びます。 【授業時間外の学修内容】テキスト pp.360-361を熟読しておいてください。	A
	第5回	【テーマ】食事の組み立て方② 【計画内容】食事バランスガイドを使い、自分の食生活を再構築します。また、最近の食情報について学ぶとともに高齢者の食事との違いを考えます。 【授業時間外の学修内容】新聞やインターネット等で話題になっている食に関する情報を調べてきてください。	A	第13回	【テーマ】食事と介護技法①嚥下について 【計画内容】高齢化に伴う飲み込みにくさ等の嚥下機能について学びます。 【授業時間外の学修内容】事前に配付するプリントを読んでおいてください。	A
	第6回	【テーマ】穀類の種類と特徴および炭水化物について 【計画内容】主食となる穀類の種類や調理の特徴について学び日常の食生活に応用できるようにします。 【授業時間外の学修内容】テキスト 穀類の項 pp.32-49を概観しておいてください。	A	第14回	【テーマ】食事と介護技法②介護食について 【計画内容】介護食について学びます。 【授業時間外の学修内容】事前に配付するプリントを読んでおいてください。	A
	第7回	【テーマ】野菜類・果実類の種類と特徴およびビタミン・ミネラルについて 【計画内容】古来から最新までの野菜類・果実類の特徴と調理について学び、食生活に応用できるようにします。 【授業時間外の学修内容】テキスト 野菜類・果実類の項 pp.88-157を概観しておいてください。	A	第15回	【テーマ】食生活のアセスメントとまとめ 【計画内容】自立した食生活を営むために必要な知識や技術について振り返り、本授業のねらいや目標が達成できたか、まとめの再確認をします。 【授業時間外の学修内容】授業中の自筆ノートを完成させておいてください。	A
	第8回	【テーマ】牛乳、乳製品・卵類の種類と特徴について 【計画内容】牛乳や牛乳を原材料とする乳製品、卵類の特徴と調理について学び、食生活に応用できるようにします。 【授業時間外の学修内容】テキスト 乳および乳製品、卵類の項 pp.264-274を概観しておいてください。	A			

テキスト	2020年、『オールガイド食品成分表』、実教出版
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	50%		30%		20%	
	補足	自筆のノート持ち込み可		ペン書きすること		事前学習をしておくこと	

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	管理栄養士
		科目との関連	栄養や食品について理解し、バランスのとれた食事を考えることができる授業を目指します。

質問への対応	講義時に質問を受けます。
資格	[健]介護福祉士_必修
その他	課題(レポート)提出は3回あります。課題は授業中に提示します。

科目名	衣生活学	授業形態	講義・演習	単位数	2
教員名	長谷川　あい				

授業の目的	
ねらい	衣服を着装することは人間に与えられた行動であり、健康的な現代生活を営むうえで身体の一部としての機能を持っています。授業では衣生活についての基礎的知識を学び、より快適な衣生活への視点を養うとともに、実践できる衣に関する技術について学びます。そして高齢者や、介護を必要とする人々の自立にむけた衣生活面での支援についても考えます。
到達目標	(1)衣生活についての基礎知識(衣服素材・衣服管理・衣服と環境・衣服製作)を習得する。 (2)実践できる衣服製作に関する基礎的技術を習得する。 (3)高齢者や介護を必要とする人々の自立にむけた衣生活面での支援について考えます。 (4)現代社会における衣服の社会性および衣服の消費と廃棄について学びます。

授業の計画						
第1回	【テーマ】授業のガイダンスと衣生活学について 【計画内容】授業内容を紹介し15回の授業展開を説明します。なぜ衣生活を学ぶのかを具体的に解説します。 【授業時間外の学修内容】シラバスをよく読んでおくこと。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	A	第9回	【テーマ】衣服製作基礎実習(3)実習作品の製作② 【計画内容】衣服製作のための基本的縫製技術(手縫い、ミシン縫い)の習得と、応用として作品を製作します。 【授業時間外の学修内容】配付プリントから基本的縫製技術について正確に理解しておく。	D
第2回	【テーマ】健康的な衣生活とは -衣服の機能と着装心理 / 衣生活の設計 - 衣服の選択 【計画内容】「人間にとっての衣とは何か」装いの起源と衣服の役割を説明し、現代社会と衣服の機能について学びます。人間と人体(体型)、既製服の選択と購入、品質表示について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの第1.2.3章、配付プリントを読んでおくこと。	A	第10回	【テーマ】衣服製作基礎実習(4)実習作品の製作③ 【計画内容】基本的縫製技術の復習と、作品を完成し提出します。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを復習し、時間内にできなかった作品を進めておくこと。	D
第3回	【テーマ】衣服の素材について 【計画内容】衣服を構成する素材と繊維の種類と形態、染色・加工法について学びます。介護のための衛生用品の種類と特徴を説明します。 【授業時間外の学修内容】テキストの第4.5章、配付プリントを読んでおくこと。	A	第11回	【テーマ】高齢者の衣服と安全性～自立に向けた身支度の介護 【計画内容】高齢者の体型と動作に適応する衣服について学び、高齢者にとって安全で快適な衣生活を考えます。衣服圧、寝床環境についても学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの第8章を読んでおくこと。	A
第4回	【テーマ】衣服素材基礎実験 【計画内容】衣服素材の天然繊維と化学繊維について実験を通して学びます。 【授業時間外の学修内容】事前配付プリントを読んでおくこと。	C、G	第12回	【テーマ】障害者の衣服と安全性～自立に向けた身支度の介護 【計画内容】障害を持つ人々の障害と動作に適応する衣服について学び、個々の身体の状態に応じた安全で快適な衣生活を考えます。 【授業時間外の学修内容】テキストの第8章を読んでおくこと。	A
第5回	【テーマ】衣服と健康-衣服環境と安全性 【計画内容】健康で快適な衣生活を目指して、人体の生理的メカニズムと衣服の役割について学びます。衣服形態と安全性についても考えます。 【授業時間外の学修内容】テキストの第4章を読んでおくこと。	A	第13回	【テーマ】衣服の資源と消費 【計画内容】衣服の生産と流通、消費と廃棄、衣服のリサイクルについて学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの第7.9章を読んでおくこと。	A
第6回	【テーマ】衣服衛生と管理・保管～自立に向けた家事の介護 【計画内容】衣服の汚れと洗濯、衣服の日常的な手入れと保管・収納について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの第6章を読んでおくこと。	A	第14回	【テーマ】衣服と環境 -21世紀の衣生活について 【計画内容】高齢者と介護を必要とする人々の自立にむけた衣生活支援について考えます。地球環境と現代の衣生活について考えます。 【授業時間外の学修内容】テキストと配付プリントを復習し、理解できているか確認すること。	A
第7回	【テーマ】衣服製作基礎実習(1)基礎縫い 【計画内容】衣服製作に必要な縫製器具の扱い方を学び、基本的縫製技術(基礎縫い)を習得します。 【授業時間外の学修内容】配付プリントから縫製器具について正確に理解しておく。	D	第15回	【テーマ】衣生活学と衣服製作基本技術のまとめと確認 【計画内容】振り返りと考えの共有をします。 【授業時間外の学修内容】テキスト、配付プリントについて理解を深めておくこと。	A、L
第8回	【テーマ】衣服製作基礎実習(2)実習作品の製作① 【計画内容】衣服製作のための基本的縫製技術(手縫い、ミシン縫い)の習得と、応用として作品を製作します。 【授業時間外の学修内容】配付プリントから基本的縫製技術(手縫い、ミシン縫い)について正確に理解しておく。	D			

テキスト	間瀬清美他、2015年、新版『衣生活の化学』、アイ・ケイ　コーポレーション、9784874923290
参考書	佐々井啓他、2009年、『家政学実習ノート[第3版]』、誠信書房、9784414609165

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	50%		10%	20%	20%	
	補足	最終		中間	最終	平均	

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[健]介護福祉士_必修
その他	第16回に最終評価のための筆記試験を実施します。

科目名	住生活学	授業形態	講義・演習	単位数	2

教員名	佐藤　克之	
授業の目的	ねらい	自立に向けた居住環境の整備(生活福祉空間づくり)についての生活支援技術を学ぶ。寒冷地での高齢者等の住まいなどの相談に役立つバリアフリー・ユニバーサルデザイン等の基礎的な知識を学び、関係職種と連携して図面及びスケッチなどで打ち合わせができる基礎的な能力を身につける。
	到達目標	(1)自立に向けた居住環境の整備の理解。 (2)寒冷地での高齢者等の住まいなどの相談に役立つ基礎的な知識の理解。 (3)図面及びスケッチ等の基礎的な技術能力の理解。 (4)プレゼンテーション(作図・口頭発表)の理解。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション① 【計画内容】シラバスの内容について解説し、使用するテキストを紹介し各自が調べたバリアフリーの用語についてディスカッションをする。 【授業時間外の学修内容】バリアフリーの用語について厚生労働省及び国土交通省のホームページから検索する。	A、H、J	第9回	【テーマ】人にやさしいまちづくり・リフォームヘルパー制度、等(栗山町の実践) 【計画内容】福祉のまち、栗山町で推進されてきた人にやさしいまちづくりについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】居住環境整備について栗山町のホームページを検索する。	A、H、J
	第2回	【テーマ】オリエンテーション② 【計画内容】再度、シラバスの内容について解説し、各自が調べたユニバーサルデザインの用語についてディスカッションをする。 【授業時間外の学修内容】ユニバーサルデザインの用語について厚生労働省及び国土交通省のホームページから検索する。	A、H、J	第10回	【テーマ】自宅のバリアフリー改造計画① 【計画内容】各自が家族と住んでいる住宅を図面及びスケッチ等で表現する。 【授業時間外の学修内容】各自が家族と住んでいる住宅の資料を入手する。	A、B、J
	第3回	【テーマ】居住環境整備(生活福祉空間づくり)の意義と目的及び簡単な間取りの描き方 【計画内容】テキストを使用して、北国の生活福祉空間づくりとバリアフリーについて解説する。簡単な間取りの書き方・製図記号を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】生活福祉空間づくりの用語について厚生労働省及び国土交通省のホームページから検索する。	A、B、J	第11回	【テーマ】自宅のバリアフリー改造計画② 【計画内容】改造前の平面図を基にバリアとなる問題点を指摘し、改造後の提案を行う。 【授業時間外の学修内容】各自が必要とする追加資料を入手する。	A、B、J
	第4回	【テーマ】人にやさしいすまい・高齢者配慮住宅 【計画内容】人にやさしいすまいの配慮について、実際に札幌市内に建設された高齢者配慮住宅・モデル住宅、等から設計のポイント、基準寸法、各室の設計、設備計画について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】高齢者配慮住宅について厚生労働省及び国土交通省のホームページから検索する。	A、H、J	第12回	【テーマ】自宅のバリアフリー改造計画③ 【計画内容】改造前の平面図を基にバリアとなる問題点を指摘し、改造後の提案を行う。 【授業時間外の学修内容】各自が必要とする追加資料を入手する。	A、B、J
	第5回	【テーマ】高齢者配慮住宅のトレース① 【計画内容】高齢者配慮住宅の1階平面図、1/100の図面をトレース(写す)する。 【授業時間外の学修内容】高齢者配慮住宅の1階平面図、1/100の図面を読み取る。	A、B、J	第13回	【テーマ】自宅のバリアフリー改造計画・中間発表会 【計画内容】中間発表として各自が改造前の平面図を基にバリアとなる問題点を指摘し、改造後の提案を作成しプレゼンテーション(作図・口頭発表)をポルト内のモデル住宅見学を含め北方圏学術研究センターで行う。 【授業時間外の学修内容】各自、中間発表の練習を行う。	F
	第6回	【テーマ】高齢者配慮住宅のトレース② 【計画内容】高齢者配慮住宅の2階平面図、1/100の図面をトレース(写す)する。 【授業時間外の学修内容】高齢者配慮住宅の2階平面図、1/100の図面を読み取る。	A、B、J	第14回	【テーマ】自宅のバリアフリー改造計画④ 【計画内容】各自が中間発表で提案した内容について追加・訂正を行う。 【授業時間外の学修内容】各自が必要とする追加資料を入手する。	A、B、J
	第7回	【テーマ】高齢者配慮住宅のトレース③ 【計画内容】高齢者配慮住宅の1・2階平面図、1/100の図面を完成させる。 【授業時間外の学修内容】高齢者配慮住宅の1・2階平面図、1/100の図面を読み取る。	A、B、J	第15回	【テーマ】自宅のバリアフリー改造計画・最終発表会 【計画内容】最終発表として各自が改造前の平面図を基にバリアとなる問題点を指摘し、改造後の提案を作成しプレゼンテーション(作図・口頭発表)を行う。 【授業時間外の学修内容】各自、最終発表の練習を行う。	A、B、F
	第8回	【テーマ】ユニバーサルデザインの住宅設計指針・モデル住宅、等(帯広市の実践) 【計画内容】実際に帯広市が推進したユニバーサルデザインのすまいの考え方について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】居住環境整備について帯広市のホームページを検索する。	A、H、J			

テキスト	佐藤克之、2008年、『人にやさしいまちづくり・住まいづくりフォトマニュアル』、ライフシステム研究所
参考書	文部科学省、『中学校学習指導要領解説　技術・家庭編』 文部科学省、『高等学校学習指導要領解説　家庭編』

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			70%		30%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法		
実務経験と授業の関連	経験内容	
	科目との関連	
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。	
資格	[健]介護福祉士_必修	
その他	授業では、住宅の平面図・スケッチ等を書くので、三角定規、0.3シャープペン、色鉛筆、消しゴムを必要とします。	

学部共通科目

科目名	青少年学習コーチング論	授業形態	講義	単位数	2

教員名	佐々木　邦子

授業の目的		
	ねらい	青少年の学習活動は学校教育を中心とするが、地域における生涯学習活動の一環として捉えることも重要な視点である。特に昨今は、青少年の健全な育成のため、学校教育と地域社会の連携に注目が集まっている。本講義では、学習や仕事に対する青少年の心理を探るために、青少年を取り巻く環境を把握し、青少年に対する教育の効果を考察する。
	到達目標	(1)家庭教育、学校教育、社会教育が青少年の心理や生活に与える影響を理解する。 (2)青少年の行動や心理を次の3つの視点(少年犯罪、成人年齢、就業)を中心に考察し、理解する。 (3)青少年に対する支援の必要性と具体を理解する。 (4)学習課題について、レジュメ作成によるプレゼンテーションで表現力を身につける。 (5)諸外国の若者の状況を知る。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】講義の進行についてのガイダンス 【計画内容】講義の目標と進め方を説明する。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で学びたいことを整理して、関連する資料を調べておく。	A	第9回	【テーマ】学生のプレゼンテーション　若者の就業について① 【計画内容】若者の就業について、学生のプレゼンテーションを行う。発表と質疑応答。 【授業時間外の学修内容】事前に配付プリントに目を通しておくこと。	F、I
	第2回	【テーマ】歴史的にみる青少年 【計画内容】青年心理学を中心に、日本ばかりではなく西洋の状況も踏まえて青少年に関する捉え方の歴史的変遷を学習する。 【授業時間外の学修内容】事前に配付プリントに目を通しておくこと。	A、K	第10回	【テーマ】学生のプレゼンテーション　若者の就業について② 【計画内容】前週のプレゼンテーションで出された論点を基にグループワークを行う。 【授業時間外の学修内容】事前に配付プリントに目を通しておくこと。	F、I
	第3回	【テーマ】日本における社会の変遷が青少年に及ぼした影響 【計画内容】青少年を取り巻く社会環境の変化を学習する。特に、高度経済成長による生活水準の向上や進学率の増加が若者の生活や意識に影響を及ぼした点を探る。 【授業時間外の学修内容】事前に配付プリントに目を通しておくこと。	A、I	第11回	【テーマ】学生のプレゼンテーション　少年犯罪について① 【計画内容】少年犯罪について、学生のプレゼンテーションを行う。発表と質疑応答。 【授業時間外の学修内容】事前に配付プリントに目を通しておくこと。	F、I
	第4回	【テーマ】データでみる現代社会の若者 【計画内容】1990年代から2000年代にかけての青少年の生活をみる。特に、後のプレゼンテーションのことも考えて若者の就業、社会生活について概要を学習する。 【授業時間外の学修内容】事前に配付プリントに目を通しておくこと。	A、B	第12回	【テーマ】学生のプレゼンテーション　少年犯罪について② 【計画内容】前週のプレゼンテーションで出された論点を基にグループワークを行う。 【授業時間外の学修内容】事前配付のプリントを必ず読んでくること。	F、I
	第5回	【テーマ】学生のプレゼンテーションに対する説明と準備 【計画内容】次々回以降の授業展開では学生のプレゼンテーションを行うため、学生に指定するテーマの中から選択をさせる。グループに分けて内容の調整をする。 【授業時間外の学修内容】事前に配付プリントに目を通しておくこと。	B、H	第13回	【テーマ】現代の若者(グループ･ワーク) 【計画内容】学生のプレゼンテーションで学習した内容に即して論点を立て、グループで討論をする。 【授業時間外の学修内容】事前に配付プリントに目を通しておくこと。	B、I
	第6回	【テーマ】次回からのプレゼンテーションの準備 【計画内容】発表の準備として次のことを行う。グループ別に内容調整、表現、レジュメ作成の確認。 【授業時間外の学修内容】事前に配付プリントに目を通しておくこと。	B	第14回	【テーマ】国際的な若者の状況 【計画内容】若者の苦境が多くの国に共通していることを、データを通じて確認し、ディーセント･ワークをILOがとりいれた背景をみる。また、若者に関してこれまでのILOやEUの若者支援対策について学習する。 【授業時間外の学修内容】事前に配付プリントに目を通しておくこと。	A
	第7回	【テーマ】学生のプレゼンテーション　成人年齢引き下げの可否について① 【計画内容】成人年齢引き下げの可否について、学生のプレゼンテーションを行う。発表と質疑応答。 【授業時間外の学修内容】新聞等で幅広く情報を集めておくこと。	F、I	第15回	【テーマ】若者に関する学習を総合的に振り返り、今後の課題を確認する 【計画内容】振り返り確認をしてグループで討議をし、代表者が発表をする。 【授業時間外の学修内容】これまでの復習をした上で、使用プリントを参照する。	G、H
	第8回	【テーマ】学生のプレゼンテーション　成人年齢引き下げの可否について② 【計画内容】前週の学生のプレゼンテーションで出された論点を基にグループワークを行う。 【授業時間外の学修内容】事前に配付プリントに目を通しておくこと。	F、I			

テキスト	プリントを使用します
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	60%		30%		10%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	プレゼンテーション後に、課題の取り上げ方やレジュメの構成･表記などについて講評する。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します
資格	[教][芸][心]社会教育主事_必修 [ス][健]社会教育主事_選必
その他	課題の発見、レジュメのまとめ、発表の方法、グループワークなど、総合的な力の養成をねらいとするため、その趣旨を理解し積極的に討議に参加する意思をもっていただける人に履修をしていただきたい。

教　育　学　科
学 科 専 門 科 目

科目名	専門演習Ⅰ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	担当教員				
授業の目的	ねらい	学習者の視点に立ち、学習者が自ら問題を発見し、自ら問題解決に取り組む学習活動を支援する理論や支援の手立てを専門的に研究することが講義のねらいである。2年次までに学習したことに基づいて、専門性を深めるために、教員と学生の協力によってゼミナールを運営する。自らが極めたいと考える領域をもとに指導教員を選択し、選択した研究室等においてゼミナール形式によって講義を展開する。			
	到達目標	(1)4年次に取り組む卒業研究に関連する分野の基礎知識を習得する。 (2)文献を正しく引用し、まとめて発表する方法を習得する。 (3)各自の興味関心に基づいて研究テーマを設定し、知識・技術・技能等の向上に必要なことを知る。			

授業の計画		
	【計画内容】	
	第1回　オリエンテーション：「専門演習Ⅰ」の目標と内容を理解する	B
	以降の展開は、コース、指導教員、各自の研究課題によって異なることもある	
	第2回　研究テーマの検討	B
	第3回　研究方法の検討および研究計画の作成	B
	第4回　研究テーマおよび方法、研究計画の報告	F、I
	第5回　テーマに沿った研究(1)先行研究、教材等の収集	B、J
	第6回　テーマに沿った研究(2)先行研究、教材等の検討	B、J
	第7回　テーマに沿った研究(3)学外での見学・調査	B、M
	第8回　テーマに沿った研究(4)学外での見学・調査	B、M
	第9回　テーマに沿った研究(5)進捗状況の報告とディスカッション	I、L
	第10回　テーマに沿った研究(6)レポート作成、作品制作、演奏技術の向上など。	B、G、J
	第11回　テーマに沿った研究(7)レポート作成、作品制作、演奏技術の向上など。	B、G、J
	第12回　テーマに沿った研究(8)レポート作成、作品制作、演奏技術の向上など。	B、G、J
	第13回　テーマに沿った研究(9)レポート作成、作品制作、演奏技術の向上など。	B、G、J
	第14回　テーマに沿った研究(10)レポート作成、作品制作、演奏技術の向上など。	B、G、J
	第15回　研究活動の報告、ディスカッション	F、I、L
	【授業時間外の学修内容】各指導教員より説明します	

テキスト	各指導教員より説明します
参考書	各指導教員より説明します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			10%		20%	70%
	補足			レポート等		平時	

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します
資格	
その他	積極的なゼミナールおよび研究室運営に対する姿勢が望ましいです。 「専門演習Ⅰ」「専門演習Ⅱ」「卒業研究」は同一教員を原則とします。 受講態度・課題・提出物などから担当教員が定めた比率に基づいて評価します。

科目名	専門演習Ⅱ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	担当教員				
授業の目的	ねらい	学習者の視点に立ち、学習者が自ら問題を発見し、問題解決に取り組む学習活動を支援する理論や、支援の手立てを専門的に研究することが講義のねらいである。3年次前期までに学習したことに基づいて、各自の興味・関心や進路に合わせた専門性を深め、4年次の卒業研究に必要な文章読解力、論文を書く力、教材に関する知識と教材を扱う基礎的技術等を獲得し、自ら研究をデザインする力を鍛えることを目指す。			
	到達目標	(1)4年次に取り組む卒業研究に関連する分野の知識・技術等を習得する。 (2)研究テーマを自ら設定し、研究を主体的に進める力を高める。			

授業の計画		
	【計画内容】	
	第1回　オリエンテーション：「専門演習Ⅱ」の目標と内容を理解する 以降の展開は、コース、指導教員、各自の研究課題によって異なることもある	B
	第2回　「専門演習Ⅰ」の振り返りと「専門演習Ⅱ」研究テーマの検討	B、L
	第3回　研究方法の検討および研究計画の作成	B
	第4回　研究テーマおよび方法、研究計画の報告	F、I
	第5回　テーマに沿った研究(1)先行研究、教材等の収集	B、J
	第6回　テーマに沿った研究(2)先行研究、教材等の検討	B、J
	第7回　テーマに沿った研究(3)学外での見学・調査	B、M
	第8回　テーマに沿った研究(4)学外での見学・調査	B、M
	第9回　テーマに沿った研究(5)進捗状況の報告とディスカッション	I、L
	第10回　テーマに沿った研究(6)レポート作成、作品制作、演奏技術の向上など。	B、G、J
	第11回　テーマに沿った研究(7)レポート作成、作品制作、演奏技術の向上など。	B、G、J
	第12回　テーマに沿った研究(8)レポート作成、作品制作、演奏技術の向上など。	B、G、J
	第13回　テーマに沿った研究(9)レポート作成、作品制作、演奏技術の向上など。	B、G、J
	第14回　テーマに沿った研究(10)レポート作成、作品制作、演奏技術の向上など。	B、G、J
	第15回　研究活動の報告、ディスカッション	F、I、L
	【授業時間外の学修内容】各指導教員から説明があります	

テキスト	各指導教員より説明します
参考書	各指導教員より説明します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			10%		20%	70%
	補足			レポート等		平時	

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します
資格	
その他	「専門演習Ⅰ」「専門演習Ⅱ」「卒業研究」は同一教員を原則とします。 受講態度・課題・提出物などから担当教員が定めた比率に基づいて評価します。

科目名	知的障害教育Ⅰ	授業形態	講義	単位数	2
教員名	磯貝　隆之				

授業の目的	
ねらい	本講義では、知的障害の障害特性や制度上の位置づけ等を学ぶとともに、知的障害教育で展開される指導内容と指導方法について理解を深める、また、知的障害特別支援学校における個別の教育支援計画や個別の指導計画の作成、学習指導における指導略案の作成を通し、知的障害教育に対する具体的イメージを持つことを目的とする。
到達目標	(1)知的障害教育の教育課程を理解する。 (2)知的障害教育における各指導の指導略案を書くことができる。 (3)知的障害教育の教育計画と評価について理解を深める。

授業の計画						
第1回	【テーマ】障害児教育の歴史と知的障害教育の意義 【計画内容】障害児教育の歴史を概観するとともに、特別支援教育という観点から知的障害教育の意義を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】アベロンの野生児やヘレンケラー等の障害児教育に関わる主な歴史について確認しておく。	A	第9回	【テーマ】日常生活の指導と遊びの指導② 【計画内容】日常生活の指導と遊びの指導の略案の作成とプレゼンテーションを行う。 【授業時間外の学修内容】日常生又は遊びの指導略案の作成のイメージを作っておく。	B、F、H
第2回	【テーマ】知的障害の特徴と教育 【計画内容】知的障害の心理特性と指導の原則等について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】知的障害の主な心理特性について確認しておく。	A	第10回	【テーマ】知的障害児の教科別の指導① 【計画内容】教科別の指導の具体的内容と方法等について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】知的障害児の教科別指導と通常の教科指導の違いを確認する。	A
第3回	【テーマ】知的障害教育の教育課程 【計画内容】教育課程における指導内容と指導形態について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】通常教育の教育課程と特別支援学校の教育課程について確認しておく。	A	第11回	【テーマ】知的障害児の教科別の指導② 【計画内容】教科別の指導略案の作成とプレゼンテーションを行う。 【授業時間外の学修内容】教科別の指導略案作成のイメージを作っておく。	B、F、H
第4回	【テーマ】生活単元学習① 【計画内容】生活単元学習の具体例を知り、その目的と方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】教科・領域を合わせた主な指導について確認しておく。	A	第12回	【テーマ】知的障害教育の自立活動 【計画内容】自立活動の目的と指導領域及び指導形態等について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】自立活動についての概要を確認しておく。	A
第5回	【テーマ】生活単元学習② 【計画内容】生活単元学習の指導略案の作成とプレゼンテーションを行う。 【授業時間外の学修内容】生活単元学習の指導略案作成のイメージを作っておく。	B、F、H	第13回	【テーマ】個別の指導計画 【計画内容】個別の指導計画における主な記載内容等について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】北海道教育委員会の「個別の指導計画」フォームをダウンロードして、内容を確認しておく。	A
第6回	【テーマ】作業学習① 【計画内容】作業学習の具体例を知り、その目的と方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】知的障害教育の主な作業学習の種類を確認しておく。	A	第14回	【テーマ】個別の教育支援計画 【計画内容】個別の教育支援計画における主な記載内容等について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】北海道教育委員会の「個別の教育支援計画」フォームをダウンロードして、内容を確認しておく。	A
第7回	【テーマ】作業学習② 【計画内容】作業学習の指導略案の作成とプレゼンテーションを行う。 【授業時間外の学修内容】作業学習の指導略案作成のイメージを作っておく。	B、F、H	第15回	【テーマ】指導の評価 【計画内容】指導の評価の方法等について事例を通して学ぶ。 【授業時間外の学修内容】知的障害児教育における学習、生活、行動等の評価方法について、整理しておく。	A
第8回	【テーマ】日常生活の指導と遊びの指導① 【計画内容】日常生活の指導と遊びの指導の目的と方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】日常生活の主な指導内容について確認しておく。	A			

テキスト	初回講義時に説明します
参考書	文部科学省、2017・2018年、『特別支援学校学習指導要領、学習指導要領解説』 文部科学省、2013年、『教育支援資料』

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			70%		30%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	特別支援学校教諭
		科目との関連	特別支援学校教諭としての実務経験をもとに実務に即した指導を行う。

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します
資格	[教][ス]特支1種_必修
その他	

科目名	肢体不自由教育Ⅰ	授業形態	講義	単位数	2

教員名	阿部　達彦

授業の目的		
	ねらい	肢体不自由特別支援学校に在籍する様々な児童生徒の実態に応じた教育課程の編成や、各教科の指導の工夫、自立活動の具体的指導内容やATを含む情報機器等の活用方法について学ぶことを通して、肢体不自由の障害特性に応じた指導上の配慮事項への理解を深めることを本講義の目的とする。また、肢体不自由教育において、ICFの理念を生かした授業作りを進めるために、個別の教育支援計画と個別の指導計画とを関連づけて作成する方法や自立活動について理解する。
	到達目標	(1)肢体不自由特別支援学校の教育課程について理解する。 (2)肢体不自由教育の自立活動について理解する。 (3)個別の教育支援計画作成のための視点について理解する。 (4)個別の指導計画作成のための視点について理解する。 (5)個別の指導計画を生かした授業の在り方について理解する。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション－講義の内容理解と肢体不自由教育における現状－ 【計画内容】15回の講義を紹介し内容を理解するとともに、肢体不自由教育における現状について理解する。肢体不自由児や肢体不自由教育について、受講学生がどの程度理解があるか調査をする。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読しておくこと。肢体不自由児や肢体不自由教育について調べておくこと。	A	第9回	【テーマ】肢体不自由教育における領域･教科を合わせた指導の実際 【計画内容】いわゆる教科等を合わせた指導やその配慮事項について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】『特別支援学校教育要領･学習指導要領解説 総則等編』(2018)を熟読しておくこと。	A、K
	第2回	【テーマ】肢体不自由教育の歴史と肢体不自由特別支援学校 【計画内容】肢体不自由教育の歴史的ながれや肢体不自由特別支援学校ついて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】肢体不自由教育の歴史と肢体不自由特別支援学校について調べておくこと。	A、K	第10回	【テーマ】肢体不自由教育における「自立活動を主とした指導」の実際 【計画内容】自立活動を主とした指導の配慮事項について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】『特別支援学校学習指導要領解説 自立活動編』を熟読しておくこと。	A、K
	第3回	【テーマ】肢体不自由者の機能訓練や二次変形の防止、補装具等の種類 【計画内容】肢体不自由者の一般的な機能訓練や変形を防止するための補装具の種類について知る。 【授業時間外の学修内容】姿勢と二次変形の関係性について調べておくこと。	A、K	第11回	【テーマ】肢体不自由教育におけるアシスティブ･テクノロジー･デバイスの活用 【計画内容】アシスティブ･テクノロジー･デバイスを含む情報機器活用の際の配慮事項について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】授業範囲を予習しておくこと。アシスティブ･テクノロジー･デバイスの種類について調べておくこと。	A、K
	第4回	【テーマ】車いすの種類と機能 【計画内容】障害の特性に応じた車いすの種類やその機能について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】車椅子の種類や名称について予習しておくこと。	A、K	第12回	【テーマ】肢体不自由教育における個別の教育支援計画の作成①－実態把握の方法－ 【計画内容】教育支援計画作成のためのフェイスシート作成の視点を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習しておくこと。次回の授業範囲を予習しておくこと。	A、K
	第5回	【テーマ】肢体不自由特別支援学校における教育課程の編成 【計画内容】実際に行われている肢体不自由特別支援学校の教育課程の編成方法を知る。肢体不自由特別支援学校の教育課程はどのようなものが多いか、調べてきたものを発表させる。 【授業時間外の学修内容】『特別支援学校幼稚部教育要領 小学部･中学部学習指導要領』(2018)等を熟読しておくこと。	A、K	第13回	【テーマ】肢体不自由教育における個別の教育支援計画の作成②－支援目標の設定－ 【計画内容】支援目標設定のための視点について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習しておくこと。	A、K
	第6回	【テーマ】肢体不自由教育における自立活動の指導内容と配慮事項 【計画内容】自立活動の指導内容と配慮事項について具体的に理解する。 【授業時間外の学修内容】『特別支援学校教育要領･学習指導要領解説 自立活動編』(2018)を熟読しておくこと。	A、K	第14回	【テーマ】肢体不自由教育に関するレポート課題の説明と肢体不自由教育の講義のまとめおよび確認 【計画内容】課題レポートについての説明と今までの講義の定着度を検査し振り返りを行う。 【授業時間外の学修内容】今までの講義内容を復習しておくこと。	A、K
	第7回	【テーマ】肢体不自由教育における自立活動の指導の実際－「身体の動き」に関して－ 【計画内容】身体の動きに関する自立活動のアプローチについて知る。動作法や静的弛緩誘導法など自立活動の指導方法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】『特別支援学校教育要領･学習指導要領解説 自立活動編』(2018)を熟読しておくこと。動作法について調べておくこと。	A、K	第15回	【テーマ】肢体不自由特別支援学校におけるキャリア教育と進路指導及び他職種との連携の在り方 【計画内容】職業的自立を含むキャリア教育の在り方と他職種との連携、支援会議開催の意義について学び、総まとめをする。 【授業時間外の学修内容】教諭以外に、他職種にはどのような職種があるか調べておくこと。	A、K
	第8回	【テーマ】肢体不自由教育における各教科別の指導の工夫 【計画内容】肢体不自由児の認知特性に配慮した教科指導の工夫について理解する。 【授業時間外の学修内容】『特別支援学校教育要領･学習指導要領解説 総則等編』(2018)を熟読しておくこと。	A、K			

テキスト	プリントを使用します
参考書	文部科学省、2018年、『特別支援学校幼稚部教育要領小学部･中学部学習指導要領』、海文堂出版 文部科学省、2018年、『特別支援学校教育要領･学習指導要領解説　総則編』、開隆堂出版 文部科学省、2018年、『特別支援学校教育要領･学習指導要領解説　自立活動編』、開隆堂出版

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			40%		60%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に評価や授業内容について具体的に説明します
資格	[教][ス]特支1種_必修
その他	出席･受講態度と発表･課題ワークおよび講義内容の定着度の検査結果を重視します。

科目名	病弱教育	授業形態	講義	単位数	2
教員名	中澤　幸子				

授業の目的		
	ねらい	本授業の目的は、病弱教育の定義、意義、現状、課題などを理解し、病気の子どもに関わるときに必要な支援や指導法についての学びを通して、特別支援学校教員（病弱児教育）に求められる資質や責任等について理解し、特別支援教育者としての自覚や意欲を養うことにあります。そのために、病弱児教育の対象や教育の場の特徴、現状等を通して、病気の子どもにとっての教育の意義を学びます。また、教育現場での実際の様子、心理特性や病気の状況に配慮した教育内容や支援方法、医療や福祉との連携についても学修し、病気の子どもを支える環境のあり方、教師に求められる専門性について自分なりの考えをまとめることができるようにすることをねらいとしています。
	到達目標	(1)病弱教育の概要が説明できる。 (2)病弱児の教育的ニーズを知る。 (3)病弱教育対象児を指導する際に必要な配慮事項を理解する。 (4)病弱児の指導・支援方法の基本的な考え方がわかる。 (5)病弱教育に求められる専門性について、自分なりの考えをまとめ、説明することができる。

授業の計画						
第1回	【テーマ】オリエンテーション / 「病気」とは 【計画内容】子どもが病気になることによって生じる心理的な状況を学び、考えます。 【授業時間外の学修内容】自分の病気の経験を思い起したり、病気の体験記等を読んでおく。	A	第9回	【テーマ】病気等の必要に応じた配慮事項① ～先天性の疾患～ 【計画内容】先天性の疾患を抱えた子どもとかかわる際の基本的な支援について学び、考えます。 【授業時間外の学修内容】教科書の該当部分を読んでおく。	A、H
第2回	【テーマ】病気の子どもをとりまく現状 【計画内容】病気の子どもの現状、学校における病気の子ども教育の現状等について学びます。 【授業時間外の学修内容】教科書の該当部分を読んでおく。	A	第10回	【テーマ】病気等の必要に応じた配慮事項② ～心の疾患～ 【計画内容】心の疾患を抱えた子どもとかかわる際の基本的な支援について学び、考えます。 【授業時間外の学修内容】教科書の該当部分を読んでおく。	A、H
第3回	【テーマ】病弱教育の概要と意義 【計画内容】病弱教育の歴史、現在、学校教育法で位置づけられている特別支援教育及び病弱教育の概要と意義について学びます。 【授業時間外の学修内容】教科書の該当部分を読んでおく。	A	第11回	【テーマ】病気等の必要に応じた配慮事項③ ～神経変性疾患～ 【計画内容】神経変性疾患を抱えた子どもとかかわる際の基本的な支援について学び、考えます。 【授業時間外の学修内容】教科書の該当部分を読んでおく。	A、H
第4回	【テーマ】特別支援学校（病弱）・特別支援学級（院内学級）における指導・支援 【計画内容】特別支援学（病弱）・特別支援学級（院内学級）での実際の様子と役割について学び、考えます。 【授業時間外の学修内容】特別支援教育の教育課程について復習し、理解を深めておく。	A、H、L	第12回	【テーマ】病気等の必要に応じた配慮事項④ ～医療的ケアが必要な子ども～ 【計画内容】医療的ケアが必要な子どもと関わる際の基本的な支援について学び、考えます。 【授業時間外の学修内容】教科書の該当部分を読んでおく。	A、H、L
第5回	【テーマ】小・中学校における病気の子どもの指導・支援 【計画内容】小・中学校における病気の子どもの実際の様子と指導・支援における配慮事項を学び、考えます。 【授業時間外の学修内容】小・中学校の教育課程について復習し、理解を深めておく。	A、H	第13回	【テーマ】病気等の必要に応じた配慮事項⑤ ～ターミナル期にある子ども～ 【計画内容】ターミナル期にある子どもと関わる際の基本的な支援について学び、考えます。 【授業時間外の学修内容】教科書の該当部分を読んでおく。	A、H
第6回	【テーマ】病気の子どもの教育における合理的配慮 【計画内容】病気の子どもの教育における合理的配慮の考え方について学び、考えます。 【授業時間外の学修内容】合理的配慮について調べ、理解しておく。	A、H	第14回	【テーマ】病弱教育における自立活動 【計画内容】特別支援教育（病弱）における自立活動について理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】教科書の該当部分を読んでおく。	A、H
第7回	【テーマ】病気の子どもの教育的ニーズと支援 【計画内容】病気の子どもの教育的ニーズを理解し、支援方法を学び、考えます。 【授業時間外の学修内容】教科書の該当部分を読んでおく。	A、H	第15回	【テーマ】病弱教育における専門性とは / まとめ 【計画内容】病弱教育に関わる教員に求められる専門性について学び、考えます。 【授業時間外の学修内容】これまでの授業について振り返り、理解を深めておく。	H、L
第8回	【テーマ】病気の子どもを支えるための多職種との連携 【計画内容】医療・福祉・教育の多職種連携に必要な各機関の役割、知識・方法等を学びます。 【授業時間外の学修内容】教科書の該当部分を読んでおく。	A、H、L			

テキスト	全国特別支援学校病弱教育校長会、2012年、『病気の子どものガイドブック』、ジアース新教育社、978-4863711808
参考書	文部科学省、2018年、『特別支援学校幼稚部教育要領小学部・中学部学習指導要領』、海文堂出版、9784303124243 小畑文也・鳥海順子・義永睦子、2018年、『Q＆Aで学ぶ障害児支援のベーシック』、コレール社、9784876377206 杉野学、2019年、『特別支援教育概論』、大学図書出版、9784909655080

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%		20%	30%
	補足			課題レポート			授業振り返りレポート

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	特別支援学校教諭、医療機関心理業務
		科目との関連	特別支援学校（病弱）教諭の経験を活かし、病気の子どもの理解、指導・支援方法の考え方を教授する。

質問への対応	休み時間に対応します。
資格	[教][ス]特支1種_必修
その他	

科目名	視覚・聴覚障害者の心理・生理・病理	授業形態	講義	単位数	1

教員名	佐藤　至英

授業の目的		
	ねらい	視覚･聴覚障害の原因や心理的特性、心理的影響について学ぶ。特に心理的特性では、見え方、聴こえ方による認知発達や言語発達について、理解を深める。また生理･病理においては、網膜の働きや映像の及ぼす認知特性、聴覚器官の構造と機能、聴覚検査法について、基礎的･基本的な事項を学ぶ。さらに、社会参加･自立に至る過程の心理的な課題についても、理解を深める。
	到達目標	(1)視覚･聴覚障がい(児)者の障害特性や心理的影響について理解できる。 (2)視覚･聴覚障がい(児)者の基礎的な病理や生理について理解できる。

授業の計画			
	第1回	【テーマ】視覚障害の原因や特性 【計画内容】視覚障害の様々な原因について理解を深め、障害による見え方の特性について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で学びたいことを整理して、関連する資料を調べておくこと。	A、L
	第2回	【テーマ】視覚障害者の心理的特性 【計画内容】全盲、弱視の状況に応じた心理的影響について学び、更に全盲になった時期による心理的影響についても考える。 【授業時間外の学修内容】視覚障害者にむけての支援について考えておくこと。	A、L
	第3回	【テーマ】視覚障害者の生理･病理 【計画内容】どのような病状があるかについての理解を深め、そのときの生理状態についても学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習しておくこと。	A、L
	第4回	【テーマ】視覚障害者の自立･社会参加･課題 【計画内容】視覚障害者の自立や社会参加のために工夫されていることを学び、困難さや課題について考える。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習しておくこと。	A、L
	第5回	【テーマ】聴覚障害の原因や特性 【計画内容】聴覚障害の様々な原因について理解を深め、障害による見え方の特性について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習しておくこと。	A、L
	第6回	【テーマ】聴覚障害者の心理的特性 【計画内容】聴力損失の程度に応じた心理的影響及び言語発達、認知発達、学力、社会性について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習しておくこと。	A、L
	第7回	【テーマ】聴覚障害者の生理･病理 【計画内容】聴覚器官のメカニズム、外耳･中耳･内耳の構造と機能、聴覚検査法、外耳･中耳･内耳の病態と聞こえ方の特性について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習しておくこと。	A、L
	第8回	【テーマ】聴覚障害者の自立･社会参加･課題 【計画内容】聴覚障害者の自立や社会参加のために工夫されていることを学び、困難さや課題について考える。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習しておくこと。	G、L

テキスト	文部科学省、2009年、『特別支援学校学習指導要領解説　総則編』、教育出版、9784316300160
参考書	全国盲学校長会、2000年、『視覚障害教育入門 Q & A』、ジアース教育新社、9784921124045 吉岡博英･四日市章･立入哉、1996年、『聴覚障害教育情報ガイド』、コレール社、4876371792

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			40%		60%	
	補足			最終		平時	

課題に関するフィードバックの方法	ポータルにて、行います。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	心理教育相談員
		科目との関連	心理教育相談にて、臨床にかかわってきた経験をもとに、授業展開を行います。

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。 E-Mail:shiei@hokusho-u.ac.jp
資格	[教][ス]特支1種_必修
その他	学習活動 【授業前】障害とは何かを事前に考える。 【授業中】できないこと、できることは何か。各障害の定義、特性を理解する。何が支援かを考える。 【授業後】何が課題なのかを理解する。課題解決のために何ができるかを考える。

科目名	重複障害者の心理・生理・病理	授業形態	講義	単位数	1

教員名	任　龍在

授業の目的		
	ねらい	特別支援学校においては、障害の重度・重複化、多様化に伴い、一人ひとりに応じたきめ細かな指導及び支援が求められています。本講義では、肢体不自由に知的障害を併せ有する重複障害児を中心に、重複障害児の心理、生理、病理について講義します。また、実際の指導及び支援への理解を高めるために、重複障害児の学習特性を説明するとともに、教育現場の取組（教育的対応、医療的ケア、保護者相談など）を紹介します。
	到達目標	(1)重複障害児の心理、生理、病理について理解する。 (2)重複障害児の学習特性について理解する。 (3)重複障害児の家族の心理的問題について理解する。 (4)重複障害児の指導及び支援における留意事項について理解する。

授業の計画			
	第1回	【テーマ】重複障害児の概念 【計画内容】重複障害児（重度・重複障害を含む）の概念について説明します。また、特別支援学校を中心に、重複障害教育の現状と課題について概観します。 【授業時間外の学修内容】重複障害教育の現状と課題について予習すること。	A
	第2回	【テーマ】重複障害者の心理・生理・病理①：知的障害のない重複障害者 【計画内容】盲ろう者をはじめ、知的障害のない重複障害者の心理・生理・病理について講義します。 【授業時間外の学修内容】盲ろうについて予習すること。	A
	第3回	【テーマ】重複障害者の心理・生理・病理②：知的障害のある重複障害者 【計画内容】肢体不自由に知的障害を併せ有する重複障害者をはじめ、知的障害のある重複障害者の心理・生理・病理について講義します。 【授業時間外の学修内容】肢体不自由に知的障害を併せ有する重複障害について予習すること。	A
	第4回	【テーマ】医療的なケアの理解と対応 【計画内容】医療的ケアのこれまでの経緯、現状と課題について講義します。また、医療的なケアを必要とする重複障害児への対応について説明します。 【授業時間外の学修内容】医療的ケアについて予習すること。	A
	第5回	【テーマ】重複障害者の家族の心理的問題とソーシャルサポート 【計画内容】重複障害者の家族（主に、母親）の心理的問題とソーシャルサポートについて講義します。 【授業時間外の学修内容】重複障害者の家族の心理的問題とソーシャルサポートについて予習すること。	A
	第6回	【テーマ】重複障害児の事例検討① 【計画内容】肢体不自由に知的障害を併せ有する重複障害児の事例（A ちゃん）を紹介します。検査結果、学校記録、病院資料、授業映像などを用いて、A ちゃんの心理・生理・病理を含む学習特性について検討します。 【授業時間外の学修内容】肢体不自由に知的障害を併せ有する重複障害児の学習特性について予習すること。	A、H
	第7回	【テーマ】重複障害児の事例検討② 【計画内容】A ちゃんの事例検討を継続します。 【授業時間外の学修内容】肢体不自由に知的障害を併せ有する重複障害児の学習特性について予習すること。	A、H
	第8回	【テーマ】重複障害児の事例検討③ 【計画内容】A ちゃんの事例検討を継続します。 【授業時間外の学修内容】肢体不自由に知的障害を併せ有する重複障害児の学習特性について予習すること。	A、H

テキスト	講義時に説明します
参考書	姉崎弘、2016年、『特別支援学校における 重度・重複障害児の教育』、大学教育出版、9784864294065 文部科学省、『特別支援学校教育要領・学習指導要領』

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	70%				30%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[教][ス]特支1種_必修
その他	

科目名	視覚・聴覚障害者の教育課程及び指導法	授業形態	講義	単位数	1

教員名	佐藤　至英

授業の目的		
	ねらい	視覚･聴覚障がい(児)者教育の自立活動や教科指導における配慮事項などについて学ぶ。特に見え方、聴こえ方による認知発達や言語発達の特性、感覚器官の機能特性に基づいた指導法について、理解を深める。さらに進路指導における社会参加･自立に至る課題についても学ぶ。
	到達目標	(1)視覚障害の盲･弱視･重複障害に応じた教育の方法やその専門性が理解できる。 (2)聴覚障害の聾･難聴･重複障害に応じた教育の方法やその専門性が理解できる。

授業の計画			
	第1回	【テーマ】視覚障害教育の内容① 【計画内容】視覚障害を移動、文字、情報障害からの理解を深め、教育課程の編成や配慮事項、指導の基礎･基本について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で学びたいことを整理して、関連する資料を調べておくこと。	A、L
	第2回	【テーマ】視覚障害教育の内容② 【計画内容】点字の成り立ちと構成、点字の読み･書きの実際、点字指導の基礎、点字触察の基礎について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習しておくこと。	A、L
	第3回	【テーマ】視覚障害教育の自立活動① 【計画内容】空間把握と歩行の困難さを理解し、全盲の疑似体験を通して白杖の使い方や支援者のサポート方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習しておくこと。	A、L
	第4回	【テーマ】視覚障害教育の自立活動② 【計画内容】弱視児童･生徒への指導内容や指導方法を学ぶとともに、視覚障害を伴う重度･重複障害者への指導内容や指導方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習しておくこと。	A、L
	第5回	【テーマ】聴覚障害教育の歴史 【計画内容】聴覚障害教育の西洋や日本における歴史に触れながら、現代における課題について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習しておくこと。	A、L
	第6回	【テーマ】聴覚障害教育の教育内容 【計画内容】聴覚障害教育の目的について理解を深め、教育課程の編成や配慮事項、指導上の基礎･基本について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習しておくこと。	A、L
	第7回	【テーマ】聴覚障害教育の自立活動① 【計画内容】補聴器による聴覚活用、発音発語指導、言語指導について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習しておくこと。	A、L
	第8回	【テーマ】聴覚障害教育の自立活動② 【計画内容】コミュニケーションの手段や指導法について理解を深め、実際に指文字や手話を体験する。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習しておくこと。	H、L

テキスト	文部科学省、2009年、『特別支援学校学習指導要領解説　総則編』、教育出版、9784316300160
参考書	全国盲学校長会、2000年、『視覚障害教育入門 Q & A』、ジアース教育新社、9784921124045 吉岡博英･四日市章･立入哉、1996年、『聴覚障害教育情報ガイド』、コレール社、4876371792

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			40%		60%	
	補足			最終		平時	

課題に関するフィードバックの方法	ポータルにて、行います。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	心理教育相談員
		科目との関連	心理教育相談にて、臨床にかかわってきた経験をもとに、授業展開を行います。

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。 E-Mail:shiei@hokusho-u.ac.jp
資格	[教][ス]特支1種_必修
その他	毎回、小レポートを課す。毎回の気づいたこと、わかったこと、考えたことをノートに書き留めておくこと。実践の場でどのような指導が考えられるか、その根拠は何か、具体的な指導法を考えること。 学習活動 【授業前】障害とは何かを事前に考える。 【授業中】できないこと、できることは何か。各障害の定義、特性を理解する。何が支援かを考える。 【授業後】何が課題なのかを理解する。課題解決のために何ができるかを考える。

科目名	重複障害者の教育課程及び指導法	授業形態	講義	単位数	1
教員名	阿部　美穂子				
授業の目的	ねらい	重複障害のある児童生徒の実態をどのように捉え、教育的な関わりを実践するのか、基本的な知識を修得するとともに実践資料の動画や文字資料を通して、より深く学ぶことをねらう。			
	到達目標	(1)重複障害のある児童生徒の実態を捉える基本的視点を理解すること。 (2)重複障害のある児童生徒に係わる際の基本的な留意点を理解すること。 (3)重複障害のある児童生徒の教育課程について理解すること。 (4)重複障害のある児童生徒に対して特別支援学校で行われている主な指導法について理解すること。			

授業の計画			
	第1回	【テーマ】重複障害とは 【計画内容】重複障害のある児童生徒の状態像の多様性を VTR を通して紹介する。受講生から感想や意見を求め、それに応えつつ理解を深める。 【授業時間外の学修内容】インターネットや書籍で重複障害、重複障害児教育について調べておくこと。	A
	第2回	【テーマ】重複障害児教育の具体例 【計画内容】重複障害児の教育の具体例を教科書及び、VTR も交えて紹介する。受講生同士で意見交換する時間を設け、発表してもらい、それに対して補足説明等を行う。 【授業時間外の学修内容】インターネットで盲聾児の教育について調べておくこと。	A、F、H
	第3回	【テーマ】重複障害児の実態把握 【計画内容】多様な状態像を示す重複障害児一人ひとりの実態をどのような視点で捉えるか、教科書を用いて確認する。VTR 等の資料について、受講生同士で意見交換する時間を設け、発表してもらい、それに対して補足説明等を行う。 【授業時間外の学修内容】教科書の該当部分を読んでおくこと。	A、F、H
	第4回	【テーマ】重複障害児の指導(1)・授業の中間まとめ 【計画内容】教育的な関わりの基本的な視点とその実際について、実技を交えて学習する。受講生同士で意見交換する時間を設け、発表してもらい、それに対して補足説明等を行う。併せて、これまでの内容を振り返り、中間まとめ課題の作成を行う。 【授業時間外の学修内容】事前に配付する資料、及び、教科書を読んでおくこと。	A、F、H
	第5回	【テーマ】重複障害児の教育課程 【計画内容】重複障害児に対する学校教育の教育課程について、基本的な考え方とともに学校現場の実例を紹介する。VTR 等の資料について、受講生同士で意見交換する時間を設け、発表してもらい、それに対して補足説明等を行う。 【授業時間外の学修内容】事前に配付する資料を読んでおくこと。	A、F、H
	第6回	【テーマ】重複障害児の指導(2) 【計画内容】重複障害児に対して学校現場で行われている指導法について、VTR 及び実技を交えて学習する。受講生同士で意見交換する時間を設け、発表してもらい、それに対して補足説明等を行う。 【授業時間外の学修内容】事前に配付する資料、及び、教科書を読んでおくこと。	A、F、H
	第7回	【テーマ】重複障害児とコミュニケーション 【計画内容】健康の保持・増進の次に重要と考えられるコミュニケーションについて、VTR を交えて紹介する。VTR 等の資料について、受講生同士で意見交換をする時間を設け、発表してもらい、それに対して補足説明等を行う。 【授業時間外の学修内容】事前に配付する資料を読んでおくこと。	A、F、H
	第8回	【テーマ】重複障害児の指導法のまとめと指導プランの立案 【計画内容】実技演習を行う。レポート課題の出題を行う。 【授業時間外の学修内容】事前に配付する資料を読んでおくこと。	A、F、H

テキスト	小林芳文監修/是枝喜代治、飯村敦子、阿部美穂子、安藤正紀編、2017年、『MEPA-R 活用事例集 - 保育療育・特別支援教育に生かすムーブメント教育・療法 -』、日本文化科学社、4821063778
参考書	文部科学省、『特別支援学校教育要領・学習指導要領』

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			80%		20%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	1日目に行った講義内容のまとめ課題については、翌日にフィードバックを行う。また、2日目の試験に関する質問があった場合は、学習支援オフィスを通して、メールで回答する。

実務経験と授業の関連	該当	経験内容	特別支援学校教諭として、20年以上にわたり、重複障害児の教育を実施した。
		科目との関連	重複障害児の個別の指導計画の作成、自立活動、他の授業計画及び実践。

質問への対応	質問は授業後または学習支援オフィスを通して行ってください。
資格	[教][ス]特支1種_必修
その他	教科書に書き込みながら授業を進めます。また、中間・最終レポート作成に、教科書を使います。ですので、必ず、教科書を事前に購入しておきましょう。また、実技を行います。事前に実技に必要な物品を連絡しますので、忘れずに準備してください。動きやすい、服装で受講してください。スカートは不可。

科目名	特別支援教育実習事前指導	授業形態	講義	単位数	1

教員名	石川　大、石塚　誠之、磯貝　隆之

授業の目的		
	ねらい	特別支援学校の教育実習にあたっての心構えや学校の組織、通常の学校と異なる留意事項等について学習する。次にそれぞれが実習を行う学校種別ごとに分かれて学習指導案について再度学習するとともに、実際に学習指導案を作成する。そしてその指導案に基づいた模擬授業を行う。模擬授業後の反省会において授業評価を行う。
	到達目標	(1)特別支援学校で授業を行う際の児童生徒への指導上の配慮や留意事項について理解することができる。 (2)特別支援学校の学習指導案を書くことができる。 (3)障害のある児童生徒を対象とした模擬授業を行うことができる。

授業の計画						
第1回	【テーマ】特別支援学校における教育実習の心構えと特別支援学校の学校経営 【計画内容】15回の授業計画を紹介し、実習に向けた心構えを確認する。合わせて特別支援学校の学校経営について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読しておくこと。また、テキスト『教育実習の手引き』で教育実習の目的や内容、注意事項等について確認しておくこと。	A	第9回	【テーマ】模擬授業(3) 【計画内容】作成した学習指導案に基づいて担当グループが模擬授業を行う。授業者以外の学生は児童生徒役、参観・評価者として模擬授業に参加する。模擬授業後には授業反省会を行う。 【授業時間外の学修内容】授業担当者は学習指導案を作成し、教材研究や授業リハーサル等の準備を入念に行う。授業者以外の学生は、前回の模擬授業の反省点をまとめ、次回担当する模擬授業に向けた準備を行う。	B、E
第2回	【テーマ】特別支援学校における学習指導案の書き方(1) 【計画内容】特別支援学校で作成される学習指導案の内容について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキスト『教育実習の手引き』の該当箇所を熟読しておくこと。	A、B	第10回	【テーマ】模擬授業(4) 【計画内容】作成した学習指導案に基づいて担当グループが模擬授業を行う。授業者以外の学生は児童生徒役、参観・評価者として模擬授業に参加する。模擬授業後には授業反省会を行う。 【授業時間外の学修内容】授業担当者は学習指導案を作成し、教材研究や授業リハーサル等の準備を入念に行う。授業者以外の学生は、前回の模擬授業の反省点をまとめ、次回担当する模擬授業に向けた準備を行う。	B、E
第3回	【テーマ】特別支援学校における学習指導案の書き方(2) 【計画内容】次年度の実習校の校種毎にグループに分かれ、校種に応じた学習指導案作成の配慮事項について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の講義資料の内容について復習しておくこと。	A、B	第11回	【テーマ】特別支援教育実習報告会 【計画内容】今年度特別支援教育実習を行った学生(4年次生)が、校種ごとに実習の成果と課題を報告する。次年度実習を行う学生(3年次生)は、次年度の実習に向けた準備事項について確認する。 【授業時間外の学修内容】4年次生は教職センターに提出した実習報告書の内容を整理し直し、自身の特別支援教育実習の成果と課題についてまとめておくこと。3年次生は、『教育実習の手引き』の特別支援教育実習の関連項目について熟読しておくこと。	F
第4回	【テーマ】特別支援学校における学習指導案の書き方(3) 【計画内容】次年度の実習校の校種毎にグループに分かれ、校種に応じた学習指導案作成の配慮事項について学び、作成した学習指導案の添削指導を受ける。 【授業時間外の学修内容】指導教員の指示に従い、学習指導案を作成しておくこと。	A、B	第12回	【テーマ】模擬授業(5) 【計画内容】作成した学習指導案に基づいて担当グループが模擬授業を行う。授業者以外の学生は児童生徒役、参観・評価者として模擬授業に参加する。模擬授業後には授業反省会を行う。 【授業時間外の学修内容】授業担当者は学習指導案を作成し、教材研究や授業リハーサル等の準備を入念に行う。授業者以外の学生は、前回の模擬授業の反省点をまとめる。また、次回担当する模擬授業に向けた準備を行う。	B、E
第5回	【テーマ】学習指導案の提出及び模擬授業計画の立案 【計画内容】各自が作成した学習指導案を提出し、グループごとの模擬授業の日程や授業内容について検討する。 【授業時間外の学修内容】指導教員の指示に従い、学習指導案を作成して添削指導を受けておくこと。	H	第13回	【テーマ】模擬授業(6) 【計画内容】作成した学習指導案に基づいて担当グループが模擬授業を行う。授業者以外の学生は児童生徒役、参観・評価者として模擬授業に参加する。模擬授業後には授業反省会を行う。 【授業時間外の学修内容】授業担当者は学習指導案を作成し、教材研究や授業リハーサル等の準備を入念に行う。授業者以外の学生は、前回の模擬授業の反省点をまとめる。また、次回担当する模擬授業に向けた準備を行う。	B、E
第6回	【テーマ】模擬授業準備 【計画内容】グループごとに模擬授業のティーム・ティーチングの役割分担や教材教具の作成等の準備を行う。 【授業時間外の学修内容】事前にグループごとの役割分担や模擬授業に向けた作業計画について話し合っておくこと。	H	第14回	【テーマ】模擬授業(7) 【計画内容】作成した学習指導案に基づいて担当グループが模擬授業を行う。授業者以外の学生は児童生徒役、参観・評価者として模擬授業に参加する。模擬授業後には授業反省会を行う。 【授業時間外の学修内容】授業担当者は学習指導案を作成し、教材研究や授業リハーサル等の準備を入念に行う。授業者以外の学生は、前回の模擬授業の反省点をまとめる。また、次回担当する模擬授業に向けた準備を行う。	B、E
第7回	【テーマ】模擬授業(1) 【計画内容】作成した学習指導案に基づいて担当グループが模擬授業を行う。授業者以外の学生は児童生徒役、参観・評価者として模擬授業に参加する。模擬授業後には授業反省会を行う。 【授業時間外の学修内容】授業担当者は学習指導案を作成し、教材研究や授業リハーサル等の準備を入念に行う。授業者以外の学生は、自分が担当する模擬授業に向けた準備を行う。	B、E	第15回	【テーマ】模擬授業(8) 【計画内容】作成した学習指導案に基づいて担当グループが模擬授業を行う。授業者以外の学生は児童生徒役、参観・評価者として模擬授業に参加する。模擬授業後には授業反省会を行う。 【授業時間外の学修内容】授業担当者は学習指導案を作成し、教材研究や授業リハーサル等の準備を入念に行う。授業者以外の学生は、前回の模擬授業の反省点をまとめる。	B、E
第8回	【テーマ】模擬授業(2) 【計画内容】作成した学習指導案に基づいて担当グループが模擬授業を行う。授業者以外の学生は児童生徒役、参観・評価者として模擬授業に参加する。模擬授業後には授業反省会を行う。 【授業時間外の学修内容】授業担当者は学習指導案を作成し、教材研究や授業リハーサル等の準備を入念に行う。授業者以外の学生は、前回の模擬授業の反省点をまとめ、次回担当する模擬授業に向けた準備を行う。	B、E				

テキスト	北翔大学・北翔大学短期大学部、2017年、『教育実習の手引き』
参考書	プリント資料を配付します。 文部科学省、2017年、『特別支援学校学習指導要領』、海文堂出版

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分		25%	30%		30%	15%
補足		模擬授業(授業者、児童生徒役)	模擬授業・学習指導案		実習への意欲	模擬授業評価表

課題に関するフィードバックの方法	各自が指導案を作成し、その指導案をもとに、教材作成及びティームティーチングによる指導を工夫した模擬授業を実施する。模擬授業の反省会を通して指導の在り方や障害への配慮等に関する授業評価を行う。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	石川大／特別支援学校教諭・教頭・校長、石塚誠之／特別支援教育専門家チーム員、子ども発達支援センタースーパーバイザー、磯貝隆之／特別支援学校教諭・教頭・校長
		科目との関連	石川大／特別支援学校教諭・教頭・校長としての業務経験をもとに実務に即した指導を行う。 石塚誠之／特別支援教育専門家チーム員、子ども発達支援センタースーパーバイザーとしての業務経験をもとに実務に即した指導を行う。 磯貝隆之／特別支援学校教諭・教頭・校長としての業務経験をもとに実務に即した指導を行う。

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[教]特支1種_必修
その他	3年生前学期までに開講されている特別支援教育に関する科目全てを履修していることが望ましい(編入生を除く)。 講義は、担当教員ごとのグループに分かれて実施する。 ※遅刻、欠席は認めません。遅刻、欠席があった場合は、履修放棄とみなすので注意すること。ただし、病欠の場合は、担当教員に直ちに連絡するとともに、必ず病院受診のコピーと欠席届を提出すること。学校感染症の場合は、診断書の写し及び保健センターの証明印をもらうこと。

科目名	特別支援学校論Ⅰ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	磯貝　隆之				

授業の目的	
ねらい	特別支援教育の理解を深めるために、実際の教育現場を参観し、教育活動の理解を深める。 また、各種障害の特別支援学校や特別支援学級を訪問し、学校経営の講話及び授業、研究協議の様子等を参観することで、障害の理解や教育内容、指導方法についての理解を図る。
到達目標	(1)知的障害特別支援学校の指導の実際に触れ、特別支援教育の理解を深める。 (2)肢体不自由特別支援学校の指導の実際に触れ、特別支援教育の理解を深める。 (3)盲(聾)学校の指導の実際に触れ、特別支援教育の理解を深める。 (4)高等支援学校の指導の実際に触れ、特別支援教育の理解を深める。 (5)特別支援学級の指導の実際に触れ、特別支援教育の理解を深める。

授業の計画						
第1回	【テーマ】知的障害特別支援学校訪問① 【計画内容】知的障害特別支援学校についての知識を深めるとともに、訪問の計画をたてる。 【授業時間外の学修内容】訪問する知的障害特別支援学校について HP で調べておく。	A、B	第9回	【テーマ】盲(聾)学校訪問③ 【計画内容】見学したことをレポートにまとめ、発表する。 【授業時間外の学修内容】見学した内容を整理しておく。	D、F
第2回	【テーマ】知的障害特別支援学校訪問② 【計画内容】実際に見学し、知的障害特別支援学校の教育内容や子どもたちの状況について理解を深める。 【授業時間外の学修内容】訪問計画を確認しておく。	D	第10回	【テーマ】高等支援学校訪問① 【計画内容】高等支援学校についての知識を深めるとともに、訪問の計画をたてる。 【授業時間外の学修内容】訪問する高等支援学校について HP で調べておく。	A、B
第3回	【テーマ】知的障害特別支援学校訪問③ 【計画内容】見学したことをレポートにまとめ、発表する。 【授業時間外の学修内容】見学した内容を整理しておく。	D、F	第11回	【テーマ】高等支援学校訪問② 【計画内容】実際に見学し、高等支援学校の教育内容や子どもたちの状況について理解を深める。 【授業時間外の学修内容】訪問計画を確認しておく。	D
第4回	【テーマ】肢体不自由特別支援学校訪問① 【計画内容】肢体不自由特別支援学校についての知識を深めるとともに、訪問の計画をたてる。 【授業時間外の学修内容】訪問する肢体不自由特別支援学校について HP で調べておく。	A、B	第12回	【テーマ】高等支援学校訪問③ 【計画内容】見学したことをレポートにまとめ、発表する。 【授業時間外の学修内容】見学した内容を整理しておく。	D、F
第5回	【テーマ】肢体不自由特別支援学校訪問② 【計画内容】実際に見学し、肢体不自由特別支援学校の教育内容や子どもたちの状況について理解を深める。 【授業時間外の学修内容】訪問計画を確認しておく。	D	第13回	【テーマ】特別支援学級訪問① 【計画内容】特別支援学級についての知識を深めるとともに、訪問の計画をたてる。 【授業時間外の学修内容】訪問する特別支援学級について HP で調べておく。	A、B
第6回	【テーマ】肢体不自由特別支援学校訪問③ 【計画内容】見学したことをレポートにまとめ、発表する。 【授業時間外の学修内容】見学した内容を整理しておく。	D、F	第14回	【テーマ】特別支援学級訪問② 【計画内容】実際に見学し、特別支援学級の教育内容や子どもたちの状況について理解を深める。 【授業時間外の学修内容】訪問計画を確認しておく。	D
第7回	【テーマ】盲(聾)学校訪問① 【計画内容】盲(聾)学校についての知識を深めるとともに、訪問の計画をたてる。 【授業時間外の学修内容】訪問する盲学校について HP で調べておく。	A、B	第15回	【テーマ】特別支援学級訪問③ 【計画内容】見学したことをレポートにまとめ、発表する。 【授業時間外の学修内容】見学した内容を整理しておく。	D、F
第8回	【テーマ】盲(聾)学校訪問② 【計画内容】実際に見学し、盲(聾)学校の教育内容や子どもたちの状況について理解を深める。 【授業時間外の学修内容】訪問計画を確認しておく。	D			

テキスト	プリントを使用します
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			50%		50%	
補足			レポート			

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	特別支援学校教諭
		科目との関連	特別支援学校教諭の業務経験をもとに実務に即した指導を行う。

質問への対応	事前に集まったときに具体的に説明します
資格	
その他	

科目名	特別支援学校論Ⅱ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	磯貝　隆之				

授業の目的	
ねらい	特別支援教育においては、教育実践上の諸課題について幅広く現状を把握しておくことが求められている。特別支援教育の教育現場での諸課題について理解を深めるため、特別支援教育に関する学会や障害種ごとの研究大会、特別支援教育センターの公開講座等に参加し、障害の理解や最新の教育内容、指導方法などについての理解を図る。
到達目標	(1)特別支援学校及び特別支援学級の実践上の課題を把握する。 (2)特別支援教育の実践上の課題を把握する。 (3)自閉症など発達障害の教育における実践上の課題を把握する。

授業の計画						
第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】特別支援教育における実践論の意義について学びます。 【授業時間外の学修内容】「実践論」に関する文献を熟読し予習すること。	A	第9回	【テーマ】学会･研究会の参加報告 【計画内容】学会参加の成果報告をまとめ、発表します。 【授業時間外の学修内容】「記録ノート」をまとめておくこと。	D、F
第2回	【テーマ】北海道における特別支援教育に関する学会や研究会等の歴史 【計画内容】学会や研究会の設立の経緯と果たした役割などについて学びます。 【授業時間外の学修内容】特別支援教育の北海道の歴史について予習すること。	A	第10回	【テーマ】北海道立特別支援教育センターの機能とは 【計画内容】センターの施設見学をします。 【授業時間外の学修内容】設立経過と事業内容についてまとめておくこと。	D
第3回	【テーマ】学会･研究会への参加(1) 【計画内容】全体会に参加します。 【授業時間外の学修内容】全大会に関する事項について予習すること。	D	第11回	【テーマ】北海道立特別支援教育センター公開講座(以下、公開講座)への参加(1) 【計画内容】講演会に参加します。 【授業時間外の学修内容】講演テーマに関する事項について予習すること。	D
第4回	【テーマ】学会･研究会への参加(2) 【計画内容】分科会に参加します。 【授業時間外の学修内容】分科会のテーマについて予習すること。	D	第12回	【テーマ】公開講座への参加(2) 【計画内容】講演会に参加します。 【授業時間外の学修内容】記録の取り方について工夫すること。	D
第5回	【テーマ】学会･研究会への参加(3) 【計画内容】分科会に参加します。 【授業時間外の学修内容】分科会テーマについて予習すること。	D	第13回	【テーマ】公開講座への参加(3) 【計画内容】講演会に参加します。 【授業時間外の学修内容】内容ごとにまとめて記録すること。	D
第6回	【テーマ】学会･研究会への参加(4) 【計画内容】分科会に参加します。 【授業時間外の学修内容】分科会テーマについて、異なった視点から予習すること。	D	第14回	【テーマ】公開講座への参加(4) 【計画内容】講演会に参加します。 【授業時間外の学修内容】「記録ノート」を整理すること。	D、F
第7回	【テーマ】学会･研究会への参加(5) 【計画内容】分科会に参加します。 【授業時間外の学修内容】講演テーマに関する事項について予習すること。	D	第15回	【テーマ】公開講座の参加報告 【計画内容】学習した内容について報告書にまとめ、発表します。 【授業時間外の学修内容】発表内容をまとめておくこと。	D、F
第8回	【テーマ】学会･研究会への参加(6) 【計画内容】講演会に参加します。 【授業時間外の学修内容】記録の取り方について工夫すること。	D			

テキスト	プリント資料を配付します
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			50%		50%	
補足			レポート			

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	特別支援学校教諭
		科目との関連	特別支援学校教諭の業務経験をもとに実務に即した指導を行う。

質問への対応	事前に集まった際に具体的に説明します。 在室の際には、625研究室で対応します。
資格	
その他	

科目名	特別支援実践論Ⅰ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	石川　大、石塚　誠之、磯貝　隆之				

授業の目的		
	ねらい	特殊教育から特別支援教育へ大きく変化した教育の流れについて、特別支援教育の制度から学びます。本講義では、特別支援教育のかかわる「答申」「通知」「報告」等々から、共に生きる社会の在り方について、最近のインクルーシブ教育の理念から実践について学びます。
	到達目標	(1)特別支援教育の制度の流れについて理解する。 (2)特別支援教育の諸課題と福祉等の連携の在り方について理解する。 (3)特別支援教育のかかわる関係法令、法規や「答申」「通知」「報告」等について理解する。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】特別支援教育の諸課題について、諸制度の視点から全体像を説明し、15回の講義展開を具体的に説明します。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で学びたいことを整理して、関連する資料を調べておく。	A、L	第9回	【テーマ】障害者総合支援法 【計画内容】2012年に施行された「障害者総合支援法」のポイントについて学びます。 【授業時間外の学修内容】事前に学習内容を予習しておくこと。	A、F、L
	第2回	【テーマ】21世紀の特別支援教育の在り方について 【計画内容】2001年に最終報告された「21世紀の特別支援教育の在り方について」の基本的理念について学びます。 【授業時間外の学修内容】事前に学習内容を予習しておくこと。	A、F、L	第10回	【テーマ】教育基本法 【計画内容】2006年に改正された「教育基本法」の障害のある者に対する教育上の支援について学びます。 【授業時間外の学修内容】事前に学習内容を予習しておくこと。	A、F、L
	第3回	【テーマ】今後の特別支援教育の在り方について 【計画内容】2003年に報告された「今後の特別支援教育の在り方について」の基本的理念について学びます。 【授業時間外の学修内容】事前に学習内容を予習しておくこと。	A、F、L	第11回	【テーマ】障害者の権利に関する条約 【計画内容】2006年に国連総会で採決された「障害者の権利に関する条約」の基本的な理念について学びます。 【授業時間外の学修内容】事前に学習内容を予習しておくこと。	A、F、L
	第4回	【テーマ】特別支援教育を推進するための制度の在り方について 【計画内容】2005年に答申された「特別支援教育を推進するための制度の在り方について」の基本理念を学びます。 【授業時間外の学修内容】事前に学習内容を予習しておくこと。	A、F、L	第12回	【テーマ】特別支援学校学習指導要領 【計画内容】2017年に告示された『特別支援学校学習指導要領』の教育の基本的な理念について学びます。特に、インクルーシブ教育の理念と実践について理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】事前に学習内容を予習しておくこと。	A、F、L
	第5回	【テーマ】特別支援教育の推進について 【計画内容】2007年に通知された「特別支援教育の推進について」の基本理念を学び、校内委員会、特別支援教育コーディネーターの指名などについて学びます。 【授業時間外の学修内容】事前に学習内容を予習しておくこと。	A、F、L	第13回	【テーマ】特別支援学校学習指導要領解説自立活動編 【計画内容】2018年3月に改訂された『特別支援学校学習指導要領解説「自立活動編」』の改善の趣旨や内容について学びます。 【授業時間外の学修内容】事前に学習内容を予習しておくこと。	A、F、L
	第6回	【テーマ】発達障害者支援法 【計画内容】2005年に施行された「発達障害者支援法」を基にした発達障害の支援の在り方について学びます。 【授業時間外の学修内容】事前に学習内容を予習しておくこと。	A、F、L	第14回	【テーマ】障害者差別解消法 【計画内容】2016年4月に施行された『障害者差別解消法』の趣旨や内容について学びます。 【授業時間外の学修内容】事前に学習内容を予習しておくこと。	A、F、L
	第7回	【テーマ】障害者基本法 【計画内容】1970年に制定された「障害者基本法」の基本理念について学びます。 【授業時間外の学修内容】事前に学習内容を予習しておくこと。	A、F、L	第15回	【テーマ】まとめと確認 【計画内容】さまざまな特別支援教育の制度の在り方について再確認します。 【授業時間外の学修内容】これまで学習した内容を再確認しておくこと。	A、K、L
	第8回	【テーマ】障害者基本計画 【計画内容】2002年に閣議決定された「障害者基本計画」の基本理念における諸課題について学びます。 【授業時間外の学修内容】事前に学習内容を予習しておくこと。	A、F、L			

テキスト	プリントを使用します
参考書	下山直人、2007年、『特別支援教育ハンドブック』、全国心身障害児福祉財団 大南英明、2009年、『特別支援教育へのチャレンジ』、ジアース教育新社 中村満紀男ほか、2012年、『理解と支援の特別支援教育』、コレール社

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%		30%	20%
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	特別支援に関する答申や制度等の主旨を学ぶとともにグループ討議を通して理解を深めます。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	石川大・磯貝隆之／特別支援学校教諭・教頭・校長、石塚誠之／特別支援教育専門家チーム員、子ども発達支援センタースーパーバイザー
		科目との関連	石川大・磯貝隆之／特別支援学校教諭・教頭・校長としての業務経験をもとに実務に即した指導を行う。石塚誠之／特別支援教育専門家チーム員、子ども発達支援センタースーパーバイザーとしての業務経験をもとに実務に即した指導を行う。

質問への対応	講義時に具体的に説明します。
資格	
その他	講義で扱う内容について事前に予習しておいてください。事前に用いる資料を配付する場合があるので、ポータル等を確認するようにしてください。

科目名	特別支援実践論Ⅱ	授業形態	演習	単位数	2

教員名	石川　大、磯貝　隆之

授業の目的		
	ねらい	障害が重度･重複化、多様化している児童生徒の実態を把握するための多様なアセスメントの在り方について検討･考察し、一人一人の教育的ニーズに応じた指導の在り方に関して、各種発達検査、知能検査等から指導方法への活用法を学びます。すなわち、診断型検査、目標準拠型検査、評価･分析型検査などから実際の指導に役立つための活用の仕方について、事例を通して理解を深めます。
	到達目標	(1)障害の重度･重複化、多様化している児童生徒の実態把握の仕方について理解する。 (2)各種発達検査、知能検査等について理解し、指導方法への活用法やその適用法について学ぶ。 (3)事例を通して、各種発達検査の実践法と評価･分析法について演習し、より実践的に理解する。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】特別支援教育におけるアセスメントの諸課題について、全体像を説明し、15回の講義展開を具体的に説明します。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で学びたいことを整理して、関連する資料を調べておく。	A、F】	第9回	【テーマ】知能検査② 【計画内容】「WISC- Ⅳ知能検査」の実施方法について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A、B、E、F、J、K
	第2回	【テーマ】発達検査① 【計画内容】「発達検査」の概要を把握し、どのような心理検査があるかについて学びます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A、E、F、K	第10回	【テーマ】知能検査③ 【計画内容】「WISC- Ⅳ知能検査」の諸課題について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A、B、F、K
	第3回	【テーマ】発達検査② 【計画内容】「遠城寺式･乳幼児分析的発達検査法」について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A、E、F、K	第11回	【テーマ】知能検査④ 【計画内容】「WISC- Ⅳ知能検査」を活用したの指導の在り方について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A、B、E、F、J、K
	第4回	【テーマ】発達検査③ 【計画内容】「遠城寺式･乳幼児分析的発達検査法」の実施法について学びます。また、実際の事例で発達診断、発達予測について理解します。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A、B、E、F、J、K	第12回	【テーマ】知能検査⑤ 【計画内容】「WISC- Ⅳ知能検査」のテストバッテリーの在り方などについて学びます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A、B、E、F、J、K
	第5回	【テーマ】発達検査④ 【計画内容】「絵画語い発達検査」について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A、E、F、K	第13回	【テーマ】知能検査⑥ 【計画内容】「田中ビネー知能検査Ⅴ」の実施方法について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A、B、E、F、J、K
	第6回	【テーマ】発達検査⑤ 【計画内容】「フロスティッグ視知覚発達検査」について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A、B、E、F、J、K	第14回	【テーマ】知能検査⑦ 【計画内容】「改訂版鈴木ビネー知能検査」の実施方法について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A、B、E、F、J、K
	第7回	【テーマ】発達検査⑥ 【計画内容】「SM 社会生活能力検査」の諸課題について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A、B、E、F、J、K	第15回	【テーマ】まとめと確認 【計画内容】さまざまな心理検査を生かした特別支援教育の在り方について再確認します。 【授業時間外の学修内容】これまで配付したプリント等を再確認しておくこと。	A、F、L
	第8回	【テーマ】知能検査① 【計画内容】知能検査の概要を把握し、どのような心理検査があるかについて学びます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A、F			

テキスト	プリントを使用します。 遠城寺宗徳、1978年、『遠城寺式乳幼児分析的発達検査法(九大小児科改訂版)』、慶應義塾大学出版会
参考書	文部科学省、2018年、『特別支援学校学習指導要領』、海文堂出版 宮本茂雄･林邦雄･細村迪夫･武田洋編著、1988年、『障害児のための指導技法ハンドブック』、コレール社 細村迪夫･山下皓三編著、1996年、『知覚学習ハンドブック』、コレール社

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	30%	20%	20%	30%		
	補足		検査の実施		検査の実施		

課題に関するフィードバックの方法	演習を通して、心理検査法の理解を深めるとともにアセスメントの在り方について学びます。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	石川大･磯貝隆之／特別支援学校教諭･教頭･校長
		科目との関連	石川大･磯貝隆之／特別支援学校教諭･教頭･校長としての業務経験をもとに実務に即した指導を行う。

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	
その他	演習で使用する各検査の用紙等は、高価な実物の検査用紙を使用するが、教員採用後に有効に活用できるので大切に保管すること。

科目名	教育経営学(幼・小)	授業形態	講義	単位数	2

教員名	前川　洋

授業の目的		
	ねらい	我が国の学校教育の現状や課題、さらには課題解決に向けた教育改革など、学校教育に関わる基本的な知識を幅広く身に付けておくことは、教員としてだけでなく、社会人(保護者)としても大切なことです。本講義では、現代の学校教育に関する社会的、制度的又は経営的事項について、基礎的な知識を確実に身に付けるとともに、それらに関連する課題などについて、自ら考え議論できるように学習します。また、学校と地域との連携や、危機管理を含む学校安全に関する基礎的な知識についても、具体的に行動できるよう学習します。
	到達目標	(1)社会の状況を理解し、その変化が学校教育にもたらす影響とそこから生じる課題、並びにそれに対応するための教育施策の動向を理解する。 (2)現代公教育制度の意義・原理・構造について、その法的・制度的仕組みに関する基礎的知識を身に付けるとともに、そこに内在する課題を理解する。 (3)学校や教育行政機関の目的とその実現について、経営の観点から理解する。 (4)学校と地域との連携の意義や地域との協働の仕方について、取り組み事例を踏まえて理解する。 (5)学校の管理下で起こる事件、事故及び災害の実情を踏まえて、学校保健安全法に基づく、危機管理を含む学校安全の目的と具体的な取組を理解する。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】講義のガイダンス及び学校を巡る近年の様々な状況の変化 【計画内容】講義の進め方などを説明し、学校を巡る様々な課題について学びます。 【授業時間外の学修内容】高校や大学の無償化の是非について考えておくこと。	A、G、K	第9回	【テーマ】教育活動の年間の流れと学校評価(ＰＤＣＡ) 【計画内容】学校における一年間の教育活動の流れとＰＤＣＡサイクルに基づく学校評価ついて学びます。 【授業時間外の学修内容】各自の母校の学校教育目標及び学校評価の結果を、学校の Web ページからダウンロードして調べておくとともに、前時に与えられた課題について考えておくこと。	A、G、K
	第2回	【テーマ】子どもの生活の変化を踏まえた指導上の課題と教育施策の動向 【計画内容】本道の子どもの指導上の課題や、戦後の教育施策の動向について学びます。 【授業時間外の学修内容】前時に与えられた課題について考えておくこと。	A、G、K	第10回	【テーマ】学級(ホームルーム)経営の仕組みと効果的な方法 【計画内容】学級の歴史や教育関係法規、学級の特性や機能について学びます。 【授業時間外の学修内容】前回配付した「HOMEWORK シート」を提出すること。また、前時に与えられた課題について考えておくこと。	A、G、K
	第3回	【テーマ】近年の教育政策の動向 【計画内容】前回に引き続き教育施策の動向や、学習指導要領改訂について学びます。 【授業時間外の学修内容】前時に与えられた課題について考えておくこと。	A、G、K	第11回	【テーマ】学校と地域との連携 【計画内容】開かれた学校づくり推進の経緯や地域との連携・協働による学校教育活動の意義・方法について学びます。 【授業時間外の学修内容】前回配付した「HOMEWORK シート」を提出すること。また、前時に与えられた課題について考えておくこと。	A、G、K
	第4回	【テーマ】公教育の原理・理念、法規の基本的知識 【計画内容】公教育の原理・理念や法規の種類・性質について学びます。 【授業時間外の学修内容】前時に与えられた課題について考えておくこと。	A、G、K	第12回	【テーマ】学校安全 【計画内容】学校安全とはどのようなものかについて学びます。 【授業時間外の学修内容】前時に与えられた課題について考えておくこと。	A、G、K
	第5回	【テーマ】公教育制度を構成している教育関係法規(1) 【計画内容】教育には様々な法規があることを学びます。 【授業時間外の学修内容】前時に与えられた課題について考えておくこと。	A、G、K	第13回	【テーマ】学校安全の具体的な取組 【計画内容】学校安全の具体的な取組や、発達段階に応じた学校安全の進め方について学びます。 【授業時間外の学修内容】前時に与えられた課題について考えておくこと。	A、G、K
	第6回	【テーマ】公教育制度を構成している教育関係法規(2) 【計画内容】教科用図書の使用や教職員の服務に関する教育関係法規を学びます。 【授業時間外の学修内容】前時に与えられた課題について考えておくこと。	A、G、K	第14回	【テーマ】危機管理 【計画内容】危機管理の目的や具体的な対応について学びます。 【授業時間外の学修内容】前時に与えられた課題について考えておくこと。	A、G、K
	第7回	【テーマ】教育制度と教育行政 【計画内容】戦後の教育行政の3つの理念や仕組み、教育制度をめぐる諸課題を学びます。 【授業時間外の学修内容】前時に与えられた課題について考えておくこと。	A、G、K	第15回	【テーマ】新たな安全上の課題 【計画内容】学校をとりまく新たな安全上の課題とその対応について学びます。 【授業時間外の学修内容】前時に与えられた課題について考えておくこと。	A、G、K
	第8回	【テーマ】学校経営の望むべき姿 【計画内容】学校経営の望ましい姿とはどのようなことか学びます。 【授業時間外の学修内容】前時に与えられた課題について考えておくこと。	A、G、K			

テキスト	プリントを使用します
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			80%		20%	
	補足			ワークシート			

課題に関するフィードバックの方法	ワークシートの内容を発表してもらい、その内容を講評して学習を深めます。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	高等学校教諭・校長、教育委員会事務局職員(指導主事等)
		科目との関連	高等学校の教諭・校長の経験を生かし、学校経営等の望ましい在り方について具体的な指導します。また、教育委員会事務局職員としての施策立案や学校指導の経験を生かし、学校制度や学校安全等について、具体的に指導する。

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[教]幼・小1種_必修
その他	免許を取得するための重要な科目であるとともに、社会人(保護者)としての教養としても重要であることを意識して、毎時積極的に取り組んでください。

科目名	教育課程論(幼・小)	授業形態	講義	単位数	2
教員名	杉浦　勉				

授業の目的	
ねらい	我が国の学校教育において「社会に開かれた教育課程」が重要視されています。その中でも特に「学校段階等間の連携」が重要な役割を担っているといえます。この連携を促すものが「教育課程」です。教育基本法や学校教育法等の法令など我が国の教育行政の歴史的変遷を中心に理解を深めるとともに、学校教育における「教育課程」編成の意義とその役割の重要性について学びます。また、幼稚園や小学校における今日的な課題を具体的な事例を通して理解し、その解決の方策について考えます。
到達目標	(1)「教育課程」の意義と史的変遷について理解する。 (2)事例を通して学習指導要領の理解を深め、教育課程の作成に取り組むことができる。 (3)「社会に開かれた教育課程」について理解し、子どもの成長や保護者や社会の期待に応える学校づくりについて考える。 (4)教育の質の向上を図る「カリキュラム・マネジメント」の在り方について理解する。

授業の計画						
第1回	【テーマ】今日的な教育課題とこれからの時代に求められる教育の方向性について学び、本講義の見通しをもつ。 【計画内容】「社会に開かれた教育課程」とは何かについて、今日的な教育課題を基に考え、本講義の見通しをもつ。 【授業時間外の学修内容】『幼稚園教育要領解説』(pp.1-8)と『小学校学習指導要領解説 総則編』(pp.1-7)を一読して確認しておくこと。	A、K、L	第9回	【テーマ】授業時数の算出・時間割の弾力的な編成 【計画内容】授業日数、各教科の各学年週当たりの時数、年間行事時数、カット時数、日課表等について理解を深める。 【授業時間外の学修内容】配付した資料を一読して確認しておくこと。	A、K、L
第2回	【テーマ】教育課程の意義と学習指導要領改訂の変遷 【計画内容】現代における日本の教育の流れについて、教育課程の意義と学習指導要領改訂の変遷について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】『小学校学習指導要領解説 総則編』(pp.11-12と pp.146-158)を一読して確認しておくこと。	A、K、L	第10回	【テーマ】教育課程編成上の留意事項と学校段階等間の接続 【計画内容】教育課程編成上の留意事項と学校段階等間の接続について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】『幼稚園教育要領解説』(pp.79-87)と『小学校学習指導要領解説 総則編』(pp.73-75)を一読して確認しておくこと。	A、K、L
第3回	【テーマ】教育課程に関する法制 【計画内容】教育基本法、学校教育法、学校教育施行令、学校教育施行規則等の概要を理解し、それぞれの関係を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】『小学校学習指導要領解説 総則編』(pp.13-16と pp.160-178)を一読して確認しておくこと。	A、K、L	第11回	【テーマ】教育課程の実施 【計画内容】指導計画作成の基本的事項や留意事項、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】『幼稚園教育要領解説』(pp.90-113)、『小学校学習指導要領解説 総則編』(pp.76-92)を一読して確認しておくこと。	A、K、L
第4回	【テーマ】幼稚園教育の役割と基本 【計画内容】幼児期の特性、幼稚園の生活や役割、幼稚園教育の基本について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】『幼稚園教育要領解説』(pp.9-44)を一読して確認しておくこと。	A、K、L	第12回	【テーマ】教育課程の評価 【計画内容】学習評価の充実と幼児理解に基づいた評価の実施について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】『幼稚園教育要領解説』(pp.114-116)と『小学校学習指導要領解説 総則編』(pp.93-95)を一読して確認しておくこと。	A、K、L
第5回	【テーマ】小学校教育の基本 【計画内容】特色ある教育活動の展開、カリキュラム・マネジメントについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】『小学校学習指導要領解説 総則編』(pp.22-43)を一読して確認しておくこと。	A、K、L	第13回	【テーマ】学級経営と特別な配慮を必要とする幼児・児童への指導 【計画内容】幼児・児童の発達を支える指導の充実と特別な配慮を必要とする幼児・児童への指導について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】『幼稚園教育要領解説』(pp117-123)と『小学校学習指導要領解説 総則編』(pp.96-119)を一読して確認しておくこと。	A、K、L
第6回	【テーマ】教育課程の役割 【計画内容】教育課程編成の主体や原則、全体計画について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】『幼稚園教育要領解説』(pp.69-72、p.88)と『小学校学習指導要領解説 総則編』(pp.17-21)を一読して確認しておくこと。	A、K、L	第14回	【テーマ】道徳教育推進上の配慮事項 【計画内容】学校の教育活動全体で行う道徳教育の配慮事項について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】『小学校学習指導要領解説 総則編』(pp.128-145)を一読して確認しておくこと。	A、K、L
第7回	【テーマ】教育課程の編成と教育目標 【計画内容】教育課程編成の手順と幼稚園、学校の教育目標の重要性について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】『幼稚園教育要領解説』(pp.73-77)と『小学校学習指導要領解説 総則編』(pp.43-52)を一読して確認しておくこと。	A、K、L	第15回	【テーマ】教育課程の改善 【計画内容】幼稚園と小学校の運営上の留意事項について学ぶ 【授業時間外の学修内容】『幼稚園教育要領解説』(pp.124-130)と『小学校学習指導要領解説 総則編』(pp.120-127)を一読して確認しておくこと。	A、K、L
第8回	【テーマ】教育課程の編成における基本的事項と共通的事項 【計画内容】幼稚園における教育課程編成の基本的事項と小学校における教育課程編成の共通的事項について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること(中間レポート)。『幼稚園教育要領解説』(pp.74-78)と『小学校学習指導要領解説 総則編』(pp.53-72)を一読して確認しておくこと。	A、K、L			

テキスト	文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領解説 総則編』、東洋館出版社、9784491034614 文部科学省、2018年、『幼稚園教育要領解説』、フレーベル館、9784577814475
参考書	文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領解説 特別の教科道徳編』、廣済堂あかつき、9784491023762

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	30%		70%			
	補足	レポート		レポート・学習記録ノート			

課題に関するフィードバックの方法	第15回で中間レポートを返却し、学んだ内容を振り返りながら講評をします。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	小学校教諭
		科目との関連	小学校教諭としての業務経験をもとに実務に即した指導を行う。

質問への対応	常時研究室にて対応します。 講義の振り返りの記述については、次回の講義初め(10分)に説明します。
資格	[教]幼・小1種_必修
その他	特色ある教育課程を各学校で作成する際、学校教育おける今日的な課題について日頃から興味と関心をもち続けることが大切です。事例を通して課題解決の方策を考え、教育課程編成の意義を議論しながら学び合うことを期待します。

科目名	教育方法論(情報機器・教材活用を含む)(幼・小)	授業形態	講義	単位数	2

教員名	西出　勉、横山　光	
授業の目的	ねらい	本講義では、幼稚園教育と小学校教育を比較しながら、効果的に保育や授業を進めるための様々な教育方法等について学びます。幼稚園教育要領と小学校学習指導要領について理解し、保育及び授業の指導計画の作成や教材研究(ICT の効果的な活用を含む)、子ども理解と評価、教師の具体的なかかわり方等について、保育・学習指導案の作成等を通して教育・保育方法の視点から実践的に学んでいきます。
	到達目標	(1)幼稚園教育要領や小学校学習指導要領の内容について理解することができる。 (2)指導計画の作成や教材研究(ICT の効果的な活用を含む)、子ども理解に基づく評価について理解することができる。 (3)保育や授業の進め方、教師のかかわり方について理解することができる。 (4)保育の指導案や学習指導案の作成等を行い、振り返ることができる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】保育や授業の進め方、教育方法(保育方法)に関する基本的な概念等について説明します。(西出勉・横山光) 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で学びたいことを整理して、関連する資料を調べておく。	A	第9回	【テーマ】保育と学習指導　⑤ 【計画内容】幼稚園教育における評価の考え方(幼児理解に基づく評価)について学びます。(横山光) 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読んでおくこと。	A、K
	第2回	【テーマ】幼稚園教育要領と小学校学習指導要領　① 【計画内容】幼稚園教育と小学校教育の基本と育成したい資質能力について学びます。(西出勉) 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読んでおくこと。	A	第10回	【テーマ】保育と学習指導　⑥ 【計画内容】小学校教育における学習評価について学びます。(西出勉・横山光) 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読んでおくこと。	A、H、K
	第3回	【テーマ】幼稚園教育要領と小学校学習指導要領　② 【計画内容】幼稚園教育と小学校教育の教育課程の役割と編成について学びます。(西出勉) 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読んでおくこと。	A	第11回	【テーマ】保育と学習指導案の作成　① 【計画内容】幼稚園における指導計画の作成と評価について学びます。(西出勉・横山光) 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読んでおくこと。	F、H、K、L
	第4回	【テーマ】幼稚園教育要領と小学校学習指導要領　③ 【計画内容】幼稚園教育と小学校教育の指導計画の作成等について学びます。(西出勉) 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読んでおくこと。	A、K	第12回	【テーマ】保育と学習指導案の作成　② 【計画内容】小学校における指導計画の作成と評価について学びます。(西出勉・横山光) 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読んでおくこと。	F、H、K、L
	第5回	【テーマ】保育と学習指導　①【学びの過程】 【計画内容】問題解決的学習と系統学習について学びます。(横山光) 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読んでおくこと。	A、K	第13回	【テーマ】保育と学習指導案の作成　③ 【計画内容】作成した指導計画(保育の指導案等)をもとに検討・協議を行い、保育・授業改善の視点について学びます。(西出勉・横山光) 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読んでおくこと。	F、H、K、L
	第6回	【テーマ】保育と学習指導　②【学びの形態：個人、グループ、学級全体】 【計画内容】保育形態と学習形態について学びます。(西出勉) 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読んでおくこと。	A、H、K	第14回	【テーマ】保育と学習指導案の作成　④ 【計画内容】作成した指導計画(学習指導案等)をもとに検討・協議を行い、保育・授業改善の視点について学びます。(西出勉) 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読んでおくこと。	F、H、K、L
	第7回	【テーマ】保育と学習指導　③ 【計画内容】幼稚園教育や小学校教育における教材研究(ICT の効果的な活用を含む)について学びます。(横山光) 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読んでおくこと。	F、H、K	第15回	【テーマ】講義のまとめと振り返り 【計画内容】幼稚園及び小学校における教育(保育)方法等についてまとめ、これまでの学びを振り返ります。(西出勉・横山光) 【授業時間外の学修内容】これまで配付したプリントを振り返り、内容を再確認すること。	A、G、L
	第8回	【テーマ】保育と学習指導　④ 【計画内容】教育評価に関する基本的な考え方について学びます。(横山光) 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読んでおくこと。	A、K			

テキスト	プリントを使用します
参考書	文部科学省、2018年、『幼稚園教育要領解説　平成30年3月』、フレーベル館 文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領(平成29年告示)解説総則編　平成29年7月』、東洋館出版

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			70%		30%	
	補足			レポート			

課題に関するフィードバックの方法	レポート等を返却し、学んだ内容を振り返りながら講評します。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	西出勉／小学校教諭、横山光／小学校教諭、中学校教諭
		科目との関連	西出勉／小学校教諭としての業務経験をもとに、実務に即した指導を行う。横山光／小学校教諭、中学校教諭としての業務経験をもとに、実務に即した指導を行う。

質問への対応	初回講義時に、具体的に説明します。
資格	[教]幼・小1種_必修
その他	

科目名	教育相談論(カウンセリングを含む)(幼・小)	授業形態	講義	単位数	2

教員名	三浦　公裕

授業の目的	
ねらい	現在、学校では多くの教員が、いじめ、不登校、虐待など、児童生徒の生命・健康に関わる問題に直面し、その対応に苦慮している。そのため、教師には、カウンセリングの意義、理論や技法に関する基礎的知識をもち、児童生徒をより深く理解し、適切に接することやカウンセラーや専門機関と円滑に連携し、組織的に対応することが求められている。本講義では、教師としての教育相談の資質を身につけることと、保護者との相談の実際や専門家との連携のあり方について理解を深めることを目的とする。
到達目標	(1)子供たちが自己理解を深め好ましい人間関係を築くための目的や方法について理解し支援することができる。 (2)教育相談の基本的な知識(カウンセリングの意義や理論)や技法を身につけることができる。 (3)児童生徒に生起する諸問題の背景についての理解とその対応策を考えることができる。

授業の計画						
第1回	【テーマ】オリエンテーション　教育相談・カウンセリング・心理療法の理解 【計画内容】授業のすすめ方及び教育相談の意義や基本的な事柄について理解する。 【授業時間外の学修内容】生徒指導提要第5章 pp.92を読み、教育相談の意義や特質について深めておくこと。	A、L	第9回	【テーマ】教育相談・カウンセリングと事例研究・校内研修のすすめ方 【計画内容】学校において実施する事例研究のすすめ方について理解する。 【授業時間外の学修内容】心理教育的援助サービスとは具体的にどのようなことかを調べる。	L
第2回	【テーマ】学校における教育相談・カウンセリングの意義と役割 【計画内容】児童生徒への接し方、保護者への対応などの基本的考えや方法について理解する。 【授業時間外の学修内容】日常生活で見せる子どもたちの様々なサインの意味を考える。	A、L	第10回	【テーマ】いじめの発生メカニズムの理解と対応(含む専門機関との連携) 【計画内容】いじめ問題の構造とその予防について理解するとともに専門機関との連携について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】過去に発生したいじめ問題について事前に調べておく。	A、L
第3回	【テーマ】学校における教育相談・カウンセリングの基本的な理論 【計画内容】コーヒーカップ方式、マイクロカウンセリングの関わり技法、傾聴技法について理解する。 【授業時間外の学修内容】アイビ、カーカフの人物、考え方を事前に学習する。	A、L	第11回	【テーマ】不登校問題発生のメカニズムの理解と対応(含む専門機関との連携) 【計画内容】学校不適応がおこる背景とその対応について理解するとともに専門機関との連携について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】不登校の状況について事前に確認する。	H、L
第4回	【テーマ】学校における教育相談・カウンセリングの実際的方法 【計画内容】授業、学級経営に教育相談の考えを生かす方法について理解する。 【授業時間外の学修内容】教育相談の考えを授業に生かす具体的方法について事前に考える。	H、L	第12回	【テーマ】学校で活用できるカウンセリングの理論(1) 【計画内容】人間性中心療法の理論と方法について理解する。 【授業時間外の学修内容】ロジャースの考え方、カウンセリング・マインドについて事前学習する。	K、L
第5回	【テーマ】学級担任の行う教育相談・カウンセリングの具体的方法 【計画内容】児童理解の方法、個別面接のすすめ方、エンカウンターなどの方法について理解する。 【授業時間外の学修内容】児童を多面的に理解する方法、面接のすすめ方を事前に学習する。	L	第13回	【テーマ】学校で活用できるカウンセリングの理論(2) 【計画内容】精神分析療法、フロイトの心の構造理論について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】同一視、及びエディプスコンプレックスなどフロイトの考えを事前学習する。	K、L
第6回	【テーマ】自己理解と学級雰囲気の理解と教育相談・カウンセリング 【計画内容】エゴグラム、Q-U の実際と活用方法について理解する。 【授業時間外の学修内容】エゴグラム、Q-U について事前学習する。	A、L	第14回	【テーマ】学校で活用できるカウンセリングの理論(3) 【計画内容】交流分析・ゲシュタルトの理論の理解する。 【授業時間外の学修内容】フロイトの心の構造と交流分析の関係を事前学習する。	K、L
第7回	【テーマ】教育活動と教育相談・カウンセリング 【計画内容】授業及び学校行事等で教育相談の考えを生かす方法について理解する。 【授業時間外の学修内容】「親和的風土」「自己決定」「共感的理解」の言葉の意味を事前に調べる。	A、L	第15回	【テーマ】学校で活用できるカウンセリングの理論(4)及びまとめと確認 【計画内容】問題解決志向ブリーフセラピーの理論と方法について理解する。 【授業時間外の学修内容】ブリーフセラピーの基本的内容を事前学習する。	K、L
第8回	【テーマ】校内体制と教育相談室の活用と運営(含む保護者に対する相談) 【計画内容】スクールカウンセラー、教育相談員、相談室担当教員との連携の在り方について理解する。 【授業時間外の学修内容】スクールカウンセラーの役割と教師の役割について事前に学習する。	L			

テキスト	プリントを配付する
参考書	藤田哲也他、2017年、『絶対役立つ 教育相談』、ミネルヴァ書房、978623081097 文部科学省、『幼稚園教育要領』 文部科学省、『小学校学習指導要領』

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	20%				60%	20%
補足					ワークシート作成	発表

課題に関するフィードバックの方法	ワークシートを返却し、学んだ内容や疑問点について考察するとともに、グループ討議や全体の場において意見交流を行う。

実務経験と授業の関連	該当	経験内容	公立学校スクールカウンセラー 教育相談及び特別支援教育コーディネーター
		科目との関連	学校心理士・教育カウンセラーとしての研修及び業務経験をもとに実践的な指導を行う。

質問への対応	440研究室にて対応する
資格	[教]幼・小1種_必修
その他	各回の講義後半に、次回講義のテーマを紹介することで事前学習を促す。 小グループによる演習(ロールプレイ等)を行う。 各自作成したレポートを返却し、学んだ内容を個人やグループで振り返り、まとめの講評を行う。

科目名	教育実習事後指導(幼・小)	授業形態	講義	単位数	1
教員名	二宮　孝行、礒島　年成、山崎　正明、伏見　千悦子				
授業の目的	ねらい	幼稚園・小学校の希望校種ごとに、教育現場で教師の立場に立って教育実習を体験することにより、教職とその素晴らしさを理解し、教員としての資質や能力を身に付けます。そしてさらに、教師としての資質の向上に向けて、より意欲的に研修する態度を身に付けます。			
	到達目標	(1)教育実習を体験することで、教職の素晴らしさと責任感が実感できる。 (2)教員としての資質や能力を身に付けることができる。 (3)教師としての望ましい生き方を学ぶ。			
授業の計画	【計画内容】 ○実習期間と実習時期 ・実習期間は幼稚園3週間、小学校4週間(土、日は除く)、8～9月の期間を基本とするが、実習園・校の事情により異なることがある。 ○実習園・校 ・幼稚園 : 出身地、居住地での幼稚園で実習することを原則とする。 札幌市立幼稚園は市教育委員会と園長会の協議により決定される。 ・小学校 : 江別市、札幌市、小樽市の小学校で実習することを原則とする。 札幌市、江別市、小樽市は、各市の教育委員会と校長会との協議により決定される。 ○実習内容1(各実習先の実情にあわせて実施) ・各実習園・校教諭による講義の受講。 ・校長、園長、教頭、主任、教諭等による学校経営、校務分掌、教科指導、生徒指導等の講義。 ○実習内容2 ・授業実践、遊び、給食指導、清掃指導の実践。 ・その他、教員(実習生)としての園・学校行事への参加。 ○実習内容3 ・研究授業の準備と研究授業の実践。 ・学科教員による訪問指導。 ○実習内容のまとめ ・実習日誌、学習指導案、報告書等。 ・実習園・校への謝意表明(礼状の作成と送付)。 ○教育実習オリエンテーション ①教育実習に臨むに当たって。 ②既実習者の報告。 ③教育実習で実践したいこと(調査票)。 【授業時間外の学修内容】教育実習を終えての具体的な自己課題を持つこと。				A、B、F、H
テキスト	講義時に説明します				
参考書	北翔大学・北翔大学短期大学部、『教育実習の手引き』 文部科学省、『幼稚園教育要領』 文部科学省、『小学校学習指導要領』				

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分				10%		90%
	補足				実習日誌他		実習・報告会等

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	二宮孝行・礒島年成／幼稚園・小学校教諭
		科目との関連	二宮孝行・礒島年成／幼稚園・小学校教諭の経験を生かした指導

質問への対応	講義の始めに説明します
資格	[教]幼・小1種_必修
その他	幼稚園や小学校で行った教育実習の成果や課題について整理する。また、研究授業等の反省会で明確になった自己の教育方法、技術等の課題についても整理する。さらに、今後、大学生活で課題となる学習内容等について見通しを持てるようにする。

科目名	教育実習(幼・小)	授業形態	実習	単位数	4
教員名	二宮　孝行、礒島　年成、山崎　正明、伏見　千悦子				
授業の目的	ねらい	幼稚園・小学校の希望校種ごとに、教育現場で教師の立場に立って教育実習を体験することにより、教職とその素晴らしさを理解し、教員としての資質や能力を身に付けます。そしてさらに、教師としての資質の向上に向けて、より意欲的に研修する態度を身に付けます。			
	到達目標	(1)教育実習を体験することで、教職の素晴らしさと責任感が実感できる。 (2)教員としての資質や能力を身に付けることができる。 (3)教師としての望ましい生き方を学ぶ。			
授業の計画	【計画内容】 ○実習期間と実習時期 ・実習期間は幼稚園3週間、小学校4週間(土、日は除く)、8～9月の期間を基本とするが、実習園・校の事情により異なることがある。 ○実習園・校 ・幼稚園 : 出身地、居住地での幼稚園で実習することを原則とする。 札幌市立幼稚園は市教育委員会と園長会の協議により決定される。 ・小学校 : 江別市、札幌市、小樽市の小学校で実習することを原則とする。 札幌市、江別市、小樽市は、各市の教育委員会と校長会との協議により決定される。 ○実習内容1(各実習先の実情にあわせて実施) ・各実習園・校教諭による講義の受講。 ・校長、園長、教頭、主任、教諭等による学校経営、校務分掌、教科指導、生徒指導等の講義。 ○実習内容2 ・授業実践、遊び、給食指導、清掃指導の実践。 ・その他、教員(実習生)としての園・学校行事への参加。 ○実習内容3 ・研究授業の準備と研究授業の実践。 ・学科教員による訪問指導。 ○実習内容のまとめ ・実習日誌、学習指導案、報告書等。 ・実習園・校への謝意表明(礼状の作成と送付)。 ○教育実習オリエンテーション ①教育実習に臨むに当たって。 ②既実習者の報告。 ③教育実習で実践したいこと(調査票)。 【授業時間外の学修内容】教育実習に向けての具体的な自己課題を持つこと。				D
テキスト	講義時に説明します				
参考書	北翔大学・北翔大学短期大学部、『教育実習の手引き』 文部科学省、『幼稚園教育要領』 文部科学省、『小学校学習指導要領』				

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分					30%	70%
補足					実習日誌他 提出書類	実習等

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連	該当	経験内容	二宮孝行・礒島年成／幼稚園・小学校教諭
		科目との関連	二宮孝行・礒島年成／幼稚園・小学校教諭の経験を生かした指導

質問への対応	講義の始め(実習オリエンテーション時)に説明します。
資格	[教]幼・小1種_必修
その他	教育実習前に、教職に関わる科目等の必修単位を前年度までに修得(『教職課程履修の手引き』を参照)することが必要です。但し、本人の服装・態度、学ぶ謙虚な姿勢、学力、その他の点で教師として適格性を欠くと認められる場合は、教育実習の履修の取り消しまたは停止とします。教育実習では、大学での「出席」から実習園・校での「勤務」となります。 教科指導のための子どもたちに対する理解や熱意溢れる教材研究、また、積極的に子どもたちと活動を共にしての指導などが、毎日の実習の中に求められます。そこで、子どもたちを指導する責任を自覚しながら、教師として明るく、真摯に学ぶ勤務態度で、自ら貴重な体験とすることを期待します。

科目名	国語科指導法Ⅲ	授業形態	講義	単位数	2
教員名	二宮　孝行				

授業の目的		
	ねらい	「国語科指導法Ⅰ・Ⅱ」において学修した内容を踏まえて、小学校における国語科の位置付けや意義、目標や内容について理解を深め、国語科授業のあり方を探究します。関連単元における言葉の理解力や表現法などの指導原理を深く理解するとともに、自らの指導力を磨きます。すべての教科目の基礎となる科目であることを理解し、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう、人間性等」3つの柱についてさらなる理解を深め、教材研究を基盤とした、指導する力を身に付けることが目的です。
	到達目標	(1)国語科の位置付けや目的、内容、意義について理解を深めることができる。 (2)学習指導要領・国語科の骨子を理解し、指導上必要な力を身に付けることができる。 (3)日本語の文字表記ならびに国語力について深く理解し、指導上必要な力を身に付けることができる。 (4)漢字指導、書写指導について、指導上必要な力を身に付けることができる。 (5)国語科における言語活動について深く理解し、指導上必要な力を身に付けることができる。

授業の計画						
第1回	【テーマ】オリエンテーション(母国語の能力について) 【計画内容】オリエンテーションとして、授業の全体計画や進め方、評価方法等の説明をします。改めて、国語科について理解し、自身の国語への意識、言葉への意識を振り返り、考察の結果を共有します。 【授業時間外の学修内容】シラバスに目を通しておくこと。国語に対する自身の印象を整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】「読むこと」の模擬授業1 【計画内容】文章を正しく理解する力、読解力について考え、読み方、読書の意義について探求し、指導法を学びます。 【授業時間外の学修内容】『小学校学習指導要領解説』第3章に目を通しておくこと。	A、B、H
第2回	【テーマ】学習指導要領について1 【計画内容】小学校学習指導要領国語科の目標と構成を理解し、各学年の指導の特質を含めて骨組みについて理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】『小学校学習指導要領解説』第1章に目を通しておくこと。	A、B	第10回	【テーマ】「読むこと」の模擬授業2 【計画内容】物語文を教材にして、教材研究を深めるとともに、想像力や場面把握力を高める授業展開について探究し、指導法を学びます。 【授業時間外の学修内容】『小学校学習指導要領解説』第3章に目を通しておくこと。	A、B、H
第3回	【テーマ】学習指導要領について2 【計画内容】学習指導要領を深く理解し、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう、人間性等」3つの柱について理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】『小学校学習指導要領解説』第2章(特に第2節)に目を通しておくこと。	A、B	第11回	【テーマ】「読むこと」の模擬授業3 【計画内容】説明文を教材にして、教材研究を深めるとともに、論理的思考力を高める授業展開について探究し、指導法を学びます。 【授業時間外の学修内容】『小学校学習指導要領解説』第3章に目を通しておくこと。	A、B、H
第4回	【テーマ】指導案作成について1 【計画内容】素材研究、教材研究、指導法研究について理解を深め、様々な形式の指導案に触れ、その特徴等について学び、学習指導案作成につなげていきます。 【授業時間外の学修内容】「国語科指導法Ⅰ・Ⅱ」で配付され、また、自身が作成した国語科学習指導案に目を通しておくこと。	A、B	第12回	【テーマ】書写の指導1 【計画内容】日本の文字、漢字文化について、理解を深めるとともに、教材研究、授業展開について探究し、指導法を学びます。 【授業時間外の学修内容】筆記具の正しい持ち方を確認しておくこと。	A、B、E、H
第5回	【テーマ】指導案作成について2 【計画内容】素材研究、教材研究、指導法研究について理解を深め、学習指導案作成につなげていきます。 【授業時間外の学修内容】模擬授業に向け、指導案の大まかな枠組みと授業の流れをイメージしておくこと。	A、B、H	第13回	【テーマ】書写の指導2 【計画内容】毛筆書写に関する文化的特長について理解を深めるとともに、教材研究、授業展開について探究し、指導法を学びます。 【授業時間外の学修内容】毛筆書写指導の効果的な準備、後始末の方法について各自考えておくこと。	A、B、E、H
第6回	【テーマ】言語活動について(アクティブ・ラーニングの活用) 【計画内容】「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」における一連の言語活動について、授業展開、指導方法を学び合います。 【授業時間外の学修内容】『小学校学習指導要領解説』第2章第2節に目を通しておくこと。	A、B、H	第14回	【テーマ】「我が国の言語文化に関する事項」の指導1 【計画内容】伝統的な言語文化の指導について、系統性や意義、特長の理解を深めるとともに、指導法を学び合います。 【授業時間外の学修内容】『小学校学習指導要領解説』第2章第2節に目を通しておくこと。	A、B、H
第7回	【テーマ】「話すこと・聞くこと」の模擬授業 【計画内容】話すこと・聞くことの言語活動について、理解を深めるとともに授業展開について学びます。 【授業時間外の学修内容】『小学校学習指導要領解説』第3章に目を通しておくこと。	A、B、H	第15回	【テーマ】「我が国の言語文化に関する事項」の指導2 【計画内容】読書指導について理解し、指導法を学び合います。 【授業時間外の学修内容】『小学校学習指導要領解説』第2章第2節に目を通しておくこと。	A、B、H
第8回	【テーマ】「書くこと」の模擬授業 【計画内容】書くことの言語活動について、理解を深めるとともに授業展開について学びます。 【授業時間外の学修内容】『小学校学習指導要領解説』第3章に目を通しておくこと。	A、B、H			

テキスト	2020年、『五年　銀河』、光村図書出版
参考書	文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領解説　国語編』、株式会社東洋館出版社

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			30%	10%	40%	20%
補足			レポート・指導案等	書写作品	積極的発言等	模擬授業

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	小学校教諭
		科目との関連	小学校教諭の経験を生かした国語科指導を教授する。

質問への対応	講義終了後に受け付ける。回答は次時の冒頭に全体に説明するか、あるいは終了後に質問者に直接行う。
資格	[教]小1種_選択
その他	「国語科指導法Ⅱ」を履修済みであることが望ましい。

科目名	社会科指導法Ⅱ	授業形態	講義	単位数	2
教員名	礒島　年成、中川　洋一				

授業の目的

ねらい	「社会科指導法Ⅰ」で身に付けた社会科に関する基礎的な指導技術を踏まえ、児童の発達に沿った学習活動を考え、問題解決的な学習の模擬授業を重ねて、指導技術を身に付けていきます。また、アクティブラーニングを積極的に取り入れ、授業づくりの課題解決を図ります。
到達目標	(1)児童の発達を踏まえた学習活動を考えて、学習指導案をつくることができる。 (2)児童の興味関心を高める学習問題をつくり、多様な方法で追求する社会科授業を考えることができる。 (3)小学校の社会科授業に必要な指導技術を身に付けることができる。

授業の計画

第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】授業のねらい、到達目標、指導計画、成績評価方法、参考書などについて説明します。(中川洋一) 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で学びたいことを整理して、関連する資料を調べておく。	A	第9回	【テーマ】模擬授業(1):5年 【計画内容】我が国における社会的事象に関心をもち、意欲的に問題を追求していく授業展開の在り方について学びます。(礒島年成) 【授業時間外の学修内容】配付した指導案を読み、自分なりのイメージや考えをもつこと。	F、H
第2回	【テーマ】学習指導要領における社会科の位置付けと内容の特徴 【計画内容】学習指導要領と小学校社会科カリキュラム、指導案等を比較しながら、社会科指導のポイントについて学習します。(中川洋一) 【授業時間外の学修内容】テキストの指定した箇所を読んでおくこと。	A	第10回	【テーマ】模擬授業(2):6年 【計画内容】先人の業績や優れた文化遺産、政治のはたらきや考え方について理解を深める授業展開の在り方について学びます。(礒島年成) 【授業時間外の学修内容】配付した指導案を読み、自分なりのイメージや考えをもつこと。	F、H
第3回	【テーマ】社会科の基本と授業づくり(1) 【計画内容】社会科学習の基本となることと典型的な授業スタイルを学びます。(中川洋一) 【授業時間外の学修内容】配付した資料を読んでおくこと。	A、J	第11回	【テーマ】模擬授業(3):3･4年 【計画内容】地域の産業や消費生活の様子から工夫や努力に気付く授業展開の在り方を学びます。(礒島年成) 【授業時間外の学修内容】配付した指導案を読み、自分なりのイメージや考えをもつこと。	F、H
第4回	【テーマ】社会科の基本と授業づくり(2) 【計画内容】子どもが問題を発見できる授業づくりについて、授業の具体例を参考にしながら学びます。(中川洋一) 【授業時間外の学修内容】配付した資料を読んでおくこと。	A、J	第12回	【テーマ】模擬授業(4):3･4年 【計画内容】地域の特色や相互の関連について、考え、表現する授業展開の在り方について学びます。(礒島年成) 【授業時間外の学修内容】配付した指導案を読み、自分なりのイメージや考えをもつこと。	F、H
第5回	【テーマ】学習指導案づくり(1) 【計画内容】学習指導案を作成する際に、年間指導計画を想定したうえで、指導計画を立てることの大切さを学びます。(中川洋一) 【授業時間外の学修内容】テキストの指定した箇所を読んでおくこと。	A、H	第13回	【テーマ】模擬授業(5):5年 【計画内容】我が国の社会的事象の意味について考えたことを適切に表現する授業展開の在り方について学びます。(礒島年成) 【授業時間外の学修内容】配付した指導案を読み、自分なりのイメージや考えをもつこと。	F、H
第6回	【テーマ】学習指導案づくり(2) 【計画内容】児童の発達に基づいて本時の目標を設定し、どのような活動を通して目標に迫っていくかについて学びます。(中川洋一) 【授業時間外の学修内容】配付した資料を読んでおくこと。	A、H	第14回	【テーマ】まとめと整理 【計画内容】5回の模擬授業を通して学んだことを基に学習指導案を見直し、構成し直します。(礒島年成) 【授業時間外の学修内容】今までのノートを読み直し、整理しておくこと。	H、J
第7回	【テーマ】学習指導案づくり(3) 【計画内容】発問や指示、児童の活動、教材の工夫等、授業の展開に沿い、具体的に学びます。(中川洋一) 【授業時間外の学修内容】本時で必要となる教材資料を探しておくこと。	A、H	第15回	【テーマ】先輩の授業に学ぶ 【計画内容】先輩の授業を視聴し、自分たちの模擬授業と比べながら、社会科の授業づくり、指導法について学びます。(礒島年成) 【授業時間外の学修内容】配付した指導案を読み、教材について調べておくこと。	G、K、L
第8回	【テーマ】学習指導案づくり(4) 【計画内容】予想される板書計画に沿って、より具体的に授業の展開を吟味していきます。(中川洋一) 【授業時間外の学修内容】学習指導案を見直しておくこと。	A、H			

テキスト	文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領解説 社会編』、東洋館出版社
参考書	プリントを使用します

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分		30%	30%	30%		10%
補足		模擬授業	レポート	指導案		作品制作

課題に関するフィードバックの方法	第15回で中間レポートを返却し、学んだ内容を振り返りながら講評をします。

実務経験と授業の関連	該当	経験内容	礒島年成･中川洋一／小学校教諭
		科目との関連	礒島年成･中川洋一／小学校教諭としての業務経験をもとに実務に即した指導を行う。

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します
資格	[教]小1種_選択
その他	「社会科指導法Ⅰ」を履修済みであることが望ましい。

科目名	社会科指導法Ⅲ	授業形態	講義	単位数	2
教員名	礒島　年成、中川　洋一				

授業の目的		
	ねらい	小学校における社会科指導のポイントを理解し、年間計画作成や教材開発などの具体的な方法について学びます。第3、4学年の指導では、地域社会に関する内容、第5学年の指導では我が国の国土と産業に関する内容、第6学年の指導では我が国の歴史と政治、国際理解に関する内容が中心ですが、それらの指導事例を基に学んでいきます。また、生活科や総合的な学習への関連についても学びます。
	到達目標	(1)小学校における社会科指導のポイントについて理解できる。 (2)社会科の各地域における教材開発、資料活用、資料作成の方策について理解できる。 (3)生活科、総合的な学習の時間などの教育活動との関連について理解できる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】授業の展開や目標、評価方法などについて説明します。また、学習上のきまりについてもお話しします。(中川洋一) 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で学びたいことを整理して、関連する資料を調べておく。	A	第9回	【テーマ】我が国の国土と産業に関する学習の指導(2) 【計画内容】具体的な指導事例をもとにグループごとに学習活動を考え、相互交流し合って学びを深めます。(礒島年成) 【授業時間外の学修内容】前時に作成した各自の学習活動の構想について再確認しておくこと。	H、F
	第2回	【テーマ】社会科指導のポイント(1):日本の国土と自然環境 【計画内容】日本の国土と世界の中の日本、日本の自然環境、日本の人口と都市化など社会科指導の基本となる事柄について学びます。(中川洋一) 【授業時間外の学修内容】配付した資料を読んでおくこと。	A	第10回	【テーマ】我が国の歴史に関する学習の指導(1) 【計画内容】授業づくりに当たって教材開発のポイントなどについて学び、その後各自が授業の構想を立てます。(礒島年成) 【授業時間外の学修内容】配付した資料を読んでおくこと。	H、F
	第3回	【テーマ】社会科指導のポイント(2):指導内容と事例 【計画内容】各学年の指導内容にかかわる要点を、具体的事例をもとにいくつかのポイントに絞って学びます。(中川洋一) 【授業時間外の学修内容】配付した資料を読んでおくこと。	A	第11回	【テーマ】我が国の歴史に関する学習の指導(2) 【計画内容】具体的な指導事例をもとにグループごとに学習活動を考え、相互交流し合って学びを深めます。(礒島年成) 【授業時間外の学修内容】前時に作成した各自の学習活動の構想について再確認しておくこと。	H、F
	第4回	【テーマ】社会科指導のポイント(3):指導方法と事例 【計画内容】指導方法にかかわる要点を、具体的事例をもとにいくつかのポイントに絞って学びます。(中川洋一) 【授業時間外の学修内容】配付した資料を読んでおくこと。	A、J	第12回	【テーマ】国際理解に関する学習の指導(1) 【計画内容】授業づくりに当たって教材開発のポイントなどについて学び、その後各自が授業の構想を立てます。(礒島年成) 【授業時間外の学修内容】配付した資料を読んでおくこと。	H、F
	第5回	【テーマ】年間指導計画作成のポイント 【計画内容】学年別年間指導計画例をもとに、年間指導計画作成の考え方と手順を学びます。(中川洋一) 【授業時間外の学修内容】配付した資料を読んでおくこと。	A、J	第13回	【テーマ】国際理解に関する学習の指導(2) 【計画内容】具体的な指導事例をもとにグループごとに学習活動を考え、相互交流し合って学びを深めます。(礒島年成) 【授業時間外の学修内容】前時に作成した各自の学習活動の構想について再確認しておくこと。	H、F
	第6回	【テーマ】地域社会に関する学習の指導(1) 【計画内容】授業づくりに当たって教材開発のポイントなどについて学び、その後各自が授業の構想を立てます。(中川洋一) 【授業時間外の学修内容】配付した資料を読んでおくこと。	H、J	第14回	【テーマ】生活科や総合的な学習の時間などとの関連について学ぶ 【計画内容】それぞれの教科等の目標などから、関連性や違いを調べるとともに、中学校にどうつながっていくのかについても学びます。(礒島年成) 【授業時間外の学修内容】配付した資料を読んでおくこと。	A、J、K
	第7回	【テーマ】地域社会に関する学習の指導(2) 【計画内容】具体的な指導事例をもとにグループごとに学習活動を考え、相互交流し合って学びを深めます。(中川洋一) 【授業時間外の学修内容】前時に作成した各自の学習活動の構想について再確認しておくこと。	H	第15回	【テーマ】先輩の授業実践に学ぶ 【計画内容】先輩教諭の授業実践を視聴して、問題解決的な授業展開の在り方について学びます。(礒島年成) 【授業時間外の学修内容】授業場面について自分なりの構想をもっていること。	Q、J
	第8回	【テーマ】我が国の国土と産業に関する学習の指導(1) 【計画内容】授業づくりに当たって教材開発のポイントなどについて学び、その後各自が授業の構想を立てます。(中川洋一) 【授業時間外の学修内容】配付した資料を読んでおくこと。	H			

テキスト	文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領解説　社会編』、東洋館出版社
参考書	プリントを使用します

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分		30%	30%	30%		10%
補足		模擬授業	レポート	指導案		制作作品

課題に関するフィードバックの方法	第15回で中間レポートを返却し、学んだ内容を振り返りながら講評をします。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	礒島年成・中川洋一／小学校教諭
		科目との関連	礒島年成・中川洋一／小学校教諭としての業務経験をもとに実務に即した指導を行う。

質問への対応	初回講義時に具体的に紹介します。
資格	[教]小1種_選択
その他	「社会科概論」「社会科指導法Ⅰ」を履修済みであることが望ましい。 場合によっては、札幌市内小学校の研究授業の参観に出かけます。

科目名	算数科指導法Ⅲ	授業形態	講義	単位数	2
教員名	三浦　公裕				

授業の目的	
ねらい	小学校算数科と中学校以降の数学科の接続について検討し、数学の体系について学ぶ。道内の小学校や中学校で使用されている教科書の内容と学習指導要領の内容の関連を捉えることで、数学的活動を取り入れた望ましい算数科指導のあり方を探る。小集団グループによる教材研究や研究協議を通して算数科教育についての理解を深める。
到達目標	(1)算数科における今日的な課題について理解し、その改善に努めている。 (2)小学校算数科の内容を体系的に見つめ直し、指導事項について理解を深めている。 (3)子供の数学的活動について、数学的な価値を理解し、授業に生かしている。 (4)算数の内容を中高の数学へ接続の意義を十分に理解し、数学の楽しさと有効性を理解している。 (5)おもしろ算数教室(地域活動)の計画・実践・評価を意欲的に取り組もうとしている。

授業の計画						
第1回	【テーマ】算数・数学における内容の体系とは何か。 【計画内容】「算数科概論」や「算数科指導法Ⅰ・Ⅱ」との内容の違い、指導事項の関連を概観する。 【授業時間外の学修内容】指定のテキスト第2章 pp.21-29を読み、算数科の目標や内容について深めておくこと。	A、B	第9回	【テーマ】D 領域「データの活用」の体系化2 【計画内容】「データの活用」における目標と内容を理解し、具体的な問題を通して考えを深める。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した課題に取り組む。	A、B
第2回	【テーマ】A 領域「数と計算」の体系化1 【計画内容】「数と計算」における小学校算数と中学校数学の接続のあり方とその留意点について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した課題に取り組む。	A、B	第10回	【テーマ】A 領域「数と計算」と中学校数学との関連1 【計画内容】中学校数学の「数と計算」の学習を通して、算数教育の役割について考える。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した課題に取り組む。	A、B
第3回	【テーマ】A 領域「数と計算」の体系化2 【計画内容】「数と計算」における目標と内容を理解し、具体的な問題を通して考えを深める。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した課題に取り組む。	A、B	第11回	【テーマ】A 領域「数と計算」と中学校数学との関連2 【計画内容】中学校数学の「文字式や方程式」の学習を通して、算数教育の役割について考える。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した課題に取り組む。	A、B
第4回	【テーマ】B 領域「図形」の体系化1 【計画内容】「図形」における小学校算数と中学校数学の接続のあり方とその留意点について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した課題に取り組む。	A、B	第12回	【テーマ】B 領域「図形」と中学校数学との関連3 【計画内容】中学校数学の「図形の性質」「面積と体積」の学習を通して、算数教育の役割について考える。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した課題に取り組む。	A、B
第5回	【テーマ】B 領域「図形」の体系化2 【計画内容】「図形」における目標と内容を理解し、具体的な問題を通して考えを深める。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した課題に取り組む。	A、B	第13回	【テーマ】C 領域「測定・変化の関係」と中学校数学との関連4 【計画内容】中学校数学の「比例と反比例・一次関数」の学習を通して、算数教育の役割について考える。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した課題に取り組む。	A、B
第6回	【テーマ】C 領域「測定・変化と関係」の体系化1 【計画内容】「測定・変化と関係」における小学校算数と中学校数学の接続のあり方とその留意点について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した課題に取り組む。	A、B	第14回	【テーマ】D 領域「データの活用」と中学校数学との関連5 【計画内容】中学校数学の「確率・資料の整理」の学習を通して、算数教育の役割について考える。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した課題に取り組む。	A、B
第7回	【テーマ】C 領域「測定・変化と関係」の体系化2 【計画内容】「測定・変化と関係」における目標と内容を理解し、具体的な問題を通して考えを深める。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した課題に取り組む。	A、B	第15回	【テーマ】おもしろ算数教室への取り組み。 【計画内容】おもしろ算数教室に参加し、地域の小学生と交流を深める。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した課題に取り組む。	D、E
第8回	【テーマ】D 領域「データの活用」の体系化1 【計画内容】「データの活用」における小学校算数と中学校数学の接続のあり方とその留意点について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した課題に取り組む。	A、B			

テキスト	文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領解説 算数編』
参考書	『中学数学』、教育出版 国立教育研究所、2011年、『評価規準の作成』 『数学Ⅰ』、東京書籍

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			10%		50%	40%
補足			記録用紙作成		課題提出	演習・発表

課題に関するフィードバックの方法	課題用紙を返却し、学んだ内容や疑問点について考察するとともに、グループ討議や全体の場において意見交流を行う。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	中学校教諭(数学)
		科目との関連	学校現場で数学科を担当した経験をもとに実践的な指導を行う。

質問への対応	440研究室で対応する。
資格	[教]小1種_選択
その他	実際に算数や数学の問題に取り組む演習を多く取り入れる。自ら課題を解決することで、数学の面白さと日常生活への活用について関心を高めていることを期待する。「算数科指導法Ⅱ」を修得していることが望ましい。各自作成したレポートを返却し、学んだ内容を個人やグループで振り返り、まとめの講評を行う。

科目名	理科指導法Ⅱ	授業形態	講義	単位数	2
教員名	横山　光				

授業の目的	
ねらい	理科における目標と内容について、実践的な観察や実験を通して教材研究を深めるとともに、指導計画や授業展開を構想し、その展開内容を模擬授業を通しながら検討します。また、子どもたちの主体的な学習活動を支援するための基礎を学びます。
到達目標	(1)各学年の A、B の領域について教材研究を深め、観察・実験の指導計画や授業展開を構想することができる。 (2)模擬授業を通して、子どもたちの主体的な学習活動の支援を実践することができる。 (3)授業づくりに必要な実験器具等を準備することができる。 (4)指導と評価の一体化について理解できる。

授業の計画						
第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】理科と人間形成について学びます。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で学びたいことを整理して、関連する資料を調べておくこと。	L	第9回	【テーマ】教材研究(5年 – 流水の働き) 【計画内容】「流水の働き」にかかわる教材研究を行います。 【授業時間外の学修内容】該当する領域の指導要領を熟読すること。また、関連分野について中学校までの学習範囲を復習しておくこと。	H
第2回	【テーマ】教材研究(「A 物質・エネルギー」にかかわる教材の検討) 【計画内容】小学校学習指導要領「A 物質・エネルギー」にかかわる実験を行います。 【授業時間外の学修内容】該当する領域の指導要領を熟読すること。また、関連分野について中学校までの学習範囲を復習しておくこと。	H	第10回	【テーマ】教材研究(6年 – 燃焼の仕組み) 【計画内容】「燃焼の仕組み」にかかわる教材研究を行います。 【授業時間外の学修内容】該当する領域の指導要領を熟読すること。また、関連分野について中学校までの学習範囲を復習しておくこと。	H
第3回	【テーマ】教材研究(「B 生命・地球」にかかわる教材の検討) 【計画内容】小学校学習指導要領「B 生命・地球」にかかわる実験または観察を行います。 【授業時間外の学修内容】該当する領域の指導要領を熟読すること。また、関連分野について中学校までの学習範囲を復習しておくこと。	H	第11回	【テーマ】教材研究(6年 – 土地のつくりと変化) 【計画内容】「土地のつくりと変化」にかかわる教材研究を行います。 【授業時間外の学修内容】該当する領域の指導要領を熟読すること。また、関連分野について中学校までの学習範囲を復習しておくこと。	H
第4回	【テーマ】教材研究(3年 – 太陽と地面の様子) 【計画内容】「太陽と地面の様子」にかかわる教材研究を行います。 【授業時間外の学修内容】該当する領域の指導要領を熟読すること。また、関連分野について中学校までの学習範囲を復習しておくこと。	H	第12回	【テーマ】教材研究(6年 – 月と太陽) 【計画内容】「月と太陽」にかかわる教材研究を行います。 【授業時間外の学修内容】該当する領域の指導要領を熟読すること。また、関連分野について中学校までの学習範囲を復習しておくこと。	H
第5回	【テーマ】教材研究(3年 – 磁石の性質) 【計画内容】「磁石の性質」にかかわる教材研究を行います。 【授業時間外の学修内容】該当する領域の指導要領を熟読すること。また、関連分野について中学校までの学習範囲を復習しておくこと。	H	第13回	【テーマ】観察・実験を扱う模擬需要の実践 【計画内容】これまで学んできた観察・実験について模擬授業を行い、指導方法を検討します。 【授業時間外の学修内容】模擬授業の準備(実験準備・指導案の作成)をすること。	H
第6回	【テーマ】教材研究(4年 – 月と星) 【計画内容】「月と星」にかかわる教材研究を行います。 【授業時間外の学修内容】該当する領域の指導要領を熟読すること。また、関連分野について中学校までの学習範囲を復習しておくこと。	H	第14回	【テーマ】指導と評価の一体化 【計画内容】理科における指導と評価の一体化に重点を置いた観察・実験の模擬授業を行います。 【授業時間外の学修内容】模擬授業の準備(実験準備・指導案の作成)をすること。	H
第7回	【テーマ】教材研究(4年 – 電気の働き) 【計画内容】「電気の働き」にかかわる教材研究を行います。 【授業時間外の学修内容】該当する領域の指導要領を熟読すること。また、関連分野について中学校までの学習範囲を復習しておくこと。	H	第15回	【テーマ】まとめと確認 【計画内容】本講義の内容を振り返り、まとめを行います。 【授業時間外の学修内容】教科書・ノート・配付資料を元に、本講義全体を復習しておくこと。	G、L
第8回	【テーマ】教材研究(5年 – 植物の発芽、成長、結実) 【計画内容】「植物の発芽、成長、結実」にかかわる教材研究を行います。 【授業時間外の学修内容】該当する領域の指導要領を熟読すること。また、関連分野について中学校までの学習範囲を復習しておくこと。	H			

テキスト	大日本図書教育研究室、2015年、『小学校理科観察・実験セーフティマニュアル』、大日本図書
参考書	文部科学省、『小学校学習指導要領解説 理科編』

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分		20%	50%		30%	
補足		パフォーマンステスト	レポート			

課題に関するフィードバックの方法	毎時間提出のレポートをもとに、質問や改善点について次時に解説する。

実務経験と授業の関連		
該当	経験内容	北海道内公立小・中学校勤務(1997～2011)、北海道立教育研究所附属理科教育センター研究研修主事(2011～2014)
	科目との関連	教育現場における理科教員の経験と、教員に対する研修経験を活かす。

質問への対応	講義中も遠慮なく質問してください。また、各講義の終わりに記入するレビューシートでも質問を受け付けます。
資格	[教]小1種_選択
その他	「理科指導法Ⅰ」の履修後に受講するのが望ましいです。 理科好きの子どもを育てるためにはどうしたらよいか、みなさんが「小学校の教師」になったことを想定して、楽しい授業づくりを考えてください。

科目名	生活科指導法Ⅲ	授業形態	講義	単位数	2
教員名	西出　勉				

授業の目的	
ねらい	生活科の改訂の趣旨や教科目標、内容について理解するとともに指導計画の作成や学習指導の進め方等について学びます。また、幼稚園等との連携や他教科等や総合的な学習の時間との関連について学びます。
到達目標	(1)生活科の教科目標や内容について理解することができる。 (2)指導計画の作成や内容の取扱い、学習評価等について理解し、学習指導案を作成することができる。 (3)スタートカリキュラムや幼稚園等との連携について理解することができる。 (4)生活科と他教科等や総合的な学習の時間との関連について理解することができる。 (5)カリキュラム・マネジメントの考え方を生かした授業改善の意義について理解することができる。

授業の計画						
第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】講義の紹介、成績の評価方法、生活科の現状と課題等について説明します。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で学びたいことを整理して、関連する資料を調べておくこと。	A	第9回	【テーマ】他教科等との関連 【計画内容】生活科と他教科等との関連(合科的・関連的な指導)について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読んでおくこと。	A、H、K
第2回	【テーマ】生活科の目指すもの 【計画内容】学習指導要領をもとに、改訂の経緯及び基本方針、生活科の改訂の趣旨及び要点について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読んでおくこと。	A	第10回	【テーマ】スタートカリキュラム 【計画内容】幼児期の教育と小学校教育を円滑に接続する役割を担っているスタートカリキュラムについて学びます。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読んでおくこと。	A、H、K
第3回	【テーマ】生活科の教科目標及び内容① 【計画内容】生活科の教科目標の構成や趣旨、資質能力の三つの柱等について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読んでおくこと。	A	第11回	【テーマ】幼稚園等との連携 【計画内容】幼稚園と小学校の連携・接続に関する教育活動の意義や生活科を中心とした指導計画の作成について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読んでおくこと。	A、H、K
第4回	【テーマ】生活科の教科目標及び内容② 【計画内容】生活科の内容構成の具体的な視点や構成要素、階層性について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読んでおくこと。	A、K	第12回	【テーマ】総合的な学習の時間との関連 【計画内容】生活科と総合的な学習の時間との関連について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読んでおくこと。	A、H、K
第5回	【テーマ】学習指導の進め方① 【計画内容】教科書を活用し、学習過程において試行錯誤や繰り返す活動の設定を重視した学習指導について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読んでおくこと。	A、H、K	第13回	【テーマ】学習指導案の作成と評価の計画① 【計画内容】生活科の評価計画を位置付けた学習指導案を作成し、検討します。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読んでおくこと。	A、H、K
第6回	【テーマ】学習指導の進め方② 【計画内容】教科書を活用し、学習過程において伝え合い交流する場の設定を重視した学習指導について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読んでおくこと。	A、H、K	第14回	【テーマ】学習指導案の作成と評価の計画② 【計画内容】生活科の評価計画を位置付けた学習指導案を作成・検討し、授業改善の視点について考えます。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読んでおくこと。	A、H、K
第7回	【テーマ】学習指導の進め方③ 【計画内容】教科書を活用し、学習過程において振り返り表現する機会の設定を重視した学習指導について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読んでおくこと。	A、H、K	第15回	【テーマ】まとめ 【計画内容】講義の内容をふり返るとともに、今後の課題について考えます。 【授業時間外の学修内容】これまで配付した資料等について、理解を深めておくこと。	A、G、L
第8回	【テーマ】学習指導の進め方④ 【計画内容】教科書を活用し、学習過程において児童の多様性を生かし、学びをより豊かにすることを重視した学習指導について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読んでおくこと。	A、H、K			

テキスト	講義時に説明します
参考書	文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領(平成29年告示)解説　生活編』、東洋館出版

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			80%		20%	
補足			レポート			

課題に関するフィードバックの方法	レポート等を返却し、学んだ内容を振り返りながら講評します。

実務経験と授業の関連		
該当	経験内容	小学校教諭
	科目との関連	小学校教諭としての業務経験をもとに、実務に即した指導を行う。

質問への対応	随時、対応します。
資格	[教]小1種_選択
その他	「生活科指導法Ⅱ」を履修済みであることが望ましい。

科目名	音楽科指導法Ⅲ	授業形態	講義	単位数	2
教員名	澤田　悦子				

授業の目的		
	ねらい	小学校音楽授業の具体的な展開方法、指導法の研究、幼稚園での具体的な音楽の導入法などを総合的な学習の実践である音楽劇を通して学びます。総合的な学習では、音楽の表現力や感性の向上をねらい子どもの豊かな情操の育成を目的としています。
	到達目標	(1)音楽科の指導目標と内容の理解を深める。 (2)グループワークにより歌唱・器楽・鑑賞・表現の技能を高める。 (3)模擬授業をとおして発表・検討・改善レポートの作成をすすめる。 (4)授業分析・授業教科の方法を理解する。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】学習指導要領から学校教育における音楽科教育理念について学ぶ 【計画内容】学習指導要領、本授業内容、展開、達成目標について理解する。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読んでおく。教科書の音楽科と他教科の関連について調べておく。	A	第9回	【テーマ】音を音楽に構成する楽しみについて考える 【計画内容】楽器演奏技術、歌唱発声法などを踏まえて、音楽づくりを高める。 【授業時間外の学修内容】教科書の音楽づくりの学習と指導について調べておく。	A、B、H
	第2回	【テーマ】学習指導要領の共通事項の表現、鑑賞をテーマに音楽の特徴について学ぶ 【計画内容】各パートの確認、楽器の種類、楽譜の読み方について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】教科書の歌唱の学習と指導および器楽の学習と指導について調べておく。	A、B、H	第10回	【テーマ】音を音楽に構成する仕組みを学び、思いや意図をもって音楽づくりを考える 【計画内容】音楽が美しく流れていく過程を大切にし、音楽づくりを進める。 【授業時間外の学修内容】教科書の音楽づくりの学習と指導について調べておく。課題曲を練習する。	A、H
	第3回	【テーマ】表現について音楽劇題材を選択し、課題曲を決める 【計画内容】歌唱指導事項、器楽指導事項を学習する。 【授業時間外の学修内容】教科書の歌唱の学習と指導および器楽の学習と指導について調べておく。	A、B、H	第11回	【テーマ】課題曲の音楽づくりとして、合唱や独唱力を高める 【計画内容】音楽の持つ反復、問と答え、変化、縦と横などの特徴について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】教科書の歌唱の学習と指導について確認しておく。	A、H
	第4回	【テーマ】器楽の奏法とその意義および留意点、歌唱の意義と留意点について学ぶ 【計画内容】独唱、合唱、器楽伴奏、鍵盤楽器伴奏、指揮者、演出などに分かれ課題に取り組む。 【授業時間外の学修内容】教科書の歌唱の学習と指導および器楽の学習と指導について調べておく。	A、B、H	第12回	【テーマ】音楽劇の割り当てられた課題曲について、一定のルールがどのように効果を与えているか学ぶ 【計画内容】音楽劇の内容と歌唱、合奏、器楽、鍵盤楽器などの役割を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】それぞれの担当するパートを確認しておく。	A
	第5回	【テーマ】グループごとに指導案、指導計画を作成する 【計画内容】幼児、児童の指導内容を把握し音楽づくりを考える。 【授業時間外の学修内容】選曲した課題曲を練習しておく。	A、B、H	第13回	【テーマ】これまでの指導課程を踏まえ指導案を作成する 【計画内容】音楽劇を通して演奏し、子どもの感性を引き出す指導を視野に指導案を作成する。 【授業時間外の学修内容】教科書の音楽の指導内容について調べておく。	A、B、H
	第6回	【テーマ】音楽劇導入課題の音楽作りをする。 【計画内容】強弱記号や全体の速度を考えて練習する。 【授業時間外の学修内容】教科書の総合的な学習の時間と音楽科について調べておく。	A、B、H	第14回	【テーマ】指導案を基に、練習成果を発表する 【計画内容】グループで発表を行い、指導案をもとに鑑賞し合う。 【授業時間外の学修内容】教科書の音楽の指導内容について調べておく。	A、B、H
	第7回	【テーマ】声や器楽の音を認識する 【計画内容】課題曲の音楽作りとして、合唱力や独唱力を高める。 【授業時間外の学修内容】歌唱教材の選曲をしておく。	A、B、H	第15回	【テーマ】発表とまとめ 【計画内容】それぞれのグループでの指導案を検討し、音楽劇演奏鑑賞、成果についてまとめる。 【授業時間外の学修内容】それぞれの担当するパートを練習しておく。グループごとでまとめた指導案を確認しておく。	A、B、H
	第8回	【テーマ】楽器の音の違いを認識する 【計画内容】器楽や鍵盤楽器での奏法を工夫し、音楽的要素の構成を高める。 【授業時間外の学修内容】課題曲のパート練習をしておく。	A、B			

テキスト	初等科音楽教育研究会編、2018年、『最新初等科音楽教育法改訂版』、音楽之友社、9784276821019 文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領解説　音楽編』
参考書	プリントを使用します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			30%	20%	20%	30%
	補足			指導案			発表

課題に関するフィードバックの方法	第15回目で課題を返却し、発表後に振り返り、講評をします。

実務経験と授業の関連		経験内容	
		科目との関連	

質問への対応	講義時に説明します。
資格	[教]小1種_選択
その他	

科目名	図画工作科指導法Ⅱ	授業形態	講義	単位数	2
教員名	山崎　正明				

授業の目的	
ねらい	図画工作の指導にあたって学ぶべき指導原理や理念を指導計画の立案や模擬授業の実践などを通じ学んでいく。また作品の鑑賞や評価、教材の研究等により指導技術のさらなる向上を図る。本講義では「図画工作科指導法Ⅰ」で学んだ知識や経験を基礎としてさらに具体的かつ詳細に個別項目を研究し、教育現場での実践を念頭に置いた指導法を学んでいく。
到達目標	(1)「図画工作科」の指導案をつくり、授業ができる力をつける。 (2)指導のための知識や教育技術を身につける。 (3)「図画工作」の授業を改善する力を身につける

授業の計画						
第1回	【テーマ】模擬授業の進め方について 【計画内容】講義の中で自分が行う模擬授業の内容を決定し、授業の構想を始める。 【授業時間外の学修内容】「図画工作」の教科書をみておくこと(教科書は137教室や図書館にあります)	A	第9回	【テーマ】廃材を用いた模擬授業 【計画内容】さまざまな廃材や自然素材の特性を生かした模擬授業。 【授業時間外の学修内容】「図画工作」の教科書の廃材を持ちた題材をみておくこと	B、H
第2回	【テーマ】造形遊びの模擬授業 【計画内容】造形遊びの模擬授業。 【授業時間外の学修内容】「図画工作」の教科書の「造形あそび」の題材をみておくこと	B、H	第10回	【テーマ】針金などを用いた模擬授業 【計画内容】針金(鉄･アルミなど)の特性を生かした模擬授業。 【授業時間外の学修内容】「図画工作」の教科書の針金などを用いた例をみておくこと	B、H
第3回	【テーマ】クレヨン･クレパスを用いた模擬授業 【計画内容】クレヨン･クレパスの特性を生かした模擬授業。 【授業時間外の学修内容】「図画工作」の教科書のクレヨンなどを用いた題材をみておくこと	B、H	第11回	【テーマ】光を用いた模擬授業 【計画内容】光の特性を生かした模擬授業。造形遊びとして実施しても良い。 【授業時間外の学修内容】「図画工作」の教科書の光に関するページをみておくこと	B、H
第4回	【テーマ】水彩絵の具を用いた模擬授業 【計画内容】水彩絵の具の特性を生かした模擬授業。 【授業時間外の学修内容】「図画工作」の教科書の水彩絵の具を用いた題材をみておくこと	B、H	第12回	【テーマ】グループやクラス全体で取り組む模擬授業 【計画内容】共同制作のよさをとらえた模擬授業。 【授業時間外の学修内容】「図画工作」の教科書の共同制作に関するところをみておくこと	B、H
第5回	【テーマ】粘土を用いた模擬授業 【計画内容】土粘土、紙粘土、樹脂粘土などの特性を活かした立体造形についての模擬授業。 【授業時間外の学修内容】「図画工作」の教科書の粘土などを用いた題材をみておくこと	B、H	第13回	【テーマ】様々な材料を用いた模擬授業 【計画内容】様々な材料を用いた模擬授業。 【授業時間外の学修内容】「図画工作」の教科書の様々な材料を用いた例をみておくこと	B、H
第6回	【テーマ】墨を用いた模擬授業 【計画内容】墨の特性を生かした模擬授業。 【授業時間外の学修内容】「図画工作」の教科書の墨を用いた題材をみておくこと	B、H	第14回	【テーマ】幼児教育の接続を大切にした模擬授業 【計画内容】幼小接続の望ましい在り方を考えた、特性を生かした模擬授業。 【授業時間外の学修内容】「図画工作」の教科書の低学年をみておくこと	B、H
第7回	【テーマ】版を用いた模擬授業 【計画内容】スタンピング、紙版画、木版画の特性を生かした模擬授業。 【授業時間外の学修内容】「図画工作」の教科書の版を用いた題材をみておくこと	B、H	第15回	【テーマ】模擬授業の振り返り 【計画内容】「学習指導要領」との関連を踏まえて模擬授業をふりかえる。 【授業時間外の学修内容】これまでの講義をふりかえっておくこと	A、L
第8回	【テーマ】糸のこぎりを用いた模擬授業 【計画内容】糸のこぎりの特性を生かした模擬授業。 【授業時間外の学修内容】「図画工作」の教科書の糸ノコギリを用いた題材をみておくこと	B、H			

テキスト	講義時に説明します
参考書	文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領解説　図画工作編』

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			80%		20%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
該当	経験内容	中学校教諭
	科目との関連	中学校で22年間「美術」を担当した経験を活かして指導する。

質問への対応	2つの方法のいずれでもかまいません。 (1)講義終了時に声をかけてください。時間のかかるものは、相談に応じます。 (2)メールでの質問　E-Mail：yamazaki@hokusho-u.ac.jp
資格	[教]小1種_選択
その他	

科目名	家庭科指導法Ⅱ	授業形態	講義	単位数	2
教員名	木下　教子、角田　成子				

授業の目的		
	ねらい	小学校家庭科の目標及び内容を分析して教科内容のねらいにそった指導計画をたてる方法について学びます。児童が基礎的･基本的な知識および技能を習得できるような教材研究と児童の問題解決能力を育む教育実践力を身につけます。
	到達目標	(1)児童に日常生活に必要な知識や技術を身につけ活用させる指導ができる。 (2)児童に生活を工夫し生活の課題を主体的に解決する指導ができる。 (3)児童に家族の一員として､また男女が協力して家庭や地域の生活を営むことの指導ができる。 (4)児童の思考力､判断力､表現力を培うような授業実践ができる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】15回までの講義内容について概観する。(木下教子) 【授業時間外の学修内容】学習指導要領の教科の内容について熟読しておく。	A	第9回	【テーマ】調理の基礎の指導法(3) 【計画内容】朝食のおかずをつくろう。(木下教子) 【授業時間外の学修内容】身近な材料でつくる朝食メニューを1週間分を考えておく。	D､F
	第2回	【テーマ】家庭科の学習指導法 【計画内容】家庭科で導入する代表的な学習指導法について学ぶ。(木下教子) 【授業時間外の学修内容】家庭科の学習指導の特質についてまとめておく。	A	第10回	【テーマ】調理の基礎の指導法(4) 【計画内容】家族のために休日の食事をつくろう。(木下教子) 【授業時間外の学修内容】家族のために一食分の献立、調理計画を立て具体例を考えておく。	D､F
	第3回	【テーマ】家庭科の評価 【計画内容】評価の観点と方法について学ぶ。(木下教子) 【授業時間外の学修内容】生活を創意工夫する能力を評価する方法を考えておく。	A	第11回	【テーマ】生活に役立つ物の製作領域の教材研究(1) 【計画内容】－ミシン縫いのウォールポケット－(角田成子) 【授業時間外の学修内容】ウォールポケットの完成図から作り方を考えておく。	D
	第4回	【テーマ】模擬授業(1) 【計画内容】身近な消費生活と環境（環境に配慮した生活の工夫)。(木下教子) 【授業時間外の学修内容】身の回りにある商品の表示やマークの意味を調べておく。	A､F	第12回	【テーマ】生活に役立つ物の製作領域の教材研究(2) 【計画内容】－ミシン縫いのウォールポケット－(角田成子) 【授業時間外の学修内容】ミシン縫いの方法について調べておく。	D
	第5回	【テーマ】模擬授業(2) 【計画内容】家庭生活と家族(家族や近隣の人々とのかかわり)。(木下教子) 【授業時間外の学修内容】家庭生活と家族の学習における留意点についてまとめておく。	A､F	第13回	【テーマ】生活に役立つ物の製作領域の教材研究(3) 【計画内容】－ミシン縫いのウォールポケット－(角田成子) 【授業時間外の学修内容】製作過程の留意点について整理しておく。	D
	第6回	【テーマ】模擬授業(3) 【計画内容】快適な住まい方(整理･整頓及び清掃の仕方と工夫)。(木下教子) 【授業時間外の学修内容】住居用洗剤の表示､用途､取り扱い上の注意点を調べておく。	A､F	第14回	【テーマ】住まい領域の発展的な教材研究 【計画内容】－住まいの周辺環境研究－(角田成子) 【授業時間外の学修内容】住まいの周辺環境を調べておく。	D
	第7回	【テーマ】調理の基礎の指導法(1) 【計画内容】「炒める」調理法の応用として主菜をつくる。(木下教子) 【授業時間外の学修内容】野菜の洗い方､切り方､調味料､味付けについて調べておく。	D､F	第15回	【テーマ】まとめと確認 【計画内容】講義全体の振り返りをし､まとめと確認をする。(木下教子) 【授業時間外の学修内容】学習指導要領､ノート､プリントなどで復習しておく。	G
	第8回	【テーマ】調理の基礎の指導法(2) 【計画内容】じゃがいもを使って副菜をつくる。(木下教子) 【授業時間外の学修内容】じゃがいもの品種､栄養素､調理性について調べておく。	D､F			

テキスト	内野紀子ほか､2015年､『わたしたちの家庭科』､開隆堂､9784304080647
参考書	文部科学省､『小学校学習指導要領解説　家庭編』､東洋館

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			40%	40%	20%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	授業中に説明する。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	木下教子／管理栄養士
		科目との関連	管理栄養士の経験を活かして､家庭科教育の指導方法を教授する。

質問への対応	各教員へ。
資格	[教]小1種_選択
その他	日常生活をみつめて､生活者としての創意工夫する意識を高めて､日々､実践につなげてほしい。

科目名	体育科指導法Ⅱ	授業形態	講義	単位数	2
教員名	浅尾　秀樹				
授業の目的	ねらい	運動領域の基礎知識を理解し、教材の技術構造を理解するとともに学習指導案の作成や合理的な指導について学ぶ。模擬授業を通してグループワークによる課題解決やレポート作成をすすめる。			
	到達目標	(1)教材の技能構造を理解する。 (2)運動技能の習熟と合理的な指導法について考察する。			

授業の計画						
	第1回	【テーマ】運動領域の特性と教材づくり 【計画内容】領域と教材の役割を考える。 【授業時間外の学修内容】領域と教材の事例を調べる。	A	第9回	【テーマ】ボール運動3 【計画内容】作戦を工夫する。 【授業時間外の学修内容】初歩的な作戦とゲームの関係を考える。	A、H
	第2回	【テーマ】学習教材とグループ学習 【計画内容】グループ学習のねらいを理解する。 【授業時間外の学修内容】グループ学習の効果について調べる。	A	第10回	【テーマ】ゲーム1 【計画内容】コートを考える。 【授業時間外の学修内容】コートの形状とゲームの関係を考える。	A、F、H
	第3回	【テーマ】器械運動1 【計画内容】マット運動について模擬授業をとおして授業研究をすすめる。 【授業時間外の学修内容】マット運動の教材研究と指導法。	A、H	第11回	【テーマ】ゲーム2 【計画内容】作戦を工夫する。 【授業時間外の学修内容】作戦とゲームの変化を予測する。	A、F、H
	第4回	【テーマ】器械運動2 【計画内容】跳び箱運動について模擬授業をとおして授業研究をすすめる。 【授業時間外の学修内容】跳び箱運動の教材研究と指導法。	A、H	第12回	【テーマ】ゲーム3 【計画内容】ルールを工夫する。 【授業時間外の学修内容】ルールによってゲームの内容が変わることを推測する。	A、H
	第5回	【テーマ】器械運動3 【計画内容】鉄棒運動について模擬授業をとおして授業研究をすすめる。 【授業時間外の学修内容】鉄棒運動の教材研究と指導法。	A、H、J	第13回	【テーマ】表現運動1 【計画内容】運動素材から表現運動を考える。 【授業時間外の学修内容】感情の表現と運動素材を考える。	A、H
	第6回	【テーマ】器械運動4 【計画内容】器械運動全般の模擬授業をとおして授業研究をすすめる。 【授業時間外の学修内容】器械運動の指導法の課題のまとめ。	A、H、J	第14回	【テーマ】表現運動2 【計画内容】素材の組み立てを考える。 【授業時間外の学修内容】作品構成を考える。	A、F、H
	第7回	【テーマ】ボール運動1 【計画内容】用具を工夫する。 【授業時間外の学修内容】ボール運動と用具について考える。	A、H	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】模擬授業研究のまとめ。 【授業時間外の学修内容】授業研究記録の整理と課題の抽出。	A、L
	第8回	【テーマ】ボール運動2 【計画内容】人数を工夫する。 【授業時間外の学修内容】人数とゲームの変化を考える。	A、H、F			

テキスト	文部科学省、2017年、『小学校学習指導要領解説　体育編』、東洋館出版社
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			80%		20%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		経験内容	
		科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[教]小1種_選択
その他	北方圏生涯スポーツ研究センターの被験講義です。 提出課題についての討論の時間を確保し理解を深めます。

科目名	体育科指導法Ⅲ	授業形態	講義	単位数	2
教員名	浅尾　秀樹				

授業の目的		
	ねらい	体育科教育として授業を進めるために、運動教材の特性と学習内容の構造を理解し、授業研究をとおして合理的な指導技術について理解する。模擬授業を通してグループワークによる課題解決やレポート作成をすすめる。
	到達目標	(1)グループワークにより指導案の作成・検討をする。 (2)模擬授業をとおして発表・検討・改善・レポート作成をすすめる。 (3)授業分析・授業評価の方法を理解する。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】授業のガイダンス・学習の全体計画の見通し 【計画内容】講義の展開について説明し、学習計画をたてる。 【授業時間外の学修内容】体育科指導法に関する個人研究テーマの検討。	A	第9回	【テーマ】授業研究3 【計画内容】体つくり運動の教材研究(一輪車、竹馬など)。 【授業時間外の学修内容】体つくり運動の指導計画を作成する。	A
	第2回	【テーマ】教材研究と指導案の作成1 【計画内容】グループワークにより指導案を作成する。 【授業時間外の学修内容】個人課題への準備。	A	第10回	【テーマ】授業研究4 【計画内容】模擬授業による授業研究(保健領域)。 【授業時間外の学修内容】保健学習の指導計画を作成する。	A
	第3回	【テーマ】教材研究と指導案の作成2 【計画内容】作成した指導案を発表・検討し、授業分析の見通しをたてる。 【授業時間外の学修内容】グループ課題への準備。	A	第11回	【テーマ】表現・リズム運動1 【計画内容】リズム運動について模擬授業をとおして授業研究をすすめる。 【授業時間外の学修内容】リズム運動の教材研究と指導法。	A、H、J
	第4回	【テーマ】水遊びの指導 【計画内容】水の特性と水中運動について考える。 【授業時間外の学修内容】水遊びの内容を調べてみる。	A	第12回	【テーマ】表現・リズム運動2 【計画内容】表現運動について模擬授業をとおして授業研究をすすめる。 【授業時間外の学修内容】表現運動の教材研究と指導法	A
	第5回	【テーマ】いろいろな泳法と指導法1 【計画内容】クロールの泳法と指導法について。 【授業時間外の学修内容】クロールの泳法と指導法について調べてみる。	A、H、J	第13回	【テーマ】体育科経営について 【計画内容】体育科の管理と学習環境の整備について検討する。 【授業時間外の学修内容】体育科経営の課題について調べておく。	A
	第6回	【テーマ】いろいろな泳法と指導法2 【計画内容】平泳ぎ、背泳ぎの泳法と指導法。 【授業時間外の学修内容】いろいろな泳法の指導法を調べてみる。	A	第14回	【テーマ】個人課題・グループ課題のまとめ 【計画内容】個人課題について発表・検討し、まとめる。 【授業時間外の学修内容】個人課題の発表プレゼンテーションを準備する。	A、F、L
	第7回	【テーマ】授業研究1 【計画内容】ゲーム型教材(バドミントン、テニスなど)の教材研究。 【授業時間外の学修内容】ゲーム教材の指導計画を作成する。	A、H、J	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】模擬授業研究およびグループ課題について発表・検討し、まとめる。 【授業時間外の学修内容】授業研究記録の整理とグループ発表の作成・準備。	A、F、L
	第8回	【テーマ】授業研究2 【計画内容】模擬授業による授業研究(陸上運動)。 【授業時間外の学修内容】陸上運動の指導計画を作成する。	A			

テキスト	文部科学省、2017年、『小学校学習指導要領解説　体育編』、東洋館出版
参考書	講義で説明します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			80%		20%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	随時対応します。
資格	[教]小1種_選択
その他	北方圏生涯スポーツ研究センターの被験講義です。 提出課題についての討論の時間を確保し理解を深めます。

科目名	小学校教育研究Ⅰ	授業形態	講義	単位数	2

教員名	二宮　孝行

授業の目的		
	ねらい	「学力·体力向上」「いじめ」「不登校」等、教育現場では、様々な課題があり、それに対する取組が行われています。また、ここ数年、「義務教育学校」の開校、「コミュニティースクール」の設置など新たな取組も行われています。本講義では、教育現場の実際として、学校·家庭·地域での取組について触れながら「今日の教育的課題」としてグループごとに発表してもらいます。
	到達目標	(1)教育現場における今日的な課題について理解し、解決方法を身に付ける。 (2)教育現場での新たな取り組みについて理解する。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】教育現場における今日的な課題とは 【計画内容】資料をもとに教育現場で発生している問題事例を紹介し、その原因と解決の方法を探る。 【授業時間外の学修内容】関心のある教育関係の課題についてまとめておくこと。	A、B、K	第9回	【テーマ】地域との連携　コミュニティースクール(アクティブラーニングの活用) 【計画内容】コミュニティースクールの設置方法や実際の取組について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料に目を通すこと。	A、H、K
	第2回	【テーマ】学力·体力向上に向けての取組 【計画内容】「全国学力·学習状況調査」「全国体力·運動能力、運動習慣等調査」の内容や結果等から学校での取り組みを紹介しながら向上策を考える。 【授業時間外の学修内容】北海道の結果について調べておくこと。	A、B、K	第10回	【テーマ】一人ひとりを大切にした授業づくり　「子どもが活躍する授業とは」 【計画内容】子どもたちの学ぶ意欲と充実感を高める方法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料に目を通すこと。	A、H、K
	第3回	【テーマ】生徒指導の充実① 【計画内容】学校現場で発生する生徒指導上の問題について、実態の把握と原因の解明の方法を考える。 【授業時間外の学修内容】事前に配付する資料に目を通すこと。	A、H、K	第11回	【テーマ】課題発表①「学力·体力」 【計画内容】これまでの講義を踏まえ今日の教育的課題について発表を行う。 【授業時間外の学修内容】これまでの資料を見直しておくこと。	A、F、K
	第4回	【テーマ】生徒指導の充実② 【計画内容】学校現場で発生する生徒指導上の問題事例から解決方法を学び、学級経営に生かす。 【授業時間外の学修内容】事前に配付する資料に目を通すこと。	A、H、K	第12回	【テーマ】課題発表②「生徒指導」 【計画内容】これまでの講義を踏まえ今日の教育的課題について発表を行う。 【授業時間外の学修内容】これまでの資料を見直しておくこと。	A、F、K
	第5回	【テーマ】生徒指導(含むいじめ·不登校)の充実③ 【計画内容】「家庭」や「地域社会」及び「関係機関」との連携や交流の方法を学び、学級経営に生かす。 【授業時間外の学修内容】事前に配付する資料に目を通すこと。	A、H、K	第13回	【テーマ】課題発表③「生徒指導」 【計画内容】これまでの講義を踏まえ今日の教育的課題について発表を行う。 【授業時間外の学修内容】これまでの資料を見直しておくこと。	A、F、K
	第6回	【テーマ】義務教育学校について 【計画内容】義務教育学校の設置の背景や実際の取組を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料に目を通すこと。	A、B、K	第14回	【テーマ】課題発表④「読書活動の推進」 【計画内容】これまでの講義を踏まえ今日の教育的課題について発表を行う。 【授業時間外の学修内容】これまでの資料を見直しておくこと。	A、F、K
	第7回	【テーマ】へき地·複式教育について 【計画内容】へき地·複式教育について複式学級の設置基準、授業法や指導案の形式を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料に目を通すこと。	A、B、K	第15回	【テーマ】まとめと確認 【計画内容】講義を振り返り意見交流をする。その後、意見交流を元に小論文をまとめる。 【授業時間外の学修内容】14回の講義を振り返っておくこと。	A、L、K
	第8回	【テーマ】読書活動·NIE の推進(アクティブラーニングの活用) 【計画内容】読書や新聞離れが進む中、学校現場での取組等について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料に目を通すこと。	A、H、K			

テキスト	横藤雅人·武藤久慶、2014年、『その指導学級崩壊の原因です「かくれたカリキュラム」発見·改善ガイド』、明治図書出版株式会社、9784181457174
参考書	初回講義時に説明します。

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%		50%	
	補足			ワークシート·資料作成		討論·発表	

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	小学校教諭
		科目との関連	小学校教諭の経験を生かした学校現場の課題·対策等を教授する。

質問への対応	講義終了後に受け付ける。回答は次時の冒頭に全体に説明するか、あるいは終了後に質問者に直接行う。
資格	
その他	ゼミごとでプレゼンテーションソフト(パワーポイント等)を使用した発表を行う。各自、作成方法を学習しておくこと。 グループ討論に積極的に参加し、話し合いの内容について発表すること。

科目名	小学校教育研究Ⅱ	授業形態	講義	単位数	2

教員名	杉浦　勉

授業の目的		
	ねらい	「授業が思うように展開できない」「学級づくりに行き詰まっている」「保護者との関係に苦慮している」など、教師としての職務の基本に関わる問題が多くの教師に共通する課題となっています。教師を目指す者として、これらの課題をしっかり受け止め、その解決に向けての学習を進めることは、大変重要となります。本講義では、様々な課題の原因を究明するとともに、それを克服する手立てを探りながら、教師としての基本的な資質・能力の獲得を目指します。
	到達目標	(1)授業づくりの基本を整理することを通して、授業づくりへの意欲と自信を深める。 (2)子どもが分かる授業を展開するための教材研究及び授業展開について理解を深める。 (3)学級経営の基礎・基本と児童、保護者からの信頼を得る方策について理解する。 (4)教育実習では学ぶことができない小学校教員に必要な資質・能力について理解する。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】新教育課程が期待する教師力と授業づくり 【計画内容】新学習指導要領の改訂の基本方針から、あるべき教師像を明らかにするとともに、これからの授業づくりについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料に目を通すとともに、教育実習で学んだ学習指導と学級経営について整理しておくこと。	A、K、L	第9回	【テーマ】学級経営案の交流 【計画内容】作成した学級経営案を交流し、学級経営の基礎・基本を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料に目を通すこと。	A、F、K、L
	第2回	【テーマ】授業づくりの基礎基本 【計画内容】「問題解決的な学習」と「教えて考えさせる授業」を展開するための基本について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付した資料と教育実習で作成した指導案に目を通しておくこと。	A、K、L	第10回	【テーマ】児童とのよりよい関係づくり 【計画内容】教師と児童とのよりよい人間関係づくりについて具体的な事例を通して学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料に目を通すこと。	A、F、K、L
	第3回	【テーマ】授業力の向上について 【計画内容】研修会・研究会で何を学ぶかについて、具体的な事例を通して学ぶ。 【授業時間外の学修内容】参加した研究会や教育実習で参観した授業での自分の学びをまとめておく。	A、F、K、L	第11回	【テーマ】児童同士のよりよい関係づくり 【計画内容】児童同士のよりよい人間関係づくりについて具体的な事例を通して学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料に目を通すこと。	A、F、K、L
	第4回	【テーマ】学習規律と学習ルールの必要性 【計画内容】学習規律と学習ルールの確立による高い学習効果について具体的な事例を通して理解する。 【授業時間外の学修内容】教育実習での学びや小学校時代の想起を通して、学習規律や学習ルールを整理しておくこと。	A、F、K、L	第12回	【テーマ】保護者とのよりよい関係づくり 【計画内容】教師と保護者とのよりよい人間関係づくりについて具体的な事例を通して学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料に目を通すこと。	A、F、K、L
	第5回	【テーマ】「知識・技能の習得を図る」授業に向けての教材研究のポイント 【計画内容】「知識・技能の習得を図る」授業とその教材研究のポイントについて、具体的な事例を通して学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に配付する資料に目を通すこと。	A、F、K、L	第13回	【テーマ】保護者懇談会の運営方法 【計画内容】保護者懇談会の目的と効果的な運営方法について具体的な事例を通して学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料に目を通すこと。	A、F、K、L
	第6回	【テーマ】「思考力・判断力・表現力等の育成を図る」授業に向けての教材研究のポイント 【計画内容】「思考力・判断力・表現力等の育成を図る」授業とその教材研究のポイントについて、具体的な事例を通して学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料に目を通すこと。	A、F、K、L	第14回	【テーマ】学級通信の意義と作成 【計画内容】学級通信の重要性と効果的な作成方法について具体的な事例を通して学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料に目を通すこと。	A、F、K、L
	第7回	【テーマ】学習習慣の重要性と定着を図るためのポイント 【計画内容】全国学力・学習状況調査の結果を学習習慣と学力向上の関係について学び、家庭学習と宿題の違いと家庭学習の定着を図るためのポイントを具体的な事例を通して理解する。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料に目を通すこと。	A、F、K、L	第15回	【テーマ】児童の成長とその見取り 【計画内容】通知表の意味と学習評価との関係性、児童の成長を促す評価について具体的な事例を通して学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料に目を通すこと。	A、F、K、L
	第8回	【テーマ】学級経営案について 【計画内容】学級目標の設定と学級経営の方針の重要性について学び、具体的な事例を通して理解する。 【授業時間外の学修内容】中間レポートとして、学級経営案を作成すること。	A、F、K、L			

テキスト	文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領解説　総則編』、東洋館出版社、9784491034614
参考書	随時紹介します。

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			70%		30%	
	補足			レポート・学習記録ノート		発言の積極性	

課題に関するフィードバックの方法	第15回で作成した学級経営案をもとに、学んだ内容を振り返りながら講評をします。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	小学校教諭
		科目との関連	小学校教諭としての業務経験をもとに実務に即した指導を行う。

質問への対応	研究室で対応します。 講義の振り返りに記述された内容について、次回の講義の初め(10分程度)に説明します。
資格	
その他	

科目名	保育内容指導(健康)	授業形態	演習	単位数	2
教員名	岡　健吾				

授業の目的	
ねらい	乳幼児の心身の発達、取り巻く社会的環境、家庭生活、保育施設での生活について、事例研究及びロールプレイを用いて様々な視点から学ぶ。それにより、保育者として乳幼児の「健康」を保障するための知識・技術を身に付ける。
到達目標	(1)現代における乳幼児の「健康」を取り巻く環境を理解する。 (2)保育施設における「健康」に関する事項の指導法を理解する。 (3)乳幼児の生活習慣及び運動遊びに関して、多様な背景や考え方があることを知る。

授業の計画						
第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】講義内容を紹介し、15回の講義展開を説明する。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で学びたいことを整理して、関連する資料を調べておくこと。	A	第9回	【テーマ】事例研究③運動遊び 【計画内容】乳幼児の運動遊びに関する現状と課題を検討する。 【授業時間外の学修内容】乳幼児の遊び環境の現状について調べておく。	H、J
第2回	【テーマ】保育内容「健康」の概要 【計画内容】『保育所保育指針』等で示される「健やかに伸び伸び育つ」および領域「健康」の内容を確認する。 【授業時間外の学修内容】『保育所保育指針』等を読んでおく。	A	第10回	【テーマ】事例研究④運動遊び 【計画内容】前時で調べた内容を発表する。乳幼児の運動遊びに関する多様な考え方を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】保育施設における運動遊びの実際を調べておく。	F、H
第3回	【テーマ】乳幼児期における基本的生活習慣の獲得過程 【計画内容】乳幼児期における基本的生活習慣の獲得過程を、心身の発達と関連付けて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】基本的生活習慣が示す内容を調べておく。	A、B	第11回	【テーマ】保育施設における安全管理 【計画内容】怪我、災害、避難訓練等、保育施設で行われている安全管理と安全教育の実際と保育者の留意点を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】これまで体験した避難訓練について振り返っておく。	A、B
第4回	【テーマ】事例研究①生活リズム 【計画内容】現代社会における乳幼児期の生活リズムの実態と課題を検討する。 【授業時間外の学修内容】自身の乳幼児期の生活リズムについて振り返っておく。	H、J	第12回	【テーマ】小学校との接続 【計画内容】保幼小接続について、「健やかに伸び伸び育つ」及び領域「健康」に関する場面から考える。 【授業時間外の学修内容】小学校との接続の意義と課題を調べておく。	A、B
第5回	【テーマ】事例研究②家庭との連携 【計画内容】前時で調べた内容を発表する。家庭との連携を想定し、考察を深める。 【授業時間外の学修内容】子育て家庭の現状について調べておく。	F、H	第13回	【テーマ】ロールプレイの準備 【計画内容】これまでの講義内容を基に、「健やかに伸び伸び育つ」および領域「健康」に関する事例をグループで検討し、課題解決に向けた方策を考える。 【授業時間外の学修内容】これまでの学びを振り返っておく。	N
第6回	【テーマ】乳幼児期における食育 【計画内容】保育施設での食育の実際を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】保育施設における食育の取り組みを調べておく。	A	第14回	【テーマ】ロールプレイ 【計画内容】前時で考えた対応を実際に模擬演習し、考察を深める。 【授業時間外の学修内容】ロールプレイの準備をする。	N
第7回	【テーマ】乳幼児期における身体発達と運動遊び 【計画内容】乳幼児期における運動遊びの重要性を確認する。 【授業時間外の学修内容】乳幼児期に適した運動遊びを調べておく。	A	第15回	【テーマ】まとめとレポート 【計画内容】これまでの講義内容を振り返り、レポートを作成する。 【授業時間外の学修内容】資料を整理し、レポート作成の準備をする。	A、G
第8回	【テーマ】発達に合わせた運動遊びの実際 【計画内容】運動遊びを展開する際の留意点を体験しながら学ぶ。 【授業時間外の学修内容】運動遊びの展開における留意点を考えておく。	E			

テキスト	講義時に説明します
参考書	吉田伊津美・砂上史子・松嵜洋子編著、2018年、『保育内容健康(乳幼児教育・保育シリーズ)』、光生館 文部科学省、2018年、『幼稚園教育要領』、フレーベル館 厚生労働省、2017年、『保育所保育指針』、フレーベル館

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			80%		20%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	講義時ほか、随時対応します
資格	[教]保育士_選必
その他	評価基準:演習・事例研究20%、ロールプレイ20%、レポート40%

科目名	保育内容指導(人間関係)	授業形態	演習	単位数	2
教員名	近江　さつき				

授業の目的		
	ねらい	乳幼児期の身体と精神の特徴をふまえ、「保育内容指導(人間関係)」のねらいと内容を理解していく為に、理論と実技を並行して行う。 また、認定こども園へ行き、実際に子どもに触れ、現場を体験する事で、乳幼児期に育まれる人間関係の為の環境や保育教諭の役割について学び、理解を深めていく。 『教育要領』、『保育指針』の内容が現場で実際にどのように育まれていくのかの過程に触れ、保育現場に対応できる実践力を養う。
	到達目標	(1)乳幼児期の身体と精神の特徴と発達がわかる。 (2)人間関係のねらいと内容がわかり、幼稚園教諭、保育教諭、保育士としての役割を学ぶ。 (3)認定こども園を訪問し、保育現場での様々な場面を観察、体験し、状況に応じた対応を学ぶ。 (4)保育現場で実際に生かせる教具・遊具を作成する。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】講義内容についてのオリエンテーション 【計画内容】全講義の内容と展開(学外実習も含む)の説明。 【授業時間外の学修内容】幼稚園、保育士の仕事について考えておくこと。	A	第9回	【テーマ】人間関係の発展③／手遊び・絵本・教材作り⑧ 【計画内容】関わりから個が成長する過程について / 現場で生かせる手遊び・絵本・教材作り⑧ 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントの復習。	A、B
	第2回	【テーマ】乳児の特性 / 手遊び・絵本・教材作り① 【計画内容】出生時から乳児期の発達・特徴について / 現場で生かせる手遊び・絵本・教材作り① 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントの復習。	A、B	第10回	【テーマ】園生活の中で育まれる人間関係① 【計画内容】園生活の中で人間関係が育まれる形態や生活のリズムについて(学外実習①) 【授業時間外の学修内容】学外実習にあたり、注意事項や目標を明確にして臨む。	D
	第3回	【テーマ】幼児の特性 / 手遊び・絵本・教材作り② 【計画内容】満3才、3才、4才、5才の幼児の身体と心の発達・特徴について / 現場で生かせる手遊び・絵本・教材作り② 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントの復習。	A、B	第11回	【テーマ】園生活の中で育まれる人間関係② 【計画内容】関わりが育まれる園生活の中の遊びの実際と援助(学外実習②) 【授業時間外の学修内容】前回の学外実習を振り返り、ねらいや目標を持ち臨む。	D
	第4回	【テーマ】保育内容指導・人間関係① / 手遊び・絵本・教材作り③ 【計画内容】5領域とその内容(10の姿) / 幼稚園・認定こども園・保育園の役割について / 現場で生かせる手遊び・絵本・教材作り③ 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントの復習。	A、B	第12回	【テーマ】園生活の中で育まれる人間関係③ 【計画内容】園生活の中で人間関係が育まれる為の先生、保育教諭、保育士の導きと対応(学外実習③) 【授業時間外の学修内容】2回目の学外実習を振り返り、子どもの動きや言動を予測して臨む。	D
	第5回	【テーマ】保育内容指導・人間関係② / 手遊び・絵本・教材作り④ 【計画内容】0才～5才までの人間関係とその内容 / 園での先生・保育教諭・保育士の役割について / 現場で生かせる手遊び・絵本・教材作り④ 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントの復習。	A、B	第13回	【テーマ】園生活の中で育まれる人間関係④ 【計画内容】保育現場での実践を通して、人間関係の理解を深める。(学外実習④) 【授業時間外の学修内容】3回目の学外実習を振り返り、保育教諭や園全体の流れを意識して臨む。	D
	第6回	【テーマ】保育内容指導・人間関係③ / 手遊び・絵本・教材作り⑤ 【計画内容】関わりの中で育まれる人間関係の内容をさらに深める / 現場で生かせる手遊び・絵本・教材作り⑤ 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントの復習。	A、B	第14回	【テーマ】園生活の中で育まれる人間関係⑤ 【計画内容】保育現場での行事への参加を通して、人間関係の理解を深める。(学外実習⑤) 【授業時間外の学修内容】学外実習全体を振り返り、状況に合わせた実践を予想して臨む。	D
	第7回	【テーマ】人間関係の発展① / 手遊び・絵本・教材作り⑥ 【計画内容】発達を促し、関わりを広げるゲームや集団あそびについて / 現場で生かせる手遊び・絵本・教材作り⑥ 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントの復習。	A、B	第15回	【テーマ】乳幼児にとっての人間関係 【計画内容】AI社会の中で育む乳幼児の人間関係とは？全講義のまとめと振り返り。 【授業時間外の学修内容】第2回～第14回までのプリントの復習。レポートの提出準備。作成物の仕上げ。	A、F、H
	第8回	【テーマ】人間関係の発展② / 手遊び・絵本・教材作り⑦ 【計画内容】同年齢や異年齢の関わりについて / 現場で生かせる手遊び・絵本・教材作り⑦ 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントの復習。	A、B			

テキスト	プリントを使用します
参考書	プリントを使用します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			30%	20%	20%	30%
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	幼稚園教諭、小学校教諭
		科目との関連	現場実践(手遊び等)を通して得た知識を教授する。

質問への対応	問い合わせは直接、園へお願いします。 第2大麻こども園:011-386-2011/E-Mail:pika-pika@dai2-ooasa.net
資格	[教]保育士_選必
その他	最終講義時にレポートと作成物を提出します。

科目名	保育内容指導(環境)	授業形態	演習	単位数	2

教員名	西出　勉、横山　光

授業の目的		
	ねらい	子どもを取り巻く環境について、自然と社会の二つの視点を軸に学ぶ。「保育内容(環境)」の内容を踏まえ、子どもの心身の発達のための望ましい保育環境についてさらに深く考察し、保育現場での環境づくりを指導者として実践できる能力を養う。
	到達目標	(1)環境について基礎知識を理解する。 (2)保育現場での環境について理解する。 (3)環境構成について、実践的な取り組みを理解する。 (4)様々な自然に触れる中で、環境のあり方を理解する。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】ガイダンス 【計画内容】受講に関する様々な情報提供をします。(西出勉･横山光) 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で学びたいことを整理して、関連する資料を調べておく。	A	第9回	【テーマ】道具について 【計画内容】道具の使い方や道具を用いた遊びを実践的に学びます。(西出勉) 【授業時間外の学修内容】配付した資料を読んでおくこと。	G、H
	第2回	【テーマ】季節を感じる 【計画内容】保育の現場と季節のかかわりについて学びます。(横山光) 【授業時間外の学修内容】配付した資料を読んでおくこと。	G、M	第10回	【テーマ】造形遊びについて 【計画内容】様々な素材を用いた造形的な遊びを実践的に学びます。(西出勉) 【授業時間外の学修内容】配付した資料を読んでおくこと。	G、H
	第3回	【テーマ】季節の草花(1) 【計画内容】季節の草花を用いて、楽しい遊びを考えます。(横山光) 【授業時間外の学修内容】配付した資料を読んでおくこと。	G、H	第11回	【テーマ】日本の伝統と遊びについて 【計画内容】日本の文化と伝承遊びについて、実践的に学びます。(西出勉) 【授業時間外の学修内容】配付した資料を読んでおくこと。	G、H
	第4回	【テーマ】季節の草花(2) 【計画内容】季節の草花を用いて、楽しい遊びを考えます。(横山光) 【授業時間外の学修内容】配付した資料を読んでおくこと。	G、H	第12回	【テーマ】数量や図形について 【計画内容】幼児が数量や図形に親しみをもつ保育(かかわり)について、実践的に学びます。(西出勉) 【授業時間外の学修内容】配付した資料を読んでおくこと。	G、H
	第5回	【テーマ】身近な自然と社会環境 【計画内容】地域の自然や社会環境について、実践的に取り組みます。(横山光) 【授業時間外の学修内容】配付した資料を読んでおくこと。	G、M	第13回	【テーマ】標識や文字について 【計画内容】幼児が標識や文字に親しみをもつ保育(かかわり)について、実践的に学びます。(西出勉) 【授業時間外の学修内容】配付した資料を読んでおくこと。	G、H
	第6回	【テーマ】公園について 【計画内容】公園の役割と現状を実践的に学びます。(横山光) 【授業時間外の学修内容】配付した資料を読んでおくこと。	G、M	第14回	【テーマ】保育の現場の環境について 【計画内容】幼稚園や保育園の環境について、実践的に学びます。(西出勉) 【授業時間外の学修内容】配付した資料を読んでおくこと。	G、H、M
	第7回	【テーマ】科学遊び(1) 【計画内容】科学的な要素のある遊びについて、実践的に学びます。(横山光) 【授業時間外の学修内容】配付した資料を読んでおくこと。	G、H	第15回	【テーマ】まとめ 【計画内容】「保育内容(環境)」の内容を踏まえ、教師は幼児にどのようにかかわるべきか、整理しまとめます。(西出勉･横山光) 【授業時間外の学修内容】これまで配付した資料を振り返り、整理しておくこと。	G
	第8回	【テーマ】科学遊び(2) 【計画内容】科学的な要素のある遊びについて、実践的に学びます。(横山光) 【授業時間外の学修内容】配付した資料を読んでおくこと。	G、H			

テキスト	講義時に説明します
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			70%		30%	
	補足			レポート			

課題に関するフィードバックの方法	レポート等を返却し、学んだ内容を振り返りながら講評します。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	西出勉／小学校教諭、横山光／小学校教諭、中学校教諭
		科目との関連	西出勉･横山光／小学校及び中学校教諭としての業務経験をもとに、実務に即した指導を行う。

質問への対応	随時対応します。
資格	[教]保育士_選必
その他	

科目名	保育内容指導(言葉)	授業形態	演習	単位数	2
教員名	伏見　千悦子				

授業の目的

ねらい	この授業は前学年で履修した「こどもの言葉あそび」の応用・発展として位置づけられています。幼児の言語発達の道筋を理解し、さまざまな児童文化財や保育教材を活用して保育を展開できるよう、実践力を身につけるとともに、幼児の言語発達を促すための指導や援助の方法を学びます。絵本の読み聞かせや紙芝居の発表、ペープサート・パネルシアターなどの製作と発表を通して、指導のしかたや配慮事項について考察します。
到達目標	(1)幼児の言語発達過程を理解する。 (2)児童文化財や保育教材を用いて保育を展開することができる。 (3)幼児の言語発達を促す指導の方法を理解する。

授業の計画

第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】受講の心得と講義展開の説明をします。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で学びたいことを整理して、関連する資料を調べておく。	A	第9回	【テーマ】ペープサート(2) 【計画内容】ペープサートの発表を通して、留意点について学びます。 【授業時間外の学修内容】課題に取り組むこと。	E
第2回	【テーマ】絵本(1) 【計画内容】絵本の読み聞かせの配慮事項について学びます。 【授業時間外の学修内容】課題に取り組むこと。	A、B、H	第10回	【テーマ】ペープサート(3) 【計画内容】ペープサートの発表を通して、留意点について学びます。 【授業時間外の学修内容】課題に取り組むこと。	E
第3回	【テーマ】絵本(2) 【計画内容】絵本の読み聞かせの発表を通して配慮事項について学びます。 【授業時間外の学修内容】課題に取り組むこと。	E	第11回	【テーマ】パネルシアター(1) 【計画内容】パネルシアターを製作します。製作する上での留意点について学びます。 【授業時間外の学修内容】課題に取り組むこと。	A、B、H
第4回	【テーマ】絵本(3) 【計画内容】絵本の読み聞かせの発表を通して配慮事項について学びます。 【授業時間外の学修内容】課題に取り組むこと。	E	第12回	【テーマ】パネルシアター(2) 【計画内容】パネルシアターを製作します。製作する上での留意点について学びます。 【授業時間外の学修内容】課題に取り組むこと。	A、B、H
第5回	【テーマ】紙芝居(1) 【計画内容】紙芝居の配慮事項について学びます。 【授業時間外の学修内容】課題に取り組むこと。	A、B、H	第13回	【テーマ】パネルシアター(3) 【計画内容】パネルシアターを用いて発表します。発表する上での留意点について学びます。 【授業時間外の学修内容】課題に取り組むこと。	E
第6回	【テーマ】紙芝居(2) 【計画内容】紙芝居の発表を通して、留意点について学びます。 【授業時間外の学修内容】課題に取り組むこと。	E	第14回	【テーマ】パネルシアター(4) 【計画内容】パネルシアターを用いて発表します。発表する上での留意点について学びます。 【授業時間外の学修内容】課題に取り組むこと。	E
第7回	【テーマ】紙芝居(3) 【計画内容】紙芝居の発表を通して、留意点について学びます。 【授業時間外の学修内容】課題に取り組むこと。	E	第15回	【テーマ】まとめとレポート 【計画内容】児童文化財や保育教材を用いた指導の方法や配慮事項などについて、グループワークを通して再確認し、レポート課題を提出します。 【授業時間外の学修内容】これまでの講義内容を復習しておくこと。	G、H
第8回	【テーマ】ペープサート(1) 【計画内容】ペープサートを製作します。製作する上での留意点について学びます。 【授業時間外の学修内容】課題に取り組むこと。	A、B、H			

テキスト	プリント・ワークシートを使用します
参考書	厚生労働省、2018年、『保育所保育指針解説』、フレーベル館、9784577814482 文部科学省、2018年、『幼稚園教育要領解説』、フレーベル館、9784577814475 内閣府・文部科学省・厚生労働省、2018年、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』、フレーベル館、9784577814499

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			20%	20%	30%	30%
補足						発表

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	オフィスアワー:615研究室
資格	[教]保育士_選必
その他	幼児の成長に深くかかわる保育者は、言語環境としても大変責任のある立場です。 日頃から豊かで魅力ある言葉との出会いを心掛け、言葉の感受性を磨きましょう。 実践的な内容を多く含みますので積極的に受講してください。課題は返却し、講評します。

科目名	保育内容指導(表現)	授業形態	演習	単位数	2

教員名	澤田　悦子

授業の目的		
	ねらい	この講義は前学年で履修した「こどもの表現あそび」の応用・発展として位置づけられています。幼児や障がいのある子どもの表現のプロセスを理解し、さまざまな表現遊びや保育教材を活用して保育を展開できるよう、実践力を身につけます。歌唱、器楽など、多様な表現を体験しながら豊かな表現力を育む指導について学びます。
	到達目標	(1)幼児や障がいのある子どもの表現のプロセスを理解する。 (2)多様な表現の方法について体験し理解を深める。 (3)豊かな表現力を育むための指導の方法を理解する。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】授業展開の説明をします。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で学びたいことを整理して、関連する資料を調べておく。	A	第9回	【テーマ】音楽表現と活動1 【計画内容】歌唱、楽器、身体表現教材を研究する。ペープサート、シアターなど補助教材の作成も行う。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを復習しておくこと。課題に取り組むこと。	A、E、H
	第2回	【テーマ】領域「表現」のねらいと内容 【計画内容】幼児の表現とその指導について幼児教育の領域と保育者の援助の意味から学ぶ。 【授業時間外の学修内容】教科書の pp.9第1章表現のねらいを熟読しておく。	A	第10回	【テーマ】音楽表現と活動2 【計画内容】歌唱、楽器、身体表現教材を研究する。ペープサート、シアターなど補助教材の作成も行う。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを復習しておくこと。課題に取り組むこと。	A、E、H
	第3回	【テーマ】幼児の音楽的発達と音楽環境 【計画内容】生活の中で育つ音楽的表現活動や乳児の表現活動について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】教科書の pp.20 を熟読し、音楽的表現活動について調べておく。	A、G	第11回	【テーマ】音楽表現と活動3 【計画内容】歌唱、楽器、身体表現教材を研究する。ペープサート、シアターなど補助教材の作成も行う。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを復習しておくこと。課題に取り組むこと。	A、E、H
	第4回	【テーマ】「歌うこと」、「楽器あそび」の表現活動 【計画内容】幼児の音楽的発達と音楽環境の理解を深め、歌と楽器あそびの表現活動について学ぶ。課題曲を歌と楽器で演奏する。 【授業時間外の学修内容】教科書の pp.26を熟読し歌と楽器の表現について調べておく。	A、E、H	第12回	【テーマ】音楽表現と活動4 【計画内容】歌唱、楽器、身体表現教材を研究する。ペープサート、シアターなど補助教材の作成も行う。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを復習しておくこと。課題に取り組むこと。	A、E、H
	第5回	【テーマ】音楽的活動とその援助 【計画内容】幼児期の音楽的活動事例に沿って音楽的表現の活動について学び、わらべうた、触合いあそび、集団あそびなどをグループごとで研究する。 【授業時間外の学修内容】教科書の pp.42を熟読し、あそびの特徴をまとめておく。	A、E、H	第13回	【テーマ】簡易楽器、手作り楽器と合奏1 【計画内容】合奏についての基礎的事項を学び、発表に向けての練習をします。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを復習しておくこと。課題に取り組むこと。	A、B、E
	第6回	【テーマ】歌う表現活動、楽器を弾く表現活動の展開 【計画内容】歌、楽器活動の意義と活動の展開例を学びます。 【授業時間外の学修内容】教科書の pp.53、歌う表現活動、楽器を弾く表現活動について熟読しておく。	A、H	第14回	【テーマ】簡易楽器、手づく楽器と合奏2 【計画内容】合奏についての基礎的事項を学び、発表に向けての練習をします。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを復習しておくこと。課題に取り組むこと。	A、B、E
	第7回	【テーマ】音楽を聞く、身体を動かす活動の展開 【計画内容】音楽を聞く活動のねらい、留意点と身体を動かす活動の音楽的表現の展開例を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】教科書の pp.73の 音楽を聞く表現活動と身体を動かす表現活動について熟読しておく。	A、B、H	第15回	【テーマ】表現活動の振り返りとまとめ 【計画内容】これまでの講義を振り返り、課題について整理します。 【授業時間外の学修内容】これまでの講義内容を確認し、発表に向けての練習をしておくこと。	A、F、L
	第8回	【テーマ】他の領域と関係、音楽活動の指導計画の立て方 【計画内容】音楽表現における3つの留意点およびさまざまな音や教材の関わりを指導計画と事例から学びます。 【授業時間外の学修内容】教科書の pp.95の他の領域との関係、音楽活動の指導計画について熟読しておく。	A、B			

テキスト	三森桂子・小畠エマ編、2018年、『音楽表現』、一藝社、9784863591608
参考書	文部科学省、2017年、『幼稚園教育要領』、フレーベル館 厚生労働省、2017年、『保育所保育指針』、フレーベル館

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			30%		30%	40%
	補足						演習課題の取り組み、発表

課題に関するフィードバックの方法	第15回目で課題レポートを返却し、振り返りとまとめを行い、講評します。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	オフィスアワー:842研究室
資格	[教]保育士_選必
その他	本講義では、保育における様々な表現について幼児の音楽を主として課題の取り組みや発表などあります。積極的な受講を望みます。幼児教育コース専門科目ですが、小学校・特別支援学校でも応用できる内容です。

科目名	こども理解	授業形態	講義	単位数	2
教員名	吉田　耕一郎、滝澤　真毅				

授業の目的

ねらい	子どもと関わる仕事をしていくためには、一人一人の子ども、集団としての子どもについて、さまざまな角度から理解を深める必要があります。この授業では、子どもを理解するための基礎的な知識や理論と、保育現場などでの子どもの実態に即して子どもを理解し必要に応じて適切な援助をするために必要な視点や対応方法について、事例の検討なども交えながら学びます。
到達目標	(1)教育・保育における子ども理解の意義について述べることができる。 (2)子どもの姿から発達や学びをとらえるための視点や方法を示すことができる。 (3)子どもを取り巻く多様な人間関係や環境をふまえて、一人一人の子どもに必要な支援を検討することができる。

授業の計画

第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】授業の内容や方法について紹介します。また、教育・保育における子ども理解の意義について説明します。(滝澤真毅) 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で学びたいことを整理して、関連する資料を調べておく。	A	第9回	【テーマ】子どもの気になる行動と援助 【計画内容】子どもの気になる行動や癖に関して、その受け止め方や援助方法について学びます。(滝澤真毅) 【授業時間外の学修内容】指しゃぶり、チック、吃音などの子どもの行動上の問題について情報を集めてみてください。	A
第2回	【テーマ】対人認知と教育・保育における子ども理解 【計画内容】対人認知の理論的な知見を紹介し、教育・保育の場において子どもを理解する際に気をつけるべきことについて考えます。(滝澤真毅) 【授業時間外の学修内容】社会心理学関係の文献で「対人認知」のバイアスについて調べてみてください。	A、H	第10回	【テーマ】子ども集団の中での子どもの理解と援助(1) 【計画内容】子ども集団の中で子どもをどのように理解し、援助するかを、子ども同士のトラブルの事例をもとに考えます。(滝澤真毅) 【授業時間外の学修内容】保育の実践記録などを読んでみましょう。	A、H
第3回	【テーマ】ロッカーに入り込む幼児の理解と援助 【計画内容】様々な表現を示す幼児の解釈の仕方を学びましょう。(吉田耕一郎) 【授業時間外の学修内容】実習日誌などを読み返してみてください。	H	第11回	【テーマ】子ども集団の中での子どもの理解と援助(2) 【計画内容】子ども集団の中で子どもをどのように理解し、援助するかを、子どもの集団としての育ちという観点から検討します。(滝澤真毅) 【授業時間外の学修内容】子どもの友だち関係の発達について確認をしておいてください。	A、H
第4回	【テーマ】カウンセリングマインド 【計画内容】子どもの理解とそれに基づく援助の基本的な考え方を、事例をもとに検討します。(滝澤真毅) 【授業時間外の学修内容】心理学関連の文献で「カウンセリングマインド」について事前に勉強してみてください。	A、H	第12回	【テーマ】子ども理解と保護者との連携 【計画内容】保護者と連携しながら子どもの理解を深めた事例をもとに、子どもの生活全体を見通した援助を考えます。(滝澤真毅) 【授業時間外の学修内容】「不適切な養育環境」と子どもの行動について調べてみてください。	A、H
第5回	【テーマ】じゃんけんで負けても譲れない幼児の理解と援助 【計画内容】様々な表現を示す幼児の解釈をしてみましょう。(吉田耕一郎) 【授業時間外の学修内容】実習日誌などを読み返してみてください。	H	第13回	【テーマ】子ども理解と保育者同士の連携 【計画内容】保育現場における職員間連携について紹介します。(吉田耕一郎) 【授業時間外の学修内容】実習における職員間の連携について振り返ってみてください。	A
第6回	【テーマ】保育現場における子どもの「かみつき」 【計画内容】「かみつき」の事例調査の結果をもとに、子どもの情緒的な安定につながる保育環境について学びます。(滝澤真毅) 【授業時間外の学修内容】乳幼児のコミュニケーション能力の発達について調べてみてください。	A	第14回	【テーマ】子どもの理解・支援と地域社会 【計画内容】子どもの理解を深め、よりよい支援を作っていくために、保育現場と関わりの深い地域の機関や専門家などとの連携について学びます。(滝澤真毅) 【授業時間外の学修内容】地域の子ども関係の相談機関について下調べをしておいてください。	A、H
第7回	【テーマ】毎朝泣きながら登園する幼児の理解と援助 【計画内容】様々な表現を示す幼児について学びます。(吉田耕一郎) 【授業時間外の学修内容】ＡＤＨＤや自閉症について勉強しておいてください。	H	第15回	【テーマ】まとめと確認 【計画内容】講義全体を振り返り、理解状況を確認します。(吉田耕一郎) 【授業時間外の学修内容】これまでの授業ノート、配付資料などを見直してください。	A、G、K、L
第8回	【テーマ】幼児理解の背景 【計画内容】「子ども観」の歴史的な変遷をたどりながら、子どもをとらえる現代的な視点と援助のあり方について考えます。(滝澤真毅) 【授業時間外の学修内容】子どもの権利条約について調べてみてください。	A			

テキスト	講義時に説明します
参考書	文部科学省、2017年、『幼稚園教育要領』 厚生労働省、2017年、『保育所保育指針』

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			50%		50%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連

該当	経験内容	吉田耕一郎／幼稚園園長
	科目との関連	吉田耕一郎／担任や園長として、現場の実践を通して、生身の子どもの理解を促す。

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[教]幼1種_必修、保育士_必修
その他	提出されたレポートは評価後返却します。

科目名	幼稚園教育研究Ⅰ	授業形態	講義	単位数	2
教員名	山崎　正明、伏見　千悦子				

授業の目的		
	ねらい	幼稚園教育要領の5領域を理解し、さまざまな場面における指導の方法を学びます。教師に求められる専門的な技能向上を目指し、指導案の作成と模擬授業、考察を行います。
	到達目標	(1)幼稚園におけるさまざまな場面での指導案を作成することができる。 (2)模擬授業を通して指導技術を身に付ける。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】ガイダンス 【計画内容】受講の心得と講義展開の説明をします。(全教員) 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で学びたいことを整理して、関連する資料を調べておくこと。	A	第9回	【テーマ】完全実習指導案作成(3) 【計画内容】指導案作成と教材研究を行います。(全教員) 【授業時間外の学修内容】配付プリントを復習しておくこと。課題に取り組むこと。	A、B
	第2回	【テーマ】部分実習指導案作成(1) 【計画内容】事例に基づき、部分実習の基本や留意点を学びます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】配付プリントを復習しておくこと。課題に取り組むこと。	A、B	第10回	【テーマ】完全実習模擬授業(1) 【計画内容】作成した指導案を基に模擬授業と授業検討を行います。(全教員) 【授業時間外の学修内容】配付プリントを復習しておくこと。課題に取り組むこと。	F、H
	第3回	【テーマ】部分実習指導案作成(2) 【計画内容】指導案作成と教材研究を行います。(全教員) 【授業時間外の学修内容】配付プリントを復習しておくこと。課題に取り組むこと。	A、B	第11回	【テーマ】完全実習模擬授業(2) 【計画内容】作成した指導案を基に模擬授業と授業検討を行います。(全教員) 【授業時間外の学修内容】配付プリントを復習しておくこと。課題に取り組むこと。	F、H
	第4回	【テーマ】部分実習模擬授業(1) 【計画内容】作成した指導案を基に模擬授業と授業検討を行います。(全教員) 【授業時間外の学修内容】配付プリントを復習しておくこと。課題に取り組むこと。	F、H	第12回	【テーマ】完全実習模擬授業(3) 【計画内容】作成した指導案を基に模擬授業と授業検討を行います。(全教員) 【授業時間外の学修内容】配付プリントを復習しておくこと。課題に取り組むこと。	F、H
	第5回	【テーマ】部分実習模擬授業(2) 【計画内容】作成した指導案を基に模擬授業と授業検討を行います。(全教員) 【授業時間外の学修内容】配付プリントを復習しておくこと。課題に取り組むこと。	F、H	第13回	【テーマ】完全実習模擬授業(4) 【計画内容】作成した指導案を基に模擬授業と授業検討を行います。(全教員) 【授業時間外の学修内容】配付プリントを復習しておくこと。課題に取り組むこと。	F、H
	第6回	【テーマ】部分実習模擬授業(3) 【計画内容】作成した指導案を基に模擬授業と授業検討を行います。(全教員) 【授業時間外の学修内容】配付プリントを復習しておくこと。課題に取り組むこと。	F、H	第14回	【テーマ】完全実習模擬授業(5) 【計画内容】作成した指導案を基に模擬授業と授業検討を行います。(全教員) 【授業時間外の学修内容】配付プリントを復習しておくこと。課題に取り組むこと。	F、H
	第7回	【テーマ】完全実習指導案作成(1) 【計画内容】事例に基づき、完全実習の基本や留意点を学びます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】配付プリントを復習しておくこと。課題に取り組むこと。	A、B	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】これまでの講義を振り返り、幼稚園における指導の留意点や課題を整理します。これまでの授業検討を踏まえて作成した指導案を提出します。(全教員) 【授業時間外の学修内容】これまでの授業検討を踏まえて作成した指導案を準備しておくこと。	L
	第8回	【テーマ】完全実習指導案作成(2) 【計画内容】指導案作成と教材研究を行います。(全教員) 【授業時間外の学修内容】配付プリントを復習しておくこと。課題に取り組むこと。	A、B			

テキスト	配付プリントを使用します
参考書	文部科学省、2018年、『幼稚園教育要領解説』、フレーベル館、9784577814475

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			30%		30%	40%
補足			指導案			模擬保育

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	山崎正明／中学校教諭
		科目との関連	山崎正明／中学校教諭の経験を活かし、指導案作成と演習を実践的に教授する。

質問への対応	オフィスアワー(4月中に発表)で対応します。
資格	
その他	教育実習に向けての指導案作成、模擬授業、教材研究などを受講生同士の学び合いによって深めていく講義です。 各自の準備を含め、積極的な姿勢で臨んでください。

科目名	幼稚園教育研究Ⅱ	授業形態	講義	単位数	2
教員名	岡　健吾、澤田　悦子				

授業の目的	
ねらい	教育実習の経験を踏まえ、今後の保育実習に向けて各自の成果と課題を理解するとともに、自己課題の解決に向けた取り組みを行う。保育所や児童養護施設等への施設見学を通して、保育者が活躍する多様な施設への理解を深める。子どもの発達過程や対象児の特性を理解した保育の展開の重要性を再確認しながら、指導案および教材・教具の作成を行う。
到達目標	(1)教育実習での成果と課題を確認する。 (2)より充実した実習日誌の書き方を理解する。 (3)施設見学を通して、それぞれの施設の役割について理解を深める。 (4)5領域を意識した保育が計画・実践されたり、保育のなかで各領域に関連する事項が見出されたりすることをふまえて、教材・教具の製作をおこなうことができる。

授業の計画						
第1回	【テーマ】ガイダンス 【計画内容】受講の心得と講義展開の説明をする。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で学びたいことを整理して、関連する資料を調べておくこと。	A	第9回	【テーマ】保育施設見学 【計画内容】保育所及び子育て支援施設の見学を通して、その役割について理解を深める。 【授業時間外の学修内容】見学する施設について調べておく。	B
第2回	【テーマ】教育実習の振り返り 【計画内容】教育実習全体を通した各自の成果と課題をまとめる。 【授業時間外の学修内容】教育実習の成果と課題を振り返っておく。	B	第10回	【テーマ】施設職員による講演 【計画内容】福祉施設で働く職員にご講演いただき、福祉施設における保育士の役割を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】ご講演いただく職員が勤務する施設について調べておく。	B
第3回	【テーマ】実習日誌の振り返り① 【計画内容】教育実習で作成した日誌を振り返り、改善点を確認する。 【授業時間外の学修内容】実習日誌を読み返しておく。	B	第11回	【テーマ】施設見学及び講演の振り返り① 【計画内容】保育所、子育て支援施設、福祉施設の見学及び講演で学んだことを各自まとめる。 【授業時間外の学修内容】施設見学と講演について振り返っておく。	B
第4回	【テーマ】実習日誌の振り返り② 【計画内容】前時の確認事項をグループで共有し、改善の方策を考える。 【授業時間外の学修内容】自分なりの改善方策を考えておく。	H	第12回	【テーマ】施設見学及び講演の振り返り② 【計画内容】前時でまとめたことをグループで話し合い、成果と今後の課題を共有する。 【授業時間外の学修内容】実習に向けた各自の課題をまとめておく。	H
第5回	【テーマ】実習日誌の振り返り③ 【計画内容】実習日誌の改善に向けて検討したことをまとめ、発表する。 【授業時間外の学修内容】発表の準備をする。	F	第13回	【テーマ】教材・教具の製作③ 【計画内容】製作した各領域を意識した教材・教具について、グループで検討し、改善する。 【授業時間外の学修内容】製作した教材・教具の特性を確認しておく。	H
第6回	【テーマ】教材・教具の製作① 【計画内容】各領域を意識した教材・教具を調べる。 【授業時間外の学修内容】各領域で求められる内容を確認しておく。	A、B	第14回	【テーマ】教材・教具の製作④ 【計画内容】各自製作した各領域を意識した教材・教具を発表する。 【授業時間外の学修内容】発表の準備をする。	F
第7回	【テーマ】教材・教具の製作② 【計画内容】各領域を意識した教材・教具を製作する。 【授業時間外の学修内容】教材・教具の製作に必要な素材を準備する。	B	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】これまでの講義を振り返り、保育実習に向けた課題を確認する。 【授業時間外の学修内容】これまでの学びを振り返っておく。	A、B
第8回	【テーマ】福祉施設見学 【計画内容】福祉施設の見学を通して、その役割について理解を深める。 【授業時間外の学修内容】見学する施設について調べておく。	B			

テキスト	相浦雅子・那須伸樹・原孝成編著、2008年、『ワークシートで学ぶ保育所実習1・2・3』、同文書院 浦田雅夫編著、2015年、『考え、実践する施設実習』、保育出版社
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			40%	40%	20%	
補足			提出物	発表		

課題に関するフィードバックの方法	課題、レポートは適宜返却し、指導する。再提出を求めることもある。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	講義時ほか、随時対応します。
資格	[教]保育士_選必
その他	

科目名	保育の心理学Ⅰ	授業形態	講義	単位数	2
教員名	岸　靖亮				

授業の目的		
	ねらい	幼児教育や保育に携わる人間は、乳幼児の成長・発達を、冷静な目で観察・理解した上で日々の実践を着実に進めていく必要がある。本授業では、子どもたちの姿を理解する際に、保育者に求められる心理学的知識・理論について学習する。そして、そのようにして学習された知識や理論を、具体的な保育・教育実践と結びつけた形で深化させていきたい。
	到達目標	(1)乳幼児の成長・発達にかかわる心理学的な知識・理論について学習する。 (2)乳幼児の成長・発達に及ぼす社会的相互作用の影響について理解する。 (3)幼児教育や保育実践を心理学的な視点から理解することの重要性について理解する。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション・子どもの発達の理解とその意義 【計画内容】本授業の授業展開・内容について紹介する。子どもの発達がどのように理解されてきたのか、歴史的な視点から理解する。そして子どもの発達をとらえる視点や枠組み について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】シラバスとテキスト(第1講)を熟読しておくこと。	A	第9回	【テーマ】基本的信頼感の獲得 【計画内容】特定の養育者との間で獲得される基本的信頼感を、愛着(アタッチメント)の形成という観点から理解する。 【授業時間外の学修内容】テキスト(第9講)を熟読しておくこと。	A
	第2回	【テーマ】保育実践の評価 【計画内容】保育実践における評価の意義と分類、方法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキスト(第2講)を熟読しておくこと	A	第10回	【テーマ】他者とのかかわり 【計画内容】社会の一員として生きざるをえない「社会的動物」としての人間存在について、人への志向性、他者との関わり、そして他者の視点取得という観点から理解を深める。 【授業時間外の学修内容】テキスト(第10講)を熟読しておくこと。	A
	第3回	【テーマ】発達観・子ども観・保育観 【計画内容】子どもへの関わりが「発達観」「子ども観」「保育観」によって大きく左右されることを理解する。 【授業時間外の学修内容】テキスト(第3講)を熟読しておくこと。	A、G	第11回	【テーマ】社会的相互作用 【計画内容】子どもが仲間との相互作用を通してどのように社会性を獲得していくのか、特に遊びの構築や仲間入りなどに見られる子ども同士のやりとりの特徴について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキスト(第11講)を熟読しておくこと。	A、G
	第4回	【テーマ】子どもの発達と環境 【計画内容】子どもの発達と環境の関係について学び、特に保育現場における両者の関係とそこへの支援のあり方について学習する。 【授業時間外の学修内容】テキスト(第4講)を熟読しておくこと。	A	第12回	【テーマ】生涯発達と発達援助 【計画内容】生涯発達における乳幼児期の意義について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキスト(第12講)を熟読しておくこと。	A
	第5回	【テーマ】感情の発達と自我 【計画内容】乳幼児期の感情の発達について、社会性や規範意識の獲得、自己調整など、自我の問題という視点から学習する。 【授業時間外の学修内容】テキスト(第5講)を熟読しておくこと。	A、G	第13回	【テーマ】胎児期及び新生児期の発達 【計画内容】出生前の胎児の脳神経系の発達や、新生児期におけるヒトへの志向性をもった聴覚や視覚能力の発達について学習する。 【授業時間外の学修内容】テキスト(第13講)を熟読しておくこと。	A、G
	第6回	【テーマ】身体的機能と運動機能の発達 【計画内容】乳幼児期の身体・運動の基本的発達について理解すると同時に、運動発達と認知能力や社会性との関わりについて学習する。 【授業時間外の学修内容】テキスト(第6講)を熟読しておくこと。	A	第14回	【テーマ】乳幼児期の発達 【計画内容】生涯発達における乳幼児期の全体的な発達的特徴について理解する。 【授業時間外の学修内容】テキスト(第14講)を熟読しておくこと。	A
	第7回	【テーマ】知覚と認知の発達 【計画内容】乳幼児期の知覚や認知発達について学習する。さらに、子どもの認知発達の程度に応じた保育者の関わりについて理解を深める。 【授業時間外の学修内容】テキスト(第7講)を熟読しておくこと。	A	第15回	【テーマ】学童期以降の発達 【計画内容】乳幼児期以降の発達の諸相について、特に幼少連携という観点から見た学童期における発達と学習指導について理解を深める。 【授業時間外の学修内容】テキスト(第15講)を熟読しておくこと。	A、G
	第8回	【テーマ】言葉の発達と社会性 【計画内容】乳幼児期の言語の発達過程について把握する。特に、社会的相互作用という観点から、乳幼児期の言語発達について理解する。 【授業時間外の学修内容】テキスト(第8講)を熟読しておくこと。	A、G			

テキスト	杉村伸一郎・白川佳子・清水益治編、2015年、『保育の心理学Ⅰ』、中央法規、978480585
参考書	プリントを使用する。

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			30%		30%	40%
	補足			リアクションペーパー			レポート

課題に関するフィードバックの方法	課題提出後、次回の講義時に講評する。

実務経験と授業の関連		経験内容	
		科目との関連	

質問への対応	リアクションペーパーの記入された質問に関しては、次回講義開始時に回答する。
資格	[教]保育士_必修
その他	基礎的な心理学の話を中心に講義を行うが、保育現場や実生活を想定して講義内容を理解するよう期待する。様々な発達現象に関しては可能な限り具体例を挙げるので、「実践」に持っていける「知識や理論」を身に着けることを目標に受講して頂きたい。

科目名	こどもの保健Ⅱ	授業形態	演習	単位数	1
教員名	鎌田　晴美				

授業の目的

ねらい

子どもは、自由にのびのびと活動し、さまざまな場面で興味や関心をもちながら行動範囲を広げ、豊かな経験を積み重ねることによって、心も身体も健やかに成長していきます。その経過の中では、心身の状況や発達段階に合わせた保健的環境と安全の確保が必要となります。この科目では、「子どもの保健Ⅰ」の基礎知識をもとに、演習を通して、健康と安全をしっかり守ることのできる保健活動の具体的な知識や技術を身につけていきます。

到達目標

(1)子どもの心身の成長・発達を促す保健活動の実際や成育環境を考えることができる。
(2)身体測定の方法を身につけ、子どもの成長・発達の評価をすることができる。
(3)子どもの健康観察ができ、健康管理の方法を具体的に知ることができる。
(4)子どもの心身の特徴をふまえた事故防止・安全管理・救急時の対応の方法がわかる。
(5)子どもの健康増進のための地域活動の理解のもと、保健活動計画及び評価ができる。

授業の計画

第1回	【テーマ】授業ガイダンス、保育のための小児保健 【計画内容】何を学ぶ科目であるのか紹介し、15回の授業内容を説明する。 子どもの成長・発達は、産まれる前から始まっていることを知る。(生命誕生ＤＶＤ) 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で学びたいことを整理して、関連する資料を調べておく。	A、B、K	第9回	【テーマ】子どもの病気と保育(2)子どものかかりやすい病気 【計画内容】子どものかかりやすい病気・感染症の特徴的な症状を知り、対応の仕方を学ぶ。目で見て理解を深める。 【授業時間外の学修内容】テキストの「感染症の予防と対策」を読んでおく。	A、B、K
第2回	【テーマ】子どもの発育・発達(1)身体発育・発達の観察と評価 【計画内容】子どもの発育・発達に関する観察と計測方法に関する基礎知識と評価方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキストの「子どもの発育・発達の観察と評価」を読んでくる。終了後、課題ワークシートに取り組む。	A、B、K	第10回	【テーマ】子どもの病気と保育(3)子どものかかりやすい病気 【計画内容】子どもかかりやすい病気・感染症の予防について学ぶ。予防接種について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキスとの「感染症の予防と対策」を読んでくる。終了後「予防接種表」を完成。	A、B、L、K
第3回	【テーマ】子どもの発育・発達(2)身体発育の観察方法 【計画内容】身体測定に関する基礎知識をもとに、実際に人形や計測器具を使い身体測定を行い評価につなげる。 【授業時間外の学修内容】テキストにある「身体計測方法」を読んでくる。終了後に演習ノート完成。	A、B、L、K	第11回	【テーマ】子どもの病気と保育(4)子どものかかりやすい病気 【計画内容】子どもにみられるアレルギー疾患の特徴的症状を知り、対応の仕方を学ぶ。エピペンについて学び、アレルギー因子の少ない環境づくりについてグループワークで深める。 【授業時間外の学修内容】テキストの「アレルギー疾患への対応」を読んでおく。	A、B、H
第4回	【テーマ】子どもの健康観察と健康管理 【計画内容】子どもの身体の特徴を知り、健康状態の把握するポイントを学ぶ。バイタルサイン測定を実際に行う。 【授業時間外の学修内容】テキストの「子どもの健康観察と健康管理」を読んでくる。終了後に演習ノート完成。	A、B、K	第12回	【テーマ】子どもの事故(1) 【計画内容】子どもに多い事故の特徴と原因を知り、応急処置の方法を学ぶ。子どもの視野が狭いことを体験して学ぶ。救急処置の方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキスト「保育における応急処置」を読んでおく。終了後に家庭でも視野レンズ体験をして演習ノートにまとめる。	A、B、K
第5回	【テーマ】子どもの養護(1) 【計画内容】子どもの身体的特徴を知り、養護に必要な基礎技術を学ぶ。(安全で安楽な抱っこの仕方、オムツ交換など) 【授業時間外の学修内容】テキストの「抱っこ・おんぶの仕方」「オムツ交換の方法」を読んでくる。終了後「抱っこの仕方」のレポート課題。	A、B、G	第13回	【テーマ】子どもの事故(2) 【計画内容】子どもに多い事故の特徴と原因を知り、応急処置の方法を学ぶ。救急処置・骨折の固定・三角巾の使い方・絆創膏の貼り方などを実際に行ってみる。 【授業時間外の学修内容】テキスト「保育における応急処置」を読んでくる。終了後「三角巾を使った固定の仕方」のレポート課題。	A、B、L、K
第6回	【テーマ】子どもの養護(2) 【計画内容】子どもの身体的特徴を知り養護に必要な基礎知識を学ぶ。(オムツ交換、衣類の着脱など) 【授業時間外の学修内容】テキストの「オムツ交換の仕方」「衣類の着脱」を読んでくる。終了後「オムツ交換」レポート課題。	A、B、L、G	第14回	【テーマ】保健活動の計画及び評価 【計画内容】「保健活動計画及び評価」にもとづき、「保健だより」の作成について学ぶ。「保健だより」を実際に作成してみる。 【授業時間外の学修内容】テキストの「保健活動計画及び評価」を読んでくる。「保健だより」計画を立て、その内容を具体的に調べてくる。	A、B、L、K
第7回	【テーマ】子どもの食と栄養 【計画内容】子どもの食習慣形成のための支援技術について学ぶ。調乳の実際。 【授業時間外の学修内容】テキストの「子どもの食」をよんでくる。終了後「調乳」の演習ノート完成。	A、B、K	第15回	【テーマ】子どもの事故(3)、まとめと確認 【計画内容】子どもの心身の発達と危険の関連を知り、予防法についてのグループワークを行う。これまで学んだことを振り返る。 【授業時間外の学修内容】年齢・月齢に応じた子どもの特徴と多い事故について学習しておく。これまでの配付資料を確認しておく。	A、L、H、K
第8回	【テーマ】子どもの病気と保育(1)子どもに生じやすい症状 【計画内容】子どもに生じやすい症状への対応の仕方について学ぶ。嘔吐した時の処理の仕方の実際。 【授業時間外の学修内容】テキストの「子どもの体調不良などへの対応」を読んでおく。終了後「嘔吐物処理」の演習ノート完成。	A、B、K			

テキスト	鈴木三枝子、2019年、『これだけはおさえておきたい！保育者のための子どもの保健Ⅱ』、創成社、9784794480811
参考書	プリントを使用します。

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分		30%	50%		20%	
補足		レポートも含む	演習ノート・ワークシート			

課題に関するフィードバックの方法	学びを振り返るための演習ノートや課題レポートなどの提出をしてもらい、そのつど返却とともに補足をしながら進めていきます。

実務経験と授業の関連

該当	経験内容	看護師
	科目との関連	看護師としての臨床経験や講義経験を活かし、子どもの保健の実際について教授する。

質問への対応	初回授業で説明します。基本的には、授業前後の時間に対応します。
資格	[教]保育士_必修
その他	保育実技室での演習時では、エプロンを着用しハンカチを持参すること。積極的な姿勢で演習に参加してください。

科目名	家庭支援論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	遠山　景広				

授業の目的

ねらい	社会の変化とともに子育てや家族観も変化し、多様な家庭の姿が想定されるようになった。 本授業では、社会の変化とそれに伴う家族の役割や意義の変化、家庭支援の必要性と課題を学ぶ。また、地域をはじめとする家庭に携わる様々な主体と連携を含めて、それぞれの家庭とそのニーズに寄り添うために必要な視点を身につける。 授業を通して、子育てと家族が直面している課題とその背景を理解し、保育の専門的な立場を踏まえてどのような支え方ができるかを考察する。
到達目標	(1)現代の子育て家庭が置かれている状況と課題について理解する。 (2)子ども・子育て家庭を支える社会的な体制について理解する。 (3)子ども・子育て家庭への支援の意義と課題を理解し、今後の支援のあり方について意見を述べることができる。 (4)子育て家庭の様々なニーズに応じた支援の展開と、地域社会をはじめとする多様な主体との連携の在り方について理解する。

授業の計画

第1回	【テーマ】社会の変化と家庭支援 【計画内容】授業全体の概要について説明する。 子ども家庭への支援が必要とされるようになった背景について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】新聞などを参考に、近年の子どもと家族に関してどのようなことが言われているのか、どのような課題が指摘されているのか、確かめてみる	A	第9回	【テーマ】様々な子育て家庭への支援のあり方 【計画内容】健康や家庭・家族の状況など、特別なニーズのある家庭に対するかかわり方、および支援体制について理解を深めていく。 【授業時間外の学修内容】配付資料や参考書に目を通し、今後特に配慮が必要になる家庭はどのようなものか、その状況を想定してみる	A、H
第2回	【テーマ】現代社会における家族の概念・機能 【計画内容】家族とは何か、家族に対する考え方の変化など、現代社会の「家族」についての理解を深める。 【授業時間外の学修内容】家庭支援が必要性となっている背景について、各自で意見をまとめておく	A	第10回	【テーマ】社会的擁護を必要とする子どもと家庭① 【計画内容】要保護児童とその家族への支援について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】社会的養護に関する基礎的なデータを確認し、要保護児童の家庭のニーズとその背景について考察する	A
第3回	【テーマ】子育て家庭を取り巻く社会とその変化 【計画内容】子どもと家族を中心に社会の変化について学び、子育てがどのように変化してきたかを理解する。 【授業時間外の学修内容】主に1950年代以降の日本の変化について、文献や配付資料を確認しておく	A、H	第11回	【テーマ】社会的擁護を必要とする子どもと家庭② 【計画内容】児童虐待にかかわる現状、その子ども・家庭への社会的な支援体制について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】ここまでの授業資料等を参考に、子どもへの虐待にかかわる社会的な背景について自分なりの考えをまとめる	A
第4回	【テーマ】保育の専門性と家庭支援 【計画内容】子育て家庭にかかわる上で留意するべき保育士の基本的な姿勢、保育者の専門性を活かしたかかわりについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】子ども・子育て家庭支援の背景を踏まえ、保育士に求められる基本的な姿勢がどのような意味を持つのか、自分なりの意見をまとめる	A	第12回	【テーマ】諸外国の動向と日本の家庭支援 【計画内容】海外の子ども・子育て家庭への支援を学び、日本の子ども家庭への支援の特徴・課題はどのような点にあるのか考える。 【授業時間外の学修内容】興味のある国について、子育てや家庭にかかわる情報・資料を集めておく	A、H
第5回	【テーマ】子育て家庭への支援制度 【計画内容】子ども・子育て家庭の福祉に関する施策や制度について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】子どもや子育てにかかわる制度の成り立ちについて、文献や配付資料を確認しておく	A	第13回	【テーマ】地域社会と子育て家庭：様々な地域資源 【計画内容】子ども・子育て家庭に携わる地域社会の資源を学び、それらの資源を用いて子どもと子育て家庭を支えるためにどのような取り組みができるか考える。 【授業時間外の学修内容】子育て支援にかかわる様々な資源についての情報を集める	A、H
第6回	【テーマ】関係機関と連携した支援 【計画内容】各自治体やその専門機関による家庭支援について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】様々な支援機関の存在とその役割について確認し、連携が必要な具体的な状況を想定してみる	A	第14回	【テーマ】家庭支援の実際 【計画内容】相談援助をはじめとする、家庭支援の具体的なプロセスについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】資料等を参考に具体的な家庭の状況を想定しながら、支援をどのように進めていくか、その際の注意事項は何かなどをシミュレートしてみる	A、H
第7回	【テーマ】保育施設を利用する家庭への支援 【計画内容】保育園・幼稚園を中心に、保育施設を利用する家庭への支援について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】保育施設の利用にかかわる課題について、配付資料や文献、新聞などを参考に考えておく	A、H	第15回	【テーマ】まとめ：今後の家庭支援の姿とは 【計画内容】子ども家庭支援の現状と課題を振り返り、レポートの作成と提出を行う。 【授業時間外の学修内容】これまでの授業内容を振り返りつつ、子ども家庭を支えるために必要な支援について考えをまとめておく	A、G
第8回	【テーマ】在宅子育て家庭への支援 【計画内容】児童館、地域子育て支援拠点などを利用する家庭への支援、地域社会での子育て支援について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】在宅での子育ての多様な形態、およびその中での支援ニーズとはどのようなものか、考えておく	A、H			

テキスト	講義時に説明します。また、毎回資料を配付する予定です。
参考書	松原康雄・村田典子・南野奈津子編、2019年、『新基本保育シリーズ 子ども家庭支援論』、中央法規、9784805857854 須永進編著、2013年、『事例で学ぶ 保育のための相談援助・支援』、同文書院、9784810314137

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			70%		30%	
補足			期末レポート		コメントなど	

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連

	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	基本的には授業の前後、またはメールにて対応します。 また、各回に授業コメント(* 学習形態 L に相当)を web で提出してもらうので、その際にコメントと併せて質問をすることもできます。詳細は初回授業にてお伝えします。
資格	[教]保育士_必修
その他	子どもとその家族にかかわる様々な事象に関心を向け、日常的に子ども・子どもの家族を取り巻く環境について考える機会を持ってください。

科目名	乳児保育	授業形態	演習	単位数	2
教員名	那須　杏奈				

授業の目的	
ねらい	乳児期の子どもの発達と乳児保育の現状の理解を十分に深め、乳児保育の基本的な考え方や乳児期の発達の特徴を学びます。また、実習や視聴覚教材、ロールプレーワークにより、具体的な乳児の生活や遊びの理解を深め、保育活動に必要な実践力の取得を目指します。
到達目標	(1)乳児保育の意義と重要性を理解する。 (2)乳児についての専門的な知識を理解する。 (3)乳児期の発達に合わせた援助に関わる技術を習得する。

授業の計画						
第1回	【テーマ】乳児保育の基本 【計画内容】授業の概要を説明し、乳児保育の基本的な考え方を学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの第1章を読んでおくこと。	A	第9回	【テーマ】乳児期の生活④ 【計画内容】赤ちゃん人形を使用し、沐浴や清潔に関する援助の実際を学びます。 【授業時間外の学修内容】事前配付のプリントを読んでおくこと。	E
第2回	【テーマ】乳児保育の現状と課題 【計画内容】保育所、乳児院、家庭保育などにおける乳児保育の現状と課題を学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの指定箇所を読んでおくこと。	A	第10回	【テーマ】乳児保育における計画と実際 【計画内容】乳児保育の全体的な計画に基づく指導計画の作成、及び個別的指導計画と集団の指導計画について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの指定箇所を読んでおくこと。また、授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること。	A
第3回	【テーマ】乳児期の発達① 【計画内容】新生児から6ヶ月未満児の発達の特徴と保育内容について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの指定箇所を読んでおくこと。	A	第11回	【テーマ】乳児の発達と保育者 【計画内容】乳児の社会的発達、身体的発達、精神的発達を理解し、実際の援助を学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの指定箇所を読んでおくこと。また、授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること。	A
第4回	【テーマ】乳児期の発達② 【計画内容】6ヶ月から1歳までの発達の特徴と保育内容について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの指定箇所を読んでおくこと。	A	第12回	【テーマ】多様な保育① 【計画内容】障害のある子どもへの支援や外国籍家庭などへの支援を学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの指定箇所を読んでおくこと。また、授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること。	A
第5回	【テーマ】乳児期の発達③ 【計画内容】1歳から2歳までの発達の特徴と保育内容について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの指定箇所を読んでおくこと。	A	第13回	【テーマ】多様な保育② 【計画内容】児童虐待をテーマに取り上げ、乳児の心身の健康・安全と情緒の安定と図るための配慮を学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの指定箇所を読んでおくこと。	A
第6回	【テーマ】乳児期の生活① 【計画内容】赤ちゃん人形を使用し、抱っこや乳児の遊び(触れ合い遊びや絵本等)に関する援助の実際を学びます。 【授業時間外の学修内容】事前配付のプリントを読んでおくこと。	E	第14回	【テーマ】多様な保育③ 【計画内容】アレルギーや事故、災害をテーマに取り上げ、乳児の心身の健康・安全と情緒の安定と図るための配慮を学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの指定箇所を読んでおくこと。	A
第7回	【テーマ】乳児期の生活② 【計画内容】赤ちゃん人形を使用し、抱っこやおんぶ、着替え、排泄ケアに関する援助の実際を学びます。 【授業時間外の学修内容】事前配付のプリントを読んでおくこと。	E	第15回	【テーマ】乳児保育の実際 【計画内容】これまで学んだ内容を振り返り、様々なテーマを取り上げてロールプレイワークを行います。 【授業時間外の学修内容】テキストの指定箇所を読んでおくこと。	N
第8回	【テーマ】乳児期の生活③ 【計画内容】赤ちゃん人形を使用し、調乳や授乳、離乳食に関する援助の実際を学びます。 【授業時間外の学修内容】事前配付のプリントを読んでおくこと。	E			

テキスト	尾野明美・小湊真衣・菊地篤子、2018年、『乳児保育Ⅱ　一日の流れで考える発達と個性に応じた保育実践』、萌文書林、9784893473196
参考書	プリントを配付します。

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分		40%	30%		30%	
補足			レポート			

課題に関するフィードバックの方法	レポート返却時に、学んだ内容を振り返りながら講評します。

実務経験と授業の関連		
該当	経験内容	保育士
	科目との関連	保育士としての経験をもとに実務に即した指導を行います。

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。基本的には講義終了後に受け付けます。
資格	[教]保育士_必修
その他	第10回、第11回、第12回に学んだ内容をもとに課題を出します。また、実技時には、実技に相応しい服装で来ること。

科目名	社会的養護内容	授業形態	演習	単位数	1
教員名	佐藤　惠美子				

授業の目的		
	ねらい	本科目は、保護者による養育に困難を抱えている子どもたちや、発達に困難を抱えている子どもたちに対する施設利用を中心としたケアの実際について学び、社会福祉の観点から子どもや保護者を支援するための援助技術の習得を目指します。
	到達目標	(1)社会的養護における児童の権利擁護や保育士等の倫理について具体的に学ぶ。 (2)施設養護及び他の社会的養護の実際について学ぶ。 (3)個々の児童に応じた支援計画を作成し、日常生活の支援、治療的支援、自立支援等の内容について具体的に学ぶ。 (4)社会的養護にかかわるソーシャルワークの方法と技術について理解する。 (5)社会的養護を通して、家庭支援、児童家庭福祉、地域福祉について理解や認識を深める。

授業の計画						
第1回	【テーマ】講義内容のガイダンス：社会的養護における児童の権利擁護と保育士の倫理及び責務について 【計画内容】援助者に求められる資質と児童の権利擁護の実際について、保育士の倫理について学びます。 【授業時間外の学修内容】社会的養護について復習しておくこと。	A	第9回	【テーマ】自立支援の計画と内容及び事例分析 【計画内容】事例を通して自立支援について学びます。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習し理解しておくこと。	H、J
第2回	【テーマ】社会的養護における児童の権利擁護と保育士の倫理及び責務 【計画内容】援助者に求められる資質と倫理、児童の権利擁護の実際について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの指示箇所について読んでおくこと。	A	第10回	【テーマ】支援の計画と内容及び事例分析 【計画内容】事例を通して家族支援について学びます。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習し理解しておくこと。	H、J
第3回	【テーマ】社会的養護の実施体系 【計画内容】施設養護の特性及び実際(1) 【授業時間外の学修内容】テキストの指示箇所について読んでおくこと。	A、H	第11回	【テーマ】支援の計画と内容及び事例分析 【計画内容】事例を通して記録及び援助実践の振り返りを行います。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習し理解しておくこと。	H
第4回	【テーマ】社会的養護の実施体系 【計画内容】施設養護の特性及び実際(2) 【授業時間外の学修内容】テキストの指示箇所について読んでおくこと。	A、H	第12回	【テーマ】社会的養護にかかわる専門的技術 【計画内容】保育士の専門性にかかわる知識･技術とその実際について学びます。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習し理解しておくこと。	A、K
第5回	【テーマ】社会的養護の実施体系 【計画内容】里親制度の特性及びその実際について学びます。 【授業時間外の学修内容】理解の進んでいない問題を抽出しておくこと。	H、J	第13回	【テーマ】社会的養護にかかわる専門的技術 【計画内容】ソーシャルワークにかかわる知識･技術とその実際について学びます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に渡す課題についてレポートを作成すること。	A、K
第6回	【テーマ】個別支援計画の内容及び事例分析 【計画内容】個別支援計画の作成について学びます。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習し、理解しておくこと。	A	第14回	【テーマ】施設の小規模化と地域との関係性 【計画内容】社会的養護を担う施設の小規模化と地域とのかかわりについて学びます。 【授業時間外の学修内容】振り返りと確認をします。	A、K
第7回	【テーマ】日常生活支援に関する計画と内容及び事例分析 【計画内容】事例分析を通して日常生活支援について学びます。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習し、理解しておくこと。	H、J	第15回	【テーマ】今後の課題と展望 【計画内容】社会的養護における今後の課題と展望、求められる福祉専門職について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストとまとめのプリントを復習しておくこと。	A、L
第8回	【テーマ】支援の計画と内容及び事例分析 【計画内容】事例を通して治療的支援について学びます。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習し、理解しておくこと。	H、J			

テキスト	プリントを使用します。
参考書	相澤仁他、2019年、『社会的養護Ⅱ』、中央法規 小木曽宏他、2015年、『よくわかる社会的養護内容』、ミネルヴァ書房 橋本好市他、2016年、『演習･保育と社会的養護内容』、みらい

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			60%		20%	20%
補足						レポート

課題に関するフィードバックの方法	毎回、前回の課題について講評します。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	児童虐待地域協力員
		科目との関連	研修会を通じて得た事例、知識を教授する。

質問への対応	初回講義時に説明します。
資格	[教]保育士_必修
その他	意欲的な受講態度を期待します。

科目名	保育実習Ⅰ	授業形態	実習	単位数	4
教員名	工藤　ゆかり、岡　健吾、澤田　悦子				
授業の目的	ねらい	保育所と児童福祉施設等の機能、役割について、現場での実践を通して具体的に理解する。子どもとのかかわりを通して理解を深めるとともに、各施設における保育士の業務内容や職業倫理、子ども及び保護者への支援について総合的に学ぶ。子どもの発達過程、特性や個々の状況に基づいた保育の計画、観察、記録の方法を実践的に学習し、指導者による指導や適切な自己評価による省察を行えるようにする。			
	到達目標	(1)保育所、児童福祉施設等の役割や機能を具体的に理解する。 (2)子どもの観察やかかわりを通して子どもへの理解を深める。 (3)子どもの心身の発達状況に基づいた養護の内容や援助支援などの養護技術について理解する。 (4)保育の計画や支援計画、観察、記録及び自己評価等について具体的に理解する。			
授業の計画	【計画内容】 ○実習施設と実習期間 ・実習施設と実習期間は、保育所実習が10日間、児童福祉施設等実習が10日間である。 ○実施時期と実習施設 ・実施時期は、2～3月の期間を基本とし、実習する施設については、受け入れ施設と大学が協議のうえ決定する。 ○保育所(園)実習の内容 1. 子どもの観察や援助活動(かかわり)を通して子どもへの理解を深める。 2. 子どもの発達過程に基づいた保育・教育の計画や「領域」ごとの保育内容について理解する。 3. 保育所の生活を理解し、保育の内容や活動を通して、保育所の役割と機能について学ぶ。 4. 保育・教育課程と子どもの観察、記録、省察・自己(他者)評価やチームワークなどについて理解する。 5. 現場の実習を通して、専門職としての保育士に期待される役割と職業倫理について理解する。 ○児童福祉施設等における実習の内容 1. 子どもの観察と、ひとり一人の発達の違いに応じた援助やかかわりを通し、子どもへの理解を深める。 2. 子どもの心身の状況に基づいた養護の内容や援助支援などの養護技術について理解する。 3. 児童福祉施設の生活を理解し、施設の役割と機能について学ぶ。 4. 児童福祉施設等における支援計画、記録、考察・自己(他者)評価やチームワークなどについて理解する。 5. 現場の実習を通して、専門職としての保育士に期待される役割と職業倫理について理解する。 【授業時間外の学修内容】実習にかかわるテキストや資料を熟読し、自己課題をもって臨むこと。			D
テキスト	相浦雅子ほか、2014年、『ワークシートで学ぶ保育所実習1・2・3』、同文書院				
参考書	プリントや参考資料等を配付し使用します				

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			40%			60%
	補足			事前の課題提出			実習施設の評価・実習日誌

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	工藤ゆかり／幼稚園教諭、幼児教育担当指導主事
		科目との関連	工藤ゆかり／幼稚園教諭、幼児教育担当指導主事の経験をもとに指導する。

質問への対応	初回講義時に説明します。
資格	[教]保育士_必修
その他	「保育実習Ⅰ」履修者は、実習を開始する前に「保育原理」「保育内容総論」「保育実習指導Ⅰ」を履修しておく必要があります。

科目名	保育実習指導Ⅰ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	工藤　ゆかり、岡　健吾、澤田　悦子				

授業の目的		
	ねらい	保育実習の意義、目的、内容を理解し、実習生として必要な知識・技術を習得する。児童福祉施設及び社会福祉施設の機能や役割について学び、子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等について理解する。保育士の役割や専門性、職業倫理、職務に対する理解を深め、子どもの発達過程や個々の状況に基づいた保育の計画、観察、記録、自己評価の方法を学ぶ。また、実習後には実習の振り返りを行い、自己課題や目標を明確にし、他科目の学びとの統合を図る。
	到達目標	(1)保育所及び児童福祉施設等での実習の意義や目的を理解できる。 (2)実習生に求められる社会的責務と責任ある行動や自己の実習課題を理解し、意欲的に実習に臨むことができる意識の涵養を図る。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】保育所及び児童福祉施設等での実習の意義と目的について学びます。保育所実習や児童福祉施設等での実習の概要を把握し、実習計画全体を理解します。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で学びたいことを整理して、関連する資料を調べておく。	A	第9回	【テーマ】児童福祉施設実習について(4) 【計画内容】児童福祉施設等実習における計画、記録の意義、日誌の書き方について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの指定頁の事前学習や指示された課題に取り組んでおくこと。	A、K
	第2回	【テーマ】保育所実習について(1) 【計画内容】保育所における実習内容や、実習の概要について理解します。 【授業時間外の学修内容】テキストの指定頁の事前学習や指示された課題に取り組んでおくこと。	A	第10回	【テーマ】保育所等の保育参観(1) 【計画内容】保育参観の計画を立て、準備します。 【授業時間外の学修内容】テキストの指定頁の事前学習や指示された課題に取り組んでおくこと。	A、K
	第3回	【テーマ】児童福祉施設実習について(1) 【計画内容】保育士資格と児童福祉施設実習の関係、施設での具体的な実習内容について理解します。 【授業時間外の学修内容】テキストの指定頁の事前学習や指示された課題に取り組んでおくこと。	A	第11回	【テーマ】児童福祉施設等の保育参観(1) 【計画内容】保育・養護参観の計画を立て、準備します。 【授業時間外の学修内容】テキストの指定頁の事前学習や指示された課題に取り組んでおくこと。	A、K
	第4回	【テーマ】保育所実習について(2) 【計画内容】保育所での保育活動の1日の流れや子どもたちの生活の様子、保育内容を理解します。 【授業時間外の学修内容】テキストの指定頁の事前学習や指示された課題に取り組んでおくこと。	A、G	第12回	【テーマ】保育所等の保育参観(2) 【計画内容】保育所の保育を参観します。 【授業時間外の学修内容】テキストの指定頁の事前学習や指示された課題に取り組んでおくこと。	A、K
	第5回	【テーマ】児童福祉施設実習について(2) 【計画内容】児童養護施設等の1日の流れや生活の様子、養護支援内容を理解します。 【授業時間外の学修内容】テキストの指定頁の事前学習や指示された課題に取り組んでおくこと。	A、G	第13回	【テーマ】児童福祉施設等の保育参観(2) 【計画内容】児童養護施設を参観します。 【授業時間外の学修内容】テキストの指定頁の事前学習や指示された課題に取り組んでおくこと。	A、K
	第6回	【テーマ】保育所実習について(3) 【計画内容】実習における観察の視点、記録をとることの目的と意義、日誌の書き方について学びます。保育所実習に関する手続きについて説明し、身上書を作成します。 【授業時間外の学修内容】テキストの指定頁の事前学習や指示された課題に取り組んでおくこと。	A、K	第14回	【テーマ】実習体験について 【計画内容】保育所や児童福祉施設実習に際しての留意事項について説明します。個人情報(プライバシー)の保護と守秘義務、実習生に求められる社会的責務と責任ある行動について事例を通して理解します。実習に関する手続きについて説明し、身上書を作成します。 【授業時間外の学修内容】テキストの指定頁の事前学習や指示された課題に取り組んでおくこと。	B
	第7回	【テーマ】児童福祉施設実習について(3) 【計画内容】児童福祉施設実習における観察の視点について理解します。自己の実習課題を明確にし、児童の人権、最善の利益、権利擁護、保育者倫理について理解します。 【授業時間外の学修内容】テキストの指定頁の事前学習や指示された課題に取り組んでおくこと。	A、K	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】講義の振り返りとともに、実習生に求められる社会的責務と責任ある行動や自己の実習課題を理解し、意欲的に実習に臨むことができる意識の涵養を図ります。 【授業時間外の学修内容】テキストの指定頁の事前学習や指示された課題に取り組んでおくこと。	L、G
	第8回	【テーマ】保育所実習について(4) 【計画内容】保育実習における計画、立案について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの指定頁の事前学習や指示された課題に取り組んでおくこと。	A、K			

テキスト	相浦雅子ほか、2014年、『ワークシートで学ぶ保育所実習1・2・3』、同文書院 参考資料・プリントを使用します
参考書	石橋裕子、2014年、『幼稚園・保育所・児童福祉施設実習ガイド』、同文書院

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			80%		20%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	課題やレポートは適宜返却し、指導する。再提出を求めることもある。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	工藤ゆかり／幼稚園教諭、幼児教育担当指導主事
		科目との関連	工藤ゆかり／幼稚園教諭、幼児教育担当指導主事の経験をもとに授業を展開する。

質問への対応	初回講義時に説明します。
資格	[教]保育士_必修
その他	「保育実習Ⅰ」の履修者は、実習前の必修科目となります。

科目名	教育相談論(カウンセリングを含む)	授業形態	講義	単位数	2

教員名	三浦　公裕

授業の目的		
	ねらい	多くの教員が、いじめ、不登校、虐待、非行問題など、児童生徒の生命・健康に関わる問題に直面し、その対応に苦慮している。教師はカウンセリングの意義、理論や技法に関する基礎的知識をもち、児童生徒をより深く理解し、適切に接することやカウンセラーや専門機関と円滑に連携し、組織的に対応することが求められている。本講義では、教師としての教育相談の資質を身につけることと、保護者との相談の実際や専門家との連携のあり方について理解を深める。
	到達目標	(1)子供たちが自己理解を深め好ましい人間関係を築くための目的や方法について理解し支援することができる。 (2)教育相談の基本的な知識(カウンセリングの意義や理論)や技法を身につけることができる。 (3)児童生徒に生起する諸問題の背景についての理解とその対応策を考えることができる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション / 教育相談・カウンセリング・心理療法の理解 【計画内容】授業のすすめ方及び教育相談の意義や基本的な事柄について理解する。 【授業時間外の学修内容】生徒指導提要第5章 pp.92を読み、教育相談の意義や特質について深めておくこと。	A、K	第9回	【テーマ】教育相談・カウンセリングと事例研究・校内研修のすすめ方 【計画内容】学校において実施する事例研究のすすめ方について理解する。 【授業時間外の学修内容】心理教育的援助サービスとは具体的にどのようなことかを調べる。	A、K
	第2回	【テーマ】学校における教育相談・カウンセリングの意義と役割 【計画内容】児童生徒への接し方、保護者への対応などの基本的考えや方法について理解する。 【授業時間外の学修内容】日常生活で見せる子どもたちの様々なサインの意味を考える。	A、K	第10回	【テーマ】いじめの発生メカニズムの理解と対応(含む専門機関との連携) 【計画内容】いじめ問題の構造とその予防について理解するとともに専門機関との連携について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】過去に発生したいじめ問題について事前に調べておく。	A、K
	第3回	【テーマ】学校における教育相談・カウンセリングの基本的な理論 【計画内容】教育相談、マイクロカウンセリングの関わり技法、傾聴技法ついて理解する。 【授業時間外の学修内容】アイビ、カーカフの人物、考え方を事前に学習する。	A、K	第11回	【テーマ】不登校問題発生のメカニズムの理解と対応(含む専門機関との連携) 【計画内容】学校不適応がおこる背景とその対応について理解するするとともに専門機関との連携について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】学級経営のあり方について事前に確認する。	A、K
	第4回	【テーマ】学校における教育相談・カウンセリングの実際的方法 【計画内容】授業、学級経営に教育相談の考えを生かす方法について理解する。 【授業時間外の学修内容】教育相談の考えを授業に生かす具体的方法について事前に考える。	A、K	第12回	【テーマ】虐待のメカニズムの理解と対応(含む専門機関との連携) 【計画内容】虐待の定義とその防止(早期発見等)の対策について理解し専門機関との連携について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】不登校の状況について事前に確認する。	A、K
	第5回	【テーマ】学級担任の行う教育相談・カウンセリングの具体的方法 【計画内容】児童生徒理解の方法、個別面接のすすめ方、エンカウンターなどの方法について理解する。 【授業時間外の学修内容】児童を多面的に理解する方法、面接のすすめ方を事前に学習する。	A、K	第13回	【テーマ】非行問題における具体的な事例と組織的な対応の在り方 【計画内容】具体的な事例を通して、校内指導体制の整備や相談・指導計画の作成方法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】ロジャースの考え等について事前に学習する。	A、K
	第6回	【テーマ】自己理解と学級雰囲気の理解と教育相談・カウンセリング(含むアセスメント) 【計画内容】エゴグラム、Q-U の実際と活用方法について理解する。 【授業時間外の学修内容】エゴグラム、Q-U について事前学習する。	A、H、K	第14回	【テーマ】養護教諭の行う教育相談(含む校内指導体制等) 【計画内容】保健室等で展開される教育相談の在り方について理解を深める。 【授業時間外の学修内容】保健室の現状について、事前に学習する。	A、K
	第7回	【テーマ】教育活動と教育相談・カウンセリング 【計画内容】授業及び学校行事等で教育相談の考えを生かす方法について理解する。 【授業時間外の学修内容】「親和的風土」「自己決定」「共感的理解」の言葉の意味を事前に調べる。	A、K	第15回	【テーマ】学校で活用できるカウンセリングの理論及びまとめと確認 【計画内容】教育相談の考え、方法、技術、そして児童生徒が抱えている問題等の理解を深める。 【授業時間外の学修内容】教育相談の基本的内容を事前に学習する。	L
	第8回	【テーマ】校内体制と教育相談室の活用と運営(含む保護者に対する相談) 【計画内容】スクールカウンセラー、教育相談員、相談室担当教員との連携の在り方について理解する。 【授業時間外の学修内容】スクールカウンセラーの役割と教師の役割について事前に学習する。	A、K			

テキスト	プリントを配付する。
参考書	藤田哲也他、2017年、『絶対役立つ 教育相談』、ミネルヴァ書房、978623081097 文部科学省、『中学校学習指導要領』 文部科学省、『高等学校学習指導要領』

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	10%		20%		50%	20%
補足			レポート		ワークシート作成	発表

課題に関するフィードバックの方法	ワークシートを返却し、学んだ内容や疑問点について考察するとともに、グループ討議や全体の場において意見交流を行う。

実務経験と授業の関連	該当	経験内容	公立学校スクールカウンセラー 教育相談及び特別支援教育コーディネーター
		科目との関連	学校心理士・教育カウンセラーとしての研修及び業務経験をもとに実践的な指導を行う。

質問への対応	随時440研究室にて対応する。
資格	[教]養教1種_必修、中・高1種(音楽)_必修 [芸]中・高1種(美術)_必修
その他	各回の講義後半に、次回講義のテーマを紹介することで事前学習を促す。 小グループによる演習(ロールプレイ等)を行う。 各自作成したレポートを返却し、学んだ内容を個人やグループで振り返り、まとめの講評を行う。

科目名	学校保健演習Ⅰ	授業形態	演習	単位数	2

教員名	島瀬　史子

授業の目的		
	ねらい	学校教育において、養護教諭は学校保健活動を円滑に進めるため、どのような目標や計画を立て、実践しているのでしょうか。 本演習では、学校保健活動のうち、特に保健教育に焦点を当て、養護実践について体験的に学びます。
	到達目標	(1)保健教育に関し、目標や計画を立て、実践の手だてを具体的に示すことができる。 (2)保健教育を組織的に進めることができるよう、工夫することができる。 (3)保健教育に関する評価の観点および方法を具体的に示すことができる。 (4)養護実践を意識した学校保健活動を考えることができる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション･本学習での目標設定･学校保健活動とは何か。 【計画内容】学校保健活動について考え、年間学校保健計画を確認する。 【授業時間外の学修内容】学校保健計画について調べ、整理しておく。養護活動実習で使用した年間学校保健計画を持って臨む。	A、B、F、H、L	第9回	【テーマ】目の健康に関する保健指導 【計画内容】指導の目標や本時の展開、評価について検討する。 【授業時間外の学修内容】『養護概説』等をよく読み、臨む。	A、B、F、H、L
	第2回	【テーマ】ほけんだよりを使用しての保健教育について 【計画内容】ほけんだよりを作成し、評価の観点に即して検討する。 【授業時間外の学修内容】『養護概説』や『学校保健実務必携』等をよく読み、臨む。	A、B、F、H、L	第10回	【テーマ】耳の健康に関する保健指導 【計画内容】指導の目標や本時の展開、評価について検討する。 【授業時間外の学修内容】『養護概説』等をよく読み、臨む。	A、B、F、H、L
	第3回	【テーマ】掲示物を使用しての保健教育について 【計画内容】掲示物を作成し、評価の観点に即して検討する。 【授業時間外の学修内容】『養護概説』や『学校保健実務必携』等をよく読み、臨む。	A、B、F、H、L	第11回	【テーマ】けがの防止に関する保健指導 【計画内容】指導の目標や本時の展開、評価について検討する。 【授業時間外の学修内容】『養護概説』等をよく読み、臨む。	A、B、F、H、L
	第4回	【テーマ】小学校の3･4年生の保健学習のテーマ 【計画内容】学習の目標や本時の展開、評価について検討する。 【授業時間外の学修内容】学習指導要領や指導書をよく読み、臨む。	A、B、F、H、L	第12回	【テーマ】生活リズムに関する保健指導 【計画内容】指導の目標や本時の展開、評価について検討する。 【授業時間外の学修内容】『養護概説』等をよく読み、臨む。	A、B、F、H、L
	第5回	【テーマ】小学校の5･6年生の保健学習のテーマ 【計画内容】学習の目標や本時の展開、評価について検討する。 【授業時間外の学修内容】学習指導要領や指導書をよく読み、臨む。	A、B、F、H、L	第13回	【テーマ】保健教育を組織活動として取り組むための計画 【計画内容】実態に即したテーマや具体的な方法について検討する。 【授業時間外の学修内容】『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読んで臨む。	A、B、F、H、L
	第6回	【テーマ】中学校の1～3年生の保健学習のテーマ 【計画内容】学習の目標や本時の展開、評価について検討する。 【授業時間外の学修内容】学習指導要領や指導書をよく読み、臨む。	A、B、F、H、L	第14回	【テーマ】保健教育の評価の方法について 【計画内容】これまでの保健教育を振り返り、評価の方法や観点等について検討する。 【授業時間外の学修内容】『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読んで臨む。	A、B、F、H、L
	第7回	【テーマ】高等学校の1～3年生の保健学習のテーマ 【計画内容】学習の目標や本時の展開、評価について検討する。 【授業時間外の学修内容】学習指導要領や指導書をよく読み、臨む。	A、B、F、H、L	第15回	【テーマ】まとめと確認･保健教育のまとめ 【計画内容】保健教育について学んだことを振り返り、まとめる。また、学習不足の点や自己課題について把握する。 【授業時間外の学修内容】これまでの学習を振り返り、全体のまとめ、自己の学習を省察して臨む。	A、B、F、H、L
	第8回	【テーマ】歯の健康に関する保健指導 【計画内容】指導の目標や本時の展開、評価について検討する。 【授業時間外の学修内容】『養護概説』等をよく読み、臨む。	A、B、F、H、L			

テキスト	学校保健･安全実務研究会、2017年、新訂版『学校保健実務必携』、第一法規 三木とみ子、2018年、新訂『養護概説』、ぎょうせい
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	50%				50%	
	補足	毎回実施				担当課題の発表	

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	オフィスアワーを活用してください。
資格	
その他	

科目名	学校保健演習Ⅱ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	島瀬　史子				

授業の目的	
ねらい	学校教育において、養護教諭は学校保健活動を円滑に進めるため、どのような目標や計画を立て、実践しているのでしょうか。 本演習では、学校保健活動のうち、特に保健管理に焦点を当て、養護実践について体験的に学びます。
到達目標	(1)保健管理に関し、目標や計画を立て、実践の手だてを具体的に示すことができる。 (2)保健管理を組織的に進めることができるよう、工夫することができる。 (3)保健管理に関する評価の観点および方法を具体的に示すことができる。 (4)養護実践を意識した学校保健活動を考えることができる。

授業の計画						
第1回	【テーマ】オリエンテーション / 本学習での目標設定 / 健康診断での測定や検査に関する実施方法や留意事項を確認する。 【計画内容】身長·体重の測定、視力検査·聴力検査·歯科検診·内科検診等について実施方法を示すことができる。 【授業時間外の学修内容】健康診断マニュアルや『学校保健実務必携』等をよく読み、臨む。	A、B、F、H、L	第9回	【テーマ】中学校における養護教諭の学校保健活動について学習を深める 【計画内容】中学校における養護教諭の学校保健活動の取り組みの実際について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】中学校の生徒の特性等について事前に学習し、臨む。	A、B、F、H、L
第2回	【テーマ】健康診断の結果に関する記録や通知について 【計画内容】結果について正確に記録し、保護者および児童生徒に適切に知らせることができる。 【授業時間外の学修内容】健康診断マニュアルや『学校保健実務必携』等をよく読み、臨む。	A、B、F、H、L	第10回	【テーマ】中学校における養護教諭の学校保健活動について 【計画内容】中学校における養護教諭の学校保健活動の取り組みの実際について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】中学校養護教諭の学校保健活動についてまとめ、臨む。	A、B、F、H、L
第3回	【テーマ】災害給付金等について 【計画内容】災害給付金に関する基本的なことがらおよび具体的な手続きの方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読み、臨む。	A、B、F、H、L	第11回	【テーマ】高等学校における養護教諭の学校保健活動について 【計画内容】高等学校における養護教諭の学校保健活動の取り組みの実際について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】高等学校の生徒の特性等について事前に学習し、臨む。	A、B、F、H、L
第4回	【テーマ】災害給付金·手続きの方法について 【計画内容】災害給付金に関する基本的なことがらおよび具体的な手続きの方法を示すことができる。 【授業時間外の学修内容】前回の学習を振り返り、『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読み、臨む。	A、B、F、H、L	第12回	【テーマ】高等学校における養護教諭の学校保健活動について 【計画内容】高等学校における養護教諭の学校保健活動の取り組みの実際について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】高等学校養護教諭の学校保健活動についてまとめ、臨む。	A、B、F、H、L
第5回	【テーマ】幼稚園における養護教諭の学校保健活動について 【計画内容】幼稚園における養護教諭の学校保健活動の取り組みの実際について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】幼児の特性等について事前に学習し、臨む。	A、B、F、H、L	第13回	【テーマ】特別支援学校における養護教諭の学校保健活動について 【計画内容】特別支援学校における養護教諭の学校保健活動の取り組みの実際について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】特別支援学校の生徒の特性等について事前に学習し、臨む。	A、B、F、H、L
第6回	【テーマ】幼稚園における養護教諭の学校保健活動について 【計画内容】幼稚園における養護教諭の学校保健活動の取り組みを振り返り、整理する。 【授業時間外の学修内容】幼稚園養護教諭の学校保健活動についてまとめ、臨む。	A、B、F、H、L	第14回	【テーマ】特別支援学校における養護教諭の学校保健活動について 【計画内容】特別支援学校における養護教諭の学校保健活動の取り組みの実際について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】特別支援学校養護教諭の学校保健活動についてまとめ、臨む。	A、B、F、H、L
第7回	【テーマ】小学校における養護教諭の学校保健活動について 【計画内容】小学校における養護教諭の学校保健活動の取り組みの実際について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】養護実習を思い出し、児童の特性等について事前に学習し、臨む。	A、B、F、H、L	第15回	【テーマ】まとめと確認·学校保健活動のまとめ 【計画内容】これまで学んだことを振り返り、まとめる。また、学習不足の点や自己課題について把握する。 【授業時間外の学修内容】これまでの学習を振り返り、全体のまとめをして臨む。	A、B、F、H、L
第8回	【テーマ】小学校における養護教諭の学校保健活動について 【計画内容】小学校における養護教諭の学校保健活動の取り組みを振り返り、整理する。 【授業時間外の学修内容】小学校養護教諭の学校保健活動について	A、B、F、H、L			

テキスト	学校保健·安全実務研究会、2017年、新訂版『学校保健実務必携』、第一法規 三木とみ子、2018年、新訂『養護概説』、ぎょうせい
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			50%		50%	
補足			レポート		担当課題の発表	

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	オフィスアワーを活用してください。
資格	
その他	

科目名	養護活動実習Ⅰ	授業形態	実習	単位数	2

教員名	今野　洋子、佐藤　朱美、島瀬　史子

授業の目的		
	ねらい	「絶対に養護教諭になりたい」と思っていますか？この授業は、本当に養護教諭になりたい人が学ぶ授業です。 これまでの「養護実践学Ⅰ」等で学んだ専門性をさらに発展させて、養護教諭としての能力向上を目指します。
	到達目標	(1)研究的視点から、理論と実践を結ぶことができるようにする。 (2)養護実践のための資質能力の向上を目指す。 (3)自主的に課題に取り組む。 (4)実践の根拠を示し、説明することができる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション・仮想学校の概況設定 【計画内容】本実習のねらいを確認し、自分が養護教諭として働きたい学校の環境・規模・学校名等を設定します。 【授業時間外の学修内容】学校の組織や目標について整理しておきます。	A、D、H、L	第16回	【テーマ】文書の作成 【計画内容】養護教諭として学校保健の推進に必要な諸表簿・文書・記録物の活用について学びます。 【授業時間外の学修内容】公文書について学習を深めておきます。	D、F、G、H、L
	第2回	【テーマ】仮想学校の概況設定 【計画内容】本実習のねらいを確認し、自分が養護教諭として働きたい学校の環境・規模・学校名等を設定します。 【授業時間外の学修内容】学校の組織や目標について整理しておきます。	A、D、H、L	第17回	【テーマ】仮想学校に必要な文書の作成1 【計画内容】仮想学校の保健調査票を作成します。 【授業時間外の学修内容】保健調査票等について、理解を深めておきます。	D、F、G、H、J、L
	第3回	【テーマ】仮想学校の校舎図面等 【計画内容】仮想学校の校舎図面を検討します。 【授業時間外の学修内容】学校教育法等について理解を深めておきます。	D、F、H、L	第18回	【テーマ】仮想学校に必要な文書の作成2 【計画内容】仮想学校の来室記録を作成します。 【授業時間外の学修内容】来室記録等について、理解を深めておきます。	D、F、G、H、J、L
	第4回	【テーマ】仮想学校の校舎図面 【計画内容】仮想学校の校舎図面を完成させます。 【授業時間外の学修内容】学校教育法等について理解を深めておきます。	D、F、H、L	第19回	【テーマ】仮想学校に必要な文書の作成3 【計画内容】仮想学校の健康観察表を作成します。 【授業時間外の学修内容】健康観察表について、理解を深めます。	D、F、G、H、J、L
	第5回	【テーマ】仮想学校の教育目標・日課表 【計画内容】仮想学校の育てたい子ども像を明確にした教育目標および日課表を検討します。 【授業時間外の学修内容】教育目標や日課表に関する理解を深めておきます。	D、F、H、L	第20回	【テーマ】仮想学校に必要な文書の作成4 【計画内容】仮想学校の保健室から保護者への連絡票を作成します。 【授業時間外の学修内容】連絡文書について、理解を深めます。	D、F、G、H、J、L
	第6回	【テーマ】仮想学校の教育目標・日課表 【計画内容】仮想学校の育てたい子ども像を明確にした教育目標および日課表を設定します。 【授業時間外の学修内容】教育目標や日課表に関する理解を深めておきます。	D、F、H、L	第21回	【テーマ】保健室経営案 【計画内容】仮想学校の子ども像や学校教育目標・学校保健計画・子供の健康課題を基礎に、保健室経営案を検討します。 【授業時間外の学修内容】保健室経営案の立案について理解を深めておきます。	D、F、G、H、L、N
	第7回	【テーマ】仮想学校の教職員構成 【計画内容】仮想学校の教職員構成を検討します。 【授業時間外の学修内容】校務分掌や教職員構成について理解を深めます。	D、F、G、H、L	第22回	【テーマ】保健室経営案 【計画内容】仮想学校の子ども像や学校教育目標・学校保健計画・子供の健康課題を基礎に、保健室経営案を作成します。 【授業時間外の学修内容】保健室経営案の立案について理解を深めておきます。	D、F、G、H、L、N
	第8回	【テーマ】仮想学校の教職員構成 【計画内容】仮想学校の教職員を設定します。 【授業時間外の学修内容】校務分掌や教職員構成について理解を深めます。	D、F、G、H、L	第23回	【テーマ】校外連携についての検討 【計画内容】仮想学校の修学旅行の事例を設定し、修学ｔ旅行事前保健調査票を検討します。 【授業時間外の学修内容】校外連携について調べ、まとめておきます。	D、F、G、H、L
	第9回	【テーマ】仮想学校の学校行事 【計画内容】仮想学校の特色ある学校行事を検討します。 【授業時間外の学修内容】教育課程について理解を深めておきます。	D、F、G、H、L、N	第24回	【テーマ】校外連携についての検討康課題の把握についての討議 【計画内容】仮想学校の修学旅行の事例をもとに、養護教諭として学校外の誰とどういう順序でどのように連携しなければならないか検討します。 【授業時間外の学修内容】校外連携について調べ、まとめておきます。	D、F、G、H、L
	第10回	【テーマ】仮想学校の学校行事 【計画内容】仮想学校の特色ある学校行事を検討します。 【授業時間外の学修内容】教育課程について理解を深めておきます。	D、F、G、H、L、N	第25回	【テーマ】仮想学校の健康診断の計画立案 【計画内容】仮想学校の健康診断実施要領を検討します。 【授業時間外の学修内容】健康診断について調べ、まとめておきます。	D、F、G、H、L
	第11回	【テーマ】学校保健計画の作成 【計画内容】仮想学校の子ども像や学校行事を念頭に、学校保健計画を検討します。 【授業時間外の学修内容】学校保健計画の立案の方法や重点について理解を深めます。	D、F、G、H、L	第26回	【テーマ】仮想学校の健康診断の計画立案 【計画内容】仮想学校の健康診断実施要領を作成します。 【授業時間外の学修内容】健康診断について調べ、まとめておきます。	D、F、G、H、L
	第12回	【テーマ】学校保健計画の作成 【計画内容】仮想学校の子ども像や学校行事を念頭に、学校保健計画を設定します。 【授業時間外の学修内容】学校保健計画の立案の方法や重点について理解を深めます。	D、F、G、H、L	第27回	【テーマ】健康診断結果のお知らせ文書1 【計画内容】仮想学校の視力検査結果・尿検査結果のお知らせ文書を検討し、作成します。 【授業時間外の学修内容】健診結果のお知らせについて理解を深めておきます。	D、F、G、H、L
	第13回	【テーマ】仮想学校の子どもの健康課題の把握 【計画内容】仮想学校の子どもの健康課題について検討します。 【授業時間外の学修内容】現代の子どもの健康課題について調べ、まとめておきます。	D、F、G、H、L	第28回	【テーマ】健康診断結果のお知らせ文書2 【計画内容】仮想学校の歯科検診結果・内科検診結果のお知らせ文書を検討し、作成します。 【授業時間外の学修内容】健診結果のお知らせについて理解を深めておきます。	D、F、G、H、L
	第14回	【テーマ】仮想学校の子どもの健康課題の把握 【計画内容】仮想学校の子どもの健康課題について設定します。 【授業時間外の学修内容】現代の子どもの健康課題について調べ、まとめておきます。	D、F、G、H、L	第29回	【テーマ】学習のまとめと確認 【計画内容】みんなの意見を確認しながら、一人ひとりが積極的に活動したか、よく考えたかを振り返り、自分自身の後学期の課題設定を行います。 【授業時間外の学修内容】後学期に向けての課題を考えて臨みます。	D、F、G、H、L
	第15回	【テーマ】文書の作成 【計画内容】養護教諭として学校保健の推進に必要な諸表簿・文書・記録物の根拠について確認します。 【授業時間外の学修内容】公文書について学習を深めておきます。	D、F、G、H、L	第30回	【テーマ】学習のまとめと確認 【計画内容】みんなの意見を確認しながら、一人ひとりが積極的に活動したか、よく考えたかを振り返り、グループの後学期の課題設定を行います。 【授業時間外の学修内容】後学期に向けての課題を考えて臨みます。	D、F、G、H、L

テキスト	プリントを使用します
参考書	初回講義時に一覧表を示して説明します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%		50%	
	補足			レポート		グループ発表	

課題に関するフィードバックの方法	毎回のワークシートと課題は、添削の上、返却します。 最終レポート課題は以下のとおりです。 1. 本実習における自己評価を10段階で行い、その理由や獲得した資質能力および課題について述べなさい。 2. 本実習におけるグループの他者評価を10段階で行い、その理由を書きなさい。

実務経験と授業の関連	該当	経験内容	今野洋子・佐藤朱美／養護教諭
		科目との関連	今野洋子・佐藤朱美／実際の養護活動について提示する。

質問への対応	講義時に説明します。この実習用の相談日を設定しますので、活用してください。
資格	[教]養教1種_必修
その他	養護教諭を目指す人にとって必要な授業です。よく学習して、授業に臨み、さらに工夫しましょう。 グループで協力して、よりよいものをつくってください。

科目名	養護活動実習Ⅱ	授業形態	実習	単位数	2

教員名	今野　洋子、佐藤　朱美

授業の目的		
	ねらい	「力のある養護教諭として活動したい」と思っていますか？ 現在、養護教諭には、高い専門性としっかりした養護実践の力量が求められています。この授業では、養護教諭としての資質能力の向上と実践力の育成をねらいとしています。「養護活動実習Ⅰ」の内容をさらに発展させて学びます。
	到達目標	(1)自己目標の達成を目指す。 (2)養護実践のための能力を目指す。 (3)養護実践の方法を工夫する。 (4)根拠に基づいた養護実践を展開することができる。

授業の計画						
第1回	【テーマ】オリエンテーション・自己目標の設定・ほけんだより発表 【計画内容】後学期の自己目標を設定し、グループで深めます。ほけんだよりを発表し、仮想学校の実態に合っているかどうか検討します。 【授業時間外の学修内容】作成したほけんだよりを持参して臨みます。	D、F、G、H、L	第16回	【テーマ】特別支援教育対象の児童への養護実践 【計画内容】仮想学校での特別支援教育を必要とする子どもへの支援事例を設定し、どのように具体的に支援するかロールプレイングを行い、検討します。 【授業時間外の学修内容】特別支援教育と養護教諭の役割について、理解を深めておきます。	D、F、G、H、L、N
第2回	【テーマ】グループ目標の設定・ほけんだよりの評価 【計画内容】後学期のグループ目標を設定します。ほけんだよりが仮想学校の実態に合っているかどうか検討します。 【授業時間外の学修内容】作成したほけんだよりを持参して臨みます。	D、F、G、H、L	第17回	【テーマ】環境衛生の日常点検 【計画内容】学校美化の観点から、清掃区域・方法、環境衛生の日常点検について資料を提供し、職員会議で討議します。 【授業時間外の学修内容】環境衛生について学習を深めておきます。	D、F、G、H、L、N
第3回	【テーマ】執務計画立案 【計画内容】仮想学校の養護教諭の健康診断のある一日の執務および特に学校行事等の無い一日の執務を計画し、検討します。 【授業時間外の学修内容】執務計画についての学習を深め、資料をまとめておきます。	D、F、G、H、L	第18回	【テーマ】環境衛生の日常点検 【計画内容】学校美化の観点から、清掃区域・方法、環境衛生の日常点検について資料を提供し、職員会議で討議します。 【授業時間外の学修内容】環境衛生について学習を深めておきます。	D、F、G、H、L、N
第4回	【テーマ】執務計画立案 【計画内容】仮想学校の養護教諭の健康診断のある一日の執務および特に学校行事等の無い一日の執務を計画し、検討します。 【授業時間外の学修内容】執務計画についての学習を深め、資料をまとめておきます。	D、F、G、H、L	第19回	【テーマ】個別保健指導(継続指導と保護者への対応) 【計画内容】個別保健指導の継続事例を設定し、保護者への支援も含めどのように具体的に支援するかロールプレイングを行い、検討します。 【授業時間外の学修内容】保護者への対応について、考えをまとめておきます。	D、F、G、H、L、N
第5回	【テーマ】執務を計画立案(日常) 【計画内容】ある一日の執務および特に学校行事等の無い一日の執務を計画し、教育効果をあげられるよう工夫し、検討します。 【授業時間外の学修内容】養護教諭の仕事について調べ、考えをまとめておきます。	D、F、G、H、L	第20回	【テーマ】個別保健指導(継続指導と保護者への対応) 【計画内容】個別保健指導の継続事例を設定し、保護者への支援も含めどのように具体的に支援するかロールプレイングを行い、検討します。 【授業時間外の学修内容】保護者への対応について、考えをまとめておきます。	D、F、G、H、L、N
第6回	【テーマ】執務を計画立案(日常) 【計画内容】ある一日の執務および特に学校行事等の無い一日の執務を計画し、教育効果をあげられるよう工夫し、検討します。 【授業時間外の学修内容】養護教諭の仕事について調べ、考えをまとめておきます。	D、F、G、H、L	第21回	【テーマ】感染症流行時の対応 【計画内容】仮想学校において感染症の流行に対し、養護教諭としてどのように資料を提供し、どのような対策をするか、模擬臨時職員会議で提案し、討議します。 【授業時間外の学修内容】感染症および感染症対策について学習を深めておきます。	D、F、G、H、L、N
第7回	【テーマ】健康診断結果のまとめと提案 【計画内容】仮想学校の健康診断を作成し、模擬職員会議で提案・検討します。 【授業時間外の学修内容】学校保健統計等を参考に、理解を深めておきます。	D、F、G、H、L、N	第22回	【テーマ】感染症流行時の対応 【計画内容】仮想学校において感染症の流行に対し、養護教諭としてどのように資料を提供し、どのような対策をするか、模擬臨時職員会議で提案し、討議します。 【授業時間外の学修内容】感染症および感染症対策について学習を深めておきます。	D、F、G、H、L、N
第8回	【テーマ】健康診断結果のまとめと提案 【計画内容】仮想学校の健康診断を作成し、模擬職員会議で提案・検討します。 【授業時間外の学修内容】学校保健統計等を参考に、理解を深めておきます。	D、F、G、H、L、N	第23回	【テーマ】食物アレルギーの研修計画 【計画内容】仮想学校において、教職員向けの食物アレルギーの研修計画を立案し、実践します。 【授業時間外の学修内容】食物アレルギー対応について学習を深めておきます。	D、F、G、H、L、N
第9回	【テーマ】保健教育の実施(特別活動) 【計画内容】仮想学校の学校保健計画に合わせ、特別活動の保険教育を実施します。 【授業時間外の学修内容】保健教育について確認し、理解を深めておきます。	D、F、G、H、L、N	第24回	【テーマ】食物アレルギーの研修計画 【計画内容】仮想学校において、教職員向けの食物アレルギーの研修計画を立案し、実践します。 【授業時間外の学修内容】食物アレルギー対応について学習を深めておきます。	D、F、G、H、L、N
第10回	【テーマ】保健教育の実施(特別活動) 【計画内容】仮想学校の学校保健計画に合わせ、特別活動の保険教育を実施します。 【授業時間外の学修内容】保健教育について確認し、理解を深めておきます。	D、F、G、H、L、N	第25回	【テーマ】学校の規模や地域特性と養護実践(災害直後の養護実践) 【計画内容】仮想学校における災害発生直後、どのように子どもの健康を守るべきか、検討します。 【授業時間外の学修内容】災害時の対応について調べ、学習を深めておきます。	D、F、G、H、L、N
第11回	【テーマ】個別保健指導1 【計画内容】個別保健指導の事例を設定し、ロールプレイングを用いて実践します。 【授業時間外の学修内容】個別保健指導について、理解を深めておきます。	D、F、G、H、L、N	第26回	【テーマ】学校の規模や地域特性と養護実践(災害直後の養護実践) 【計画内容】仮想学校における災害発生直後、どのように子どもの健康を守るべきか、検討します。 【授業時間外の学修内容】災害時の対応について調べ、学習を深めておきます。	D、F、G、H、L、N
第12回	【テーマ】個別保健指導1 【計画内容】個別保健指導の事例を設定し、ロールプレイングを用いて実践します。 【授業時間外の学修内容】個別保健指導について、理解を深めておきます。	D、F、G、H、L、N	第27回	【テーマ】学校の規模や地域特性と養護実践(災害発生一ヶ月後の心のケア) 【計画内容】災害発生一か月後、どのように子どもの心のケアをするべきか検討します。 【授業時間外の学修内容】災害時の心のケアについて調べ、学習を深めておきます。	D、F、G、H、L、N
第13回	【テーマ】保健教育の実施(教科) 【計画内容】兼職発令されたと仮定し、教科の保険教育を実施します。 【授業時間外の学修内容】学習指導要領を確認し、理解を深めておきます。	D、F、G、H、L、N	第28回	【テーマ】学校の規模や地域特性と養護実践(災害発生一ヶ月後の心のケア) 【計画内容】災害発生一か月後、どのように子どもの心のケアをするべきか検討します。 【授業時間外の学修内容】災害時の心のケアについて調べ、学習を深めておきます。	D、F、G、H、L、N
第14回	【テーマ】保健教育の実施(教科) 【計画内容】兼職発令されたと仮定し、教科の保険教育を実施します。 【授業時間外の学修内容】学習指導要領を確認し、理解を深めておきます。	D、F、G、H、L、N	第29回	【テーマ】まとめと確認(自己目標達成度の評価も含む) 【計画内容】第1回に設定した課題達成状況について自己評価し、全体で交流します。 【授業時間外の学修内容】課題達成状況に対する自己評価を行い、授業に臨みます。	D、F、G、H、L、N
第15回	【テーマ】特別支援教育対象の児童への養護実践 【計画内容】仮想学校での特別支援教育を必要とする子どもへの支援事例を設定し、どのように具体的に支援するかロールプレイングを行い、検討します。 【授業時間外の学修内容】特別支援教育と養護教諭の役割について、理解を深めておきます。	D、F、G、H、L、N	第30回	【テーマ】まとめと確認(自己目標達成度の評価も含む) 【計画内容】第1回に設定した課題達成状況についてグループ評価を行い、全体で交流します。 【授業時間外の学修内容】課題達成状況に対する自己評価を行い、授業に臨みます。	D、F、G、H、L、N

テキスト	プリントを使用します
参考書	「養護活動実習Ⅰ」の終了時に掲示します

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			50%		50%	
補足			レポート		グループ発表	

課題に関するフィードバックの方法	毎回のワークシートと課題は添削の上返却します。 レポート課題は、以下の通りです。 1. 自己目標に対する評価とグループ評価 2. 仮想学校の健康課題への取り組み方法

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	今野洋子・佐藤朱美／養護教諭
		科目との関連	今野洋子・佐藤朱美／養護実践の具体例を指導する。

質問への対応	この授業の相談のための時間を設定します。
資格	[教]養教1種_選択
その他	養護教諭を目指す人にとって必要な授業です。悔いの残らないよう積極的に活動しましょう。

科目名	精神保健	授業形態	講義	単位数	2
教員名	武藤　福保				

授業の目的	
ねらい	精神保健とは「心の健康」のことをいう。今日、わが国においても精神保健の重要性が指摘されるところとなってきている。本講義では精神保健に関する歴史的経緯とその意義を概観しつつ、ライフサイクルや具体的な生活の場面を通じて精神保健全般のもつ役割について講義する。具体的には、精神障害の概略、分類、各精神障害（疾患）について年代別（小児期、成人期、老年期）に講義を行う。加えて、精神障害に関する基礎知識、精神保健福祉施策の概要、保健センター等の行政機関、地域社会における実践活動などについても知識を獲得する。
到達目標	(1)精神医学に関して医学的に正確な知識を身につけること。 (2)精神障害全般に関して医学的に正確な知識を身につけること。 (3)精神障害者（児）に対する偏見をなくすこと。

授業の計画						
第1回	【テーマ】概論：精神保健（メンタルヘルス）とは 【計画内容】講義のガイダンスを行い、精神保健の概略と精神保健の意義について解説する。また「病跡学」を通して精神障害を身近なものと理解する。 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。精神障害を有する著名人を調べておくこと。	A、G	第9回	【テーマ】児童期における精神保健：各論（情緒と行動の障害、発達障害など） 【計画内容】児童期の精神障害を分類ごとに解説する。具体的には自閉症・広汎性発達障害・ADHD・学習障害・知的障害などの発達障害や情緒と行動の障害などに関して詳説する。 【授業時間外の学修内容】参考図書などにより児童期における精神保健の各論について学習しておくこと。	A、G
第2回	【テーマ】精神障害に関する基礎知識と分類 【計画内容】精神障害の成り立ち、原因、分類体系、診断、検査などを解説する。 【授業時間外の学修内容】参考図書などにより精神障害の成り立ち、原因、分類体系、診断、検査などについて学習しておくこと。	A、G	第10回	【テーマ】思春期・青年期における精神保健と人格障害 【計画内容】思春期・青年期に生じやすい精神障害（摂食障害やアパシーなど）と人格障害について解説する。 【授業時間外の学修内容】参考図書などにより思春期・青年期に生じやすい精神障害と人格障害について学習しておくこと。	A、G
第3回	【テーマ】心因性の精神障害 【計画内容】心因性の精神障害の原因、分類、症状、治療などについて解説する。 【授業時間外の学修内容】参考図書などにより心因性の精神障害について学習しておくこと。	A、G	第11回	【テーマ】講義の復習と家庭・学校・職場における精神保健 【計画内容】これまでの講義の復習と地域における精神保健について解説する。 【授業時間外の学修内容】参考図書などにより家庭・学校・職場における精神保健について学習しておくこと。また、これまでの講義の概略を復習しておくこと。	A、G
第4回	【テーマ】統合失調症 【計画内容】統合失調症の原因、分類、症状、治療などについて解説する。 【授業時間外の学修内容】参考図書などにより統合失調症について学習しておくこと。	A、G	第12回	【テーマ】てんかんと睡眠障害 【計画内容】てんかんと睡眠障害の原因、分類、症状、治療などについて解説する。 【授業時間外の学修内容】参考図書などによりてんかんと睡眠障害について学習しておくこと。	A、G
第5回	【テーマ】気分障害（感情障害、躁うつ病、うつ病） 【計画内容】気分障害（感情障害、躁うつ病、うつ病）の原因、分類、症状、治療などについて解説する。 【授業時間外の学修内容】参考図書などにより気分障害（感情障害、躁うつ病、うつ病）について学習しておくこと。	A、G	第13回	【テーマ】精神保健の歴史・精神保健の今日的意義と重要性（理念） 【計画内容】現代社会における精神保健の重要性と諸課題、および精神保健福祉士の役割について解説する。 【授業時間外の学修内容】参考図書などにより精神保健の歴史と精神保健の今日的意義について学習しておくこと。	A、G
第6回	【テーマ】成人期・老年期における精神保健 【計画内容】成人期および老年期に生じる精神障害の特徴を概説する。 【授業時間外の学修内容】参考図書などにより成人期および老年期に生じる精神障害について学習しておくこと。	A、G	第14回	【テーマ】精神保健福祉制度の概要 【計画内容】わが国および他の国々や国際連合における精神保健福祉制度、精神障害者の人権・社会復帰に向けた援助について解説する。 【授業時間外の学修内容】参考図書などにより精神保健福祉制度について学習しておくこと。	A、G
第7回	【テーマ】精神障害の治療と認知症 【計画内容】精神障害の治療と認知症についてその概略を説明する。特に老年期の認知症に関して詳説する。 【授業時間外の学修内容】参考図書などにより精神障害の治療と認知症について学習しておくこと。	A、G	第15回	【テーマ】「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（精神保健福祉法）」の概要 【計画内容】精神保健福祉法の趣旨、精神科治療現場での実際について説明する。 【授業時間外の学修内容】参考図書などにより精神保健福祉法について学習しておくこと。	A、G
第8回	【テーマ】児童期における精神保健：総論（人間の成長と発達の基礎的理解） 【計画内容】人間の成長と発達を身体的・心理的・社会的側面から解説し、それぞれの観点から児童期の精神障害の発生原因と分類体系などを解説する。 【授業時間外の学修内容】参考図書などにより児童期における精神保健について学習しておくこと。	A、G				

テキスト	プリントを使用します
参考書	山下格、2010年、『精神医学ハンドブック 第7版　医学・保健・福祉の基礎知識』、日本評論社、9784535983335 一般社団法人日本精神保健福祉士養成校協会編集、2015年、『新・精神保健福祉士養成講座2「精神保健の課題と支援」第2版』、中央法規

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	40%		20%		20%	20%
補足			毎回のミニ・レポート		質問や発言	

課題に関するフィードバックの方法	毎回ミニ・レポートを提出してもらいますが、次回の講義時に講評や参考事項があれば補足説明するなどのフィードバックを行います。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	医師、精神保健指定医
		科目との関連	医師、精神保健指定医としての業務経験にもとに実務に即した指導・授業を行う。

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。次のメール・アドレスでも受け付けます。 E-Mail: drmutoh406cp@yahoo.co.jp（メールのタイトルに「北翔大学」＋「学生番号と氏名」を記載すること）
資格	[教]養教1種_必修
その他	私語は厳禁です。積極的な質問や意見の発表などは歓迎します。授業中に簡単な質問をすることがあります。間違いを恐れずに意見を述べて下さい。

科目名	教育課程論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	諏江　康夫				

授業の目的

ねらい	中学校及び高等学校学習指導要領の総則を手がかりに、学習指導要領や教育課程の役割・機能・意義などを理解する。 ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業を通して、学習指導要領改訂の趣旨を踏まえた教育課程編成や指導計画の作成方法を身につける。 ・学習指導要領改訂の背景を踏まえ、「社会に開かれた教育課程」やカリキュラム・マネジメントの重要性・意義について理解を深める。
到達目標	(1)学習指導要領や教育課程の役割、機能、意義を理解する。 (2)教育課程編成の基本原理などを理解するとともに、教科等横断的な視点から教育課程や指導計画を編成・例示することができる。 (3)教科等横断的な視点や学校段階間の接続を踏まえ、カリキュラム・マネジメントの重要性・意義を理解する。

授業の計画

第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】授業のねらい、展開、評価、参考文献などについて説明します。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で学びたいことを整理して、関連する資料を調べておく。	A	第9回	【テーマ】教育課程編成の基本原理・高等学校(2) 【計画内容】教育課程編成において、中学校と異なる基本事項があることを理解するとともに、学校や生徒の多様な実態等に対応する教育課程編成の具体的方策を相互に検討する。 【授業時間外の学修内容】中学校・高等学校の学習指導要領・総則のポイントを整理しておく。	A、G、H
第2回	【テーマ】学習指導要領改訂の変遷と社会的背景 【計画内容】学習指導要領改訂の歴史を概観し、それぞれの内容や社会的背景などについて学ぶとともに、カリキュラム・マネジメントなど、今回の改訂のポイントを理解する。 【授業時間外の学修内容】『中学校学習指導要領解説 総則編』の第1章、『高等学校学習指導要領(総則)』を予習しておく。	A、H	第10回	【テーマ】教育課程の編成・高等学校(1) 【計画内容】これまでの学びをもとに、協同学習を通して高等学校の教育課程を編成(例示)する。 【授業時間外の学修内容】配付する資料に教育課程表の下書きを作成する。	A、G、H
第3回	【テーマ】学習指導要領、教育課程の意義と役割 【計画内容】学習指導要領の性格や位置付け、教育課程編成の目的などについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】『中学校学習指導要領解説 総則編』の第2章、『高等学校学習指導要領(総則)』を予習しておく。	A、H	第11回	【テーマ】教育課程の編成・高等学校(2) 【計画内容】編成(例示)した教育課程について、「教科等横断的な視点が十分か」「学校段階間の接続」などを相互に検討し、改善を図る。 【授業時間外の学修内容】配付する資料に教育課程表の修正版を作成する。	A、G、H
第4回	【テーマ】教育課程の役割・機能と育成すべき資質・能力 【計画内容】教育課程が社会に果たす役割や機能、教育課程の実施を通して育成すべき資質・能力などについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】『中学校学習指導要領解説 総則編』の第3章第1節、『高等学校学習指導要領(総則)』を予習しておく。	A、G	第12回	【テーマ】各教科・科目の年間指導計画の作成(1) 【計画内容】任意の教科・科目について、年間指導計画を作成(例示)する。 【授業時間外の学修内容】任意の教科・科目の学習指導要領を読み、改訂のポイントなどを調べておく。	A、B、G、H
第5回	【テーマ】教育課程編成の基本原理・中学校 【計画内容】中学校における教育課程編成の基本的事項や留意事項について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】『中学校学習指導要領解説 総則編』の第3章第2節を予習しておく。	A、H	第13回	【テーマ】各教科・科目の年間指導計画の作成(2) 【計画内容】作成(例示)した年間指導計画を相互に検討し、望ましい年間指導計画に近づける。 【授業時間外の学修内容】作成した年間指導計画を見直し、説明のポイントなどを整理しておく。	A、B、G、H
第6回	【テーマ】教育課程の編成・中学校(1) 【計画内容】これまでの学びをもとに、協同学習を通して中学校の教育課程を編成(例示)する。 【授業時間外の学修内容】配付する資料に教育課程表の下書きを作成する。	A、G、H	第14回	【テーマ】教育課程の実施と学習評価 【計画内容】カリキュラム・マネジメント、授業改善、学習評価の充実、生徒の発達支援等について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】『中学校学習指導要領解説 総則編』の第3章第3～4節、『高等学校学習指導要領(総則)』を予習しておく。	A
第7回	【テーマ】教育課程の編成・中学校(2) 【計画内容】編成(例示)した中学校の教育課程について、「教科等横断的な視点が十分か」「学校段階間の接続」などを相互に検討し、改善を図る。 【授業時間外の学修内容】配付する資料に教育課程表の修正版を作成する。	A、G、H	第15回	【テーマ】教育課程の改善と学校運営 【計画内容】教育課程の評価と改善、家庭・地域・学校間の連携、道徳教育との関連などについて学ぶとともに、これまでの学習を総括する。 【授業時間外の学修内容】『中学校学習指導要領解説 総則編』の第3章第5～6節、『高等学校学習指導要領(総則)』を予習しておく。これまでの資料などを整理しておく。	A、L
第8回	【テーマ】教育課程編成の基本原理・高等学校(1) 【計画内容】高等学校における教育課程編成の基本的事項や留意事項について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】『高等学校学習指導要領』の総則を予習しておく。	A、G、H			

テキスト	文部科学省、2018年、『中学校学習指導要領解説　総則編』、東山書房、9784827815801 文部科学省、2018年、『高等学校学習指導要領解説　総則編』、東洋館出版社、9784491036397
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			60%		40%	
補足			レポート		提出物や発言など	

課題に関するフィードバックの方法	提出物やレポートについて、その都度、解説・講評し、学習の深化を図ります。

実務経験と授業の関連	該当	経験内容	高等学校教諭、教育委員会指導主事
		科目との関連	教職実務の経験を活かし、教育課程編成や実践的指導の力量を育成する

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[教]養教1種_必修 [芸]中・高1種(美術)_必修
その他	取得希望の教員免許教科の『学習指導要領解説』が必要となります。講義の際に具体的に説明します。

科目名	教育方法論(情報機器・教材活用を含む)	授業形態	講義	単位数	2

教員名	西出　勉

授業の目的		
	ねらい	本講義では、様々な教育活動を効果的に展開するための教育方法などについて学びます。小学校学習指導要領等について理解し、授業の指導計画の作成や教材研究(ICT の効果的な活用を含む)、学習評価、教師の具体的なかかわり方等について、学習指導案の作成等を通して実践的に学んでいきます。
	到達目標	(1)小学校学習指導要領等の内容について理解することができる。 (2)指導計画の作成や教材研究(ICT の効果的な活用を含む)、学習評価について理解することができる。 (3)授業の進め方や教師のかかわり方について理解することができる。 (4)学習評価の考え方について理解することができる。 (5)学習指導案の作成等を行い、振り返ることができる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】授業の進め方や教育方法に関する基本的な考え方について学びます。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で学びたいことを整理して、関連する資料を調べておくこと。	A	第9回	【テーマ】保健学習の進め方③～教授組織と学習組織 【計画内容】様々な授業形態やその効果的な活用について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A、H、K
	第2回	【テーマ】問題解決的な学習 【計画内容】ヘルバルトやデューイの教授理論を通して、問題解決的な学習に関する基本的な考え方について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A	第10回	【テーマ】学習指導と教育活動の展開①【指導計画の作成】 【計画内容】指導計画(学習指導案)の作成について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	B、H、K
	第3回	【テーマ】カリキュラム開発(概念と構造) 【計画内容】カリキュラム開発に関する基本的な概念と構造について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A	第11回	【テーマ】学習指導と教育活動の展開②【指導計画の作成】 【計画内容】指導計画(学習指導案)の作成について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	B、H、K
	第4回	【テーマ】学習指導要領① 【計画内容】小学校学習指導要領における改訂の考え方等について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A、K	第12回	【テーマ】学習指導と教育活動の展開③ 【計画内容】教育評価に関する基本的な考え方について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A、H、K
	第5回	【テーマ】学習指導要領② 【計画内容】「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A	第13回	【テーマ】学習指導と教育活動の展開④ 【計画内容】学習評価に関する基本的な考え方について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A、H、K
	第6回	【テーマ】学習指導要領③ 【計画内容】小学校学習指導要領における「体育(保健領域)に関する保健の内容や指導等について学びます 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A、J、K	第14回	【テーマ】学習指導と教育活動の展開⑤ 【計画内容】作成した指導計画をもとに、評価の計画を立案します。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	B、H、K
	第7回	【テーマ】保健学習の進め方①～発問や板書等 【計画内容】授業における発問や板書等について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A、J、K	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】教育方法に関する考え方や具体的な実践について、養護教諭の立場から振り返り、まとめます。 【授業時間外の学修内容】これまで配付したプリントを振り返り、内容を再確認すること。	A、G、L
	第8回	【テーマ】保健学習の進め方②～ICT の効果的な活用 【計画内容】教育メディアの特性とその効果的な活用について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A、H、K			

テキスト	講義時に説明します
参考書	文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領(平成29年告示)』、東洋館出版

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			70%		30%	
	補足			レポート			

課題に関するフィードバックの方法	レポート等を返却し、学んだ内容を振り返りながら講評します。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	小学校教諭
		科目との関連	小学校教諭としての業務経験をもとに、実務に即した指導を行う。

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[教]養教1種_必修
その他	

科目名	養護実習事後指導	授業形態	講義	単位数	1
教員名	今野　洋子、佐藤　朱美、島瀬　史子				

授業の目的	
ねらい	養護実習で得られた学びや課題を明らかにしましょう。 養護実習を振り返り、自己の学習を省察することで、養護実習で得られた学びをさらに深めましょう。また、養護実習によって把握した課題をどのように解決すればよいか、具体的な手立てを考えましょう。
到達目標	(1)養護実習での学びと課題を示すことができる。 (2)養護実習で明らかにされた課題解決の方法を考え、示すことができる。 (3)養護実習の学びを報告集としてまとめることができる。 (4)養護実習での学びをわかりやすく発表することができる。

授業の計画						
第1回	【テーマ】オリエンテーション·本学習での目標設定·養護実習を省察する意義について学ぶ 【計画内容】養護実習全体を振り返り、自己評価する。 【授業時間外の学修内容】養護実習中に使用した資料や実習校からもらった資料をよく読んで臨む。	A、L	第9回	【テーマ】保健室来室者への対応をふりかえり、省察する(2) 【計画内容】一日保健室実習等を振り返り、倦怠感等、さまざまな訴えで来室する子どもへの対応についてふりかえり、学習を深める。 【授業時間外の学修内容】養護実習中に使用した資料や実習校からもらった資料をよく読んで臨む。	A、G、L
第2回	【テーマ】実習校での実習内容と実習方法をふりかえり、省察する 【計画内容】実習校での実習内容と実習方法についてふりかえり、学習の成果と課題についてふりかえる。 【授業時間外の学修内容】養護実習中に使用した資料や実習校からもらった資料をよく読んで臨む。	A、G、L	第10回	【テーマ】救急処置の実際をふりかえり、省察する 【計画内容】実習中の保健室での救急処置を振り返り、自己の学びと課題について整理し、検討する。 【授業時間外の学修内容】養護実習中に使用した資料や実習校からもらった資料をよく読んで臨む。	A、G、L
第3回	【テーマ】実習校の教育計画や学校組織の理解を深める 【計画内容】実習校の教育計画や学校組織(校務分掌)、保健計画や学校保健組織等について学んだことをふりかえり、理解を深める。 【授業時間外の学修内容】養護実習中に使用した資料や実習校からもらった資料をよく読んで臨む。	A、G、L	第11回	【テーマ】健康教育をふりかえり、省察する(1) 【計画内容】実習した健康教育の内容、指導の実際についてふりかえる。 【授業時間外の学修内容】養護実習中に使用した資料や実習校からもらった資料をよく読んで臨む。	A、G、L
第4回	【テーマ】実習校の子どもの学校生活と環境についての理解を深める 【計画内容】実習校の子どもの学校生活、学校の日課、学校行事等について振り返り、学んだことを省察する。 【授業時間外の学修内容】養護実習中に使用した資料や実習校からもらった資料をよく読んで臨む。	A、G、L	第12回	【テーマ】健康教育をふりかえり、省察する(2) 【計画内容】健康教育について、実習で得られた学びと課題について整理し、検討する。 【授業時間外の学修内容】養護実習中に使用した資料や実習校からもらった資料をよく読んで臨む。	A、G、L
第5回	【テーマ】養護教諭の職務と保健室についてふりかえり、省察する 【計画内容】実習校の養護教諭の職務と保健室についての理解を深め、養護実習で得られた学びと自己課題を明らかにする。 【授業時間外の学修内容】養護実習中に使用した資料や実習校からもらった資料をよく読んで臨む。	A、G、L	第13回	【テーマ】養護実習で学んだことのまとめ、発表する(1) 【計画内容】養護実習で得られた学びをわかりやすく示し、発表する。 【授業時間外の学修内容】養護実習中に使用した資料や実習校からもらった資料をよく読んで臨む。	A、F、G、L
第6回	【テーマ】子どもの心身の健康管理のための活動をふりかえり、省察する(1) 【計画内容】実習校では子どもの心身の健康の保持増進をはかることができるよう、どのような健康管理のための活動がされていたかをふりかえり、学習を深める。 【授業時間外の学修内容】養護実習中に使用した資料や実習校からもらった資料をよく読んで臨む。	A、G、L	第14回	【テーマ】養護実習で学んだことのまとめ、発表する(2) 【計画内容】養護実習で明らかになった課題と解決方法を示し、発表する。 【授業時間外の学修内容】養護実習中に使用した資料や実習校からもらった資料をよく読んで臨む。	A、F、G、L
第7回	【テーマ】子どもの心身の健康管理のための活動をふりかえり、省察する(2) 【計画内容】実習校では子どもの心身の健康の保持増進をはかることができるよう、どのように健康相談活動や健康相談、感染症予防のための活動がされていたかをふりかえり、学習を深める。 【授業時間外の学修内容】養護実習中に使用した資料や実習校からもらった資料をよく読んで臨む。	A、G、L	第15回	【テーマ】まとめと確認·養護実習事前指導のまとめ 【計画内容】学んだことを振り返ってまとめ、学習不足の点や自己課題について把握し、今後の学内での学習の中での解決方法について考える。 【授業時間外の学修内容】これまでの学習を振り返り、全体のまとめをして臨む。	A、G、L
第8回	【テーマ】保健室来室者への対応をふりかえり、省察する(1) 【計画内容】一日保健室実習等を振り返り、頭痛や腹痛等、さまざまな訴えで来室する子どもへの対応についてふりかえり、学習を深める。 【授業時間外の学修内容】養護実習中に使用した資料や実習校からもらった資料をよく読んで臨む。	A、G、L			

テキスト	大谷尚子他、2015年、『改訂養護実習ハンドブック』、東山書房
参考書	前年度までの養護実習報告集

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			50%		50%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	提出物は、添削して返却します

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	オフィスアワーを活用してください。
資格	[教]養教1種_必修
その他	

科目名	養護実習	授業形態	実習	単位数	4
教員名	今野　洋子、佐藤　朱美、島瀬　史子				

授業の目的

ねらい

学校教育において養護教諭が果たすべき役割について、各学校での養護実習を通して体験的に理解するとともに、養護教諭としての資質向上および養護実践力の獲得を目指します。養護実習では大学での学びを基礎とし、実習校における学びとを統合させることができるよう常に努力しなければなりません。
また、この養護実習には事前および事後指導に関することも含まれます。

到達目標

(1)養護実習において養護活動の実際を体験的に学ぶ。
(2)大学での学習と実習校での学びを統合させる。
(3)養護教諭としての資質能力、教師としての態度を獲得する。

授業の計画

【計画内容】

第1回	実習：どのような意欲を持って臨み、養護実習で何をどのように学びたいか、実習生としての心構えを表明します。	D、L
第2回	講義：校長先生から「養護実習にあたっての心構えや教師としての心得」についてご講義いただき、意欲を高めます。	D、L
第3回	講義：教頭先生から「実習校の特色」「学校組織」についてご講義いただき、実習校の実態や組織としての学校について理解を深めます。	D、L
第4回	講義：教務主任から「教育課程」についてご講義いただき、実習校の教育課程について理解を深めます。	D、L
第5回	講義：生徒指導主任から「生徒指導」についてご講義いただき、実習校の生徒指導について理解を深めます。	D、L
第6回	講義：指導養護教諭から「健康診断」についてご講義いただき、実習校の健康診断実施過程について理解を深めます。	D、L
第7回	講義：研修主任から「本校の研究活動」についてご講義いただき、実習校の研究テーマや研修体制について理解を深めます。	D、L
第8回	講義：栄養教諭から「給食指導」についてご講義いただき、実習校の研究テーマや研修体制について理解を深めます。	D、L
第9回	実習：職員朝会に参加し、行事日程や連絡事項を確認し、養護教諭としてその日どのように行動するか考え、行動します。	D、L
第10回	実習：三計測について、準備や測定場所を整え、迅速かつ正確に検査を実施します。円滑な実施となったか反省し評価します。	D、L
第11回	実習：三計測について、前時の反省点を踏まえ、円滑な測定を心がけます。実施後は、反省点を振り返り評価します。	D、L
第12回	実習：三計測について、迅速かつ正確に検査結果の記入を行います。一人ひとりの子どもの大切な記録を丁寧に扱います。	D、L
第13回	実習：視力検査について、準備や測定場所を整え、迅速かつ正確に検査を実施します。円滑な実施となったか反省し評価します。	D、L
第14回	実習：視力検査について、前時の反省点を踏まえ、円滑な測定を心がけます。実施後は、反省点を振り返り評価します。	D、L
第15回	実習：視力検査について、前時までの反省点を踏まえ、技術の向上や声かけをさらに心がけます。実施について、自己評価します。	D、L
第16回	実習：視力検査について、迅速かつ正確に検査結果の記入を行います。一人ひとりの子どもの大切な記録を丁寧に扱います。	D、L
第17回	実習：聴力検査について、準備や測定場所を整え、迅速かつ正確に検査を実施します。円滑な実施となったか反省し評価します。	D、L
第18回	実習：聴力検査について、前時の反省点を踏まえ、円滑な測定を心がけます。実施後は、反省点を振り返り評価します。	D、L
第19回	実習：聴力検査について、前時までの反省点を踏まえ、発達段階に応じた対応を心がけます。実施後は、反省点を振り返り評価します。	D、L
第20回	実習：聴力検査について、迅速かつ正確に検査結果の記入を行います。一人ひとりの子どもの大切な記録を丁寧に扱います。	D、L
第21回	実習：歯科検診について、準備や測定場所を整え、検診を実施します。学校医との連携についても確認し、学習を深めます。	D、L
第22回	実習：歯科検診について、前時の反省点を踏まえ、円滑な検査を心がけて工夫します。実施後は、反省点を振り返り評価します。	D、L
第23回	実習：歯科検診について、前時の反省点を踏まえ、適切な声かけや円滑な誘導を心がけて工夫します。実施後は、反省点を振り返り評価します。	D、L
第24回	実習：歯科検診について、迅速かつ正確に検査結果の記入を行います。一人ひとりの子どもの大切な記録を丁寧に扱います。	D、L
第25回	実習：耳鼻科検診について、準備や測定場所を整え、検診を実施します。学校医との連携についても確認し、学習を深めます。	D、L
第26回	実習：耳鼻科検診について、前時の反省点を踏まえ、円滑な検査を心がけて工夫します。実施後は、反省点を振り返り評価します。	D、L
第27回	実習：耳鼻科検診について、迅速かつ正確に検査結果の記入を行います。一人ひとりの子どもの大切な記録を丁寧に扱います。	D、L
第28回	実習：児童生徒と給食の時間をともにし、健康観察を行うとともに、児童生徒と交流し親睦を深めます。	D、L
第29回	実習：尿検査・ぎょう虫卵検査について、配付物の準備をします。学級ごとに配付しやすいよう、担任の先生が理解しやすいよう工夫します。	D、L
第30回	実習：尿検査・ぎょう虫卵検査について、説明します。発達段階に応じた説明を工夫し、児童生徒の理解が深まるよう工夫します。	D、L
第31回	実習：尿検査について、検査物を回収し、欠席者等の確認をします。二次検査に向けて準備をします。	D、L
第32回	実習：校内巡視を行い、学校生活における安全や清潔な状態が保たれているか、児童生徒の心身への影響を考えながら確認します。	D、L
第33回	実習：内科検診について、準備や測定場所を整え、検診を実施します。学校医との連携についても確認し、学習を深めます。	D、L
第34回	実習：内科検診について、前時の反省点を踏まえ、円滑な検査を心がけて工夫します。実施後は、反省点を振り返り評価します。	D、L
第35回	実習：内科検診について、迅速かつ正確に検査結果の記入を行います。一人ひとりの子どもの大切な記録を丁寧に扱います。	D、L
第36回	実習：二次検査や再検査等について、健康診断実施要領に基づいて実施します。円滑な実施ができたかどうか反省し、評価します。	D、L
第37回	講義：ほけんだよりの発行について、学校内でどのような過程でほけんだよりが発行されるのか理解を深めます。	D、L
第38回	実習：ほけんだよりの作成について、児童生徒・保護者の心に届くような工夫をし、誤りのないよう丁寧に作成し、発行します。	D、L
第39回	実習：前時の反省を生かし、二回目のほけんだより作成を行います。時期や学校の実態にあったほけんだよりを作成し、発行します。	D、L
第40回	実習：職員朝会の時間を利用し、ほけんだより配付についての連絡をします。養護教諭として伝えたいことを説明します。	D、L
第41回	講義：指導養護教諭から「保健室経営」についてご講義いただき、実習校での保健室の役割について理解を深めます。	D、L
第42回	講義：指導養護教諭から「学校保健計画」についてご講義いただき、実習校での学校保健の展開について理解を深めます。	D、L
第43回	実習：保健室での個別保健指導を実践します。子どもの健康課題を把握し、日常の指導も含め、適切に対応します。	D、L
第44回	実習：保健室での個別指導を、集団保健指導につなげる視点を整理します。予防的な対応についても考えます。	D、L
第45回	講義：指導養護教諭から「救急処置活動」についてご講義いただき、実習校での救急処置活動について理解を深めます。	D、L
第46回	実習：保健室での救急処置活動を実践します。落ち着いて子どもの状態を把握し、適切に対応します。	D、L
第47回	実習：救急処置活動を踏まえ、災害給付金申請の事務手続きを行います。書類の作成を学び、責任を持って作成します。	D、L
第48回	実習：保健室での救急処置活動の実態を踏まえ、子どもにもできる簡単な応急手立てについて保健指導を考えます。	D、L
第49回	講義：指導養護教諭から「健康相談活動」についてご講義いただき、実習校での健康相談活動について理解を深めます。	D、L
第50回	実習：保健室での健康相談活動を実践します。子どもの心身の状態の観察から課題を把握し適切に対応します。	D、L
第51回	実習：保健室での健康相談活動を実践します。子どもが心を開いて話せるよう受容的な態度に努め対応します。	D、L
第52回	実習：「健康相談活動」に学校全体として関わるために、誰とどのように連携する具体的に考え、理解を深めます。	D、L
第53回	観察：保健委員会に参加し、保健委員会の年間活動や月別目標についての理解を深めるとともに指導法について学びます。	D、L
第54回	観察：授業参観等を通し、子どもの実態把握に努めます。教室と保健室での子どもの様子についても理解を深めます。	D、L
第55回	実習：子どもとともに行う清掃活動や、日常の環境衛生検査を通し、学校環境衛生の保持と校内美化に努めます。	D、L
第56回	実習：実態と課題に応じた集団保健指導を企画し、指導案作成および教材作成を行います。養護教諭の専門性を生かせるよう工夫します。	D、L
第57回	実習：指導案検討や模擬授業を実施し、よい保健指導ができるよう検討します。検討結果を生かし、さらに練り上げます。	D、L
第58回	実習：集団保健指導について、子どもの声に耳を傾け、科学的根拠を元に、楽しく学べる保健指導になるよう実践します。	D、L
第59回	実習：実践した保健指導を振り返り、評価します。今後に生かせるよう課題を把握し、記録します。	D、L
第60回	実習：3週間の実習のまとめを行い、日誌の最終頁に記載し、提出します。実習校の先生方に養護実習での学びを伝え、謝辞を述べます。	D、L

【授業時間外の学修内容】
これまでの学習を整理して望みます。

テキスト	『養護実習報告集』
参考書	随時紹介します

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			40%		30%	30%
補足			日誌の記録等		実習中	養護実習後の報告

課題に関するフィードバックの方法	提出物は、講評して返却します。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	
		科目との関連	

質問への対応	実習開始前に説明します。
資格	[教]養教1種_必修
その他	「養護実習」を行う者は必ず教員採用検査を受験しなくてはなりません。 また、履修要件を満たす者でなければ、養護実習を行うことはできません。

科目名	養護教諭教育研究Ⅰ	授業形態	講義	単位数	2

教員名	今野　洋子、佐藤　朱美	
授業の目的	ねらい	養護教諭が養成・研修を通し、生涯学び続けていくためにはどのような資質能力が必要でしょうか。 本講義では、生涯学び続けられる養護教諭としての基礎となる研究能力を身につけます。また、卒業研究に必要な調査研究の方法について体験的に学び深めます。
	到達目標	(1)生涯学び続けるための、資質能力を把握する。 (2)研究に必要な資質能力を把握する。 (3)調査究に関する具体的な知識や理論を身に着ける。 (4)調査研究に関する具体的な技術の向上をはかる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション・本学習での目標設定・研究とは何か(問題解決アプローチとの違い) 【計画内容】本学習での自己の目標設定を行うとともに、研究とは何か、考えを深めまる。 【授業時間外の学修内容】2年次の研究資料をよく読んで臨む。	A、G、L	第9回	【テーマ】予備調査の実施と質問紙の修正、本調査 【計画内容】予備調査と予備調査後の質問紙の改訂、本調査での配付と回収の留意点、標本数について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の資料を修正して臨む。	A、H、L
	第2回	【テーマ】研究の種類と方法、調査研究とはなにか 【計画内容】研究にはどのような種類があるか、どのような方法があるか学ぶ。また、自分の卒業研究の種類や方法について考える。 【授業時間外の学修内容】『養護概説』や研修資料、学会抄録や学会誌等をよく読んで臨む。	A、G、L	第10回	【テーマ】エディティング・コーディング 【計画内容】回収を数える、無効調査票を取りのぞく、書く、通し番号をつけて計算する等のエディティングの実際について学ぶ。回収後のアフターコーディングについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】データ整理の方法を復習しておく。	A、G、L
	第3回	【テーマ】文献検索・文献検討 【計画内容】文献とは何か、参考文献と引用文献はどう違うのか、グループで考えを深め、学ぶ。 【授業時間外の学修内容】研修資料、学会抄録や学会誌等をよく読んで臨む。	A、H、L	第11回	【テーマ】データ入力 【計画内容】具体的にどのようにデータを入力するか、体験的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】データ入力方法について復習しておく。	A、G、F、L
	第4回	【テーマ】研究動機の明確化 【計画内容】興味・疑問用紙を作成し、発表を行い、シェアリングする。枠組み(モデル・概念図・関連図)をつくる 【授業時間外の学修内容】自分の卒業研究の構告図を作成して臨む。	A、G、F	第12回	【テーマ】自由記述欄のコーディング 【計画内容】自由記述欄の記述はどのようにコーディングをすればよいか、体験的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】2年次の養護教諭教育演習をふりかえっておく。	A、G、F、L
	第5回	【テーマ】調査の前に行うこと①テーマの設定と調査モデルの作成 【計画内容】テーマ設定の方法および調査モデルの作成方法や留意点について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】自分の卒業研究に必要な文献リストを作成して臨む。	A、H、L	第13回	【テーマ】記述統計分析 【計画内容】質的変数の場合、量的変数の場合、どのように表現すればよいか体験的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】2年次の養護教諭教育演習をふりかえっておく。	A、G、L
	第6回	【テーマ】調査の前に行うこと②研究計画書の作成 【計画内容】研究の道案内となる研究計画書の作成について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】自分の卒業研究の計画書を作成して臨む。	A、H、L	第14回	【テーマ】表や図の作成 【計画内容】自分の理解を深めるために、ひとつひとつの変数を図に表して、体験的に学ぶ。データの種類によっては、用いることが適切な図とそうでない図があることを理解する。 【授業時間外の学修内容】2年次の研究資料を整理しておく。	A、G、L
	第7回	【テーマ】質問紙の作成①質問紙調査とは 【計画内容】質問紙調査法の長所と短所、質問紙の作成手順について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】2年次の研究資料をよく読んで臨む。	A、F、G	第15回	【テーマ】調査研究の理解・まとめと確認 【計画内容】学んだことを振り返ってまとめ、学習不足の点や自己課題について把握し、今後の卒業研究作成に活かすために考える。 【授業時間外の学修内容】研修資料、学会抄録や学会誌等をよく読んで臨む。	A、G、L
	第8回	【テーマ】質問紙の作成②質問紙の構成 【計画内容】質問文の作り方や質問の並べ方、質問紙の全体構成について、他人の作成した既存の質問紙やスケールを用いる場合について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回までの学習を整理して臨む。	A、H、L			

テキスト	講義時に説明します
参考書	各種学会誌等

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			50%		50%	
補足			レポート等		発表等	

課題に関するフィードバックの方法	毎回のワークシートと課題は、添削の上返却します。 作成した質問紙を行うとともに、身についた研究能力についてのレポートを最終課題とします。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	講義時間やオフィスアワーを活用してください。
資格	
その他	養護教諭を目指す学生にとって必要な科目です。

科目名	指揮法	授業形態	演習	単位数	2
教員名	今井　敏勝				

授業の目的		
	ねらい	音楽の教員として、実際に合唱や合奏の指揮ができるようになるための実技を取り入れた講義です。 指揮に関する歴史的背景を踏まえ「指揮の意味」を理解し、「指揮」という行為の要素を確認しながら具体的な「指揮の技術」について基本を学びます。アクティブ・ラーニングを活用し指揮する自分の姿を客観的にとらえ、人に伝える表現方法を学びます。また、指揮者と指導者の違いについても学びます。
	到達目標	(1)スコア(総譜)の情報を読み取ることができる。 (2)指揮の基本技術を用いて各種拍子及び基本的変化の振り分けができる。 (3)指揮者と指導者それぞれの役割の違いを理解する。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】授業の概要 【計画内容】授業概要を説明し15回の具体的な進め方を提示する。受講者の音楽的な基礎知識を確認する。 【授業時間外の学修内容】『中学校学習指導要領解説音楽編』の第1章を読んでおくこと。	A	第9回	【テーマ】楽曲分析と表現 【計画内容】楽曲分析に基づき、指揮による曲想表現について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】基本図形の振り方を復習しておくこと。	A、G
	第2回	【テーマ】指揮者の理解 【計画内容】プリントやDVDで指揮の歴史を振り返り、同時に指揮者・指導者との違いを学ぶ。 【授業時間外の学修内容】指揮者・指導者の違いを調べておくこと。	A	第10回	【テーマ】合唱における指揮法＜基本編＞ 【計画内容】グループワークを活用し、各自の指揮の特徴や改善点を確認する。 【授業時間外の学修内容】事前配付された合唱曲の中の1パートを歌えるように練習しておくこと。	A、B、H
	第3回	【テーマ】楽譜の理解 【計画内容】音楽という芸術を創り伝える手段である「楽譜」を読むとはどのようなことかを学ぶ。 【授業時間外の学修内容】楽譜の用語について調べておくこと。	A	第11回	【テーマ】合唱における指揮法＜応用編＞ 【計画内容】グループワークを活用し、曲想表現としての指揮の特徴や改善点を確認する。 【授業時間外の学修内容】合唱曲の特徴を理解し、具体的な表現方法を考えておくこと。	A、B、H
	第4回	【テーマ】スコアを読む(スコアリーディング) 【計画内容】指揮者が読むスコアにはどのような情報が詰まっているのかを学ぶ。 【授業時間外の学修内容】図書館でオーケストラスコアを見て、選んだスコアの最初のページをコピーしておくこと。	A	第12回	【テーマ】合奏(アンサンブル)における指揮法＜基本編＞ 【計画内容】小グループに分かれ、各自の指揮の特徴や改善点を確認する。 【授業時間外の学修内容】合奏曲のスコアを読んでおくこと。	A、B、H
	第5回	【テーマ】オーケストラのスコアリーディング 【計画内容】オーケストラの各楽器の役割を理解し、様々な楽曲スコアを読む。 【授業時間外の学修内容】事前配付楽譜を読んで練習しておくこと。	A、B、H	第13回	【テーマ】合奏(アンサンブル)における指揮法＜応用編＞ 【計画内容】グループワークを活用し、曲想表現としての指揮の特徴や改善点を確認する。 【授業時間外の学修内容】楽曲分析に基づき、具体的な表現方法を考えておくこと。	A、B、H
	第6回	【テーマ】指揮の基本動作と拍子の振り分け＜基礎編＞ 【計画内容】指揮の基本動作(始め方と終わり方)を確認し、2・3・4拍子を振り分ける。 【授業時間外の学修内容】各拍子の基本図形を確認しておくこと。	A、B、H	第14回	【テーマ】指揮法の実践 【計画内容】楽曲の曲想表現を含めた指揮法の実践。 【授業時間外の学修内容】楽曲分析に基づく指揮の方法を復習しておくこと。	B、F
	第7回	【テーマ】指揮の基本動作と拍子の振り分け＜楽曲編＞ 【計画内容】楽曲を使い、拍子振り分け技術を定着させる。 【授業時間外の学修内容】指揮の基本図形を振り慣れておくこと。	A、B、F	第15回	【テーマ】総合演習＜振り返りと確認＞ 【計画内容】指揮法についてのまとめ。 【授業時間外の学修内容】14回の講義内容を振り返り、自分が学んだことをまとめておくこと。	B、L
	第8回	【テーマ】楽曲分析 【計画内容】楽曲を使用して楽曲分析の方法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前配付されたスコアを読み、メロディ探しをしておくこと。	A			

テキスト	文部科学省、2018年、『中学校学習指導要領』 文部科学省、2019年、『高等学校学習指導要領』
参考書	熊田為宏、1999年、『演奏のための楽曲分析法』 野本由紀夫、2003年、『初めてのオーケストラ・スコア』 関孝弘 / ラーゴ・マリアンジェラ共著、2006年、『イタリアの日常会話から学ぶ これで納得！よくわかる音楽用語のはなし』

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分		40%	30%		30%	
	補足		随時3回	平時		平時	

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	随時、質問等に対応します。
資格	[教]中・高1種(音楽)_必修
その他	

科目名	合奏Ⅱ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	千葉　圭説、今井　敏勝				

授業の目的

ねらい	「合奏 Ⅰ」で学んだ基礎的なチューニングや音階、バランス、ハーモニーなど合奏としての基本トレーニング方法についてより深く、演奏技術の向上と合奏指導力の向上を目指す。同時に技術的に平易な楽曲練習を通じ、楽曲演奏に必要な基本トレーニングの効果的な方法についても学びながら、合奏における個人やパートの役割、特に打楽器の役割を意識し合奏として一体感のある演奏表現を目指す。
到達目標	(1)「合奏Ⅰ」で学習したことを踏まえ、合奏指導力向上のためのポイントを再確認する。 (2)個人及びアンサンブルとしての練習方法を身につけ、より高度な演奏を求める。 (3)個人やパートの役割を理解し、さらなる一体感をもって演奏できる。

授業の計画

第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】30回の授業要説明、担当楽器及びパート、チューニングなど基礎的な奏法を確認する。 【授業時間外の学修内容】各自選択する楽器ついて奏法の基本及び手入れ方法を確認しておくこと。	A、B	第16回	【テーマ】後学期での授業について 【計画内容】後学期での授業内容と演奏発表の確認 【授業時間外の学修内容】前学期の内容を復習しておくこと。	A、B
第2回	【テーマ】合奏における個々の役割を学ぶ 【計画内容】教則本を利用した合奏としてのトレーニング(音階・ハーモニーなど)を通じ、合奏における個々人の役割について確認する。 【授業時間外の学修内容】音階など様々なトレーニングを確認しておくこと。	B	第17回	【テーマ】合奏における個々人の役割を学ぶ 【計画内容】前期での復習として教則本を利用した合奏としてのトレーニング(音階・ハーモニーなど)を通じ、合奏における個々人の役割について確認する。 【授業時間外の学修内容】音階など基本トレーニングを確認しておくこと。	B
第3回	【テーマ】合奏におけるパートとしての役割を学ぶ 【計画内容】教則本を利用した合奏としてのトレーニング(音階・ハーモニーなど)と難易度の高い楽曲を使用した合奏により、個人の役割に加えパートとしての役割について確認する。 【授業時間外の学修内容】2年次の復習、基礎トレーニングの音階を練習し、楽曲との調関係を確認しておくこと。	B、H	第18回	【テーマ】合奏におけるパートとしての役割を再度学ぶ 【計画内容】教則本を利用した合奏としての基本トレーニング(音階・ハーモニーなど)と難易度の高い楽曲を使用した合奏により、個人の奏法をチェックしながら演奏技術の安定化を図る。 【授業時間外の学修内容】音階など基本トレーニングを確認しておくこと。	B、H
第4回	【テーマ】個人及びパートの役割を認識し、個人の演奏技術の安定化を目指す。 【計画内容】教則本を利用した合奏としてのトレーニング方法(音階・ハーモニーなど)と難易度の高い楽曲を使用した合奏により、個人の奏法をチェックしながら演奏技術の安定化を図る。 【授業時間外の学修内容】自分が担当する楽器の奏法について、基礎基本を確認しておくこと。	B、H	第19回	【テーマ】合奏におけるパートとしての役割を学ぶ 【計画内容】教則本を利用した合奏としての基本トレーニング(音階・ハーモニーなど)と難易度の高い楽曲を 使用した合奏により、個人の奏法をチェックしながら演奏技術の安定化を図る。 【授業時間外の学修内容】バランスとハーモニーの練習により、パートとして演奏技術の安定化を目指す。	B、H
第5回	【テーマ】バランスとハーモニーの練習により、パートとして演奏技術の安定化を目指す。 【計画内容】教則本を利用した合奏としてのトレーニング方法(バランス・ハーモニーなど)と難易度の高い楽曲を使用した合奏により、個人はもとよりパートとしての演奏技術の安定化を図る。 【授業時間外の学修内容】基本トレーニング(バランスとハーモニー)を練習しておくこと。	B、H	第20回	【テーマ】合奏におけるパートとしての役割を再度学ぶ 合奏におけるパートとしての役割を学ぶ3 【計画内容】教則本を利用した合奏としての基本トレーニング(音階・ハーモニーなど)と難易度の低から注程度の楽曲を 使用した合奏により、個人の奏法をチェックしながら演奏技術の安定化を図る。 【授業時間外の学修内容】バランスとハーモニーの練習により、パートとして演奏技術の安定化を目指す。	B、H
第6回	【テーマ】各楽器でアクティブ・ラーニングの活用により、合奏における役割に合った演奏表現を目指す。 【計画内容】楽器群に分かれて教則本を利用した基本トレーニング(音階など)と難易度の高い楽曲を使用した分奏練習により、役割に合った演奏表現ができるよう演奏技術の安定化を図る。 【授業時間外の学修内容】奏法の基礎基本を見直した個人練習をしておくこと。	B、H	第21回	【テーマ】合奏におけるパートとしての役割を再度学ぶ 【計画内容】教則本を利用した合奏としての基本トレーニング(音階など)と難易度の中程度の楽曲を使用した合奏において 分奏練習の成果を生かし、ハーモニーの豊かな響きを体験する。 【授業時間外の学修内容】バランスとハーモニーの練習により、パートとして演奏技術の安定化を目指す。	B、H
第7回	【テーマ】各セクションで、アクティブ・ラーニングの活用により成果を生かし、豊かなハーモニーの響きを目指す。 【計画内容】各、セクションでの演奏練習、難易度の高い楽曲を使用した合奏において、分奏練習の成果を生かし、ハーモニーの豊かな響きを体験する。 【授業時間外の学修内容】ハーモニー練習を意識し、音程に注意した練習をしておくこと。	B、H	第22回	【テーマ】後期中間発表により、これまでの学習成果を確認する。 【計画内容】演奏会型式による後期中間発表 【授業時間外の学修内容】基本を重視し、より安定した演奏ができるよう準備しておくこと。	B、L
第8回	【テーマ】中間発表により、これまでの学習成果を確認する。 【計画内容】教則本を利用した合奏としての基本トレーニングと難易度の高い楽曲を使用した合奏を発表し、これまでの学習成果について自己点検を行い自分の考えを発表する。 【授業時間外の学修内容】基礎基本を重視し、より安定した演奏ができるよう準備しておくこと。	B、L	第23回	【テーマ】合奏曲の演奏表現において、打楽器との一体感ある演奏を目指す。 【計画内容】教則本を利用した合奏の基本トレーニングと難易度を考慮した楽曲を使用した合奏練習において、低音楽器 や打楽器の役割を意識し、一体感のある演奏ができるための方法を考える。 【授業時間外の学修内容】バランスとハーモニーの練習により、パートとして演奏技術の安定化を目指す。	B、H
第9回	【テーマ】低音楽器や打楽器のリズムの役割を意識し、一体感のある演奏を目指す。 【計画内容】教則本を利用した合奏の基本トレーニングと難易度を考慮した楽曲を使用した合奏練習において、打楽器の役割を意識し、一体感のある演奏ができるための方法を考える。 【授業時間外の学修内容】発音の仕方やテンポに注意した練習をしておくこと。	B、H	第24回	【テーマ】楽曲演奏において、合奏の基本トレーニングの成果を生かした豊かな表現を目指す。 【計画内容】楽曲演奏を使用した合奏において 分奏練習の成果を生かし、ハーモニーの豊かな響きを体験する。 【授業時間外の学修内容】バランスやリズムについてトレーニングする。	B、H
第10回	【テーマ】アクティブ・ラーニングの活用により、グループ毎の安定した演奏を目指す。 【計画内容】楽器群に分かれて、教則本を利用した基本トレーニングと難易度を考慮した楽曲を使用した分奏練習により、打楽器と一体感のある演奏表現の安定化を図る。 【授業時間外の学修内容】発音の仕方やテンポに注意した練習をしておくこと。	B、H	第25回	【テーマ】楽曲演奏において、合奏の基本トレーニングの成果を生かした豊かな表現を目指す。 【計画内容】教則本を利用した合奏としての基本トレーニング(音階など)と難易度の中程度の楽曲を使用した合奏において 分奏練習の成果を生かし、ハーモニーの豊かな響きを体験する。 【授業時間外の学修内容】バランスやリズムについてトレーニングする。	B、H
第11回	【テーマ】合奏曲の演奏表現において、低音楽器や打楽器との一体感ある演奏を目指す。 【計画内容】教則本を利用した合奏のトレーニングと難易度を考慮した楽曲の合奏において、打楽器との一体感ある演奏表現ができるよう工夫する。 【授業時間外の学修内容】各自演奏曲の役割を考え、音量や音程を考えた練習をしておくこと。	B、H	第26回	【テーマ】楽曲演奏において、合奏の基本トレーニングの成果を生かした豊かな表現を目指す。 【計画内容】教則本を利用した合奏としての基本トレーニング(音階など)と難易度の中程度の楽曲を使用した合奏において 分奏練習の成果を生かし、ハーモニーの豊かな響きを体験する。 【授業時間外の学修内容】バランスやリズムについてトレーニングする。	B、H
第12回	【テーマ】楽曲演奏において、合奏の基本トレーニングの成果を生かした豊かな表現を目指す。 【計画内容】これまでの基本練習の成果を踏まえ、楽曲演奏において一体感のある演奏表現に必要なポイントを考えながら練習する。 【授業時間外の学修内容】楽曲におけるパートの役割を確認しておくこと。	B、H	第27回	【テーマ】楽曲演奏において、合奏の基本トレーニングの成果を生かした豊かな表現を目指す。 【計画内容】教則本を利用した合奏としての基本トレーニング(音階など)と難易度の中程度の楽曲を使用した合奏において 分奏練習の成果を生かし、ハーモニーの豊かな響きを体験する。 【授業時間外の学修内容】バランスやリズムについてトレーニングする。	B、H
第13回	【テーマ】演奏発表の準備を進める 【計画内容】演奏発表に向け、仕上げとしてそれぞれの役割を生かした演奏表現を確認する。 【授業時間外の学修内容】各自個人での調性練習をしておくこと。	B、H	第28回	【テーマ】楽曲演奏において、合奏の基本トレーニングの成果を生かした豊かな表現を目指す。 【計画内容】教則本を利用した合奏としての基本トレーニング(音階など)と難易度の中程度の楽曲を使用した合奏において 分奏練習の成果を生かし、ハーモニーの豊かな響きを体験する。 【授業時間外の学修内容】バランスやリズムについてトレーニングする。	B、H
第14回	【テーマ】演奏発表会のリハーサル：楽曲表現を仕上げる 【計画内容】演奏発表会での実力発揮を目指し、本番を想定したリハーサルを実施する。発表会に必要な準備作業を行う。 【授業時間外の学修内容】楽曲表現に必要な演奏力を向上させるための練習をしておくこと。	B、H	第29回	【テーマ】楽曲演奏において、合奏の基本トレーニングの成果を生かした豊かな表現を目指す。 【計画内容】教則本を利用した合奏としての基本トレーニング(音階など)と難易度の中程度の楽曲を使用した合奏において 分奏練習の成果を生かし、ハーモニーの豊かな響きを体験する。 【授業時間外の学修内容】バランスやリズムについてトレーニングする。	B、H
第15回	【テーマ】演奏会形式での発表：これまでの学習成果の発表と振り返り 【計画内容】演奏発表を行い、学習成果の振り返りを行う。 【授業時間外の学修内容】演奏発表に向けた確認練習をしておくこと。	B、L	第30回	【テーマ】最終発表会 【計画内容】これまでの楽曲の分奏練習の成果を生かし、ハーモニーの豊かな響きを体験する。 難易度の高い楽曲を中心とする。演奏後は反省会を実施する。 【授業時間外の学修内容】基本的な楽器のメンテナンスと共により良い音楽を作ることができるようにイメージする。	B、L

テキスト	文部科学省、『中学校学習指導要領・高等学校学習指導要領』 各種楽曲
参考書	J.D プロイハー・G.B. ゼッブ、1993年、『3Dバンド・ブック』、音楽之友社

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分					40%	60%
補足					平時	各演奏会

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	随時、質問等に応じます。 オフィスアワーを活用してください。(843研究室)
資格	
その他	「合奏Ⅰ」の単位を取得していない場合、「合奏Ⅱ」の履修は認められません。「合奏Ⅰ」「合奏Ⅱ」は同時展開です。

科目名	生涯学習音楽指導論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	鈴木　しおり				

授業の目的		
	ねらい	音楽を聴く喜びは、音楽を語り合う喜びに比例する。「語り方＝聴き方」には方法論が存在し、「音楽を語る言葉を磨く」ことは努力によって可能になり洗練される。音楽はコミュニケーション芸術であるといわれるが、芸術音楽の特異性は、単に「聴く」喜びを提供するだけではなく、それについて「考え」「語り」「知る」ことを、言い換えれば「趣味を洗練させ、知識を深める」土壌を提供することにある。生涯にわたり音楽を愛好し、楽器を演奏するなど何らかの形で音楽に携わる人生を送ろうとする時、音楽のもつ共同体形成力の基である「型（聴く型）」の存在やあり方について、言語性、歴史性、社会性の視点から学習する。
	到達目標	(1)「音楽の好み」における集団性と個人性について学ぶ。 (2)「音楽を語る言葉」と地域性との関連を学ぶ。 (3)アマチュアの権利としての「音楽をする・聴く・語る」について学ぶ。

授業の計画						
第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】講義の進め方について説明する。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストの第2章pp.60-72を読んでおくこと。	A	第9回	【テーマ】音楽活動の実践[生涯学習指導者の活動実践] ～音楽企画の運営について～ 【計画内容】実際の鑑賞学習を企画実践する。 【授業時間外の学修内容】音楽公演の企画を運営・進行する。	A
第2回	【テーマ】音楽と共鳴するとき[感性の次元] 1 ～人の心にある音楽の履歴について～ 【計画内容】音楽の生理的次元や相性のメカニズムから、人の心にある音楽の履歴（「内なる図書館」）について考える。 【授業時間外の学修内容】テキストや副読本を読み自分の意見を考え、まとめておく。	A	第10回	【テーマ】複文化の中で音楽を聴く [ポータブル化への挑戦] 1～再生技術史について～ 【計画内容】演奏家を信じなくなった作曲家の例から、再生技術について考える。 【授業時間外の学修内容】テキストや副読本を読み自分の意見を考え、まとめておく。	A
第3回	【テーマ】音楽と共鳴するとき[感性の次元] 2 ～「好み」の社会集団性について～ 【計画内容】「好み」の社会集団性から、人の心にある音楽の履歴（「内なる図書館」）について考える。 【授業時間外の学修内容】第2回、第3回の講義内容の要約を作成する。	A、H	第11回	【テーマ】複文化の中で音楽を聴く [ポータブル化への挑戦] 2～音楽の解釈について～ 【計画内容】「ボリーニのショパンエチュードをどう聴くか」という例から、音楽の解釈について考える。 【授業時間外の学修内容】テキストや副読本を読み自分の意見を考え、まとめておく。	A、K
第4回	【テーマ】音楽を語る言葉を探す[音楽の言語化] 1 ～地元の人の音楽言葉について～ 【計画内容】音楽について「する」「聴く」「語る」の分業の歴史をたどり、音楽は言葉で作られる意味を考える。 【授業時間外の学修内容】テキストや副読本を読み自分の意見を考え、まとめておく。	A	第12回	【テーマ】複文化の中で音楽を聴く [ポータブル化への挑戦] 3～未知の音楽について～ 【計画内容】語る言葉が見あたらない「未知の音楽」について考える。 【授業時間外の学修内容】第10回～第12回の講義内容の要約を作成する。	A
第5回	【テーマ】音楽を語る言葉を探す[音楽の言語化] 2 ～「わざ言語を作り出す」ことについて～ 【計画内容】その音楽が生まれた地域の「地元の人の言葉」から、音楽の「わざ言語」について考える。 【授業時間外の学修内容】第4回、第5回の講義内容の要約を作成する。	A、K	第13回	【テーマ】アマチュアの権利[することで解る] 1 ～音楽は社会が作ることについて～ 【計画内容】「音楽は社会が作る」、または「社会は音楽が作る」ことについて考える。 【授業時間外の学修内容】テキストや副読本を読み自分の意見を考え、まとめておく。	A、H
第6回	【テーマ】音楽を読む[言語としての音楽] 1 ～音楽の句読法と民族性について～ 【計画内容】音楽と言葉の分節規則から、音楽の句読法と民族性について考える。 【授業時間外の学修内容】テキストや副読本を読み自分の意見を考え、まとめておく。	A	第14回	【テーマ】アマチュアの権利[することで解る] 2 ～アマチュアの領分について～ 【計画内容】「聴く音楽」「語る音楽」「する音楽」の意味から、アマチュアの領分について考える。 【授業時間外の学修内容】テキストや副読本を読み自分の意見を考え、まとめておく。	A
第7回	【テーマ】音楽を読む[言語としての音楽] 2 ～音楽のセンテンスを組み立てることについて～ 【計画内容】ソナタ形式・多楽章形式などの形式から、音楽のセンテンスを組み立てることについて考える。 【授業時間外の学修内容】テキストや副読本を読み自分の意見を考え、まとめておく。	A	第15回	【テーマ】アマチュアの権利[することで解る] 3 ～「内なる図書館」に規則をつくることについて～ 【計画内容】現代社会において「聴き方」の型を知り、自分の感じたことを言葉にし、さらに自ら音楽をすることで世界を広げ、「内なる図書館」に規則なき規則をつくることについて考える。 【授業時間外の学修内容】第13回～第15回の講義内容の要約を作成する。	A
第8回	【テーマ】音楽を読む[言語としての音楽] 3 ～言語的聴取の退化について～ 【計画内容】「音楽は国境を超える」というイデオロギーから、音楽の言語的聴取の退化について考える。 【授業時間外の学修内容】第6回～第8回の講義内容の要約を作成する。	A、H				

テキスト	岡田暁生、2009年、『音楽の聴き方』、中公新書、4121020009X
参考書	文部科学省、『中学校学習指導要領解説　音楽編』 文部科学省、『高等学校学習指導要領解説　芸術編』

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	50%		50%			
補足						

課題に関するフィードバックの方法	学んだ内容を基に、北翔大学地域連携センター主催「クラシック音楽、レクチャーコンサート」を企画・運営・演奏し、学外に向けて発表する。事後は、受講者のアンケート結果を分析する。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	市民音楽公演団体主宰、公民館音楽講座講師、音楽ホール等の運営に関する委員
		科目との関連	音楽の生涯学習について、学校や公民館、その他の施設との連携を目指した学習方法を教授する。

質問への対応	初回講義時に提示します。
資格	
その他	

科目名	ピアノ応用	授業形態	講義	単位数	2
教員名	坂田　朋優				

授業の目的		
	ねらい	この講義では1年次･2年次の「ピアノ基礎演習Ⅰ･Ⅱ」「ピアノ表現演習Ⅰ･Ⅱ」で培った、音階(スケール)と終止形(カデンツ)、移調奏や伴奏付けをもとに、外国民謡や中高歌唱教材の日本歌曲等に的確な伴奏をつけ音楽的に演奏することを学びます。
	到達目標	(1)調性や和声の進行を理解して、伴奏を付けて演奏できる。 (2)いくつかの伴奏パターンを覚え、メロディーにふさわしい形を選択できる。 (3)移調の方法が理解できる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】講義の内容を紹介し説明します。 【授業時間外の学修内容】これまでに学んだスケールとカデンツを復習しておくこと。	A	第9回	【テーマ】移調Ⅰ 【計画内容】簡単な旋律を移調して演奏します。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントや予習課題に取り組む。	A、E
	第2回	【テーマ】カデンツや和音の機能などの基礎的な確認 【計画内容】基本のカデンツや和声進行についての確認し理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントや予習課題に取り組む。	A、E	第10回	【テーマ】移調Ⅱ 【計画内容】簡単な旋律を移調して、伴奏も付けて演奏します。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントや予習課題に取り組む。	A、E
	第3回	【テーマ】和声付けⅠ 【計画内容】簡単な楽曲に和声を付けて演奏します。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントや予習課題に取り組む。	A、E	第11回	【テーマ】移調Ⅲ 【計画内容】童謡や中高歌唱教材などの旋律を移調して演奏します。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントや予習課題に取り組む。	A、E
	第4回	【テーマ】和声付けⅡ 【計画内容】童謡や中高歌唱教材の和声進行を理解して、和声を付けて演奏します。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントや予習課題に取り組む。	A、E	第12回	【テーマ】移調Ⅳ 【計画内容】童謡や中高歌唱教材の旋律を移調して、伴奏も付けて演奏します。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントや予習課題に取り組む。	A、E
	第5回	【テーマ】伴奏付けⅠ 【計画内容】さまざまな楽曲から伴奏形について学び、これまでに取り上げた作品などに伴奏をつけて演奏します。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントや予習課題に取り組む。	A、E	第13回	【テーマ】連弾曲の移調 【計画内容】短い連弾曲を取り上げ、移調しての演奏を行います。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントや予習課題に取り組む。	H、I
	第6回	【テーマ】伴奏付けⅡ 【計画内容】童謡や中高歌唱教材の和声進行を理解して、曲にふさわしい伴奏形を検討する。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントや予習課題に取り組む。	A、E	第14回	【テーマ】移調奏の振り返り 【計画内容】これまでの課題を通して移調奏について振り返ります。 【授業時間外の学修内容】移調奏の復習し、理解の進んでいない問題を整理しておくこと。	A、E、L
	第7回	【テーマ】音階の確認と調の判定 【計画内容】音階について確認し、調の判定を学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントや予習課題に取り組む。	A、B	第15回	【テーマ】まとめと確認 【計画内容】移調奏を発表し、まとめと確認を行います。 【授業時間外の学修内容】これまでの課題の復習。	F、L
	第8回	【テーマ】調性によるイメージ 【計画内容】調性によるイメージについて楽曲を取り上げながら検討します。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントや予習課題に取り組む。	A、E			

テキスト	講義時に説明します
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			60%		40%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	講義時に説明します。
資格	
その他	

科目名	ピアノ総合演習Ⅰ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	坂田　朋優				

授業の目的		
	ねらい	これまでに「ピアノ基礎演習Ⅰ・Ⅱ」「ピアノ表現演習Ⅰ・Ⅱ」などで身に付けた技術に基づき、指導者・教育者に必要なピアノの演奏技術や表現に重点を置いた演習を行う。各自の技量や経験に合わせた選曲をし、更に、合唱の伴奏（ポピュラー音楽などを含む）など幅広い音楽を演奏する総合的な力を身につける。
	到達目標	(1)クラシック・ピアノ作品の演奏法を学ぶ。 (2)教育の現場でも扱われている合唱曲のジャンルに応じた伴奏法を身につける。 (3)ソロと合奏・伴奏の演奏の違いを理解する。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】ガイダンス 【計画内容】15回の授業内容について説明します。 【授業時間外の学修内容】ピアノに関連した授業を振り返り、自身の演奏に関する課題を明確にしておくこと。	A	第9回	【テーマ】演奏表現を学ぶ6 【計画内容】演奏表現するための楽曲分析と、それに基づく演奏法を学びます。 【授業時間外の学修内容】楽譜をよく読んで練習しておくこと。	B、E
	第2回	【テーマ】楽曲についての研究 【計画内容】楽曲の概要をまとめ、楽譜からの情報を読み取ります。 【授業時間外の学修内容】楽曲についての調べて、楽譜を読んでおくこと。	A、E	第10回	【テーマ】演奏表現の応用 【計画内容】互いに演奏を聴き合い、自分の演奏を客観的に捉え、問題点の確認と改善を行います。 【授業時間外の学修内容】演奏表現における自身の問題点についてまとめておくこと。	B、E、H
	第3回	【テーマ】演奏表現を学ぶ1 【計画内容】各自の課題に沿って、演奏表現するための楽曲分析と、それに基づく演奏法を学びます。 【授業時間外の学修内容】楽譜をよく読んで練習しておくこと。	B、E	第11回	【テーマ】演奏表現を学ぶ7 【計画内容】演奏表現するための楽曲分析と、それに基づく演奏法を学びます。 【授業時間外の学修内容】楽譜をよく読んで練習しておくこと。	B、E
	第4回	【テーマ】演奏表現を学ぶ2 【計画内容】演奏表現するための楽曲分析と、それに基づく演奏法を学びます。 【授業時間外の学修内容】楽譜をよく読んで練習しておくこと。	B、E	第12回	【テーマ】演奏表現を学ぶ8 【計画内容】演奏表現するための楽曲分析と、それに基づく演奏法を学びます。 【授業時間外の学修内容】楽譜をよく読んで練習しておくこと。	B、E
	第5回	【テーマ】演奏表現を学ぶ3 【計画内容】演奏表現するための楽曲分析と、それに基づく演奏法を学びます。 【授業時間外の学修内容】楽譜をよく読んで練習しておくこと。	B、E	第13回	【テーマ】演奏表現を学ぶ9 【計画内容】演奏表現するための楽曲分析と、それに基づく演奏法を学びます。 【授業時間外の学修内容】楽譜をよく読んで練習しておくこと。	B、E
	第6回	【テーマ】演奏表現の応用 【計画内容】さまざま録音資料などから表現の可能性を探り、演奏表現に生かします。 【授業時間外の学修内容】演奏表現における自身の問題点についてまとめておくこと。	B、E	第14回	【テーマ】楽譜をよく読んで練習しておくこと。 【計画内容】互いに演奏を聴き合い、自分の演奏を客観的に捉え、問題点の確認と改善を行います。 【授業時間外の学修内容】演奏表現における自身の問題点についてまとめておくこと。	B、E、H
	第7回	【テーマ】演奏表現を学ぶ4 【計画内容】演奏表現するための楽曲分析と、それに基づく演奏法を学びます。 【授業時間外の学修内容】楽譜をよく読んで練習しておくこと。	B、E	第15回	【テーマ】まとめと確認 【計画内容】演奏発表を行い、これまでの内容をまとめ、振り返ります。 【授業時間外の学修内容】これまでの内容を復習し、発表に向けた準備をしておくこと。	B、F、L
	第8回	【テーマ】演奏表現を学ぶ5 【計画内容】演奏表現するための楽曲分析と、それに基づく演奏法を学びます。 【授業時間外の学修内容】楽譜をよく読んで練習しておくこと。	B、E			

テキスト	講義時に説明します
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分				60%	40%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	
その他	ピアノ作品については連弾等も可能です。

科目名	コードと即興	授業形態	講義	単位数	2
教員名	南山　雅樹				

授業の目的		
	ねらい	ポピュラー音楽でよく使われる、コード・ネーム。教員採用試験にも出題されることがあります。コード(和声)、コード・ネームとはどのようなものなのか、記載法を含めて解説します。コード進行を使った即興演奏の技術についても実践します。普段の生活の中でも、即興で何かをするということは、決して特別なことではなく、これは音楽の世界でも同じです。ジャズなどの即興演奏の鑑賞もしつつ、音楽でコミュニケイトする術について学びましょう。
	到達目標	(1)コード・ネームと五線譜の関係について知る。 (2)コードを見て実際にピアノで演奏する。 (3)コードに基づく即興演奏をする。 (4)コード進行を作成し、簡単なオリジナル曲を作成する。 (5)即興演奏の鑑賞を行い、その鑑賞の仕方についても学ぶ。

授業の計画						
第1回	【テーマ】ポピュラー音楽のコードのしくみ(1) 【計画内容】ポピュラー音楽を聴き、どのような和声(コード)が使われているか、コードの機能について調べる。 【授業時間外の学修内容】記譜法および奏法の確認。	A	第9回	【テーマ】コード演奏の実践(5) 【計画内容】メジャー・コード、マイナー・コードなどの基本知識の確認とより高度な応用。 【授業時間外の学修内容】記譜法および奏法の確認。	A、E
第2回	【テーマ】ポピュラー音楽のコードのしくみ(2) 【計画内容】ポピュラー音楽を聴き、どのような和声(コード)が使われているか、コードの機能について調べる。 【授業時間外の学修内容】記譜法および奏法の確認。	A	第10回	【テーマ】コード演奏の実践(6) 【計画内容】メジャー・コード、マイナー・コードなどの基本知識の確認とより高度な応用。 【授業時間外の学修内容】記譜法および奏法の確認。	A、E
第3回	【テーマ】ポピュラー音楽のコードのしくみ(3) 【計画内容】ポピュラー音楽を聴き、どのような和声(コード)が使われているか、コードの機能について調べる。 【授業時間外の学修内容】記譜法および奏法の確認。	A	第11回	【テーマ】即興演奏の実践(1) 【計画内容】コードに合わせた即興演奏の技術と実践。 【授業時間外の学修内容】課題曲の分析と復習。	A、E
第4回	【テーマ】ポピュラー音楽のコードのしくみ(4) 【計画内容】メジャー・コード、マイナー・コードなどの基本知識の習得。 【授業時間外の学修内容】記譜法および奏法の確認。	A	第12回	【テーマ】即興演奏の実践(2) 【計画内容】コードに合わせた即興演奏の技術と実践。 【授業時間外の学修内容】課題曲の分析と復習。	A、E
第5回	【テーマ】コード演奏の実践(1) 【計画内容】メジャー・コード、マイナー・コードなどの基本知識の習得。 【授業時間外の学修内容】記譜法および奏法の確認。	A、E	第13回	【テーマ】即興演奏の実践(3) 【計画内容】楽曲を使って、コードに合わせた即興演奏の技術と実践。コード進行の作成、即興演奏も行う。 【授業時間外の学修内容】課題曲の分析と復習。	A、E
第6回	【テーマ】コード演奏の実践(2) 【計画内容】メジャー・コード、マイナー・コードなどの基本知識の習得。 【授業時間外の学修内容】記譜法および奏法の確認。	A、E	第14回	【テーマ】即興演奏の実践(4) 【計画内容】楽曲を使って、コードに合わせた即興演奏の技術と実践。コード進行の作成、即興演奏も行う。 【授業時間外の学修内容】課題曲の分析と復習。	A、E
第7回	【テーマ】コード演奏の実践(3) 【計画内容】メジャー・コード、マイナー・コードなどの基本知識の確認と応用。 【授業時間外の学修内容】記譜法および奏法の確認。	A、E	第15回	【テーマ】演習と総括 【計画内容】指定されたテーマに基づく即興演奏の実技演習とまとめ。 【授業時間外の学修内容】課題曲の分析と復習。	A、E、L
第8回	【テーマ】コード演奏の実践(4) 【計画内容】メジャー・コード、マイナー・コードなどの基本知識の確認と応用。 【授業時間外の学修内容】記譜法および奏法の確認。	A、E			

テキスト	適宜資料を講師から配付します
参考書	適宜資料を講師から配付します

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分		40%			50%	10%
補足						

課題に関するフィードバックの方法	即興演奏の課題が習得できているかどうかを、適宜確認する時間を設けながら進行します。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	講義時に随時受け付けします。
資格	
その他	自身で課題曲を選択することも可能です。やってみたい曲や、こういうことが即興でできるようになりたいなどの希望がありましたら、できる限り対応したいと思います。

科目名	教育課程論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	諏江　康夫				

授業の目的

ねらい	中学校及び高等学校学習指導要領の総則を手がかりに、学習指導要領や教育課程の役割・機能・意義などを理解する。 ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業を通して、学習指導要領改訂の趣旨を踏まえた教育課程編成や指導計画の作成方法を身につける。 ・学習指導要領改訂の背景を踏まえ、「社会に開かれた教育課程」やカリキュラム・マネジメントの重要性・意義について理解を深める。
到達目標	(1)学習指導要領や教育課程の役割、機能、意義を理解する。 (2)教育課程編成の基本原理などを理解するとともに、教科等横断的な視点から教育課程や指導計画を編成・例示することができる。 (3)教科等横断的な視点や学校段階間の接続を踏まえ、カリキュラム・マネジメントの重要性・意義を理解する。

授業の計画

第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】授業のねらい、展開、評価、参考文献などについて説明します。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で学びたいことを整理して、関連する資料を調べておく。	A	第9回	【テーマ】教育課程編成の基本原理・高等学校(2) 【計画内容】教育課程編成において、中学校と異なる基本事項があることを理解するとともに、学校や生徒の多様な実態等に対応する教育課程編成の具体的方策を相互に検討する。 【授業時間外の学修内容】中学校・高等学校の学習指導要領・総則のポイントを整理しておく。	A、G、H
第2回	【テーマ】学習指導要領改訂の変遷と社会的背景 【計画内容】学習指導要領改訂の歴史を概観し、それぞれの内容や社会的背景などについて学ぶとともに、カリキュラム・マネジメントなど、今回の改訂のポイントを理解する。 【授業時間外の学修内容】『中学校学習指導要領解説 総則編』の第1章、『高等学校学習指導要領(総則)』を予習しておく。	A、H	第10回	【テーマ】教育課程の編成・高等学校(1) 【計画内容】これまでの学びをもとに、協同学習を通して高等学校の教育課程を編成(例示)する。 【授業時間外の学修内容】配付する資料に教育課程表の下書きを作成する。	A、G、H
第3回	【テーマ】学習指導要領、教育課程の意義と役割 【計画内容】学習指導要領の性格や位置付け、教育課程編成の目的などについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】『中学校学習指導要領解説 総則編』の第2章、『高等学校学習指導要領(総則)』を予習しておく。	A、H	第11回	【テーマ】教育課程の編成・高等学校(2) 【計画内容】編成(例示)した教育課程について、「教科等横断的な視点が十分か」「学校段階間の接続」などを相互に検討し、改善を図る。 【授業時間外の学修内容】配付する資料に教育課程表の修正版を作成する。	A、G、H
第4回	【テーマ】教育課程の役割・機能と育成すべき資質・能力 【計画内容】教育課程が社会に果たす役割や機能、教育課程の実施を通して育成すべき資質・能力などについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】『中学校学習指導要領解説 総則編』の第3章第1節、『高等学校学習指導要領(総則)』を予習しておく。	A、G	第12回	【テーマ】各教科・科目の年間指導計画の作成(1) 【計画内容】任意の教科・科目について、年間指導計画を作成(例示)する。 【授業時間外の学修内容】任意の教科・科目の学習指導要領を読み、改訂のポイントなどを調べておく。	A、B、G、H
第5回	【テーマ】教育課程編成の基本原理・中学校 【計画内容】中学校における教育課程編成の基本的事項や留意事項について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】『中学校学習指導要領解説 総則編』の第3章第2節を予習しておく。	A、H	第13回	【テーマ】各教科・科目の年間指導計画の作成(2) 【計画内容】作成(例示)した年間指導計画を相互に検討し、望ましい年間指導計画に近づける。 【授業時間外の学修内容】作成した年間指導計画を見直し、説明のポイントなどを整理しておく。	A、B、G、H
第6回	【テーマ】教育課程の編成・中学校(1) 【計画内容】これまでの学びをもとに、協同学習を通して中学校の教育課程を編成(例示)する。 【授業時間外の学修内容】配付する資料に教育課程表の下書きを作成する。	A、G、H	第14回	【テーマ】教育課程の実施と学習評価 【計画内容】カリキュラム・マネジメント、授業改善、学習評価の充実、生徒の発達支援等について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】『中学校学習指導要領解説 総則編』の第3章第3～4節、『高等学校学習指導要領(総則)』を予習しておく。	A
第7回	【テーマ】教育課程の編成・中学校(2) 【計画内容】編成(例示)した中学校の教育課程について、「教科等横断的な視点が十分か」「学校段階間の接続」などを相互に検討し、改善を図る。 【授業時間外の学修内容】配付する資料に教育課程表の修正版を作成する。	A、G、H	第15回	【テーマ】教育課程の改善と学校運営 【計画内容】教育課程の評価と改善、家庭・地域・学校間の連携、道徳教育との関連などについて学ぶとともに、これまでの学習を総括する。 【授業時間外の学修内容】『中学校学習指導要領解説 総則編』の第3章第5～6節、『高等学校学習指導要領(総則)』を予習しておく。これまでの資料などを整理しておく。	A、L
第8回	【テーマ】教育課程編成の基本原理・高等学校(1) 【計画内容】高等学校における教育課程編成の基本的事項や留意事項について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】『高等学校学習指導要領』の総則を予習しておく。	A、G、H			

テキスト	文部科学省、2018年、『中学校学習指導要領解説　総則編』、東山書房、9784827815801 文部科学省、2018年、『高等学校学習指導要領解説　総則編』、東洋館出版社、9784491036397
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			60%		40%	
補足			レポート		提出物や発言など	

課題に関するフィードバックの方法	提出物やレポートについて、その都度、解説・講評し、学習の深化を図ります。

実務経験と授業の関連	該当	経験内容	高等学校教諭、教育委員会指導主事
		科目との関連	教職実務の経験を活かし、教育課程編成や実践的指導の力量を育成する

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[教]中・高1種(音楽)_必修[ス]中・高1種(保健体育)_必修
その他	取得希望の教員免許教科の『学習指導要領解説』が必要となります。講義の際に具体的に説明します。

科目名	音楽科教育法Ⅲ	授業形態	講義	単位数	2
教員名	河本　洋一				

授業の目的	
ねらい	教科科目としての「音楽」における教授内容及び教授行為とは何かを理解すると共に、その授業実践に必要な理論的背景を踏まえながら、より現場実践に近いかたちでの授業設計や教材作成などの能力を身に付ける。
到達目標	(1)学習指導要領における「音楽」の位置付けについて、実践的な場面と関連付けて理解できる。 (2)音楽の授業の構成要素を理解し、それを指導案の中で応用的に展開できる。 (3)身に付けた教授行為や教材作成の基礎的技術を応用し、より実践的な模擬授業をすることができる。

授業の計画						
第1回	【テーマ】オリエンテーション(受講前アセスメント) 【計画内容】本授業の目的や内容を説明し、15回の授業を計画的に受講できるように促す。また、学生自身が置かれている音楽環境や、これまで体験してきた音楽の授業を把握し、授業展開の基礎資料とする。 【授業時間外の学修内容】「音楽科教育法Ⅰ・Ⅱ」の内容を復習しておくこと。	A	第9回	【テーマ】授業作りの実際(3):鑑賞を中心とした授業展開 【計画内容】鑑賞の授業に関する留意点について理解を深め、具体的な授業設計を行う。 【授業時間外の学修内容】自分が体験してきた音楽鑑賞の授業について、時系列に沿ってノートに整理しておくこと。	A
第2回	【テーマ】学習指導要領における教科科目「音楽」の位置付け 【計画内容】「音楽」という授業がなぜ学校教育に存在するのか、歴史的背景を踏まえながら理解を深める。 【授業時間外の学修内容】第1回の授業で配付したプリントを読み、自分の考えをまとめておくこと。	A	第10回	【テーマ】授業作りの実際(4):総合的な表現活動の授業展開 【計画内容】複数領域にまたがる音楽の授業展開について、情報機器の効果的な活用も視野に入れながら、具体的な授業設計を行う。 【授業時間外の学修内容】これまで経験してきた学校の授業における音楽活動について、時系列に沿ってノートに整理しておくこと。	A
第3回	【テーマ】生徒の耳を「啓く」 【計画内容】感覚器官としての耳の存在を再認識し、「啓かれた耳」の重要性について理解を深める。 【授業時間外の学修内容】音に関する自らの体験について発言できるよう、ノートに整理しておくこと。	A	第11回	【テーマ】年間指導計画と評価 【計画内容】年間指導計画の構成及び評価方法について、例を挙げながら留意すべき点を理解し、具体的な設計を行う。 【授業時間外の学修内容】どのようなジャンルでも構わないので、1年間の流れが書かれているものを探して持参すること。(例:バーゲンやお祭りの予定表等)	A
第4回	【テーマ】授業を成立させるための三つの要素 【計画内容】授業は何のために存在し、それを構成する要素とは何かについて理解を深める。 【授業時間外の学修内容】自らが受けてきた音楽の授業内容について、時系列に沿ってノートに整理しておくこと。	A	第12回	【テーマ】学習指導案の作成の留意事項 【計画内容】これまでの授業で取り上げた授業設計を総括し、学習指導案の基本的なスタイルを理解した上で、実際に作成するまでの手順を改めて整理する。 【授業時間外の学修内容】前回の授業で配付する指導案のフォーマットに必要事項を記入してくること。	A
第5回	【テーマ】「教えられること」と「教えられないこと」 【計画内容】音楽の授業の中で混同されがちな評価事項について、具体例を挙げながら理解を深める。 【授業時間外の学修内容】自らが受けてきた音楽の授業の評価方法について、時系列に沿ってノートに整理しておくこと。	A	第13回	【テーマ】リレー模擬授業(1)「表現」の実施と省察 【計画内容】予め分けられたグループ毎に、一つの学習指導案のある部分を分担しながら、一つの模擬授業を実施すると共に、その実践を即座に振り返り、これまで学んだ内容を踏まえた省察を行う。 【授業時間外の学修内容】模擬授業の学習指導案の印刷、教材の準備や分担の打合せをしておくこと。	B、L
第6回	【テーマ】『セロ弾きのゴーシュ』に見る音楽の授業作りのヒント:アフォーダンスという考え方 【計画内容】宮沢賢治『セロ弾きのゴーシュ』のビデオ作品から、音楽の授業作りのヒントとなる点を読み取り、アフォーダンスという考え方をキーワードに、自発的な学びを促すための環境設計を議論する。 【授業時間外の学修内容】自分が体験してきた音楽活動について、時系列に沿ってノートに整理しておくこと。	A	第14回	【テーマ】リレー模擬授業(2)「鑑賞」と省察 【計画内容】予め分けられたグループ毎に、一つの学習指導案のある部分を分担しながら、一つの模擬授業を実施すると共に、その実践を即座に振り返り、これまで学んだ内容を踏まえた省察を行う。 【授業時間外の学修内容】模擬授業の学習指導案の印刷、教材の準備や分担の打合せをしておくこと。	B、L
第7回	【テーマ】授業作りの実際(1):歌唱を中心とした授業展開 【計画内容】主に日本語歌唱に関する指導上の留意点について理解を深め、具体的な授業設計を行う。 【授業時間外の学修内容】中学校や高等学校で使用した音楽の教科書あるいは図書館の蔵書から、歌える楽譜を事前に用意し、歌えるようにしておくこと。	A	第15回	【テーマ】レポート課題提出のためのまとめ及び授業後アセスメント 【計画内容】これまでの授業をまとめ、レポート課題提出のための補足を行う。また、到達目標に対する学生自身の評価を把握し、授業成果のアセスメントを行う。 【授業時間外の学修内容】授業時に使用してきたノートを読み返して、自分なりの考えを整理しておくこと。	A
第8回	【テーマ】授業作りの実際(2):器楽を中心とした授業展開 【計画内容】様々な合奏体験を通して器楽の授業の実際について理解を深め、具体的な授業設計を行う。 【授業時間外の学修内容】YouTube 等から多彩な演奏事例について調査し、サイト名をノートに整理しておくこと。	A				

テキスト	文部科学省、『中学校学習指導要領解説　音楽編』、教育芸術社、9784877883904 文部科学省、『高等学校学習指導要領解説　芸術編』、教育図書、9784316300191
参考書	中村孝治・中山裕一郎ほか、1998年、『音楽教育を読む』、音楽之友社、9784276311756

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	40%	40%	20%			
	補足	レポート課題提出	模擬授業	毎時の授業ノート			

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	授業内でできなかった質問については、E-Mail で受け付けます。E-Mail:y-kawamoto@ts.siu.ac.jp
資格	[教]中・高1種(音楽)_必修
その他	

科目名	音楽科教育法Ⅳ	授業形態	講義	単位数	2
教員名	枡谷　隆男				

授業の目的		
	ねらい	「音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化について理解を深める」ことを目標とする音楽科教育の指導法を学ぶ。日本の学校教育の歴史と現状、学習指導要領の精神を概説する。表現と鑑賞の2領域の実習を通して実践的な指導のあり方を多角的に研究する。模擬授業を通して授業と評価の実際を学び合い、教師と生徒の双方の立場で授業を行う。
	到達目標	(1)学校教育における音楽科教育の目標と教育内容を理解し、説明できる。 (2)音楽科における教材研究を深め、学習指導案を作成できる。 (3)模擬授業を通して音楽科各領域の実践的な指導法を身につける。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】15回の授業の展開について説明。学校教育になぜ音楽が必要かを考える。 【授業時間外の学修内容】「音楽科教育法Ⅰ・Ⅱ」の内容を復習しておくこと。	A、K	第9回	【テーマ】創作の指導方法 【計画内容】創作の喜びを味わわせるための実践的な指導法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】与えられたモティーフを元に創作演習 . 行い、指導のポイントを整理しておくこと。	A、B
	第2回	【テーマ】人間にとって音楽とは何か 【計画内容】音楽起源の諸説と諸民族の音楽について学び、音楽の本質について考察する。 【授業時間外の学修内容】音楽起源説及び世界の諸民族の音楽について調べておくこと。	A、K	第10回	【テーマ】鑑賞の指導方法 【計画内容】題材の無限の可能性を引き出すための楽曲研究能力を高め、実践的な鑑賞指導法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】鑑賞教材についてテキストの予習をすること。	A、H
	第3回	【テーマ】我が国の音楽を知る 【計画内容】ユネスコの無形文化遺産に登録された日本の伝統音楽や庶民の音楽を理解する。 【授業時間外の学修内容】日本の音楽についてテキストの予習をすること。	A、K	第11回	【テーマ】学習指導案の作成 【計画内容】学習指導要領をに基づいた実践的な学習指導案を作成し、模擬授業の準備を行う。 【授業時間外の学修内容】学習指導要領を熟読し、完成度の高い学習指導案作成の準備をしておくこと。。	A、H
	第4回	【テーマ】読譜力をつけるための指導法 【計画内容】楽典指導の基本を理解し、楽譜が読める生徒をいかに育てるかを学ぶ。 【授業時間外の学修内容】実践的な楽典の指導について、テキストの予習をすること。	A、K	第12回	【テーマ】模擬授業①: グループA（歌唱） 【計画内容】作成した学習指導案に基づき、グループによるリレー授業を実践し、合評会を行う。 【授業時間外の学修内容】作成した学習指導案に基づき、グループ内で協議をして模擬授業の準備をしておくこと。	F、N
	第5回	【テーマ】表現の指導方法　歌唱①: 発声の基本と教材研究 【計画内容】発声指導の基本と楽曲の教材研究、歌唱指導の実際を実技を通して学ぶ。 【授業時間外の学修内容】題材曲の教材研究を行い指導のポイントを整理しておくこと。	A、E	第13回	【テーマ】模擬授業②: グループB（器楽） 【計画内容】作成した学習指導案に基づき、グループによるリレー授業を実践し、合評会を行う。 【授業時間外の学修内容】作成した学習指導案に基づき、グループ内で協議をして模擬授業の準備をしておくこと。	F、N
	第6回	【テーマ】表現の指導方法　歌唱②: 歌唱指導の実際 【計画内容】題材を通して学習目標をいかに達成させるかを実技を通して学ぶ。 【授業時間外の学修内容】題材曲の教材研究を行い指導のポイントを整理しておくこと。	A、E	第14回	【テーマ】模擬授業③: グループC（鑑賞） 【計画内容】作成した学習指導案に基づきリレー授業を実践し、合評会を行う。 【授業時間外の学修内容】作成した学習指導案に基づき、グループ内で協議をして模擬授業の準備をしておくこと。	F、N
	第7回	【テーマ】表現の指導方法　器楽①: 器楽の導入指導法 【計画内容】リコーダーを中心に器楽教育の導入と教授法を実技を通して学ぶ。 【授業時間外の学修内容】リコーダーなどの各部の名称や運指、奏法など基礎事項を確認しておくこと。	A、E	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】まとめのレポート（小論文）、学習指導案の提出。 【授業時間外の学修内容】レポート（小論文）の下書きをし、提出用学習指導案を完成させる。	A、G
	第8回	【テーマ】表現の指導方法　器楽②: 器楽合奏の指導法 【計画内容】発展的なリコーダーなどの合奏指導の実際を実技を通して学ぶ学ぶ。 【授業時間外の学修内容】題材曲の教材研究を行い指導のポイントを整理しておくこと。	A、E			

テキスト	新美徳英監修、2016年、『中学器楽 音楽のおくりもの』、教育出版、9784316203225 新美徳英監修、2017年、『音楽Ⅰ改訂版 Tutti』、教育出版、9784316203386
参考書	講義時に説明します。 プリントを使用します。 文部科学省、『中学校学習指導要領』/『高等学校学習指導要領』

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			30%	30%	20%	20%
補足			レポート	指導案	積極性	小論文

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連	該当	経験内容	高等学校教諭
		科目との関連	高等学校教諭としての業務経験をもとに実効に即した指導を行う。

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[教]中・高1種（音楽）_選択
その他	音楽と教育に対する熱意と愛情を常に持ち、教育はもとより日本及び世界の動向を把握し日常生活を大切に送りましょう。 第15回で学んだ内容を振り返り講評します。

科目名	教育方法論(情報機器・教材活用を含む)	授業形態	講義	単位数	2

教員名	西出　勉

授業の目的		
	ねらい	本講義では、様々な教育活動を効果的に展開するための教育方法などについて学びます。中学校学習指導要領等について理解し、授業の指導計画の作成や教材研究(ICT の効果的な活用を含む)、学習評価、教師の具体的なかかわり方等について、学習指導案の作成や模擬授業等を通して実践的に学んでいきます。
	到達目標	(1)中学校学習指導要領等の内容について理解することができる。 (2)指導計画の作成や教材研究(ICT の効果的な活用を含む)、学習評価について理解することができる。 (3)授業の進め方や教師のかかわり方について理解することができる。 (4)学習指導案の作成等を行い、振り返ることができる。 (5)学習評価に関する基本的な考え方について理解することができる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】授業の進め方や教育方法に関する基本的な概念等について説明します。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で学びたいことを整理して、関連する資料を調べておくこと。	A	第9回	【テーマ】学習指導と教育活動の展開⑤ 【計画内容】授業に関する教育技術等について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A、H、K
	第2回	【テーマ】学習指導要領① 【計画内容】中学校教育等の基本と育成したい資質能力について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A	第10回	【テーマ】学習指導と教育活動の展開⑥ 【計画内容】教育評価に関する基本的な考え方等について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A、H、K
	第3回	【テーマ】学習指導要領② 【計画内容】中学校教育等の教育課程の役割と編成について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A、K	第11回	【テーマ】学習指導と教育活動の展開⑦ 【計画内容】音楽科や美術科における学習評価ついて学びます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A、H、K
	第4回	【テーマ】学習指導要領③ 【計画内容】中学校教育等の指導計画の作成と評価について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A、J	第12回	【テーマ】指導計画の作成① 【計画内容】具体的な指導計画の作成について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	B、H、K
	第5回	【テーマ】学習指導と教育活動の展開①【学習過程】 【計画内容】問題解決的学習(探求的学習)と系統学習について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A	第13回	【テーマ】指導計画の作成② 【計画内容】作成した指導計画(学習指導案)をもとに、評価の計画を立案します。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	B、H、K、L、M
	第6回	【テーマ】学習指導と教育活動の展開②【学びの形態:個人・グループ・学級全体】 【計画内容】学習(指導)形態等について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A、H、K	第14回	【テーマ】指導計画の作成③ 【計画内容】作成した指導計画をもとに、具体的な指導方法等について振り返ります。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	B、H、K、L、M
	第7回	【テーマ】学習指導と教育活動の展開③ 【計画内容】教材研究の基本的な考え方や ICT の効果的な活用等について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A、J、K	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】教育方法に関する考え方や具体的な実践について、教師の立場から振り返り、まとめます。 【授業時間外の学修内容】これまで配付したプリントを振り返り、内容を再確認すること。	A、G、L
	第8回	【テーマ】学習指導と教育活動の展開④ 【計画内容】授業に関する教育技術等について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A、H、K			

テキスト	講義時に説明します
参考書	文部科学省、2018年、『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説　美術編』、日本文教出版 文部科学省、2018年、『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説　音楽編』、教育芸術社

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			70%		30%	
	補足			レポート			

課題に関するフィードバックの方法	レポート等を返却し、学んだ内容を振り返りながら講評します。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	小学校教諭
		科目との関連	小学校教諭としての業務経験をもとに、実務に即した指導を行う。

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[教]中・高1種(音楽)_必修[芸]中・高1種(美術)_必修
その他	

科目名	教育実習事前指導	授業形態	講義	単位数	1

教員名	千葉　圭説

授業の目的		
	ねらい	教育実習を意義あるものとするために、教育実習(中・高校)の意義や心構え・観察実習・授業実習の要点、及び学習指導案作成の基礎・基本などを学習する。特に、実習校の受け入れに感謝の気持ちを深め、実習生としての資質・態度・心得を確実に身に付けることをねらいとする。
	到達目標	(1)教育実習の基礎的な知識、技能、取り組み等について理解する。 (2)教育実習の意義と目的、形態や方法、授業実践の基本を理解する。 (3)教育実習が円滑に実践できるような姿勢と技能を身に付ける。

授業の計画			
	第1回	【テーマ】教育実習で何を学ぶか(1):理論編 【計画内容】講義計画と教育実習の目的と意義、教師の資質や能力、教育実習で学ぶことについて学習する。 【授業時間外の学修内容】これまでに復習した教職に関する科目の内容を復習しておくこと。	A
	第2回	【テーマ】教育実習で何を学ぶか(2):実践編 【計画内容】教育実習を実践した先輩の話を聞き、教育実習での学び方を知る。 【授業時間外の学修内容】前講義にて、テキストの該当箇所を指定。熟読しておくこと。	A、J
	第3回	【テーマ】音楽科学習指導案の作成(1) 【計画内容】示範授業の参観の仕方と学習指導案の書き方。 【授業時間外の学修内容】前講義にて、テキストの該当箇所を指定。熟読しておくこと。	G
	第4回	【テーマ】音楽科学習指導案の作成(2) 【計画内容】音楽科の教材研究を踏まえ、実践的指導案の作成。 【授業時間外の学修内容】前講義にて、テキストの該当箇所を指定。熟読しておくこと。	A、G
	第5回	【テーマ】音楽科の模擬授業 【計画内容】模擬授業研究を通して、音楽科教育の指導技術を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前講義にて、テキストの該当箇所を指定。熟読しておくこと。	A、N
	第6回	【テーマ】実習生としての指導の実際(1) 【計画内容】音楽科学習指導案の作成(授業のポイント)。音楽科教育の指導技術の確認。 【授業時間外の学修内容】前講義にて、テキストの該当箇所を指定。熟読しておくこと。	A、G
	第7回	【テーマ】実習生としての指導の実際(2) 【計画内容】音楽科学習指導案の作成(実際の学習指導案を使い)、音楽科教育の指導技術の確認。 【授業時間外の学修内容】前講義にて、テキストの該当箇所を指定。熟読しておくこと。	A、G、F
	第8回	【テーマ】教育実習生調査票の作成 【計画内容】調査票の書き方及び、まとめ。履修科目の再確認。 【授業時間外の学修内容】前講義にて、テキストの該当箇所を指定。熟読しておくこと。	A、L

テキスト	北翔大学・北翔大学短期大学部、2014年、『教育実習の手引き』
参考書	文部科学省、2018年、『中学校学習指導要領』、東山書房 文部科学省、2019年、『高等学校学習指導要領』、東山書房

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%		50%	
	補足			各種レポート		平時	

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	オフィスアワーの時間で対応します。
資格	[教]中・高1種(音楽)_必修
その他	次年度「教育実習」を行う学生に限ります。本科目を前年度までに修得していないと「教育実習」はできません。 教育実習では、大学の「出席」から、実習校での「勤務」となります。生徒たちへ真摯に、意欲的に向かう姿勢、教師になろうとする強い意識・態度、指導する力が身に付いていることで、実習が可能となります。実習受け入れ校には、実習をさせていただくという感謝の気持ちを持って臨みましょう。最近は、実習受け入れ校から事前に面接を望む声を聞くようになりました。意識を高く持って受講しましょう。

科目名	音楽教育研究Ⅰ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	千葉　圭説				

授業の目的	
ねらい	音楽の基礎は「アンサンブル」にある。"自分が発する音を聴く"他者が発する音を聴く"、その上で互いの音をアンサンブルとして創造してゆく過程が音楽の基本姿勢であると言える。この授業では、アンサンブルを中心にその指導法を学習する。ピアノ・声楽・管打楽器、それぞれに「基礎演習」及び「表現演習」で学んだ技術を基に「専門演習Ⅱ」と並行し、重唱・重奏の演奏形態を通じて、音楽教育としてのアンサンブルの在り方を研究する。
到達目標	(1)音楽教育における「アンサンブル」の意義と重要性について学ぶ。 (2)個々の演奏技術向上に加え、アンサンブルとしての表現技術を高める。 (3)グループとして演奏し、自分のパートの役割を理解したうえで、音程やタイミング、ハーモニーなどを合わせることができる。 (4)アンサンブルの実演によって、学習の成果を研究発表する。

授業の計画						
第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】編成の確認をする。 【授業時間外の学修内容】各自選択する楽器について、奏法の基礎及び手入れ方法を確認しておくこと。	A	第9回	【テーマ】アンサンブル練習 【計画内容】各グループでの楽曲練習。アンサンブルとしての基礎練習を含む。 【授業時間外の学修内容】各グループでの自主練習。	D、E
第2回	【テーマ】各グループでのアンサンブル 【計画内容】ピアノは連弾。声楽は重唱。器楽は同属器楽によるアンサンブルを中心に行う。 【授業時間外の学修内容】それぞれの楽曲選択と練習。	D、E	第10回	【テーマ】アンサンブル 【計画内容】楽曲の練習、楽譜の分析等を行うことでより作品の理解も深める。 【授業時間外の学修内容】各グループでの自主練習。	D、E
第3回	【テーマ】各グループでのアンサンブル 【計画内容】アンサンブルとしての基礎練習を含む。 【授業時間外の学修内容】新しい楽曲の練習。	D、E	第11回	【テーマ】発表演奏会企画 【計画内容】前学期に引き続き、より高度なアンサンブルを目指し、2台ピアノ。声楽は重唱。器楽は管打混合編成を含むアンサンブルも含め、学内外でのミニコンサートを企画・立案・実施する。 【授業時間外の学修内容】楽曲選択のための準備。	D、E
第4回	【テーマ】アンサンブル練習 【計画内容】作品分析を含む、楽曲の練習、また指導者として知識を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】楽譜を分析する。	D、E	第12回	【テーマ】演奏会へむけた各グループでの楽曲練習 【計画内容】アンサンブルとしての表現の幅を広げる。 【授業時間外の学修内容】個人ならびにグループでの練習。	D、E
第5回	【テーマ】アンサンブル練習 【計画内容】それぞれのグループでリズム、ハーモニーなど基礎要素を確認する。 【授業時間外の学修内容】個人練習。	D、E	第13回	【テーマ】アンサンブル練習 【計画内容】各グループでの練習。 【授業時間外の学修内容】個人ならびにグループでの練習。	D、E
第6回	【テーマ】編成を変えてのアンサンブル 【計画内容】ピアノは2台。声楽は重唱。器楽は同属器楽によるアンサンブルを中心に行う。 【授業時間外の学修内容】新しい編成でのアンサンブル曲を選択する。	D、E	第14回	【テーマ】アンサンブル練習 【計画内容】演奏会前のすべてのプログラムを演奏する。 【授業時間外の学修内容】各グループでの練習。	D、E
第7回	【テーマ】新曲でのアンサンブル 【計画内容】楽曲の練習、楽譜の分析等を行うことでより作品の理解も深める。 【授業時間外の学修内容】前回の分析をもとに個人練習。	D、E	第15回	【テーマ】演奏会の実施と反省 【計画内容】演奏会 終了後に演奏と企画についての反省をする。 【授業時間外の学修内容】本番へむけての練習。	A
第8回	【テーマ】アンサンブル練習 【計画内容】ピアノは2台8手。声楽は重唱。器楽は4～10重奏などラージ編成のアンサンブルにも取り組む。 【授業時間外の学修内容】さまざまなアンサンブル形態を調べる。	D、E			

テキスト	各自、各グループに合った楽譜を使用します。
参考書	初回オリエンテーションで説明します。

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分				50%	50%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	オフィスアワー(4月中に発表)で対応します。
資格	
その他	評価のその他は、演奏会における企画及び成果発表の内容です。

科目名	音楽教育研究Ⅱ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	坂田　朋優				

授業の目的		
	ねらい	学校教育の音楽科授業ではさまざまな作品が扱われるが、演奏する場合だけに限らず、指導するうえでも役に立つ初見能力の向上を目指すとともに、現場で必要とされる中高歌唱共通教材を中心とした楽曲の伴奏やアンサンブルの実演を通して、教材への理解を深める。
	到達目標	(1)基本的な初見能力を身に付ける。 (2)中高歌唱教材などの伴奏ができる。 (3)アンサンブル演奏を通して、教材を深く理解する。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】授業の紹介をし、授業展開を説明します。 【授業時間外の学修内容】音楽の指導者としてどんな能力が必要とされるのか考えておくこと。	A	第9回	【テーマ】伴奏4 【計画内容】伴奏の表現方法の理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】歌唱部分を意識しながら練習しておくこと。	B、E
	第2回	【テーマ】教科書の内容の分析 【計画内容】複数の教科書からどのような教材が使われているか分析を行います。 【授業時間外の学修内容】音楽の授業を受けてきた体験についてまとめておくこと。	A、H	第10回	【テーマ】伴奏のまとめ 【計画内容】伴奏で学んだ内容のまとめと振り返りを行い、次回からのアンサンブル編成の確認をします。 【授業時間外の学修内容】これまでの復習をしておくこと。	B、L
	第3回	【テーマ】初見1 【計画内容】初見やリズム打ちの基礎を確認し演習を行います。 【授業時間外の学修内容】予習課題に取り組む。	B	第11回	【テーマ】アンサンブル練習 【計画内容】歌唱共通教材などを使ったアンサンブル(編曲も含む)の基礎的な練習をします。 【授業時間外の学修内容】楽譜を読み、個人練習をしておくこと。	B、H
	第4回	【テーマ】初見2 【計画内容】さまざまな初見やリズム課題に取り組みます。 【授業時間外の学修内容】予習課題に取り組む。	B	第12回	【テーマ】アンサンブル練習 【計画内容】楽曲のリズムやハーモニーなどの基礎要素の確認します。 【授業時間外の学修内容】楽譜を読み、個人練習をしておくこと。	B、H
	第5回	【テーマ】初見3 【計画内容】実際の楽曲などを用いて、初見やリズム打ちを行います。 【授業時間外の学修内容】予習課題に取り組む。	B	第13回	【テーマ】アンサンブル練習 【計画内容】各パートの役割を意識しながら全体としての作品の理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】楽譜を読み、個人練習をしておくこと。	B、H
	第6回	【テーマ】伴奏1 【計画内容】中高歌唱教材などの伴奏譜から音符やリズムを正確に読み取ります。 【授業時間外の学修内容】楽譜を読み、練習をしておくこと。	B、E	第14回	【テーマ】アンサンブル練習 【計画内容】アンサンブルとして演奏表現の幅を広げます。 【授業時間外の学修内容】楽譜を読み、個人練習をしておくこと。	B、H
	第7回	【テーマ】伴奏2 【計画内容】中高歌唱教材などの伴奏譜からさらに深く内容を読み取ります。 【授業時間外の学修内容】楽譜をよく読み、練習をしておくこと。	B、E	第15回	【テーマ】まとめと確認 【計画内容】演奏を発表し、これまでのまとめと確認を行います。 【授業時間外の学修内容】充分な練習をしておくこと。	B、F、L
	第8回	【テーマ】伴奏3 【計画内容】中高歌唱教材などの伴奏について歌詞も含めた表現を検討します。 【授業時間外の学修内容】歌唱部分を意識しながら練習しておくこと。	B、E			

テキスト	講義時に説明します
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			60%		40%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します
資格	
その他	伴奏については、各自の技量や経験に合わせた譜面を使用します。

芸　術　学　科
学 科 専 門 科 目

科目名	美学	授業形態	講義	単位数	2
教員名	大石　和久				

授業の目的		
	ねらい	美学とは芸術の理論的考察を意味する。美学において想像力が大きな主題であり続けてきた。それは、芸術が見せる世界は非現実のイメージの世界だからである。本授業はこの想像力を扱うのに、映画(映像)というイメージを取り上げたい。具体的に、映画の歴史を振り返りながら、想像力の問題の美学的な解明を試みる。
	到達目標	(1)美学とはなにかを理解する。 (2)想像力論の視点から映画(映像)についての理解を深める。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】授業のガイダンス:美学とはなにか 【計画内容】授業の紹介をし、15回の授業展開を説明します。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】キートンの喜劇 【計画内容】キートンの喜劇の換喩性を美学的に考察する。 【授業時間外の学修内容】これまで配付したプリントを復習し、理解の進んでいない問題を整理しておくこと。	A
	第2回	【テーマ】映画前史 【計画内容】映画前史(映画がいかに発明されたか)を美学的に考察する。 【授業時間外の学修内容】これまで配付したプリントを復習し、理解の進んでいない問題を整理しておくこと。	A	第10回	【テーマ】エイゼンシュテインのモンタージュ 【計画内容】エイゼンシュテインのモンタージュ論を美学的に考察する。 【授業時間外の学修内容】これまで配付したプリントを復習し、理解の進んでいない問題を整理しておくこと。	A
	第3回	【テーマ】映画の発明者:リュミエール 【計画内容】リュミエール映画のリアリズムを美学的に考察する。 【授業時間外の学修内容】これまで配付したプリントを復習し、理解の進んでいない問題を整理しておくこと。	A	第11回	【テーマ】イタリア·ネオ·リアリズム 【計画内容】イタリア·ネオ·リアリズムを代表する映画監督ロベルト·ロッセリーニの映画を美学的に考察する。 【授業時間外の学修内容】これまで配付したプリントを復習し、理解の進んでいない問題を整理しておくこと。	A
	第4回	【テーマ】映画の魔術師:メリエス 【計画内容】メリエス映画の幻想性を美学的に考察する。 【授業時間外の学修内容】これまで配付したプリントを復習し、理解の進んでいない問題を整理しておくこと。	A	第12回	【テーマ】ヌーヴェル·ヴァーグ 【計画内容】ヌーヴェル·ヴァーグを代表する監督ジャン=リュック·ゴダールの映画を美学的に考察する。 【授業時間外の学修内容】これまで配付したプリントを復習し、理解の進んでいない問題を整理しておくこと。	A
	第5回	【テーマ】ハリウッドの成立 【計画内容】ハリウッドの成立を美学的に考察する。 【授業時間外の学修内容】授業時に示す課題についてレポートを作成のための準備をすること(レポート1)。	A	第13回	【テーマ】日本のアニメ 【計画内容】日本のアニメにおける現実と非現実の非識別性について美学的に考察する。 【授業時間外の学修内容】これまで配付したプリントを復習し、理解の進んでいない問題を整理しておくこと。	A
	第6回	【テーマ】ハリウッド映画の父グリフィス 【計画内容】グリフィスの手法、クロースアップと並行モンタージュを美学的に考察する。 【授業時間外の学修内容】これまで配付したプリントを復習し、理解の進んでいない問題を整理しておくこと。	A	第14回	【テーマ】映画とデジタル 【計画内容】デジタル映像をアナログ映像と比較しながら美学的に考察する。 【授業時間外の学修内容】これまで配付したプリントを復習し、理解の進んでいない問題を整理しておくこと。	A
	第7回	【テーマ】映画スターの誕生 【計画内容】映画スターを演劇の俳優と比較しながら美学的に考察する。 【授業時間外の学修内容】授業時に示す課題についてレポートを作成のための準備をすること(レポート2)。	A	第15回	【テーマ】振り返り 【計画内容】全体を振り返りつつ、到達度をチェックする。 【授業時間外の学修内容】これまで配付したプリントを復習し、理解の進んでいない問題を整理しておくこと。	A
	第8回	【テーマ】チャップリンの喜劇 【計画内容】チャップリン喜劇の隠喩性を美学的に考察する。 【授業時間外の学修内容】これまで配付したプリントを復習し、理解の進んでいない問題を整理しておくこと。	A			

テキスト	プリントを使用します
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	60%		40%			
補足			レポート			

課題に関するフィードバックの方法	中間レポートに関して講義内で講評します。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[芸]中·高1種(美術)_必修
その他	具体的に映画を上映しながら講義を行うので、しっかり鑑賞してほしい。

科目名	プログラミングによるCG	授業形態	演習	単位数	2
教員名	松澤　衛				

授業の目的	
ねらい	プログラミングの基礎となる各種アルゴリズムとデータ構造について説明する。また、プログラム言語を利用して基本的なアルゴリズムのコーディングを、CG を作成することでグラフィカルに目で確認しながら学ぶ。アルゴリズムを考えたり、実際にプログラムを組んだりする事を通して、物事を論理的に思考する能力を養うことができる。「わからない」、「できない」とすぐ諦める事無く、粘り強く問題解決の道を探る能力も養う事ができる。
到達目標	(1)プログラミングの基本が理解できる。 (2)基本アルゴリズムが理解できる。 (3)図形の描画方法が理解できる。 (4)プログラムを使ったアニメーションが作成方法が理解できる。 (5)プログラムを使った音声、画像処理の方法が理解できる。

授業の計画						
第1回	【テーマ】オリエンテーション：プログラミングと CG とは 【計画内容】この授業で何をやるのか他履修生と簡単なグループワークを行い、プログラミングや授業の意義について共有します。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読んで、自分なりに授業について考えてきてください。	A、H、L	第9回	【テーマ】繰り返しと判断による図形の描画2 【計画内容】カメラ入力によるグラフィック表示の方法について学びます。 【授業時間外の学修内容】第8回で配付したプリントを読んでおくこと。	B、L
第2回	【テーマ】プログラミングの流れ 【計画内容】プログラミング作成の流れを学びます。 【授業時間外の学修内容】第1回で配付したプリントを読んでおくこと。	B、L	第10回	【テーマ】繰り返しと判断による図形の描画3 【計画内容】カメラ入力により得た画像の任意の色の変更について学びます。 【授業時間外の学修内容】第9回で配付したプリントを読んでおくこと。	B、L
第3回	【テーマ】変数とは？プログラミングをする上で理解しなければならない変数の種類と使い方について 【計画内容】変数について具体的なプログラムを作成しながら学びます。 【授業時間外の学修内容】第2回で配付したプリントを読んでおくこと。	B、L	第11回	【テーマ】繰り返しと判断による図形の描画4 【計画内容】カメラ映像の様々な変更の仕方について学びます。 【授業時間外の学修内容】第10回で配付したプリントを読んでおくこと。	B、L
第4回	【テーマ】画面上に簡単な図形の描画1(定数を使って) 【計画内容】定数を使った簡単な図形(丸、三角、四角)の描画方法を学びます。 【授業時間外の学修内容】第3回で配付したプリントを読んでおくこと。	B、L	第12回	【テーマ】ユーザーのアクションにより変化するプログラム 【計画内容】マウス、ビデオ入力により変化するプログラムを学びます。 【授業時間外の学修内容】第11回で配付したプリントを読んでおくこと。	B、L
第5回	【テーマ】画面上に簡単な図形の描画2(変数を使って) 【計画内容】変数を使った簡単な図形(丸、三角、四角)の描画方法を学びます。 【授業時間外の学修内容】第4回で配付したプリントを読んでおくこと。	B、L	第13回	【テーマ】マイク入力による図形の描画 【計画内容】マイクを使用した音声によって変化する図形の作成について学びます。 【授業時間外の学修内容】第12回で配付したプリントを読んでおくこと。	B、L
第6回	【テーマ】繰り返しによる図形の描画1 【計画内容】for 文について学びます。 【授業時間外の学修内容】第5回で配付したプリントを読んでおくこと。	B、L	第14回	【テーマ】映像作成1 【計画内容】授業をとおして学んだプログラム技術を使って映像作品を作成します。 【授業時間外の学修内容】第13回で配付したプリントを読んでおくこと。	B、L
第7回	【テーマ】繰り返しによる図形の描画2 【計画内容】for 文の入れ子について学びます。 【授業時間外の学修内容】第6回で配付したプリントを読んでおくこと。	B、L	第15回	【テーマ】映像作成2 【計画内容】授業をとおして学んだプログラム技術を使って映像作品を作成します。 【授業時間外の学修内容】今までのプログラムを見なおしておくこと。	B、F、L
第8回	【テーマ】繰り返しと判断による図形の描画1 【計画内容】繰り返し文と if 文について学びます。 【授業時間外の学修内容】第7回で配付したプリントを読んでおくこと。	B、L			

テキスト	プリントを使用します
参考書	講義内で紹介します

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			25%	35%	25%	15%
補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
該当	経験内容	情報映像系事業経営
	科目との関連	プログラム作成の経験を活かし、CG プログラミングを教授する。

質問への対応	E-Mail:mmamoru@hokusho-u.ac.jp Microsoft Teams を利用した授業を行います。
資格	
その他	物事をよく観察してください。 毎日コツコツ簡単なプログラムを書くこと。 Microsoft Teams 等を使用して、作品等の講評を随時します。

科目名	生涯学習と芸術	授業形態	講義	単位数	2
教員名	浅川　泰				

授業の目的	
ねらい	- Our World　われらの世界 / 芸術(アート)・個人・社会 芸術や趣味は、ホモ・ルーデンス Homo Ludens(遊ぶ人)である人間の根本的な欲求であるが、人間性 Humanitas の形成である、リベラルアーツ、人文学と呼ばれてきた「教養 Bildung」の伝統のうえに、市民のための芸術の施設やイベント、近代デザイン、メディアによって、芸術は一層社会的な広がりをもつことになった。 芸術を今日の人間科学 Human Science の一分野に位置づけ、感性の学として学ぶことも可能である。芸術はスポーツとともに心と身体の機能に関係する、もっとも基本的な活動と考える。この授業では、ミュージアムやシアターなどの芸術施設、生涯学習といった視点から、芸術の意味や役割について考えるとともに、芸術とメディア、現代アート(パフォーマンス、環境芸術、映像、ミニマルなど)、デザイン(建築、ファッション、ランドスケープ)などについて学ぶ。
到達目標	(1)ミュージアムやシアターなどの芸術施設について学ぶ。 (2)近・現代アートの用語や表現形式を学ぶ。 (3)アートリテラシー(芸術に関する理解能力を養うこと)。

授業の計画					
第1回	【テーマ】はじめに - 芸術の役割について 【計画内容】はじめに講義計画と評価について(説明) 【授業時間外の学修内容】美術や音楽、演劇など「芸術」について、その魅力を再考してみる。	A	第9回	【テーマ】現代アートの歩み⑤ 【計画内容】モダンデザイン(2)ファッションとアート 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A
第2回	【テーマ】芸術の意味 【計画内容】絵って何?(齋藤亜矢著『ヒトはなぜ絵を描くのか』) 【授業時間外の学修内容】人間と芸術について考える。	A、I	第10回	【テーマ】現代アートの歩み⑥ 【計画内容】アートの時代 - イメージ(映像)文化 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A
第3回	【テーマ】芸術(アート)と生涯学習 【計画内容】表現か学習か。芸術の意味について。 【授業時間外の学修内容】芸術の創造性について考える。	A、I	第11回	【テーマ】現代アートの歩み⑦ 【計画内容】パフォーマンス・アート(ハプニング Happening、アクション Action、コンサート Concert) 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A
第4回	【テーマ】Our World われらの世界 - 「映像の世紀」より 【計画内容】メディアと現代・平行文化。 【授業時間外の学修内容】映像は何を語るか、考える。	A、I	第12回	【テーマ】美と創造「アートとデザイン」① 【計画内容】草間彌生 - アートからデザインへ 【授業時間外の学修内容】レポート課題と取り組む。	A、I
第5回	【テーマ】現代アートの歩み① 【計画内容】近代芸術をめぐる状況 - 市民と大衆。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A	第13回	【テーマ】美と創造「アートとデザイン」② 【計画内容】イサム・ノグチの庭 / パブリック・アート 【授業時間外の学修内容】レポート課題と取り組む。	A、I
第6回	【テーマ】現代アートの歩み② 【計画内容】アヴァンギャルド(前衛芸術)について。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A	第14回	【テーマ】現代文化 - 芸術(アート)とシアター 【計画内容】オブジェ・パフォーマンス・演劇。 【授業時間外の学修内容】舞台美術の効果について考える。	A、I
第7回	【テーマ】現代アートの歩み③ 【計画内容】モダンアートについて - 近代美術館の誕生 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A	第15回	【テーマ】現代文化 - 芸術(アート)とミュージアム 【計画内容】芸術と地域 - 芸術祭について 【授業時間外の学修内容】地域と芸術祭について考える。	A、I、G
第8回	【テーマ】現代アートの歩み④ 【計画内容】モダンデザイン(1)建築・環境・素材 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A			

テキスト	基本的にはプリント及び論文等のコピー(一部)でもって代えます。
参考書	授業時に紹介します。

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			50%		50%	
補足			レポートは1回提出			

課題に関するフィードバックの方法	第12回でレポートの概要を書いてもらい、第13回と第14回でコメントと返却、第15回にレポート提出。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	学芸員の実務(美術館・文学館・博物館)
		科目との関連	ミュージアム活動(展示・イベント・建築等)と関連した授業内容

質問への対応	初回授業時に説明します。基本的には授業の最後に対応します。
資格	
その他	各回のテーマ・授業の流れはおおよそのもの。主に画像や映像を使用し、受講者の関心度によって、テーマ・内容の変更はあります。第12回～第15回までの「計画内容」は、レポート課題のフィードバックと並行して実施するため、変更があります。補講の必要がある場合、第16回を充てます。

科目名	学校教育と芸術	授業形態	演習	単位数	2
教員名	船木　ゆずか、森井　綾				

授業の目的		
	ねらい	学校教育としての真鍮、シルバーなどの金属を加工し、アクセサリーを制作する過程を学びます。金属工芸の基礎的な技術と、アクセサリーデザインの基礎を身につける授業です。身を飾るアクセサリーは人に一番近い立体造形物です。作り手の想いが身につける人に伝わる作品の制作を目指しながら、ものつくりの魅力を体験し、それをひとに伝えられるようになってください。
	到達目標	(1)金属工芸の基礎を身につける。 (2)アクセサリー制作の基礎を学ぶ。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】授業内容の説明。(船木ゆずか･森井綾) 【授業時間外の学修内容】作ってみたい、金属のアクセサリーの写真などを用意してください。	B	第9回	【テーマ】シルバーリング制作(3) 【計画内容】シルバーの仕上げ方を学ぶ。。※作業しやすい服装で参加してください。(船木ゆずか) 【授業時間外の学修内容】前回時間内に出来なかった事を進めておくこと。普段から目にするアクセサリーについても、デザインや技法に注意して観察してみるようこころがけてください。	B
	第2回	【テーマ】ペンダント制作(1) 【計画内容】金属工芸、アクセサリー制作についての説明。道具の使い方と作業姿勢の説明。(船木ゆずか) 【授業時間外の学修内容】各自、ペンダントのデザインをあらかじめ考えてきてください。普段から目にするアクセサリーについても、デザインや技法に注意して観察してみるようこころがけてください。	B	第10回	【テーマ】ワックス制作(1) 【計画内容】鋳造技法のワックス(蝋型)原型作りを体験する。鋳造技法の基礎の説明を聞き、実践してみる。※彫刻刀、デザインカッターなど道具を準備して来ること。(船木ゆずか) 【授業時間外の学修内容】作りたい物のデザインを考える。これまでに見た細かなデザインのアクセサリーについて考えておくこと。	B
	第3回	【テーマ】ペンダント制作(2) 【計画内容】糸鋸、ヤスリなどを使い制作する。※授業に臨む際には、作業しやすい服装で参加してください。マスク、手袋、エプロンを用意すること。　(船木ゆずか) 【授業時間外の学修内容】作業に入れるようにデザインを完成させてくること。　普段から目にするアクセサリーについても、デザインや技法に注意して観察してみるようこころがけてください。	B	第11回	【テーマ】ワックス制作(2) 【計画内容】ワックスの特性を学ぶ。削る、溶かすなどマチエール表現を学ぶ。※作業しやすい服装で参加してください。(船木ゆずか) 【授業時間外の学修内容】前回時間内に出来なかった事を進めておくこと。普段から目にするアクセサリーについても、デザインや技法に注意して観察してみるようこころがけてください。	B
	第4回	【テーマ】ペンダント制作(3) 【計画内容】ドリルでの穴あけ。細部の仕上げを学ぶ。(船木ゆずか) 【授業時間外の学修内容】作業が遅れている人は各自進めておくこと。	B	第12回	【テーマ】ワックス制作(3) 【計画内容】ワックス原型制作の実制作。(船木ゆずか) 【授業時間外の学修内容】前回時間内に出来なかった事を進めておくこと。　普段から目にするアクセサリーについても、デザインや技法に注意して観察してみるようこころがけてください。	B
	第5回	【テーマ】ペンダント制作(4) 【計画内容】金属の研磨方法を学ぶ。(船木ゆずか) 【授業時間外の学修内容】ペンダントをかけるチェーンなどのデザインを考える。ペンダントをかけるチェーン、革紐など各自で用意すること。授業内に説明する。作業が遅れている人はすすめておくこと。	B	第13回	【テーマ】ワックス制作(4) 【計画内容】ワックス原型制作の実制作。(船木ゆずか) 【授業時間外の学修内容】前回時間内に出来なかったことを進めておくこと。普段から目にするアクセサリーについても、デザインや技法に注意して観察してみるようこころがけてください。	B
	第6回	【テーマ】ペンダント制作(5) 【計画内容】金属加工の仕上げを学ぶ。提出。(船木ゆずか) 【授業時間外の学修内容】前回時間内に出来なかった事を進めておくこと。必要な物は各自持参すること。	B	第14回	【テーマ】ワックス制作(5) 【計画内容】実制作。ワックス原型完成。提出。(船木ゆずか) 【授業時間外の学修内容】前回時間内に出来なかった事を進めておくこと。普段から目にするアクセサリーについても、デザインや技法に注意して観察してみるようこころがけてください。	B
	第7回	【テーマ】シルバーリング制作(1) 【計画内容】シルバー(銀)で指輪を制作する。(船木ゆずか) 【授業時間外の学修内容】シルバーの特性を調べておくこと。また、自分が制作する以外のシルバーを使ったアクセサリーについて、デザインや技法に注意して観察してみるようこころがけてください	B	第15回	【テーマ】ワックス制作(6) 【計画内容】シルバーの仕上げ方を学ぶ。講評会。(船木ゆずか) 【授業時間外の学修内容】授業の感想などを発表してもらう。	B
	第8回	【テーマ】シルバーリング制作(2) 【計画内容】指のサイズの計り方、計算法を学ぶ。バーナーを使い、ロー付けを体験する。※作業しやすい服装で参加してください。(船木ゆずか) 【授業時間外の学修内容】前回時間内に出来なかった事を進めておくこと。普段から目にするアクセサリーについても、デザインや技法に注意して観察してみるようこころがけてください。	B			

テキスト	講義中に説明します
参考書	講義中に説明します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分				60%	40%	
	補足					平時	

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	船木ゆずか／ジュエリーデザイナー
		科目との関連	船木ゆずか／ジュエリーデザイナーの経験を活かし、金属加工･アクセサリー制作を指導

質問への対応	講義中に対応、もしくは森井のオフィスアワーなどを利用してください。
資格	
その他	教材費(真鍮、シルバー、鋳造費)が最低で約2000円ほどかかります。詳しい事は初回の授業で説明します。 作業しやすい服装で受講してください。エプロン、作業手袋、マスクなどがあると望ましいです。

科目名	博物館資料保存論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	園部　真幸				

授業の目的		
	ねらい	博物館にはそれぞれの博物館の収集方針に基づいて、多種多様な資料が収蔵されています。博物館の専門職員である学芸員は、これら資料の特性を把握した上で的確に取り扱わなくてはなりません。この授業では、博物館における資料の適切な保存·管理·活用のあり方と学芸員の役割について実践を交えて学習します。
	到達目標	(1)博物館資料を保存することの意義を理解する。 (2)博物館資料の適切な保存·保管のあり方を理解する。 (3)博物館資料に対する接し方·取り扱い方を理解する。 (4)博物館資料の修復についての基本的な考え方を理解する。 (5)地域資源としての博物館資料の保存と活用のあり方を理解する。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】授業の内容を紹介し、今後の授業展開について説明します。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】資料を適正に保存する(4) 【計画内容】実践的な作業(接合資料の解体)を通して資料保存の基本的な考え方を学習します。 【授業時間外の学修内容】配付した資料を復習し、理解の進んでいない問題を整理しておくこと。	D
	第2回	【テーマ】資料の収蔵環境(1) 【計画内容】文化財の保存と博物館の役割について学習します。 【授業時間外の学修内容】配付した資料を復習し、理解の進んでいない問題を整理しておくこと。	A	第10回	【テーマ】遺跡出土資料の保存処理と管理 【計画内容】北海道埋蔵文化財センターの見学を通じて、出土資料の保存処理と管理について学習します。 【授業時間外の学修内容】配付した資料を復習し、理解の進んでいない問題を整理しておくこと。	A
	第3回	【テーマ】資料の収蔵環境(2) 【計画内容】資料に適した環境について学習します。 【授業時間外の学修内容】配付した資料を復習し、理解の進んでいない問題を整理しておくこと。	A	第11回	【テーマ】金属製品·木製品の分析と保存処理 【計画内容】金属製品·木製品の成分分析や保存処理方法について、埋蔵文化財センターで学んだことを含めてレポートにまとめます。 【授業時間外の学修内容】配付した資料を復習し、理解の進んでいない問題を整理しておくこと。	AG
	第4回	【テーマ】文化財レスキューについて 【計画内容】東日本大震災で被災した博物館資料等文化財のレスキューについて具体例をもとに学習し、考えたことをレポートにまとめます。 【授業時間外の学修内容】配付した資料を復習し、理解の進んでいない問題を整理しておくこと。	A、G	第12回	【テーマ】生物被害とＩＰＭについて 【計画内容】近年防虫、防黴対策として注目されているＩＰＭ(総合的有害生物管理)の考え方などについて学習します。 【授業時間外の学修内容】配付した資料を復習し、理解の進んでいない問題を整理しておくこと。	A
	第5回	【テーマ】地域資源の保存と活用 【計画内容】建造物や史跡など野外資料の保存とエコミュージアムについて学習します。 【授業時間外の学修内容】配付した資料を復習し、理解の進んでいない問題を整理しておくこと。	A	第13回	【テーマ】文化財の修復について 【計画内容】絵画、仏像など最新の文化財修復技術について映像記録などをもとに学習しレポートにまとめます。 【授業時間外の学修内容】事前にレポートを作成、提出すること。	AG
	第6回	【テーマ】資料を適正に保存する(1) 【計画内容】実践的な作業(注記)を通して、資料保存の基本的な考え方を学習します。 【授業時間外の学修内容】配付した資料を復習し、理解の進んでいない問題を整理しておくこと。	D	第14回	【テーマ】地域資源の保存と活用(発表) 【計画内容】エコミュージアムなど地域資源の保存と活用について、各自がまとめたレポートを発表し、聴衆からの質疑に答えます。 【授業時間外の学修内容】事前にレポートを作成、提出すること。	F
	第7回	【テーマ】資料を適正に保存する(2) 【計画内容】実践的な作業(土器の接合)を通して資料保存の基本的な考え方を学習します。 【授業時間外の学修内容】配付した資料を復習し、理解の進んでいない問題を整理しておくこと。	D	第15回	【テーマ】まとめと補足 【計画内容】これまでの授業をまとめ、必要な事項について補足します。 【授業時間外の学修内容】配付した資料を復習し、理解の進んでいない問題を整理しておくこと。	A
	第8回	【テーマ】資料を適正に保存する(3) 【計画内容】実践的な作業(土器の接合と梱包)を通して資料保存の基本的な考え方を学習します。 【授業時間外の学修内容】配付した資料を復習し、理解の進んでいない問題を整理しておくこと。	D			

テキスト	プリントを使用します
参考書	プリントを使用します。

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			60%		40%	
	補足			レポートほか			

課題に関するフィードバックの方法	プレゼンテーションに対して授業の中で必要なアドバイスを行います。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	博物館学芸員
		科目との関連	博物館における資料の収集·保存業務の経験を活かした指導

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[芸]学芸員_必修
その他	実習では薬品を使った作業を行うので、アレルギーのある学生は申し出てください。

科目名	博物館展示論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	細川　健裕、柴　勤				

授業の目的

ねらい	博物館の主要な機能の一つである展示について、その意義と理念を理解するとともに、その実際を内外の事例を通じて学ぶ。 展示の方法論について、心理的作用等を実践的に検証することで知識に裏付けられた技術の獲得を図る。
到達目標	(1)博物館における展示について概念的に理解する。 (2)博物館の展示の多様性について、使命と普及の両面から考察する力を養う。 (3)内外の展示事例を通じて展示の実際を学び、展示に係る基礎的な能力を養う。

授業の計画

第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】博物館の定義・機能と展示(細川健裕) 【授業時間外の学修内容】博物館概論での既習事項の振り返りを行う。	A	第9回	【テーマ】展覧会の企画 【計画内容】展覧会の航送、テーマの構想 印刷物・普及事業計画、企画書作成(柴勤) 【授業時間外の学修内容】博物館発行の図録・ポスター・チラシを確認して、多様な展示の在り方を認識したうえで授業テーマへの関連性を考える。	A
第2回	【テーマ】展示の歴史と種類 【計画内容】博物館の性格と展示の種類(細川健裕) 【授業時間外の学修内容】博物館発行の図録・ポスター・チラシを確認して、多様な展示の在り方を認識したうえで授業テーマへの関連性を考える。	A	第10回	【テーマ】展覧会の実際① 【計画内容】作業分担、情報収集、作品調査、借用交渉、輸送計画、美術保険(柴勤) 【授業時間外の学修内容】博物館発行の図録・ポスター・チラシを確認して、多様な展示の在り方を認識したうえで授業テーマへの関連性を考える。	A
第3回	【テーマ】調査研究成果と展示 【計画内容】博物館における研究・学芸員の研究と役割 調査研究がもたらす情報と展示(細川健裕) 【授業時間外の学修内容】博物館発行の図録・ポスター・チラシを確認して、多様な展示の在り方を認識したうえで授業テーマへの関連性を考える。	A	第11回	【テーマ】展覧会の実際② 【計画内容】他館・所蔵者・専門業者等の関係者との協力 仮設壁面・ケース・バックパネル等の会場設営(柴勤) 【授業時間外の学修内容】博物館発行の図録・ポスター・チラシを確認して、多様な展示の在り方を認識したうえで授業テーマへの関連性を考える。	A
第4回	【テーマ】多様な博物館の展示 【計画内容】博物館の基本理念・設置目的と展示 教育普及との関連性(細川健裕) 【授業時間外の学修内容】博物館発行の図録・ポスター・チラシを確認して、多様な展示の在り方を認識したうえで授業テーマへの関連性を考える。	A	第12回	【テーマ】展覧会の実際③ 【計画内容】作品輸送、作品点検、展示の実施 照明・湿度・空調の調整(柴勤) 【授業時間外の学修内容】博物館発行の図録・ポスター・チラシを確認して、多様な展示の在り方を認識したうえで授業テーマへの関連性を考える。	A
第5回	【テーマ】展示の政治性と社会性 【計画内容】博物館における学びの特性 展示の政治性と社会性(細川健裕) 【授業時間外の学修内容】博物館発行の図録・ポスター・チラシを確認して、多様な展示の在り方を認識したうえで授業テーマへの関連性を考える。	A、H	第13回	【テーマ】印刷物の作成と関連事業の実施 【計画内容】著作権情報の確認、ポスター・チラシ図録の作成。講演会等、普及事業の実施。(柴勤) 【授業時間外の学修内容】博物館発行の図録・ポスター・チラシを確認して、多様な展示の在り方を認識したうえで授業テーマへの関連性を考える。	A
第6回	【テーマ】展示の諸形態 【計画内容】展示環境・事業マネジメント 展示手法・博物館の展示をつくる(細川健裕) 【授業時間外の学修内容】博物館発行の図録・ポスター・チラシを確認して、多様な展示の在り方を認識したうえで授業テーマへの関連性を考える。	A	第14回	【テーマ】展示の評価と改善について 【計画内容】展示評価の類型・観点・調査法(柴勤) 【授業時間外の学修内容】博物館発行の図録・ポスター・チラシを確認して、多様な展示の在り方を認識したうえで授業テーマへの関連性を考える。	A
第7回	【テーマ】歴史系博物館と資料・展示 【計画内容】資料情報の確認、シナリオと配置 常設展示と企画展示(細川健裕) 【授業時間外の学修内容】博物館発行の図録・ポスター・チラシを確認して、多様な展示の在り方を認識したうえで授業テーマへの関連性を考える。	A、G	第15回	【テーマ】博物館の課題と可能性 【計画内容】既習事項のまとめ(柴勤) 【授業時間外の学修内容】博物館発行の図録・ポスター・チラシを確認して、多様な展示の在り方を認識したうえで授業テーマへの関連性を考える。	A、L
第8回	【テーマ】美術館と展示 【計画内容】展示の歴史と意義 コレクション展示と企画展示(柴勤) 【授業時間外の学修内容】博物館発行の図録・ポスター・チラシを確認して、多様な展示の在り方を認識したうえで授業テーマへの関連性を考える。	A			

テキスト	講師、プリントを使用します。
参考書	デビット・ディーン、2004年、『美術館・博物館の展示　理論から実践まで』、丸善出版 今村信隆、2018年、『博物館の歴史・理論・実践3』、京都造形芸術大学 東北芸術工科大学 出版局 藝術学舎

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	20%		40%		40%	
補足	2回					

課題に関するフィードバックの方法	前時に提出した課題の内容について講義に取り上げるほか、試験の前回に返却して内容の振り返りを促します。

実務経験と授業の関連

該当	経験内容	学芸員
	科目との関連	自らの実践例と、経験、知識を活かし、ミュージアムでの展示を教授する。

質問への対応	授業内で伝えます。E-Mail で対応します。
資格	[芸]学芸員_必修
その他	博物館に限らず、できるだけ多くの展示を意識して捉え、多様な情報伝達・表現のあり方に触れることを心がけてください。

科目名	博物館情報・メディア論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	小杉　直美				

授業の目的

ねらい

生涯学習社会ならびに高度情報化社会における博物館の役割について、博物館情報を焦点にして学びます。急速に進む情報化は、博物館の役割を拡大しました。博物館は生涯学習推進拠点の一つとして、多様化、高度化する人々の学習ニーズの高まりに応える必要があるとともに、学校教育を支援する役割がこれまで以上に求められています。博物館における情報の意義と活用方法及び情報発信の課題等について理解し、博物館の情報の提供と活用等に関する基礎的能力を身につけます。また、革新的に進歩する情報技術を駆使した、あるべき博物館の将来像について、考察することを目的とします。

到達目標

(1)博物館における情報の意義について理解する。
(2)博物館における情報活用について理解する。
(3)博物館における情報発信の課題について理解する。
(4)博物館情報の展示等提供方法について理解する。
(5)博物館の活用等、将来について考察できる。

授業の計画

第1回	【テーマ】博物館における情報・メディアの意義 【計画内容】オリエンテーション(授業計画と受講心得について理解)のうえ、博物館における情報の意義(視聴覚メディアの理論と歴史)について学びます。 【授業時間外の学修内容】シラバスに目を通しておくこと。視聴覚メディアの歴史を調べておくこと。	A、H	第9回	【テーマ】博物館における情報発信 【計画内容】博物館における情報管理と情報公開について学びます。 【授業時間外の学修内容】第8回の授業で指定された課題に取り組んでおくこと。	A、M
第2回	【テーマ】メディアとしての博物館 【計画内容】視聴覚メディアの発展とともに、メディアとしての博物館について学びます。 【授業時間外の学修内容】第1回の授業で指定された課題に取り組んでおくこと。	A、H、L	第10回	【テーマ】博物館における情報機器活用 【計画内容】情報端末や新たなメディア等を含んだ情報機器の活用について学びます。 【授業時間外の学修内容】第9回の授業で指定された課題に取り組んでおくこと。	A、H、L
第3回	【テーマ】ICT 社会の中の博物館 【計画内容】情報資源の双方向活用と役割、学校・図書館・研究機関の情報化等について学びます。 【授業時間外の学修内容】第2回の授業で指定された課題に取り組んでおくこと。	A、F、H、L	第11回	【テーマ】博物館におけるインターネット活用 【計画内容】インターネットの活用を含んだ博物館における情報発信について学びます。 【授業時間外の学修内容】第10回の授業で指定された課題に取り組んでおくこと。	A、M
第4回	【テーマ】情報教育の意義と重要性 【計画内容】情報教育の意義と重要性について学ぶとともに、情報倫理について考察を深めます。 【授業時間外の学修内容】第3回の授業で指定された課題に取り組んでおくこと。	A、H、L	第12回	【テーマ】博物館と情報技術革新 【計画内容】博物館にかかわる情報技術革新について学びます。 【授業時間外の学修内容】第11回の授業で指定された課題に取り組んでおくこと。	A、H、L
第5回	【テーマ】博物館活動の情報化 【計画内容】博物館活動の情報化について、その沿革、調査研究活動、展示や教育活動について学びます。 【授業時間外の学修内容】第4回の授業で指定された課題に取り組んでおくこと。	A、H、L	第13回	【テーマ】博物館と知的財産 【計画内容】博物館における知的財産権(著作権等)、個人情報(肖像権等)、権利処理の方法について学びます。 【授業時間外の学修内容】第12回の授業で指定された課題に取り組んでおくこと。	A、M
第6回	【テーマ】博物館資料のデータベース化 【計画内容】博物館資料のドキュメンテーションとデータベース化について学びます。 【授業時間外の学修内容】第5回の授業で指定された課題に取り組んでおくこと。	A、H、L	第14回	【テーマ】展示情報の複線化 【計画内容】博物館のユニバーサル化に伴う、展示情報の複線化について学びます。 【授業時間外の学修内容】第13回の授業で指定された課題に取り組んでおくこと。	M
第7回	【テーマ】デジタルアーカイブ 【計画内容】デジタルアーカイブの現状と課題について学びます。 【授業時間外の学修内容】第6回の授業で指定された課題に取り組んでおくこと。	A、H、K、L	第15回	【テーマ】博物館の将来 【計画内容】博物館の将来について、考察し、考えを共有します。 【授業時間外の学修内容】博物館の将来像について、ディスカッションを行うため、各自の考えをレポートにまとめておくこと。	A、F、L
第8回	【テーマ】博物館メディアの役割と学習活用 【計画内容】映像理論、博物館メディアの役割と学習活用について学びます。 【授業時間外の学修内容】第7回の授業で指定された課題に取り組んでおくこと。	A、H、K、L			

テキスト	講義時に説明します
参考書	小笠原喜康、チルドレンズ・ミュージアム研究会、2006年、『博物館の学びをつくりだす - その実践へのアドバイス -』、ぎょうせい、9784324078891 村井良子他、2002年、『入門 ミュージアムの評価と改善』、アム・プロモーション 全国大学博物館学講座協議会西日本部会、2012年、『新しい博物館学』、芙蓉書房出版

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			40%		30%	30%
補足			レポート・記録ノート		発言の積極性・フィールドワーク等の取組	プレゼンテーション・ディスカッション

課題に関するフィードバックの方法	講義時ならびにメール、ポータルサイトを介して対応する。

実務経験と授業の関連		
該当	経験内容	ICT 関係企業勤務
	科目との関連	ICT にかかる技術指導、社内研修企画・実施経験を有する。

質問への対応	初回講義時に、オフィスアワーやメール等による質問方法について、具体的に説明します。
資格	[芸]学芸員_必修
その他	博物館等の見学学習を複数回予定しています。協同学習を取り入れていきますので、積極的に参加してください。

科目名	博物館教育論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	中島　宏一				

授業の目的

ねらい	利用者が主体的に学び楽しみ、自らが暮らす地域での自己発見、地域資源を再発見するミュージアムのあり方を学生と共に考える。さらに、日本のミュージアムの就労環境をもとに、学芸員のエデュケーター（博物館教育担当者）としての役割と技量、能力形成についての理解を深める。そして、ミュージアムが有する機能が地域社会を構成するうえで重要な役割を果たすことに対する理解を促すことを、授業の目的とする。
到達目標	(1)博物館教育の意義と理念について理解する。 (2)社会教育実践者としての博物館教育担当者の職務について理解する。 (3)博物館教育の実際について理解する。 (4)博物館と地域社会（学校、社会教育施設、家庭など）の関係について理解する。 (5)博物館利用の実態と利用者が主体的に学ぶ環境づくりについて理解する。

授業の計画

第1回	【テーマ】ガイダンス・オリエンテーション 【計画内容】授業のねらい、到達目標を学生と共有し、全15回にわたる授業の展開について理解を促す。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】博物館教育プログラムの企画、実施、評価② 【計画内容】学生が実際に教育プログラム（事業）を企画し、講師と学生で検証、評価をする。 【授業時間外の学修内容】事例となる博物館を取り上げ、学生が教育プログラム（事業）を企画する。	B
第2回	【テーマ】博物館教育の意義と理念 【計画内容】博物館（美術館、動物園、水族館、科学館などを含む）は社会教育施設であること。教育基本法、社会教育法、博物館法など関係法規の理解を深める。 【授業時間外の学修内容】教育基本法、社会教育法、博物館法など関係法規を確認しておくこと。	A	第10回	【テーマ】地域社会との連携①－学校 【計画内容】小学校の校外学習、中学校の課題学習、高等学校の修学旅行に対応した教育プログラムについて理解を深める。 【授業時間外の学修内容】学生が修学旅行などで学んだことを確認しておくこと。	A
第3回	【テーマ】生涯学習と博物館活動 【計画内容】老若男女が集い憩う、生涯学習の場としての博物館の機能について理解を深める。 【授業時間外の学修内容】生涯学習の理念、事例、ボランティア活動との相関関係を確認しておくこと。	A	第11回	【テーマ】地域社会との連携②－高齢者、障がい者支援 【計画内容】高齢者、障がい者に対応した教育プログラムに対する理解を深める。 【授業時間外の学修内容】バリアフリーに配慮した取り組みを確認しておくこと。	D
第4回	【テーマ】博物館ボランティアの学び① 【計画内容】博物館が提供する教育プログラムを学ぶ学習者であり、同プログラムを一般利用者に提供する役割も担う博物館ボランティアの活動に対する理解を深める。 【授業時間外の学修内容】博物館ボランティアの活動内容、ボランティアを導入している近郊施設を確認しておくこと。	D	第12回	【テーマ】博物館外での教育普及活動 【計画内容】移動博物館、他地域や施設における展示や体験活動など、地域社会に対する博物館教育のアウトリーチについての理解を深める。 【授業時間外の学修内容】大学のサテライト授業、出前授業なども参考にすること。	A
第5回	【テーマ】博物館ボランティアの学び② 【計画内容】博物館の館種別、展示構成、地域の特性などにより異なる博物館ボランティアの活動内容や行政（博物館）のボランティアに対する位置づけなどについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】美術館、動物園などのボランティアの活動内容について確認しておくこと。	B	第13回	【テーマ】観光学習と博物館①－海外観光客の受け入れ 【計画内容】昨今、観光学習に利用に注力する博物館があるなかで、地域資源に資料価値を求め、地域学習のより所となる博物館づくりに取り組む活動を学習する。 【授業時間外の学修内容】海外観光客の博物館利用の実態を、統計資料などから確認しておくこと。	A
第6回	【テーマ】多岐にわたる博物館教育プログラム 【計画内容】歴史系、美術系、自然史系、科学系博物館の特性を活かした教育プログラムの特徴についての理解を深め、効果的な教育プログラムを考察する。 【授業時間外の学修内容】近郊博物館の教育プログラム（事業）の特徴を確認しておくこと。	D	第14回	【テーマ】観光学習と博物館②－地域学、地元学のススメ 【計画内容】日本国内の観光形態が、個人旅行、着地型観光にシフトするなか、地域を知り学ぶことに対する需要が高まっている。その情報集積、発信基地として期待されるのが博物館である。そこで、これからの博物館像を学生と共に考える時間とする。 【授業時間外の学修内容】旅行した際の情報収集先としての博物館のあり方（展示、情報サービスの仕方など）を考えておくこと。	A
第7回	【テーマ】博物館における教育の方法 【計画内容】博物館で行われている様々な教育プログラムやその手法についての理解を深める。 【授業時間外の学修内容】展示、解説、講演会、講座、ワークショップなどのあり方について、自分なりの見解をまとめておくこと。	A	第15回	【テーマ】博物館教育担当者の使命 【計画内容】博物館教育担当者（エデュケーター）に求められる能力、技量についての理解を深める。 【授業時間外の学修内容】学芸員養成課程で学んでおくべきことをあらためて確認しておくこと。	A
第8回	【テーマ】博物館教育プログラムの企画、実施、評価① 【計画内容】教育プログラムの企画、実施、評価に至る一連の過程を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】近郊の博物館で行われている事業のプログラムを確認しておくこと。	B			

テキスト	講義時に説明します
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			30%		50%	20%
補足			レポート提出		積極的な発言	校外学習

課題に関するフィードバックの方法	博物館で活動するボランティアの学習に対する意識と習得した知識や技術の還元（提供）方法、博物館が実践する教育プログラムを体験的に学ぶため、野外博物館北海道開拓の村で校外学習を3回ほど行う予定です。詳しくは、初回授業時に説明します。

実務経験と授業の関連

該当	経験内容	博物館学芸員
	科目との関連	学芸員として、博物館の現場で教育プログラムの立案、実践、評価を行なう。

質問への対応	初回授業時に説明します。
資格	[芸]学芸員_必修
その他	

科目名	写真			授業形態	演習	単位数	2
教員名	松澤　衛						
授業の目的	ねらい	一眼レフデジタルカメラを使用して、写真についての知識を学ぶ。 普段、何気なく使っているデジタルカメラ、しかし、構造や仕組みを理解して使っている人は少ない。カメラの構造や、写真の仕組みを知ることで、よりイメージに合った写真を撮影することを習得する。					
	到達目標	(1)カメラの構造が理解できる。 (2)写真の仕組みを理解できる。 (3)写真とコンピュータの関係が理解できる。 (4)自分の思うような写真を撮影することができる。 (5)自分の応用ような写真を現像することができる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】ガイダンス : アナログとデジタルカメラの違いについて 【計画内容】フィルムとデジタルの違いについて学びます。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A、H、L	第9回	【テーマ】RAW データによる現像処理(1) 【計画内容】センサーの生データである RAW データの現像について学びます。 【授業時間外の学修内容】第8回で配付したプリントを読んでおくこと。	A、B、L、M
	第2回	【テーマ】カメラの構造 : レンズとボディ 【計画内容】カメラの構造について、実際のカメラを手にとって学びます。 【授業時間外の学修内容】第1回で配付したプリントを読んでおくこと。	A、B、L、M	第10回	【テーマ】RAW データによる現像処理(2) 【計画内容】デジカメ画像のポテンシャルを引き出す方法を学びます。 【授業時間外の学修内容】第9回で配付したプリントを読んでおくこと。	A、B、L、M
	第3回	【テーマ】ISO 感度と色温度 【計画内容】デジタルカメラになり自由度が増した ISO 感度と色温度について学びます。 【授業時間外の学修内容】第2回で配付したプリントを読んでおくこと。	A、B、L、M	第11回	【テーマ】テーマを決めて写真集作成(1) 【計画内容】頭の中にあるイメージを具体化する方法を学びます。 【授業時間外の学修内容】第10回で配付したプリントを読んでおくこと。	A、B、L、M
	第4回	【テーマ】シャッターと絞りについて 【計画内容】写真を撮影する上で使用するシャッターと絞りについて学びます。 【授業時間外の学修内容】第3回で配付したプリントを読んでおくこと。	A、B、L、M	第12回	【テーマ】テーマを決めて写真集作成(2) 【計画内容】イメージに合ったシャッタースピードと絞りの決め方について学びます。 【授業時間外の学修内容】第11回で配付したプリントを読んでおくこと。	A、B、L、M
	第5回	【テーマ】レンズによる画像変化 【計画内容】レンズの画角による画像の違いについて学びます。 【授業時間外の学修内容】第4回で配付したプリントを読んでおくこと。	A、B、L、M	第13回	【テーマ】テーマを決めて写真集作成(3) 【計画内容】イメージに合った画像現像を学びます。 【授業時間外の学修内容】第12回で配付したプリントを読んでおくこと。	B、L、M
	第6回	【テーマ】シャッターによる画像変化 【計画内容】シャッタースピードの変化による対象物の写り方の違いについて学びます。 【授業時間外の学修内容】第5回で配付したプリントを読んでおくこと。	A、B、L、M	第14回	【テーマ】テーマを決めて写真集作成(4) 【計画内容】イメージに合った画像のレイアウトについて学びます。 【授業時間外の学修内容】第13回で配付したプリントを読んでおくこと。	B、L、M
	第7回	【テーマ】絞りによる画像変化 【計画内容】被写界深度について学びます。 【授業時間外の学修内容】第6回で配付したプリントを読んでおくこと。	A、B、L、M	第15回	【テーマ】テーマを決めて写真集作成(5) 【計画内容】イメージに合った印刷方法について学びます。 【授業時間外の学修内容】第14回で配付したプリントを読んでおくこと。	A、B、F、L
	第8回	【テーマ】コンピュータへの取り込み 【計画内容】デジカメ画像からコンピュータへの取り込みについて学びます。 【授業時間外の学修内容】第7回で配付したプリントを読んでおくこと。	A、B、L、M				
テキスト	プリントを使用します						
参考書	講義内で紹介します						

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			25%	35%	25%	15%
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連	該当	経験内容	情報映像系事業経営
		科目との関連	写真撮影、現像の経験を活かし、写真について教授する。

質問への対応	E-Mail:mmamoru@hokusho-u.ac.jp Microsoft Teams を利用した授業を行います。
資格	
その他	いつでも写真を撮ってください。 Microsoft Teams 等を使用して、作品等の講評を随時します。

科目名	ファッション文化論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	冨田　玲子、大信田　静子				

授業の目的		
	ねらい	日本の伝統衣装である和装(着物)と日本に定着した洋装について学びます。過去の歴史を正しく認識することが現状把握に繋がり、それが未来への創造と展望を可能にする。ここでは、時代の背景や生活意識、ライフスタイルの関連性を明らかにし、古代から現代モードまでの変遷について考える。私たちの現在の服装がどのように作られ、なぜ、私たちの身近にあり私たちが選んで着るようになったのかを念頭において考える。
	到達目標	(1)社会環境の変化によって、人々の生活も変わり、服装も変化し、新しいモードが作られる過程を学び理解する。 (2)衣服の起源から学び、着ることの意義を把握し理解する。

授業の計画						
第1回	【テーマ】ガイダンス：講義の流れ・展開方法に関する説明 【計画内容】講義の流れ・展開及び評価方法について説明します。(大信田静子) 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】オートクチュールの有終の美 【計画内容】第2次世界大戦下の市民生活、オートクチュールと既製服業界、戦後の日本女性とモード。(冨田玲子) 【授業時間外の学修内容】オートクチュールについて、下調べをしておくこと。	A
第2回	【テーマ】ファッション文化：衣服の起源「着る」ことの意義 【計画内容】私たちは、なぜ、どのように「着る」のかを探っていくと共に衣服の基本形態・服飾史に残るオリエントの爪痕を見て行きます。(大信田静子) 【授業時間外の学修内容】配付プリントの内容を確認しておくこと。	A	第10回	【テーマ】1960年代のマス・ファッション 【計画内容】ヤングファッションの登場、プレタポルテの出現。(冨田玲子) 【授業時間外の学修内容】マス・ファッションについて、下調べをしておくこと。	A
第3回	【テーマ】衣服の変遷(1)上着・ネクタイ・ズボン 【計画内容】着用している衣服の上着・ネクタイ・ズボンが今日に至るまでの変遷を見て行きます。(大信田静子) 【授業時間外の学修内容】配付プリントの内容を確認しておくこと。	A	第11回	【テーマ】1970年代のモード界 【計画内容】日本人デザイナーの世界進出：高田賢三、三宅一生、山本寛斎、DC ブランド。(冨田玲子) 【授業時間外の学修内容】DC ブランドについて、下調べをしておくこと。	A
第4回	【テーマ】衣服の変遷(2)スカート・日本の服装化 【計画内容】14・16世紀、服飾に国民性が現れる時代、17世紀・18世紀、新しい価値観や美意識が形成される時代。更に貴族文化を背景として花開いた華麗な文化日本の服装も合わせて学んでいきます。(大信田静子) 【授業時間外の学修内容】配付プリントの内容を確認しておくこと。	A	第12回	【テーマ】1980年代のモード界 【計画内容】第2次ジャポニズム：日本人デザイナー川久保玲、山本耀司、世界のデザイナー：ヴィヴィアン・ウエストウッド。(冨田玲子) 【授業時間外の学修内容】ジャポニズムについて、下調べをしておくこと。	A
第5回	【テーマ】衣服の変遷(3)制服・民族衣装 【計画内容】制服の歴史からみる社会的な機能との関わりを見て行きます。日本人との関わりのある民族衣装の歴史を探っていきます。(大信田静子) 【授業時間外の学修内容】配付プリントの内容を確認しておくこと。	A	第13回	【テーマ】1990年代のモード界 【計画内容】第3次ジャポニズム :90年代デザイナージョン・ガリアーノ、マルタン・マルジェラ、アレキサンダー・マックイン。(冨田玲子) 【授業時間外の学修内容】ジョン・ガリアーノについて、下調べをしておくこと。	A
第6回	【テーマ】衣服の変遷(4)ナイトウェア・帽子・かつら・ハンカチ 【計画内容】ナイトウェアの歴史を日本も含め見て行きます。装飾品でもある帽子とかつらの関わりなども探っていきます。(大信田静子) 【授業時間外の学修内容】配付プリントの内容を確認しておくこと。	A	第14回	【テーマ】21世紀のモード界 【計画内容】グローバリゼーション、新素材による革新的モード、ユニバーサルファッション。(冨田玲子) 【授業時間外の学修内容】ユニバーサルファッションについて、下調べをしておくこと。	A
第7回	【テーマ】衣服の変遷(5)アクセサリー・化粧 【計画内容】生活と服装そして装飾品の歴史についても学んでいきます。(大信田静子) 【授業時間外の学修内容】配付プリントの内容を確認しておくこと。	A	第15回	【テーマ】まとめとレポートについて 【計画内容】これまでのまとめと確認を行います。(冨田玲子) 【授業時間外の学修内容】プリントを読み復習しておくこと。	A
第8回	【テーマ】様々な服装の変遷のまとめ 【計画内容】様々な衣服、更に民族衣装・装飾・付属品などの歴史を学び振り返り、まとめとしてレポートを作成していきます。(大信田静子) 【授業時間外の学修内容】配付プリントの内容を確認しておくこと。	G			

テキスト	プリントを使用します
参考書	千村典生、2009年、『ファッションの歴史』、株式会社平凡社、9784582620467 日置久子、2006年、『女性の服飾文化史』、東京出版編集部、4890136061 深井晃子、2010年、『世界服飾史』、美術出版社、978456840079

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	60%		20%		20%	
	補足			レポート		平時	

課題に関するフィードバックの方法	新しいモードが作られる過程を学びレポートによるフィードバックを行い学習に対する理解の一助となるようにする。

実務経験と授業の関連		経験内容	
		科目との関連	

質問への対応	冨田玲子：640研究室 E-Mail:reiko@hokusho-u.ac.jp 大信田静子：630研究室 E-Mail:shisieva@hokusho-u.ac.jp
資格	
その他	

科目名	マンガ表現研究	授業形態	演習	単位数	2
教員名	かじ　さやか				

授業の目的	
ねらい	皆さんが生まれた時から当たり前の様にそこにある漫画。日本で独自の発達を遂げた「マンガ」について現役の漫画家が「マンガを通じて現在の日本人のモノのとらえ方」を掴める様、講義を行ないます。 具体的には、マンガ独特の表現の解説を中心に、現代のマンガを取り巻く状況、マンガ発達の歴史、他のサブカルチャー（アニメーション、映画、フィギュア・プラモデルなど）との相互作用、海外での日本のマンガの評価の検証など行ないます。学生との対話を軸に図版を多用した講義と実技を行う予定です。
到達目標	(1)現代のマンガは日本人の伝統的なモノの見方、捉え方によって形作られている事を理解する。 (2)マンガは社会的に多様な影響を与えている事を理解する。 (3)マンガ独特の表現を学び、自分の表現に使用できるようになる。

授業の計画						
第1回	【テーマ】本講義のガイダンスと講師の紹介 【計画内容】本講義の説明並びに講師の紹介。学生諸氏のエントリーシートへの記入による自己紹介。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】萌えとオタク？変化していく言葉 【計画内容】一時期頻繁に聞くことがあった「萌え」という言葉は今ではほとんど聞かれない言葉になりました。と同時に「オタク」という言葉も意味が広がりライトでむしろカッコいい言葉になってきています。元々の意味はどういうものだったのか、なぜ意味が変わってしまうのか考えます。 【授業時間外の学修内容】第8回の講義で配付する予習プリントを読んで下さい。	A
第2回	【テーマ】日本人とマンガ -1「 マンガとは何か」 【計画内容】マンガ」を理解する為に漫画を解体、再構築します。マンガとは何なのか？どのような構成要素でできているのか、等をお話します。 【授業時間外の学修内容】第1回の講義で配付する予習プリントを読んで下さい。	A	第10回	【テーマ】規制される表現について 【計画内容】行政側が公序良俗や青少年の健全な育成を掲げ出版社や著作者に表現の規制を求めてくることがあります。何が規制され、何が許されているのか、またその表現の規制に意味や効果はあるのか、皆さんと考えます。 【授業時間外の学修内容】第9回の講義で配付する予習プリントを読んで下さい。	A
第3回	【テーマ】「マンガの描き方」-1　発想から制作まで 【計画内容】マンガ制作の流れを説明します。 【授業時間外の学修内容】第2回の講義で配付する予習プリントを読んで下さい。	A	第11回	【テーマ】日本文化のロボット観？西洋との違い 【計画内容】日本と西洋(キリスト教文化圏)はお互いに影響を及ぼし合ってきました。漫画やアニメ、映画に登場するロボット、AI、アンドロイドにはしばしば宗教観等の違いが現れてきます。このことから日本文化独特のもののとらえ方が見えてきます。 【授業時間外の学修内容】第10回の講義で配付する予習プリントを読んで下さい。	A
第4回	【テーマ】「マンガの描き方」-2　キャラクターとリアリティの創り方 【計画内容】マンガ制作の上で欠かす事の出来ないキャラクターとリアリティについて講義します。 【授業時間外の学修内容】第3回の講義で配付する予習プリントを読んで下さい。	A	第12回	【テーマ】著作権ってなぁに？/ ディズニーの神話と著作権にまつわる意外なできごと 【計画内容】そもそも著作権とはなんなのでしょう？「著作権を持つ」とはどういう事なのでしょうか？著作権の侵害、とはどのような行為なのでしょうか？著作権と文化の発展の関係についてお話します。 【授業時間外の学修内容】第11回の講義で配付する予習プリントを読んで下さい。	A
第5回	【テーマ】＜実習＞ キャラクターを造って、ペンとインクで描いてみよう① 【計画内容】オリジナルキャラクターを造ります。「キャラクターとは何か」をお話ししますので、皆さんのキャラクターを造りましょう。 【授業時間外の学修内容】第4回の講義で配付する予習プリントを読んで下さい	D	第13回	【テーマ】メディアミックスという戦略 【計画内容】マンガの持つ各メディアへの波及力を利用して商業的な相乗効果を狙うのがメディアミックスです。メディアミックスの歴史とその下地についてお話しします。 オタクたちの財布をこじあける戦略についても一緒に考えましょう。 【授業時間外の学修内容】第12回の講義で配付する予習プリントを読んで下さい。	A
第6回	【テーマ】＜実習＞ キャラクターを造って、ペンとインクで描いてみよう② 【計画内容】第5回で創造したキャラクターを「動かして」みましょう。また「つけペン」で作画の為のトレーニングをします。 【授業時間外の学修内容】作業が順調な学生は完成の準備をして下さい。遅れている学生はカバーして下さい。	D	第14回	【テーマ】＜実習＞実践！マンガ評論 【計画内容】30分程度のアニメーション作品を鑑賞し、それを評論して頂きます。 【授業時間外の学修内容】第13回の講義で配付する予習プリントを読んで下さい。	D
第7回	【テーマ】＜実習＞ キャラクターを造って、ペンとインクで描いてみよう③ 【計画内容】ホワイトやスクリーントーンを入れて第5回、第6回で描いたキャラクターを完成させます。 【授業時間外の学修内容】第5回、第6回で描いたキャラクターを完成させられるよう準備をしてください。	D	第15回	【テーマ】日本人とマンガ -2/「日本人の物事のとらえ方とマンガ」 【計画内容】日本のマンガ・アニメーション等は諸外国から注目され、浸透しています。歴史を振り返ると江戸時代の終わりから世界は日本の文化に注目してきました。ここから見えてくる「日本人とマンガ」について総論を述べます。 【授業時間外の学修内容】第14回の講義で配付する予習プリントを読んで下さい。	A
第8回	【テーマ】手塚治虫ってどんな人？ 【計画内容】「マンガの神様」と呼ばれる手塚治虫とはどのような人物だったのか。彼の漫画人生は漫画の歴史そのものです。そして彼が後に与えたマンガ・アニメ業界に対する影響について講義します。 【授業時間外の学修内容】第7回の講義で配付する予習プリントを読んで下さい。	A				

テキスト	プリントを使用します
参考書	プリントを使用します

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			50%		50%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	漫画家
		科目との関連	現役漫画家としての経験を生かし、発想から制作、評論まで広く指導する。

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。 メールアドレスは kajisayaka@gmail.com
資格	
その他	

科目名	都市と空間の法規	授業形態	講義	単位数	2
教員名	村中　敬維				

授業の目的		
	ねらい	本講義は、建築基準法をはじめとして建築関連法律等難解な文章と専門用語で構成されており、とっつきにくいものであります。しかし、その内容は、人々の生活、社会活動等の安全・安心の確保と維持・向上、良好・健全なまちづくりにとって重要かつ最も基本的なものであります。このような観点から、本講義は、これから建築、デザイン、インテリアを学び、将来この方面に進もうと考えている学生にとって最も基礎的なものの一つであり、福祉関係にとっても教養として知っておくことが多々あります。本講義は、構造、設備、設計演習等建築関連の他の科目と相互関係が深いことから、主要なねらいは、これらをよりよく理解できるように基礎的知識を吸収すること及び建築士受験(卒業後)準備に資することとします。
	到達目標	(1)代表的な条文を理解する。 (2)法令集の読み方を学ぶ。 (3)設問を解くことでより理解を深める。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】本講義の全体概要：目的・講義方針・日程等 【計画内容】ガイダンス、及び法令集を実際に読んでみます。 【授業時間外の学修内容】『建築法令集』を持参してください。シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】防火制限と内装制限：用語の定義、火災に対する構造制限 【計画内容】用語の定義、火災に対する構造制限について学びます。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A、B
	第2回	【テーマ】建築基準法の基礎知識：構成、用語の定義 【計画内容】構成、用語の定義を学びます。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A	第10回	【テーマ】防火制限と内装制限：耐火・準耐火建築、法22条区域、火災拡大防止規定 【計画内容】防火制限と内装制限に関する法令について学びます。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A、B
	第3回	【テーマ】建築基準法の基礎知識：手続き、適用建築物、敷地・面積・高さ等の算定基準 【計画内容】手続き、適用建築物、敷地・面積・高さ等の算定方法について学びます。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A、B	第11回	【テーマ】避難施設：避難経路、非常用避難施設 【計画内容】避難経路、非常用避難施設に関する法令について学びます。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A、B
	第4回	【テーマ】室内環境と安全：採光、換気に関する基準 【計画内容】採光、換気に関する基準について学びます。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A、B	第12回	【テーマ】構造強度：構造計算、構造に関する規定等 【計画内容】構造計算、構造に関する規定について学びます。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A、B
	第5回	【テーマ】室内環境と安全：構造、設備に関する基準 【計画内容】構造、設備に関する基準について学びます。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A、B	第13回	【テーマ】法のその他の規定：建築協定等 【計画内容】建築協定等について学びます。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A、B
	第6回	【テーマ】都市計画区域等による建築物の形態制限：都市計画区域、道路、用途地域 【計画内容】都市計画区域、道路、用途地域について学びます。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A、B	第14回	【テーマ】その他の法律：建築士法、建設業法他 【計画内容】建築士法、建設業法他について学びます。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A、B
	第7回	【テーマ】都市計画区域等による建築物の形態制限：面積、高さの制限 【計画内容】面積、高さの制限について学びます。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A、B	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】建築法規のまとめと振り返りを行います。 【授業時間外の学修内容】学んだこと、全体のまとめと振り返りに取り組むこと。	A、G、L
	第8回	【テーマ】都市計画区域等による建築物の形態制限：防火地域、準防火地域、その他の地域地区 【計画内容】用途地域に関する法令について学びます。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A、B			

テキスト	『建築基準法法令集』
参考書	関連資料・演習用資料を適宜配付します

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			60%		40%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	1級建築士
		科目との関連	1級建築士として働いた知識を実践的教育に役立てている。

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[芸]1・2級建築士_必修、インテリアプランナー_選必
その他	

科目名	住宅と空間の生産	授業形態	講義	単位数	2
教員名	新貝　孝之				

授業の目的		
	ねらい	本講義は、建築施工の基本的理論として、建築物が施工･生産される流れを踏まえながら、各種工事の内容や技術を紹介し、あわせて生産に際し必要な積算方法についても学ぶ。具体的には土工事、基礎工事から、仮設、型枠、コンクリート、木工事など各種工事の手法を解説する。
	到達目標	(1)建築施工の一連の流れを理解します。 (2)各種工事の内容や技術を理解します。 (3)建築現場を見学し建築施工を学びます。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】ガイダンス：建築一般、施工計画･施工管理とは 【計画内容】講義内容を具体的に説明する。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】左官工事、塗装工事 【計画内容】左官工事、塗装工事について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A、J
	第2回	【テーマ】建設現場見学 【計画内容】建設現場見学により建築施工を具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	B、G	第10回	【テーマ】防水工事、内装工事、断熱工事 【計画内容】防水工事、内装工事、断熱工事について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A、J
	第3回	【テーマ】仮設工事、土工事、基礎工事 【計画内容】仮設工事、土工事、基礎工事について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A、J	第11回	【テーマ】木工事 【計画内容】木工事について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A、J
	第4回	【テーマ】鉄筋工事 【計画内容】鉄筋工事について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A、J	第12回	【テーマ】タイル工事、ガラス工事、建具工事 【計画内容】タイル工事、ガラス工事、建具工事について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A、J
	第5回	【テーマ】型枠工事 【計画内容】型枠工事について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A、J	第13回	【テーマ】設備工事、施工機械 【計画内容】設備工事、施工機械について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A、J
	第6回	【テーマ】コンクリート工事 【計画内容】コンクリート工事について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A、J	第14回	【テーマ】工事契約、積算、見積① 【計画内容】工事契約、積算、見積について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A、J
	第7回	【テーマ】鉄骨工事 【計画内容】鉄骨工事について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A、J	第15回	【テーマ】積算、見積② 【計画内容】積算、見積について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A、G、L
	第8回	【テーマ】ブロック工事、屋根工事 【計画内容】ブロック工事、屋根工事について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A、J			

テキスト	プリントを配付します
参考書	関連資料･演習用資料を適宜配付します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			60%		40%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	1級建築士
		科目との関連	1級建築士として働いた知識を実践的教育に役立てている。

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[芸]1・2級建築士_必修、インテリアプランナー_選必
その他	

科目名	版画	授業形態	演習	単位数	2
教員名	森迫　暁夫				

授業の目的	
ねらい	「版とは何かを知る」を大前提とし、版画の基礎知識、四版式について学ぶ。比較的新しい表現方法であり、製品化しやすい孔版と、表現の方法がほぼ決まっている凹版を学ぶことで、版の可能性と表現の可能性を学ぶ。二つの技法から、版画のアート性と、身近さを感じ取る。版というフィルターを通すことによって、客観的な目を養い、自分の表現の幅を広げることを目標としたい。
到達目標	(1)凸版、凹版、平版、孔版の四版式を理解し、印刷と版画の基礎を学ぶ。 (2)凹版、孔版での作品制作を学ぶ(銅版、シルクスクリーン)。 (3)課題ごとにプレゼンテーションし、自分の作品を客観的に見る力をつける。 (4)複製が出来る楽しさ、既製品にする楽しさを知る(T シャツなど)。

授業の計画						
第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】授業についての説明。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】銅版(1)蔵書票 【計画内容】銅版エッチングで蔵書票を作る。蔵書票についての説明。原画。 【授業時間外の学修内容】スケッチブック、資料など、原画に必要なもの準備。	A、E
第2回	【テーマ】四版式について 【計画内容】凸版、凹版、平版、孔版についての講義。版と印刷の歴史と基礎。 【授業時間外の学修内容】今まで携わった版画について考え、版画が身近なものだということを学ぶ。予習として今までやってきた、版画と思うものを3つ考えておく。	A	第10回	【テーマ】銅版(2) 【計画内容】原画～銅版下準備(グランド引きなど)。 【授業時間外の学修内容】原画の終わっていないものは、自宅で作業を進めておく。作業着用意。	E
第3回	【テーマ】シルクスクリーン実技(1)T シャツ 【計画内容】原画描き。 【授業時間外の学修内容】第2回の講義で学んだことを生かし、製品になるということを踏まえた原画にする。予習としてある程度のラフを考えておく。	E	第11回	【テーマ】銅版(3) 【計画内容】原画を銅版に転写し、ニードルで書いていく。 【授業時間外の学修内容】原画から、作品に作りたい雰囲気や、空気をイメージしておく。線の描き方など。	E
第4回	【テーマ】シルクスクリーン(2) 【計画内容】版下の作成。 【授業時間外の学修内容】原画にそって、版の原本になる版下を切って(もしくは描いて)いく。第3回の授業で原画ができていない人は自宅できちんと終わらせておく。カッティングの技術の習得(デザインナイフ用意)。	E	第12回	【テーマ】銅版(4) 【計画内容】原画を銅版に転写し、ニードルで書いていく。 【授業時間外の学修内容】出来るだけ細やかな表現を目指すため、作業が進んでいない者、密度のある原画の者は自宅作業が必要。	E
第5回	【テーマ】シルクスクリーン(3) 【計画内容】製版(自分の絵を版にする)。製版の技術指導。 【授業時間外の学修内容】版下を使って製版する。第4回で版下が終わっていない場合は、自宅できちんと終わらせておく。	E	第13回	【テーマ】銅版(5) 【計画内容】腐食。ニードルで描いた版を塩化第二鉄で腐食する。 【授業時間外の学修内容】薬品使用につき、作業着必須。	E
第6回	【テーマ】シルクスクリーン(4) 【計画内容】製版2 【授業時間外の学修内容】版下を使って製版する。第4回で版下が終わっていない場合は、自宅できちんと終わらせておく。	E	第14回	【テーマ】銅版(6) 【計画内容】刷り。インクを詰めて、作った版を刷ってゆく。前回腐食が終わっていない学生は、この時間で腐食と刷り。 【授業時間外の学修内容】自宅にて作品の完成をイメージする。作業着必須。	E
第7回	【テーマ】シルクスクリーン(5) 【計画内容】刷り(T シャツに自分の柄を刷ってゆく)。刷りの技術指導。落版(版を落とす)。 【授業時間外の学修内容】第7回で刷りが終わらなかった学生は、自宅ではっきりと終わらせるイメージを持つ。ここで遅れている学生は、自宅作業必須。	E	第15回	【テーマ】プレゼンテーションと講評 【計画内容】版と表現について。 【授業時間外の学修内容】各自、自分の作った作品のレポートを提出。言葉で書くことは自分の表現をより分かりやすい形にすることを学ぶ。	A、E
第8回	【テーマ】シルクスクリーン(6)講評 【計画内容】各自の作品をプレゼンテーション。学生同士のディスカッションを混ぜながら講評していく。 【授業時間外の学修内容】講評についての準備。各自やり残しがないように準備する。	A、F、N			

テキスト	講義時に説明します
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分				40%	60%	
	補足					2課題	

課題に関するフィードバックの方法	授業始めにて口頭で行う。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	E-Mail：pokuchiki@gmail.com
資格	

その他	カリキュラムは時間ギリギリで組んであります。就職活動や、教育実習などで出席ができない場合、自宅での作業は必須となります。 インクや版は用意してありますが、T シャツなど、各自つくりたい物は実費となります。材料費として500円徴収致します。 筆記用具も持たず授業を受けに来たり、来てもふざけているだけという学生もおります。やる気の感じられない学生については相談した上で受講の取り消しをこちらからさせてもらう場合もありますので、よろしくお願いします。普通にしていればまずそんなことはありません。 第16回は大掃除の時間にします。必ず出席してください。

科目名	陶芸Ⅱ	授業形態	演習	単位数	2

教員名	北川　智浩

授業の目的		
	ねらい	電動ロクロを使用し、水挽きによる成形と削り仕上げを行う。「陶芸Ⅰ」で学んだ事を応用する。水挽の際は体の力を効率的に粘土に伝え、同じ形を繰り返し制作することで技術を身につける。小さい作品から少しずつ大きな作品を制作できるようにする。特に基本となる粘土の芯出しを十分指導し、体得する。また、過去に作られた名品の技法や特徴を理解することで、工芸の中における陶芸の特徴を学び、現代の陶芸作品を見る目を養う。
	到達目標	(1)水挽きは小さなものから制作し、数多く作品制作を行うことで技術を高める。 (2)後半には、同じ大きさの作品を揃えられることを目標とする。 (3)器の水挽きでは、内側で形をつくる事、乾燥や焼成での収縮を踏まえて形をつくることを理解する。 (4)過去に作られた名品の技法や特徴を理解することで、工芸の中における陶芸の特徴を学び、現代の陶芸作品を見る目を養う。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】電動ロクロの使用についての操作・授業の計画・目的の説明。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	B	第9回	【テーマ】湯呑の削り仕上げ 【計画内容】高台のバランスを考えて削り出す。 【授業時間外の学修内容】家にあるやきもの(湯呑)を観て触っておく。	B
	第2回	【テーマ】粘土練・芯出し・水挽き(小皿) 【計画内容】電動ロクロで一番重要な土練りと、中心の取り方、簡単な作品を制作する。 【授業時間外の学修内容】陶芸の国宝や重要文化財指定の作品画像を観て、作られた時代や技法・特徴を調べる。	B	第10回	【テーマ】水挽き(飯碗) 【計画内容】電動ロクロの基本である飯碗を制作する。粘土の収縮を踏まえ、予定した内側の形(径、深さ)に水挽する。 【授業時間外の学修内容】家にあるやきもの(飯碗)を観て触っておく。	B
	第3回	【テーマ】小皿の削り仕上げ 【計画内容】ロクロ用カンナを使用して、高台を削る。 【授業時間外の学修内容】陶芸の国宝や重要文化財指定の作品画像を観て、作られた時代や技法・特徴を調べる。	B	第11回	【テーマ】飯碗の削り仕上げ 【計画内容】飯碗の高台を削り出す。手取り(重さ)を考えて削る。 【授業時間外の学修内容】家にあるやきもの(飯碗)を観て触っておく。	B
	第4回	【テーマ】水挽き(小鉢) 【計画内容】見込みを平らに作る。内側で形をつくる。 【授業時間外の学修内容】家にあるやきもの(小鉢)を観て触っておく。	B	第12回	【テーマ】自由制作 【計画内容】今までに作った作品の応用で制作する。 【授業時間外の学修内容】陶芸の国宝や重要文化財指定の作品画像を観て、作られた時代や技法・特徴を調べる。	B
	第5回	【テーマ】小鉢の削り仕上げ 【計画内容】内側の形にあわせて形をととのえ、高台を削りだす。ロクロ用カンナを使用する。 【授業時間外の学修内容】家にあるやきもの(小鉢)を観て触っておく。	B	第13回	【テーマ】仕上げ 【計画内容】作品によって高台の形を変えて削り出す。 【授業時間外の学修内容】陶芸の国宝や重要文化財指定の作品画像を観て、作られた時代や技法・特徴を調べる。	B
	第6回	【テーマ】釉掛け・絵付け 【計画内容】高台を持って、釉薬を掛ける。 【授業時間外の学修内容】陶芸の国宝や重要文化財指定の作品画像を観て、作られた時代や技法・特徴を調べる。	B	第14回	【テーマ】釉掛け・絵付け 【計画内容】釉薬のかけ合わせなどを考えて釉掛けを行う。 【授業時間外の学修内容】陶芸の国宝や重要文化財指定の作品画像を観て、作られた時代や技法・特徴を調べる。	B
	第7回	【テーマ】作品完成・講評 【計画内容】出来上がった作品の成功・失敗の反省点を説明する。 【授業時間外の学修内容】陶芸の国宝や重要文化財指定の作品画像を観て作られた時代や技法・特徴を調べる。	B	第15回	【テーマ】作品の完成・講評 【計画内容】出来上がった作品の成功・失敗の反省点を説明する。 【授業時間外の学修内容】陶芸の国宝や重要文化財指定の作品画像を観て、作られた時代や技法・特徴を調べる。	B
	第8回	【テーマ】水挽き(湯呑) 【計画内容】電動ロクロの基本である湯呑を制作する。 【授業時間外の学修内容】家にあるやきもの(湯呑)を観て触っておく。	B			

テキスト	講義時に説明します
参考書	(公社)日本工芸会東日本支部編、『伝統工芸ってなに』、芸艸堂 野中春甫、『磁器の制作』、理工学社 松下亘、『小森忍の生涯』、江別市 / 江別市教育委員会

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分				60%	40%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	陶芸家
		科目との関連	陶芸作家として蓄積した知識や技術とともに、道具としてのやきものと粘土素材について具体的に紹介したいと思います。

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	
その他	「陶芸Ⅰ」を履修している事が望ましい。積み重ねが必要なので、数多く出席し、土に慣れること。 江別市セラミックアートセンター所蔵の小森忍作品(常設展示)を鑑賞する。 機会があれば、時代を経ても評価が高い国宝、重要文化財指定の作品の実物を鑑賞する。(東京国立博物館、国立近代美術館、根津美術館、五島美術館、サントリー美術館、大阪市立東洋陶磁博物館など)

科目名	木材工芸	授業形態	演習	単位数	2
教員名	阿部　吉伸				

授業の目的

ねらい	本授業では実習を中心に行う。制作を通して木の種類や木材の特性、道具の種類や使用方法、木材加工の種類や加工技術についての基礎的な知識を身につける。また、木を生活用具の主材としてきた日本の文化を理解し、日常的に使用するモノの使いやすさや、美しさ、木目や木肌の温かさに触れることの重要性を知り、木材工芸の面白さを体得することを目標とする。
到達目標	(1)作品の制作を通し、木材の特性を理解することができる。 (2)基礎的な各種手道具、電動工具の使用法を身につけることができる。 (3)刃物の取扱いについて理解し、安全に使用することができる。 (4)木材の特性を生かした作品を制作することができる。 (5)用途に応じた形態を考察し、美しく作品を仕上げることができる。

授業の計画

第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】講義内容について説明を行う。木工室利用についての決まり事や受講するにあたっての諸注意事項について理解する。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】制作(4)曲丸刀の扱いと木材の特性について 【計画内容】曲丸刀を使って順目で彫る(削る)方法を理解する。木材の特徴である木目(順目、逆目)について理解する。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを参考に、木材の特性(特に順目と逆目)について理解を深めておく。	A、E
第2回	【テーマ】工芸文化への理解(1)木材の特性と制作物について 【計画内容】制作するに当たり、木材についての理解を深める。また、具体的に制作物について知る。木材の特性を生かした日用品について触れ、日本人と木の関係について考える機会とする。 【授業時間外の学修内容】身の回りにある木を用いたクラフト品について関心を持ち、各種木材についての理解を深めておく。	A	第10回	【テーマ】制作(5)小刀の扱いと木材の特性、作業上の安全について 【計画内容】小刀を使って順目で彫る(削る)方法を理解する。再度、刃物の取り扱いについて様々な事例をもとに理解する(作業に慣れてくる時期で、ケガをしやすい時期でもあるので適宜注意する)。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを参考に、小刀の扱い方について理解を深めておく。	A、E
第3回	【テーマ】工芸文化への理解(2)使用する工具・各種手道具について 【計画内容】使用する各種手工具についての調整と手入れについて理解する。各種工具が教室のどこにあるかについて知る。日本古来より伝わる木工の道具類について、理にかなった構造であることを知ることで、木材に親しんできた日本の文化への理解を深める。 【授業時間外の学修内容】手持ちの木材加工に必要な各種道具について種類や用途を調べ理解を深めておく。	A、E	第11回	【テーマ】制作(6)印刀の扱いと木材の特性について 【計画内容】印刀を使って彫る方法(仕切り、やげん、片切り彫り等)を理解する。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを参考に、印刀の扱い方と印刀でできる表現方法について理解を深めておく。	A、E
第4回	【テーマ】創作のプロセス(1)用途と美しさと素材について 【計画内容】デザインを考え、エスキースを行う。形を生み出すために必要な観点(使いやすさ、美しさ、素材の魅力など)について考え制作を行う。素材を理解するために、日本の文化と木材の関わりについて考える。 【授業時間外の学修内容】身の回りにある日用品や、良いデザインと言われるモノの形態についてリサーチして理解を深めておく。	A、E	第12回	【テーマ】制作(7)鉋の扱いと木材の特性について 【計画内容】鉋を使って順目で彫る(削る)方法を理解する。 【授業時間外の学修内容】特に第3回の学習内容を復習し、鉋の構造について理解を深めておく。	A、E
第5回	【テーマ】創作のプロセス(2)形態を具体的に表す方法について 【計画内容】デザインを考え、三面図を制作するための行程を理解する。第4回の授業に引き続き、用途を満たしているか、造形的な美しさを感じるか、素材を生かしているかなどについて吟味する。 【授業時間外の学修内容】デザインした形態について(用途に適しているか、美しさを感じるものであるか)熟考しておく。また、三面図について理解を深めておく。	A、E	第13回	【テーマ】制作(8)ヤスリの扱いと木材の特性について 【計画内容】ヤスリの種類と使用方法と作品の仕上げ法を理解する。仕上げを行うために必要な各種の工夫について理解する。 【授業時間外の学修内容】ヤスリの種類(金ヤスリ、紙ヤスリ)について理解を深めておく。	A、E
第6回	【テーマ】制作(1)木工用機械の基本的な扱い方について(糸鋸盤・ボール盤) 【計画内容】材料に下書きし、糸鋸盤により切り出す。糸鋸盤とボール盤の使用方法について理解する。糸鋸刃の調整、刃の種類、ドリルビットの種類、安定した作業を行うための知識を修得する。 【授業時間外の学修内容】すぐに加工に入れるよう、本時までにエスキースや図面を考え形態を決定しておくこと。	A、E	第14回	【テーマ】制作(9)仕上げ(紙ヤスリ・塗料)について 【計画内容】紙ヤスリと耐水ペーパーの扱い方、各種塗料と安全に使用する方法や保管の仕方について理解を深める。 【授業時間外の学修内容】塗装の種類について理解を深めておくこと。	A、E
第7回	【テーマ】制作(2)刃物の管理と手入れと作業上の安全について 【計画内容】木工用刃物の種類とメンテナンスについて具体的事例を元に知る。また、刃物の取り扱いについて様々な事例をもとに理解する。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを参考に、木工用刃物の種類について調べておく。	A、E	第15回	【テーマ】講評会・作品提出 【計画内容】合評会を行う。反省点などを各自で発表する。作品制作を終え授業のねらいを再度確認し、授業のまとめをする。 【授業時間外の学修内容】自分の作品についてのコンセプト、反省点について制作を振り返りながらまとめておく。	A、L
第8回	【テーマ】制作(3)ノミの扱いと木材の特性について 【計画内容】木の種類とそれに適したノミの扱いを知る。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを参考に、木材の特性と種類について理解を深めておく。	A、E			

テキスト	適宜プリントを使用します
参考書	伊藤隆一、1978年、『木彫工芸』、美術出版 秋岡芳夫、1976年、『木工(道具の仕立)』、美術出版 文部科学省、『中学校学習指導要領』

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分				70%	30%	
補足				2点の提出作品をもって評価する		

課題に関するフィードバックの方法	課題2点のうち、1点目の課題作品の反省点を2点目に反映できるように個々に応じてアドバイスを行う。

実務経験と授業の関連		
該当	経験内容	札幌芸術の森木工指導員　特別支援学校教諭
	科目との関連	業務経験を元に実務に即した指導を行う。

質問への対応	毎回講義終了後に対応します。またはメールで対応します。 E-Mail:abe.yoshinobu@i.hokkyodai.ac.jp
資格	[芸]中1種(美術)_必修
その他	材料費が必要になります。初回に説明し、第2回講義時に徴収します。

科目名	舞台衣装Ⅰ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	冨田　玲子、大信田　静子				

授業の目的	
ねらい	舞台芸術分野の定期公演に合わせて舞台衣装を製作します。ストーリーを理解し、時代背景および衣装についての特徴をとらえ、ステージや映像の効果を最大限引き出す衣装を製作します。
到達目標	(1)時代背景および衣装についての特徴をとらえる。 (2)舞台衣装における研究成果をまとめ発表する。

授業の計画						
第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】講義を紹介して15回の講義展開を説明します。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】縫製仕様書作成 【計画内容】デザインに合わせた縫製手順をまとめて提出します。 【授業時間外の学修内容】時間内にできなかったことは進めておくこと。	D
第2回	【テーマ】資料収集 【計画内容】定期公演の演題に基づき、DVD 鑑賞や図書館、インターネットなどから資料を収集します。 【授業時間外の学修内容】演題に基づいて資料収集をしておくこと。	D	第10回	【テーマ】本縫い 【計画内容】グループごとに縫製手順をもとに、縫製します。 【授業時間外の学修内容】時間内にできなかったことは進めておくこと。	D
第3回	【テーマ】マップ作成 【計画内容】集めた資料をもとに登場人物ごとにマップを作ります。 【授業時間外の学修内容】台本の内容を熟読し、登場人物について理解を深めること。	D	第11回	【テーマ】本縫い 【計画内容】グループごとに縫製手順をもとに、縫製します。 【授業時間外の学修内容】時間内にできなかったことは進めておくこと。	D
第4回	【テーマ】デザイン·素材決定 【計画内容】時代背景および衣装の特徴をとらえ、登場人物ごとにデザイン、素材を選定します。 【授業時間外の学修内容】台本の内容を熟読してくること。	D	第12回	【テーマ】試着補正·型紙の訂正 【計画内容】デザイン画を基に役者に合わせて試着補正をし、型紙上で訂正、CAD を利用します。 【授業時間外の学修内容】時間内にできなかったことは進めておくこと。	D
第5回	【テーマ】パターン作成 【計画内容】デザイン画をもとに平面裁断、立体裁断によるパターンの作成を行います。 【授業時間外の学修内容】役者に合わせて採寸をしていること。	D	第13回	【テーマ】トータルコーディネート 【計画内容】時代背景や衣装について考察し、トータルコーディネートとしての帽子、靴、手袋など小物を考えます。 【授業時間外の学修内容】時間内にできなかったことは進めておくこと。	D
第6回	【テーマ】トワル作成·試着補正 【計画内容】天竺に出来上がったパターンで裁断し、仮に縫製をして縫い合わせ試着補正をします。 【授業時間外の学修内容】時間内にできなかったパターンを仕上げること。	D	第14回	【テーマ】最終チェック 【計画内容】役者に合わせて最終試着補正をします。 【授業時間外の学修内容】時間内にできなかったことは進めておくこと。	D
第7回	【テーマ】素材選定·試着補正·型紙訂正 【計画内容】トワル組をした作品群の素材を決め、試着補正、型紙訂正を行います。 【授業時間外の学修内容】時間内にできなかったことは進めておくこと。	D	第15回	【テーマ】研究成果 【計画内容】舞台衣装における研究成果を定期公演において発表します。 【授業時間外の学修内容】時間内にできなかったことは進めておくこと。	D
第8回	【テーマ】裁断 【計画内容】表地の上にパターンを置いて裁断をします。同時に裏地、芯地も裁断します。 【授業時間外の学修内容】時間内にできなかった型紙の訂正は仕上げておくこと。	D			

テキスト	プリントを使用します
参考書	適宜に紹介します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分				50%	50%	
	補足				作品への取組	平時	

課題に関するフィードバックの方法	制作過程の中で、その都度評価を行い、良い点および改善点を伝える。達成感を味わえているか、講評によるフィードバックを行い、学習に対する理解の一助となるようにする。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	640研究室　E-Mail:reiko@hokusho-u.ac.jp
資格	
その他	定期公演の7日前には、衣装が出来上がっていることが望ましいでしょう。

科目名	舞台衣装Ⅱ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	冨田　玲子、大信田　静子				

授業の目的		
	ねらい	舞台芸術分野の冬の定期公演に合わせて舞台衣装を製作します。ストーリーを理解し、時代背景および衣装についての特徴をとらえ、ステージや映像の効果を最大限引き出す衣装を製作します。
	到達目標	(1)時代背景および衣装についての特徴をとらえる。 (2)舞台衣装における研究成果をまとめ発表する。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】講義を紹介して15回の講義展開を説明します。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	D	第9回	【テーマ】縫製仕様書作成 【計画内容】デザインに合わせた縫製手順をまとめて提出します。 【授業時間外の学修内容】時間内にできなかったことは進めておくこと。	D
	第2回	【テーマ】資料収集 【計画内容】定期公演の演題に基づき、DVD 鑑賞や図書館、インターネットなどから資料を収集します。 【授業時間外の学修内容】演題に基づいて資料収集をしておくこと。	D	第10回	【テーマ】本縫い 【計画内容】グループごとに縫製手順をもとに、縫製します。 【授業時間外の学修内容】時間内にできなかったことは進めておくこと。	D
	第3回	【テーマ】マップ作成 【計画内容】集めた資料をもとに登場人物ごとにマップを作ります。 【授業時間外の学修内容】台本の内容を熟読し、登場人物について理解を深めること。	D	第11回	【テーマ】本縫い 【計画内容】グループごとに縫製手順をもとに、縫製します。 【授業時間外の学修内容】時間内にできなかったことは進めておくこと。	D
	第4回	【テーマ】デザイン·素材決定 【計画内容】時代背景および衣装の特徴をとらえ、登場人物ごとにデザイン、素材を選定します。 【授業時間外の学修内容】台本の内容を熟読してくること。	D	第12回	【テーマ】試着補正·型紙の訂正 【計画内容】デザイン画を基に役者に合わせて試着補正をし、型紙上で訂正、CAD を利用します。 【授業時間外の学修内容】時間内にできなかったことは進めておくこと。	D
	第5回	【テーマ】パターン作成 【計画内容】デザイン画をもとに平面裁断、立体裁断によるパターンの作成を行います。 【授業時間外の学修内容】役者に合わせて採寸をしていること。	D	第13回	【テーマ】トータルコーディネート 【計画内容】時代背景や衣装について考察し、トータルコーディネートとしての帽子、靴、手袋など小物を考えます。 【授業時間外の学修内容】時間内にできなかったことは進めておくこと。	D
	第6回	【テーマ】トワル作成·試着補正 【計画内容】天竺に出来上がったパターンで裁断し、仮に縫製をして縫い合わせ試着補正をします。 【授業時間外の学修内容】時間内にできなかったパターンを仕上げること。	D	第14回	【テーマ】最終チェック 【計画内容】役者に合わせて最終試着補正をします。 【授業時間外の学修内容】時間内にできなかったことは進めておくこと。	D
	第7回	【テーマ】素材選定·試着補正·型紙訂正 【計画内容】トワル組をした作品群の素材を決め、試着補正、型紙訂正を行います。 【授業時間外の学修内容】時間内にできなかったことは進めておくこと。	D	第15回	【テーマ】まとめとレポート 【計画内容】舞台衣装における研究成果を定期公演において発表します。 【授業時間外の学修内容】時間内にできなかったことは進めておくこと。	D
	第8回	【テーマ】裁断 【計画内容】表地の上にパターンを置いて裁断をします。同時に裏地、芯地も裁断します。 【授業時間外の学修内容】時間内にできなかった型紙の訂正は仕上げておくこと。	D			

テキスト	プリントを使用します
参考書	適宜に紹介します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分				60%	40%	
	補足				作品への取組	平時	

課題に関するフィードバックの方法	制作過程の中で、その都度評価を行い、良い点および改善点を伝える。達成感を味わえているか、講評によるフィードバックを行い、学習に対する理解の一助となるようにする。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	640研究室　E-Mail:reiko@hokusho-u.ac.jp
資格	
その他	定期公演の10日前には、衣装が出来上がっていることが望ましいでしょう。

科目名	建築一般構造演習	授業形態	演習	単位数	2
教員名	小室　晴陽				

授業の目的		
	ねらい	鉄筋コンクリート造･鉄骨造･木構造における構造特性及び材料特性について、実務に必要な技術を、演習課題などを通じて身につけていく。これまで習得した知識･技術を建築一般構造の面から再整理し、それらをより確実なものにするための科目として位置付けられる。以上を通じて建築士として具備すべき建築材料･建築構法面での基礎力を身につけ、建築一般構造に関する知識を獲得する。
	到達目標	(1)建築一般構造と各部の構造･接合部の特徴について理解する。 (2)建築材料の加工組み立て方法による変化を理解する。 (3)在来軸組構法とツー･バイ･フォー(枠組壁)構法の特徴の違いを理解する。 (4)鉄筋コンクリート建築物、鉄骨造建築物、木構造について理解する。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】授業ガイダンス : 授業の展開説明 / 鉄筋コンクリート建築物のできるまで① 【計画内容】授業ガイダンス及び、鉄筋コンクリート建築物のできるまでを具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A、B	第9回	【テーマ】鉄筋コンクリート構造① 【計画内容】鉄筋コンクリート構造 : ＲＣ構造の特徴、構造形式について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A、B
	第2回	【テーマ】鉄筋コンクリート建築物のできるまで② 【計画内容】鉄筋コンクリート建築物のできるまでを具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A、B	第10回	【テーマ】鉄筋コンクリート構造② 【計画内容】鉄筋コンクリート構造 : 部材の設計(許容応力度、配筋の基本)について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A、B
	第3回	【テーマ】鉄骨造建築物のできるまで 【計画内容】鉄骨造建築物のできるまでを具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A、B	第11回	【テーマ】鉄筋コンクリート構造③ 【計画内容】鉄筋コンクリート構造 : 部材の設計(はり、柱、床スラブ、耐震壁)について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A、B
	第4回	【テーマ】木構造① 【計画内容】木構造の各部の構造(基礎、土台、柱、梁、桁、胴差)について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A、B	第12回	【テーマ】鉄筋コンクリート構造④ 【計画内容】鉄筋コンクリート構造 : 部材の設計、耐震壁以外の壁(外壁、階段、基礎、鉄筋)について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A、B
	第5回	【テーマ】木構造② 【計画内容】木構造 : 各部の構造、構造耐力上必要な軸組、小屋組、床組、真壁と大壁について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A、B	第13回	【テーマ】壁式鉄筋コンクリート構造 【計画内容】壁式鉄筋コンクリート構造(規模、耐力壁、壁ばり、屋根版)について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A、B
	第6回	【テーマ】木構造③ 【計画内容】木構造 : 接合部(継手、仕口、接合部金物)について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A、B	第14回	【テーマ】鉄骨造建築物の特徴 【計画内容】鉄骨造建築物の特徴について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A、B
	第7回	【テーマ】木構造④ 【計画内容】木構造 : 部材の設計、木材の許容応力度、部材の設計(引張材、圧縮材、曲げ材)について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A、B	第15回	【テーマ】本授業のまとめ 【計画内容】本授業で学び習得してきた内容について振り返り授業全体をまとめつつ、建築一般構造を再確認する。 【授業時間外の学修内容】これまでの学習内容を再確認しておくこと。	A、B
	第8回	【テーマ】木構造⑤ 【計画内容】木構造 : 主要構造部以外の構造、枠組壁工法(ツー･バイ･フォー工法)について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A、B			

テキスト	自作プリントを配付します。
参考書	今村仁美･田中美都、2004年、『図説 やさしい建築一般構造』、学芸出版社

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	30%		30%		40%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	課題の提出及び返却の際ににコメントを伝えます。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	企業内建築部門での一級建築士としての設計実務経験、能力開発大学校での建築施工技術の指導経験あり。
		科目との関連	実務経験等を活かし鉄筋コンクリート造、鉄骨造の特徴と構造計画の基本について教授する。

質問への対応	120研究室(小室研究室)でオフィスアワーなどの時間を利用して適宜対応します。
資格	[芸]1級建築士_必修、2級建築士_選必
その他	学んだ内容を振り返りながら、提出された課題等に対してコメントを伝えます。

科目名	３Ｄグラフィックス Ⅱ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	松澤　衛				
授業の目的	ねらい	3次元 CG におけるアニメーションについて学びます。物体、カメラ、ライト等のアニメーション方法から、キャラクターの動作付けを学び、3次元 CG アニメーションを自在に作ることを習得します。			
	到達目標	(1)キーフレームについて理解できる。 (2)キャラクターを作ることができる。 (3)物体を自在にアニメーションできる。 (4)レンダリングについて理解できる。 (5)キャラクターアニメーションについて理解できる。			

授業の計画						
	第1回	【テーマ】ガイダンス :2年後学期の「3D グラフィックスⅠ」の復習と「3D グラフィックスⅠ」との違いについて 【計画内容】静止画とアニメーションの違いについて学びます。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A、F、H、L	第9回	【テーマ】キャラクターの表情設定 【計画内容】モーファーについて学びます。 【授業時間外の学修内容】第8回で配付したプリントを読んでおくこと。	B、L
	第2回	【テーマ】キーフレームを使ったアニメーション1: 簡単な物体の移動 【計画内容】アニメーションの第一歩キーフレームについて学びます。 【授業時間外の学修内容】第1回で配付したプリントを読んでおくこと。	B、L	第10回	【テーマ】3次元 CG アニメーション制作1: ストーリーを考える 【計画内容】オリジナルのアニメーションのストーリーを考える方法を学びます。 【授業時間外の学修内容】第9回で配付したプリントを読んでおくこと。	B、J、L
	第3回	【テーマ】キーフレームを使ったアニメーション2: 質感の変化 【計画内容】色や材質が変化するアニメーションの方法を学びます。 【授業時間外の学修内容】第2回で配付したプリントを読んでおくこと。	B、L	第11回	【テーマ】3次元 CG アニメーション制作2: ストーリーに沿ったモデルの作成1 【計画内容】ストーリーに合ったキャラクターの作成方法を学びます。 【授業時間外の学修内容】第10回で配付したプリントを読んでおくこと。	B、L
	第4回	【テーマ】キーフレームを使ったアニメーション3: カメラワーク 【計画内容】カメラの変化によるアニメーションの方法について学びます。 【授業時間外の学修内容】第3回で配付したプリントを読んでおくこと。	B、L	第12回	【テーマ】3次元 CG アニメーション制作3: ストーリーに沿ったモデルの作成2 【計画内容】ストーリーに合った、背景画像の作成方法を学びます。 【授業時間外の学修内容】第11回で配付したプリントを読んでおくこと。	B、L
	第5回	【テーマ】キーフレームを使ったアニメーション4: 物体の一部の変形 【計画内容】形状の変化によるアニメーションについて学びます。 【授業時間外の学修内容】第4回で配付したプリントを読んでおくこと。	B、L	第13回	【テーマ】3次元 CG アニメーション制作4: アニメーション制作1 【計画内容】ストーリーに合ったキャラクターの動きの設定方法を学びます。 【授業時間外の学修内容】第12回で配付したプリントを読んでおくこと。	B、L
	第6回	【テーマ】簡単なキャラクターの作成 【計画内容】人間の形をしたキャラクターの作成について学びます。 【授業時間外の学修内容】第5回で配付したプリントを読んでおくこと。	B、L	第14回	【テーマ】3次元 CG アニメーション制作5: アニメーション制作2 【計画内容】背景、キャラクター、カメラのアニメーションについて学びます。 【授業時間外の学修内容】第13回で配付したプリントを読んでおくこと。	B、L
	第7回	【テーマ】キャラクターに骨組みを設定 【計画内容】作成したキャラクターにボーンを入れる方法を学びます。 【授業時間外の学修内容】第6回で配付したプリントを読んでおくこと。	B、L	第15回	【テーマ】3次元 CG アニメーション制作6: レンダリング書き出し 【計画内容】最終作品の出力について学びます。 【授業時間外の学修内容】第14回で配付したプリントを読んでおくこと。	B、F、L
	第8回	【テーマ】キャラクターの歩行･ポリゴンの調整 【計画内容】ポリゴンの乱れを編集する方法を学びます。 【授業時間外の学修内容】第7回で配付したプリントを読んでおくこと。	B、L			

テキスト	プリントを使用します
参考書	講義内で紹介します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			25%	35%	25%	15%
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連	該当	経験内容	情報映像系事業経営
		科目との関連	3DCG 作成の経験を活かし、3次元アニメーションについて教授する。

質問への対応	E-Mail:mmamoru@hokusho-u.ac.jp Microsoft Teams を利用した授業を行います。
資格	
その他	雑誌『CG WORLD』を読んでください。 Microsoft Teams 等を使用して、作品等の講評を随時します。

科目名	サウンドデザイン	授業形態	演習	単位数	2
教員名	向山　千晴				
授業の目的	ねらい	音を扱う事によって想像力の育成と、表現の探究の幅を広げることを目的とする。 自己表現のデバイスとして、コンピュータを使用した表現について学ぶ。			
	到達目標	(1)コンピュータとソフトウェアの使い方を初歩から学ぶ。 (2)音響や音楽に興味を持つ。 (3)オリジナルな自己表現の可能性を模索する。 (4)イメージが実際に形になっていく喜びを知る。 (5)自分の作品や存在を外側に発信していく方法を学ぶ。			

授業の計画						
第1回	【テーマ】コンピュータ表現における現在と未来の可能性について 【計画内容】様々な作品を見ながら、今とこれからの音や音楽の制作における可能性について考える。 【授業時間外の学修内容】自分はこれからどんな分野でどういった作品を創りたいかなど考えてみると良い。	B	第9回	【テーマ】ダイナミクス系と空間系のエフェクト処理について 【計画内容】音楽のミキシングの際に押さえておきたいエフェクトの種類と効果、使い方について説明・実践してみる。 【授業時間外の学修内容】前回同様、完成形のイメージをしっかり持ってその為に何をどうすべきか考えておく。	B
第2回	【テーマ】基本的なパソコンの操作と取り扱いについて 【計画内容】ディスプレイでの操作指示と解説に従って、実際にパソコンを触りながら習得する。 【授業時間外の学修内容】コンピュータの基本操作やソフトの立ち上げ・終了など理解しているとベスト。	B	第10回	【テーマ】作品の完成と発表(1) 【計画内容】完成した作品を発表し、それぞれのお互いの作品について感想を述べる。自分の作品をどう伝えたいかビジョンを持ち、他の作品を聴いた際の自身の感想・考えをしっかり持つ。 【授業時間外の学修内容】自分の作品をどう説明するかについて考えておく。	B
第3回	【テーマ】シーケンスソフト「Logic Pro」についての説明(1) 【計画内容】実際に「Logic Pro」を立ち上げて、使い方の説明を行う。基本的な操作方法を最初に説明する。 【授業時間外の学修内容】前回の内容を確認しておくこと。筆記用具持参で操作に関するメモを取ること。	B	第11回	【テーマ】波形編集について 【計画内容】オーディオトラックの波形について。分解能やサンプリング・レートについて。 実際に波形を編集する方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】今までに習った全ての事柄を復習しておく。ソフトの使い方などしっかり頭に入れておく。	B
第4回	【テーマ】シーケンスソフト「Logic Pro」についての説明(2) 【計画内容】実際に「Logic Pro」を立ち上げて、使い方の説明を行う。基本的な操作方法を最初に説明する。 【授業時間外の学修内容】先週のメモを参照し、前回の内容を復習しておくこと。	B	第12回	【テーマ】レコーディング実習 【計画内容】オーディオトラックを作成して、実際に音を録音してみる。録音したトラックを編集してみる。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容メモを確認しながら、実習にのぞむこと。	B
第5回	【テーマ】Loop 音源など Sample を使った短い楽曲制作 【計画内容】「Logic Pro」に内蔵された Loop 音源を使用して、楽曲を組み立ててみる。 【授業時間外の学修内容】普段音楽を聴かない人は音楽を聴いてみる。好きな楽曲や、アーティストについて考えてみる。	B	第13回	【テーマ】録音音源を使った楽曲制作(1) 【計画内容】複数トラックに様々な音を録音して楽曲を制作する。短い電子音響音楽作品制作にチャレンジしてみる。 【授業時間外の学修内容】録音したい素材をピックアップして持参する。マイクとの位置や音量など考えつつ録音作業を行う。	B
第6回	【テーマ】編曲制作(1) 【計画内容】ソフトウェアトラックとオーディオトラックの違いなどについて。 実際にノーテーション・データを入力してみる。 【授業時間外の学修内容】音符の種類と長さなど、基本的な音とリズムについて理解していると良い。	B	第14回	【テーマ】録音音源を使った楽曲制作(2) 【計画内容】オートメーションについて学ぶ。 ミキシングトラックやプラグイン・エフェクトのオートメーション処理を行い、楽曲を完成させる。 【授業時間外の学修内容】どんな響きでどういうイメージの作品を創りたいか明確にしておく。	B
第7回	【テーマ】編曲制作(2) 【計画内容】各プラグイン音源について説明する。どんなカテゴリーの楽器や音の種類がプリセットにあるのか 実際に音を出してみて理解する。 【授業時間外の学修内容】音楽のジャンルについてや、それぞれ使用される楽器の種類について考えてみる。	B	第15回	【テーマ】作品の完成と発表(2) 【計画内容】作品を最終的にステレオ・オーディオファイルにバウンスして書き出す。 楽曲のバックグラウンドと意図などを発表の際に説明する。 【授業時間外の学修内容】とにかく創作の楽しさを知る。そしてこの先もスキルを生かして表現活動を行う実感を得られるよう考えてみる。	B
第8回	【テーマ】作品の編集・ミキシングについて 【計画内容】制作した作品の各トラックの音量調節やミキサートラックでの操作について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】自分の作品をどのように聴かせたいか、しっかりイメージを固めておく。	B			

テキスト	講義時に説明します
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分				80%	20%	
	補足				作品を完成させて発表	演習態度	

課題に関するフィードバックの方法	作品発表会を行い、制作楽曲について講評します。

実務経験と授業の関連		経験内容	
		科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	
その他	出席回数と講義態度、作品発表のみで成績がつきます。毎週大切な事を順番に説明していくので、欠席するとソフトウェアの使用方法が理解出来なくなり、自ずと制作に影響をきたすので注意してください。 大学の定める出席回数をクリアして、最終作品発表に出席、作品提出を行う必要があります。

科目名	トータルビューティ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	中田　純子				
授業の目的	ねらい	ヘアーとメイクアップ、容姿、服装、マナーなどトータルビューティに関する基礎知識と理論、技術のテクニックを学びます。また目指す職種に近づくためのメイク法、表現するための知識を学びます。			
	到達目標	(1)トータルビューティの基礎知識が分かります。 (2)外見と内面を磨くことにより自信がつくようになります。 (3)自分のイメージを表現出来るようになります。 (4)就職活動に必要なテクニックがわかる様になります。			

授業の計画						
	第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】授業の展開を説明します。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】パーソナルメイク 【計画内容】プリントを参照しながらイメージを作る練習をします。 【授業時間外の学修内容】実技練習とファッション雑誌を見ておくこと。	D、K
	第2回	【テーマ】プレメイク 【計画内容】スキンケアの実技からメイクのプロセスに入り、下地からファンデーションのテクニックまで練習します。 【授業時間外の学修内容】実技の復習をしておくこと。	D	第10回	【テーマ】イメージメイクⅠ 【計画内容】自分の顔から相モデルでのメイクの仕方を学びます。 【授業時間外の学修内容】イメージの準備をしておくこと。	D
	第3回	【テーマ】ベースメイク 【計画内容】ベース、ファンデーション、コンシーラー、パウダーまで実技練習します。 【授業時間外の学修内容】実技の復習をしておくこと。	D	第11回	【テーマ】イメージメイクⅡ 【計画内容】ステージ、スチールの表現方法を学びます。 【授業時間外の学修内容】プリントを参照し確認しておくこと。	D
	第4回	【テーマ】アイメイクⅠ 【計画内容】筆の種類と選び方、アイシャドー、アイライン、アイラッシュの練習をします。 【授業時間外の学修内容】実技の復習をしておくこと。	D	第12回	【テーマ】イメージメイクⅢ 【計画内容】職業別メイク、面接用メイクを練習します。 【授業時間外の学修内容】復習をしておくこと。	D
	第5回	【テーマ】アイメイクⅡ 【計画内容】アイシャドーの選び方、アイライン、アイラッシュのテクニックの練習をします。 【授業時間外の学修内容】実技練習をしておくこと。	D	第13回	【テーマ】基礎知識 【計画内容】就職活動に向けてのヘアーメイク、服装、マナーについて学びます。 【授業時間外の学修内容】実技の復習とプリント確認をしておくこと。	A
	第6回	【テーマ】アイブロー 【計画内容】眉の形、描き方、眉カットの練習をします。 【授業時間外の学修内容】実技練習をしておくこと。	D	第14回	【テーマ】自分を磨くテクニック 【計画内容】立ち振舞い、会話術、美しく見せるレッスンをします。 【授業時間外の学修内容】実践練習と確実に習得しておくこと。	E
	第7回	【テーマ】チークとリップ 【計画内容】チークの入れ方、色の入れ方の練習をします。 【授業時間外の学修内容】実技練習をしておくこと。	D	第15回	【テーマ】トータルメイク確認 【計画内容】復習をかねて、実習と総まとめします。 【授業時間外の学修内容】これまでの復習と確認をしておくこと。	D、L
	第8回	【テーマ】アートメイク 【計画内容】雑誌を参照しながらアートしていきます。 【授業時間外の学修内容】実技練習とアートメイクのイメージを考えておくこと。	D			

テキスト	プリントを使用します
参考書	プリントを使用します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分		30%		30%	40%	
	補足		メイクテスト			取組意欲	

課題に関するフィードバックの方法	口頭で説明します。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	美容家
		科目との関連	現在の経験を活かし、今のニーズにフィットした授業内容をおこなう。

質問への対応	授業時に対応します。
資格	
その他	授業初回で説明します。

科目名	バックステージ研究Ⅰ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	村松　幹男、田　光子、平井　伸之、五ノ井　浩、福田　恭一、藤原　宏行、干場　美恵子、吉田　ひでお				

授業の目的		
	ねらい	バックステージスタッフ(照明·音響·装置美術·衣装メイクなど)の役割について基本的なことを復習した後、知識·技能の発展を図る。また10分程度の芝居を実際にポルトホールで上演し、実践を図る。
	到達目標	(1)バックステージスタッフの役割を理解し、その基本的な知識·技能がある。 (2)バックステージスタッフの役割を理解し、プランを立てることができる。 (3)バックステージスタッフの役割を理解し、基礎的な実践ができる。

授業の計画						
第1回	【テーマ】オリエンテーション バックステージ(照明·音響·装置美術·衣装メイク)の基礎① 【計画内容】バックステージの基本的な知識·技能を再確認する。(村松幹男·田光子·平井伸之) 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】5分間ストーリー(ワークショップへの展開を考える)① 【計画内容】芝居を実際に作り上げることで習得した技能を確実なものにする。 (村松幹男·五ノ井浩·干場美恵子) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。配付した資料を読んでおくこと。	E、H
第2回	【テーマ】バックステージ(照明·音響·装置美術·衣装メイク)の基礎② 【計画内容】バックステージの基本的な知識·技能を再確認する。(田光子·五ノ井浩·干場美恵子·福田恭一) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。配付した資料を読んでおくこと。	A、E、H	第10回	【テーマ】5分間ストーリー(ワークショップへの展開を考える)② 【計画内容】芝居を実際に作り上げることで習得した技能を確実なものにする。 (平井伸之·五ノ井浩·干場美恵子) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。配付した資料を読んでおくこと。	E、H
第3回	【テーマ】バックステージ(照明·音響·装置美術·衣装メイク)の基礎③ 【計画内容】バックステージの基本的な知識·技能を再確認する。(五ノ井浩·干場美恵子·福田恭一) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。配付した資料を読んでおくこと。	A、E、H	第11回	【テーマ】5分間ストーリー(ワークショップへの展開を考える)③ 【計画内容】芝居を実際に作り上げることで習得した技能を確実なものにする。 (村松幹男·五ノ井浩·干場美恵子) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。配付した資料を読んでおくこと。	E、H
第4回	【テーマ】バックステージ(照明·音響·装置美術·衣装メイク)の基礎④ 【計画内容】バックステージの基本的な知識·技能を再確認する。(五ノ井浩·干場美恵子·福田恭一) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。配付した資料を読んでおくこと。	A、E、H	第12回	【テーマ】5分間ストーリー(ワークショップへの展開を考える)④ 【計画内容】芝居を実際に作り上げることで習得した技能を確実なものにする。 (平井伸之·五ノ井浩·干場美恵子) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。配付した資料を読んでおくこと。	E、H
第5回	【テーマ】バックステージ(照明·音響·装置美術·衣装メイク)の効果① 【計画内容】バックステージの基本的知識·技能を発展させる。(五ノ井浩、干場美恵子、吉田ひでお) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。配付した資料を読んでおくこと。	A、E、H	第13回	【テーマ】5分間ストーリー(ワークショップへの展開を考える)⑤ 【計画内容】芝居を実際に作り上げることで習得した技能を確実なものにする。 (村松幹男·田光子·五ノ井浩·干場美恵子·藤原宏行·吉田ひでお) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。配付した資料を読んでおくこと。	E、H
第6回	【テーマ】バックステージ(照明·音響·装置美術·衣装メイク)の効果② 【計画内容】バックステージの基本的知識·技能を発展させる。(田光子·五ノ井浩·干場美恵子·吉田ひでお) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。配付した資料を読んでおくこと。	A、E、F、H	第14回	【テーマ】5分間ストーリー(ワークショップへの展開を考える)⑥ 【計画内容】芝居を実際に作り上げることで習得した技能を確実なものにする。 (村松幹男·田光子·五ノ井浩·干場美恵子) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。配付した資料を読んでおくこと。	E、F、H
第7回	【テーマ】バックステージ(照明·音響·装置美術·衣装メイク)の効果③ 【計画内容】バックステージの基本的知識·技能を発展させる。(田光子·五ノ井浩·干場美恵子·藤原宏行) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。配付した資料を読んでおくこと。	A、E、F、H	第15回	【テーマ】振り返りと確認 【計画内容】今学期に行ったことを振り返る。 (村松幹男·田光子·平井伸之) 【授業時間外の学修内容】前回までの内容を理解しておくこと。	L
第8回	【テーマ】バックステージ(照明·音響·装置美術·衣装メイク)の効果④ 【計画内容】バックステージの基本的知識·技能を発展させる。(田光子·平井伸之·藤原宏行) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。配付した資料を読んでおくこと。	A、E、F、H			

テキスト	プリントを使用します
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			50%		50%	
補足			レポート		発表	

課題に関するフィードバックの方法	課題等の講評は課題提出締め切り日以降に授業内で行うか、第15回の「振り返りと確認」時に行う。

実務経験と授業の関連		
該当	経験内容	五ノ井浩 / 音響家　福田恭一 / 舞台美術会社経営　藤原宏行 / メイクアップアーティスト 干場美恵子 / 照明家　吉田ひでお / アーリオ工房主宰(特殊効果)
	科目との関連	各講師の実務経験を活かした指導

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	
その他	動くことのできる格好で受講すること。 履修者によって予定を変更する場合があるので、初回のオリエンテーションには必ず出席すること。 なお、この授業は、札幌円山キャンパスにおいて、履修する学生を被験者として位置づけた舞台芸術研究グループの実践的研究の場である。

科目名	バックステージ研究Ⅱ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	村松　幹男、田　光子、平井　伸之、五ノ井　浩、鈴木　静悟、福田　恭一、藤原　宏行、干場　美恵子、吉田　ひでお				

授業の目的	
ねらい	「バックステージ研究Ⅰ」の発展である。バックステージスタッフ(照明·音響·装置美術·衣装メイクなど)の役割について理解し、知識·技能の発展を図る。また10分程度の芝居を実際にホールで上演し、実践を図る。また、11月の公演に向けて「表現としての効果」について深く考える。
到達目標	(1)バックステージスタッフの役割を理解し、その基本的な知識·技能がある。 (2)バックステージスタッフの役割を理解し、プランを立てることができる。 (3)バックステージスタッフの役割を理解し、基礎的な実践ができる。 (4)表現としての効果について考えることができる。

授業の計画						
第1回	【テーマ】オリエンテーション　バックステージ(照明·音響·装置美術·衣装メイク)の発展① 【計画内容】バックステージに関する知識·技能を身につける。(村松幹男·田光子·平井伸之) 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A、E、H	第9回	【テーマ】5分間ストーリー(ワークショップへの展開を考える)① 【計画内容】芝居を実際に作り上げることで習得した技能を確実なものにする。(村松幹男·五ノ井浩·干場美恵子) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。配付した資料を読んでおくこと。	E、H
第2回	【テーマ】バックステージ(照明·音響·装置美術·衣装メイク)の発展② 【計画内容】バックステージに関する知識·技能を身につける。(田光子·五ノ井浩·干場美恵子·福田恭一) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。配付した資料を読んでおくこと。	A、E、H	第10回	【テーマ】5分間ストーリー(ワークショップへの展開を考える)② 【計画内容】芝居を実際に作り上げることで習得した技能を確実なものにする。(平井伸之·五ノ井浩·干場美恵子) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。配付した資料を読んでおくこと。	E、H
第3回	【テーマ】バックステージ(照明·音響·装置美術·衣装メイク)の発展③ 【計画内容】バックステージに関する知識·技能を身につける。(五ノ井浩·干場美恵子·福田恭一) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。配付した資料を読んでおくこと。	A、E、F、H	第11回	【テーマ】5分間ストーリー(ワークショップへの展開を考える)③ 【計画内容】芝居を実際に作り上げることで習得した技能を確実なものにする。 (村松幹男·五ノ井浩·鈴木静吾) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。配付した資料を読んでおくこと。	E、H
第4回	【テーマ】バックステージ(照明·音響·装置美術·衣装メイク)の発展④ 【計画内容】バックステージに関する知識·技能を身につける。(五ノ井浩·干場美恵子·福田恭一) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。配付した資料を読んでおくこと。	A、E、F、H	第12回	【テーマ】5分間ストーリー(ワークショップへの展開を考える)④ 【計画内容】芝居を実際に作り上げることで習得した技能を確実なものにする。(平井伸之·五ノ井浩·干場美恵子) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。配付した資料を読んでおくこと。	E、H
第5回	【テーマ】バックステージ(照明·音響·装置美術·衣装メイク)の効果(発展)① 【計画内容】表現としての効果について考える。 (五ノ井浩·干場美恵子·吉田ひでお) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。配付した資料を読んでおくこと。	E、H	第13回	【テーマ】5分間ストーリー(ワークショップへの展開を考える)⑤ 【計画内容】芝居を実際に作り上げることで習得した技能を確実なものにする。 (村松幹男·田光子·五ノ井浩·干場美恵子·藤原宏行) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。配付した資料を読んでおくこと。	E、F、H
第6回	【テーマ】バックステージ(照明·音響·装置美術·衣装メイク)の効果(発展)② 【計画内容】表現としての効果について考える。 (田光子·五ノ井浩·干場美恵子·吉田ひでお) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。配付した資料を読んでおくこと。	E、H	第14回	【テーマ】5分間ストーリー(ワークショップへの展開を考える)⑥ 【計画内容】芝居を実際に作り上げることで習得した技能を確実なものにする。 (村松幹男·田光子·五ノ井浩·干場美恵子) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。配付した資料を読んでおくこと。	E、F、H
第7回	【テーマ】バックステージ(照明·音響·装置美術·衣装メイク)の効果(発展)③ 【計画内容】表現としての効果について考える。 (田光子·五ノ井浩·干場美恵子·藤原宏行) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。配付した資料を読んでおくこと。	E、F、H	第15回	【テーマ】振り返りと確認 【計画内容】今学期に行ったことを振り返る。 (村松幹男·田光子·平井伸之) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。配付した資料を読んでおくこと。	L
第8回	【テーマ】バックステージ(照明·音響·装置美術·衣装メイク)の効果(発展)④ 【計画内容】表現としての効果について考える。 (田光子·平井伸之·藤原宏行) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。配付した資料を読んでおくこと。	E、F、H			

テキスト	プリントを使用します
参考書	初回講義時に説明します

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			50%		50%	
補足			レポート		発表	

課題に関するフィードバックの方法	課題等の講評は課題提出締め切り日以降に授業内で行うか、第15回の「振り返りと確認」時に行う。

実務経験と授業の関連		
該当	経験内容	五ノ井浩 / 音響家　福田恭一 / 舞台美術会社経営　藤原宏行 / メイクアップアーティスト 干場美恵子 / 照明家　吉田ひでお / アーリオ工房主宰(特殊効果)
	科目との関連	各講師の実務経験を活かした指導

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	
その他	動くことのできる格好で受講すること。 履修者によって予定を変更する場合があるので、初回のオリエンテーションには必ず出席すること。 北翔大学北方圏学術情報センターにおける被験授業である。

科目名	俳優論(演習を含む)	授業形態	演習	単位数	2
教員名	村松　幹男、平井　伸之				

授業の目的	
ねらい	様々な俳優論について文献を通して調べ、そのメソッドに関しては、実際にやってみる。 そのことを通して、演じるとはどういうことなのかを考えていく。 なお、講義の30分ぐらいを利用してリラクゼーションやインプロヴィゼーションも行う。
到達目標	(1)20世紀の代表的な俳優論に関する基本的知識を有する。 (2)メソッドについての基本的な知識を有する。 (3)インプロヴィゼーションに関する基本的知識を有する。 (4)演じるとはどういうことかを理解する。

授業の計画						
第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】15回の講義について説明する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】ピーター・ブルック 【計画内容】ピーター・ブルックの俳優論・演劇論を概観し、それに関するレポートを書く。(全教員) 【授業時間外の学修内容】前回までの内容を理解しておくこと。レポートを完成させること。	A、G
第2回	【テーマ】スタニフラフスキー・システム① 【計画内容】スタニフラフスキー・システムを概観し、それに関するレポートを書く。(全教員) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。配付した資料を読んでおくこと。	A、G	第10回	【テーマ】日本の俳優論 【計画内容】唐十郎(特権的肉体論)、寺山修司、鈴木忠志(鈴木メソッド)などの日本の俳優論を概観する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】前回までの内容を理解しておくこと。レポートを完成させること。	A
第3回	【テーマ】スタニフラフスキー・システム② 【計画内容】スタニフラフスキー・システムのいくつかを具体的にやってみる。(全教員) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。配付した資料を読んでおくこと。	B	第11回	【テーマ】俳優術① 【計画内容】学生は具体的な戯曲の一部分を覚えて、実際に演じる。その演技に対して講評を受け、演じるとはどういうことかを学ぶ。(全教員) 【授業時間外の学修内容】台詞は覚えておくこと。	B、E、H
第4回	【テーマ】メイエルホリド 【計画内容】メイエルホリドの俳優論・演劇論を概観し、それに関するレポートを書く。(全教員) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。配付した資料を読んでおくこと。	A、G	第12回	【テーマ】俳優術② 【計画内容】学生は具体的な戯曲の一部分を覚えて、実際に演じる。その演技に対して講評を受け、演じるとはどういうことかを学ぶ。(全教員) 【授業時間外の学修内容】台詞は覚え、稽古すること。	B、E、H
第5回	【テーマ】ストラスバーク・アドラー・マイズナー 【計画内容】スタニフラフスキー・システムのアメリカにおける受容と変容を概観し、それに関するレポートを書く。(全教員) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。配付した資料を読んでおくこと。	A、G	第13回	【テーマ】俳優術③ 【計画内容】学生は具体的な戯曲の一部分を覚えて、実際に演じる。その演技に対して講評を受け、演じるとはどういうことかを学ぶ。(全教員) 【授業時間外の学修内容】稽古すること。	B、E、H
第6回	【テーマ】メソッド① 【計画内容】ストラスバークに関するビデオを見て、メソッドの理解を深める。(全教員) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。配付した資料を読んでおくこと。	B、E	第14回	【テーマ】俳優術④ 【計画内容】学生は具体的な戯曲の一部分を覚えて、実際に演じる。その演技に対して講評を受け、演じるとはどういうことかを学ぶ。(全教員) 【授業時間外の学修内容】稽古すること。	B、E、H
第7回	【テーマ】メソッド② 【計画内容】ストラスバークに関するビデオを見て、メソッドの理解を深める。(全教員) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。配付した資料を読んでおくこと。	B、E	第15回	【テーマ】俳優術⑤ 【計画内容】学生は具体的な戯曲の一部分を覚えて、実際に演じる。その演技に対して講評を受け、演じるとはどういうことかを学ぶ。(全教員) 【授業時間外の学修内容】稽古すること。	B、E、H
第8回	【テーマ】グロトフスキ 【計画内容】グロトフスキの俳優論・演劇論を概観し、それに関するレポートを書く。(全教員) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。配付した資料を読んでおくこと。	A、G			

テキスト	プリントを使用します
参考書	アリソン・ホッジ、2005年、『二十世紀俳優トレーニング』、而立書房、4880593028

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			50%		50%	
補足			レポート			

課題に関するフィードバックの方法	課題等の講評は必要に応じて授業中に行う。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	
その他	演技者を目指す人は参加してほしい。発声、トレーニングは毎回行うので、動きやすい格好で参加すること。 状況によっては、テーマを絞る場合がある。

科目名	構造のかたちと力	授業形態	講義	単位数	2
教員名	千里　政文				

授業の目的

ねらい	本講義では、建築構造力学における基礎知識と主に静定構造の基礎について学び、建築構造力学における不静定構造については「構造力学演習」で学ぶ。特に構造力学の基礎知識、力のつり合い、静定ばり（単純ばり・片持ばり）・静定ラーメンの反力・曲げモーメント・せん断力・軸方向力、静定トラス、断面の性質、応力度、不静定構造物の基礎についての知識と解析手法について理解する。
到達目標	(1)本授業は、建築構造力学における静定構造を学ぶことを目的とする。 (2)本授業は、建築構造力学の基礎知識を修得することを目標とする。 (3)本授業を通じて、解析手法を修得することを目標とする。 (4)構造力学の知識は、建築士を目指す上で重要な知識である。

授業の計画

第1回	【テーマ】授業ガイダンスと力の基礎知識(力・力のモーメント・合力・分布荷重) 【計画内容】講義内容の説明と力・力のモーメント・合力・集中荷重・分布荷重について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】静定トラス(トラスの概要・図解法・切断法) 【計画内容】トラスの概要・図解法・切断法について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A
第2回	【テーマ】力のつり合い(力のモーメント・力の合成・力の分解・力のつり合い) 【計画内容】力のモーメント、平行四辺形の法則・連力図法・数式解法・偶力のモーメント表示による力の合成・分解・力のつり合いについて具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A、J	第10回	【テーマ】断面の性質と応力①(図心・断面積、断面1次モーメント、断面2次モーメント) 【計画内容】図心・断面積、断面1次モーメント、断面2次モーメントについて具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A
第3回	【テーマ】単純ばり・片持ばりの反力(集中荷重・分布荷重・モーメント荷重が働く場合) 【計画内容】単純ばりと片持ばりに集中荷重・分布荷重・モーメント荷重が働く場合の反力の解法について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A、J	第11回	【テーマ】断面の性質と応力②(断面2次モーメント、断面係数) 【計画内容】断面2次モーメント、断面係数について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A
第4回	【テーマ】張り出しばり・ラーメンの反力(集中荷重・分布荷重・モーメント荷重が働く場合) 【計画内容】張り出しばり、ラーメンに集中荷重・分布荷重・モーメント荷重が働く場合の反力の解法について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A、J	第12回	【テーマ】応力度①(軸応力度、曲げ応力度、せん断応力度) 【計画内容】軸応力度、曲げ応力度、せん断応力度について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A
第5回	【テーマ】静定ばりとラーメンの断面力(はりのモデル化・支点と荷重のモデル化、はりの断面力、静定・不静定と安全・不安定なトラス・ラーメン・部分的に剛接合された骨組・不安定なトラスト骨組) 【計画内容】はりのモデル化・支点と荷重のモデル化、はりの断面力、トラス、ラーメン・部分的に剛接合された骨組・不安定なトラスト骨組についてより具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A、J	第13回	【テーマ】応力度②(許容応力度、許容曲げモーメント) 【計画内容】許容応力度、許容曲げモーメントについて具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A
第6回	【テーマ】静定ばりに生じる力①：単純ばり(曲げモーメント・せん断力・軸方向力) 【計画内容】単純ばりに生じる集中荷重・分布荷重・モーメントの解法と分布図について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A	第14回	【テーマ】不静定構造物の概要・不静定ばりの基礎的解法 【計画内容】不静定構造物の概要、不静定ばりの解法について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A
第7回	【テーマ】片持ばりに生じる力②：片持ばり(曲げモーメント・せん断力・軸方向力の算出と分布図) 【計画内容】片持ばりに生じる集中荷重・分布荷重・モーメントの解法と分布図について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A	第15回	【テーマ】不静定ラーメンの基礎的解法・最終確認・課題提出 【計画内容】不静定ラーメンの解法について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A、G
第8回	【テーマ】静定ラーメンに生じる力：片持ばり形ラーメン・単純ばり形ラーメン・3ヒンジラーメン(曲げモーメント・せん断力・軸方向力) 【計画内容】静定ラーメンに生じる集中荷重・分布荷重・モーメントの解法と分布図について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A			

テキスト	浅野清昭、2004年、『図説 やさしい構造力学』、学芸出版、9784761523497 大崎純・本間俊雄、『建築構造力学1(静定構造力学編)』、コロナ社
参考書	関連資料・演習用資料を適宜配付します

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			60%		40%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連

該当	経験内容	1級建築士
	科目との関連	1級建築士として働いた知識を実践的教育に役立てている。

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[芸]1級建築士_必修、2級建築士_選必、インテリアプランナー_選必
その他	

科目名	空間設備	授業形態	講義	単位数	2
教員名	千里　政文				

授業の目的		
	ねらい	本講義は建築環境工学の科目として、建築設備について学ぶ。建築物内部において人間が安全且つ快適に生活し、機能的に行動する際に求められる建築環境に関する諸条件を整理し、それらに対応するための各種設備機器の種類や役割を具体的に計画と設定手法について学ぶ。
	到達目標	(1)建築設備は建築物の維持管理するために必要であり、その必要性を学ぶ。 (2)維持管理に必要な各設備の多様な要素をわかりやすく学ぶ。 (3)人間的生活環境にも必修な各設備の基礎知識を取得する。 (4)取得された設備の基礎知識を建築物設計への応用と環境問題との関連性を学ぶ。 (5)建築設備の計画は、建築計画の初期の段階から建築空間の利用目的に合わせて、綿密に行うことの大切さを総合的に学ぶ。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】講義内容と方法、講義展開と評価方法の説明。7設備の大枠分類とそれぞれの関連を説明。 【授業時間外の学修内容】関連する分野の資料を事前に学習し、講義ノートを1冊用意すること。	A	第9回	【テーマ】給排水衛生設備(2) 【計画内容】排水設備(排水の種類、処理方法)衛生設備の説明。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連項目を読んでおくこと。	A、J
	第2回	【テーマ】空気調和設備(1) 【計画内容】暖房方式(蒸気、温水)冷房方式、空気調和システムの説明。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストの暖･冷房設備を読んでおくこと。	A、J	第10回	【テーマ】給排水衛生設備(3) 【計画内容】衛生器具、排水構成、通気、排水桝の分類の説明。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連項目を読んでおくこと。	A、J
	第3回	【テーマ】空気調和設備(2) 【計画内容】空調計画(中央式システム、分散システム)、換気設備の説明。 【授業時間外の学修内容】テキストの空調計画、換気設備を読んでおくこと。	A、J	第11回	【テーマ】空気調和･電気･照明･搬送･給排水衛生設備のまとめと振り返り 【計画内容】空気調和･電気･照明･搬送･給排水衛生設備の理解力を確認。 【授業時間外の学修内容】テキストの空気調和設備から給排水衛生設備まで、講義中に指摘した重要部分と配付したプリント資料を特に復習すること。	A、J
	第4回	【テーマ】電気設備 【計画内容】電気の基礎知識(電流、電圧、抵抗)、電気の仕組み、配電配線の説明。 【授業時間外の学修内容】テキストの電気設備、配電、配線部分を読んでおくこと。	A、J	第12回	【テーマ】商業施設における関連設備計画(1) 【計画内容】事務所、百貨店、スーパーマーケット、工場、店舗の設備計画について説明。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連項目を読んでおくこと。	A、J
	第5回	【テーマ】照明設備(1) 【計画内容】照明の条件、照明方式、光源、照明設計の説明。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連項目を読んでおくこと。	A、J	第13回	【テーマ】商業施設における関連設備計画(2) 【計画内容】劇場、映画館、ホテル、寄宿舎、駐車場の設備計画について説明。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連項目を読んでおくこと。	A、J
	第6回	【テーマ】照明設備(2)と搬送設備 【計画内容】光源の種類と特徴、照明器具、照明設備記号の説明と搬送設備の説明。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連項目を読んでおくこと。	A、J	第14回	【テーマ】社会施設･文化施設における関連設備計画 【計画内容】小･中学校、幼稚園、病院、高齢者施設、図書館、美術館の関連設備計画について説明。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連項目を読んでおくこと。	A、J
	第7回	【テーマ】消火･防災設備 【計画内容】消火設備、屋内外消火栓、火災報知設備、誘導灯と非常用照明設備の説明。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連項目を読んでおくこと。	A、J	第15回	【テーマ】商業施設、社会･文化施設関連設備計画のまとめと振り返り 【計画内容】商業施設、社会･文化施設関連設備計画の理解力と設備全般的な理解力を確認。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連項目と、全講義中に指摘した重要部分と配付したプリント資料を特に復習すること。	G
	第8回	【テーマ】給排水衛生設備(1) 【計画内容】給水設備(水道、ポンプ)、給水機器、給湯設備、加熱装置の説明。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連項目を読んでおくこと。	A、J			

テキスト	日本建築学会、『建築環境工学用教材設備編』、丸善㈱ 山田浩幸、2013年、『世界で一番やさしい建築設備 110のキーワードで学ぶ07 増補改訂カラー版』、エクスナレッジムック
参考書	関連資料･演習用資料を適宜配付します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			60%		40%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	1級建築士
		科目との関連	1級建築士として働いた知識を実践的教育に役立てる。

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[芸]1級建築士_必修、2級建築士_選必、インテリアプランナー_選必
その他	

科目名	生活環境	授業形態	講義	単位数	2
教員名	小室　晴陽				

授業の目的	
ねらい	快適な住空間を形づくるために必要な環境工学の基本について学ぶ。自然環境を利用･制御して安全で快適な居住空間を得るための学問分野である。本授業では、建築分野における光、音、熱、空気などの環境要素との関係について学び、光･熱･空気･音の記述方法･計測方法及び計算方向についても学び理解を深める。
到達目標	(1)光･熱･空気･音の記述方法･計測方法を修得し、建築空間における役割について理解を深める。 (2)生活空間における快適な温熱環境について理解する。

授業の計画						
第1回	【テーマ】オリエンテーション･基本用語 【計画内容】講義概要･講義展開方法、室内環境と外部環境。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A、B	第9回	【テーマ】熱･結露(熱損失･湿り空気と湿度･空気線図) 【計画内容】要点解説と練習問題の回答と解説。 【授業時間外の学修内容】配付テキストの該当箇所を予習しておくこと。	A、B
第2回	【テーマ】日照･日射･気象･気候 【計画内容】要点解説と練習問題の回答と解説。 【授業時間外の学修内容】配付テキストの該当箇所を予習しておくこと。	A、B	第10回	【テーマ】断熱工法(内断熱･外断熱･充填断熱) 【計画内容】熱伝導率の計算手法。 【授業時間外の学修内容】配付テキストの該当箇所を予習しておくこと。	A、B
第3回	【テーマ】採光･照明(光の単位･照度基準･採光計画) 【計画内容】要点解説と練習問題の回答と解説。 【授業時間外の学修内容】配付テキストの該当箇所を予習しておくこと。	A、B	第11回	【テーマ】音(音の物理量と聴覚反応の関係･音の伝搬) 【計画内容】要点解説と練習問題の回答と解説。 【授業時間外の学修内容】配付テキストの該当箇所を予習しておくこと。	A、B
第4回	【テーマ】採光･照明(光源の種類と特徴･照度計算･室指数) 【計画内容】要点解説と練習問題の回答と解説。 【授業時間外の学修内容】配付テキストの該当箇所を予習しておくこと。	A、B	第12回	【テーマ】音(吸音･遮音･透過損失･騒音) 【計画内容】要点解説と練習問題の回答と解説。 【授業時間外の学修内容】配付テキストの該当箇所を予習しておくこと。	A、B
第5回	【テーマ】室内気候(温度･湿度･体感温度･空気汚染) 【計画内容】要点解説と練習問題の回答と解説。 【授業時間外の学修内容】配付テキストの該当箇所を予習しておくこと。	A、B	第13回	【テーマ】色彩(色の三要素･マンセル記号･色彩と心理) 【計画内容】色の標記方法、練習問題。 【授業時間外の学修内容】配付テキストの該当箇所を予習しておくこと。	A、B
第6回	【テーマ】換気(必要換気量と換気回数) 【計画内容】要点解説と練習問題の回答と解説。 【授業時間外の学修内容】配付テキストの該当箇所を予習しておくこと。	A、B	第14回	【テーマ】省エネルギー、環境配慮型建築事例 【計画内容】用語解説、事例を具体的に解説。 【授業時間外の学修内容】配付テキストの該当箇所を予習しておくこと。	A、B
第7回	【テーマ】換気(換気方法･風力換気･温度差換気･通風) 【計画内容】要点解説と練習問題の回答と解説。 【授業時間外の学修内容】配付テキストの該当箇所を予習しておくこと。	A、B	第15回	【テーマ】まとめとふり返り 【計画内容】要点復習、理解状況確認問題。 【授業時間外の学修内容】配付テキストやノートをひと通り復習しておくこと。	A、B、L
第8回	【テーマ】熱･結露(熱移動･壁体の伝熱･各材料の熱伝導率) 【計画内容】要点解説と練習問題の回答と解説。 【授業時間外の学修内容】配付テキストの該当箇所を予習しておくこと。	A、B			

テキスト	自作プリントを配付します
参考書	福田健策、2004年、『専門士課程 建築計画 第二版』、学芸出版社、4761523328

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	40%		30%		30%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	課題の提出及び返却の際ににコメントを伝えます。

実務経験と授業の関連		
該当	経験内容	企業内建築部門での設計業務経験あり。1･2級建築士試験受験対策校において学科試験「建築計画」の一分野である建築環境工学の講座担当経験あり。
	科目との関連	設計実務経験及び講座担当経験を活かし建築環境工学分野について教授する。

質問への対応	授業内でその都度回答します。
資格	[芸]1級建築士_必修、2級建築士_選必、インテリアプランナー_選必
その他	関連資料･演習用資料を適宜配付します。 学んだ内容を振り返りながら、取り組んだ課題問題等への返答内容に対してコメントを伝えます。

科目名	3次元造形演習	授業形態	演習	単位数	2
教員名	松澤　衛、山下　圭介				

授業の目的	
ねらい	粘土を使用して実際に立体物を自分で作り、作成した立体物を3次元 CG を使ってコンピュータ上で表現します。さらに身近になりつつある立体プリンタを使用することで、コンピュータでの造形と実際に自分で作成することの違いを学びます。また同一のテーマを異なる媒体で表現することにより、立体把握、空間の認識、テクスチャー表現等の能力の伸展を図ります。この授業では手作業とコンピュータでの作業の違いを理解し、自分のアイディアの表現を広げることを目的とします。
到達目標	(1)粘土を素材とした立体物を制作することができる。 (2)粘土の立体物を3次元ソフトを使用してコンピュータでモデリングすることができる。 (3)モデリングしたものを3D プリンタを使用して出力することができる。 (4)作成物を一眼レフカメラで撮影することができる。 (5)コンピュータ上で、照明を加えてレンダリングすることができる。

授業の計画						
第1回	【テーマ】オリエンテーション : アナログからデジタル、そしてアナログへ 【計画内容】授業全体15回の流れ及び次回からの立体物制作のためのドローイング制作について説明します。(松澤衛・山下圭介) 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】レンダリング1 【計画内容】作成したデータに照明を与える方法を学びます。(松澤衛) 【授業時間外の学修内容】第8回に配付した資料を読んでおくこと。	B、L
第2回	【テーマ】立体物制作 : 粘土制作(芯棒作成) 【計画内容】ドローイングの中から1つ選択し立体物を制作します。粘土制作を行い、立体把握の能力を高めます。(山下圭介) 【授業時間外の学修内容】課題のドローイングを制作し、この授業に持参する。	B、J	第10回	【テーマ】レンダリング2 【計画内容】作成したデータを撮影するためのカメラワークの方法を学びます。(松澤衛) 【授業時間外の学修内容】第9回に配付した資料を読んでおくこと。	B、L
第3回	【テーマ】立体物制作 : 粘土制作(粗付け) 【計画内容】芯棒の位置を考慮し粘土を粗付けしていきます。(山下圭介) 【授業時間外の学修内容】前回の授業の復習を行い、今回の授業の確認をしておくこと。	B	第11回	【テーマ】3D プリント1 【計画内容】3D プリンタの説明、3D プリント用データの作成方法について学びます。(松澤衛) 【授業時間外の学修内容】第10回に配付した資料を読んでおくこと。	B、L
第4回	【テーマ】立体物制作 : 粘土制作(肉付け) 【計画内容】細部の形を検討し粘土に肉付けを行います。(山下圭介) 【授業時間外の学修内容】前回の授業の復習を行い、今回の授業の確認をしておくこと。	B	第12回	【テーマ】3D プリント2 【計画内容】実際に3D プリンタで立体物を印刷する方法を学びます。(松澤衛) 【授業時間外の学修内容】第11回に配付した資料を読んでおくこと。	B、L
第5回	【テーマ】立体物制作 : 粘土制作(仕上げ) 【計画内容】粘土制作の仕上げ制作を行い作品を完成させます。(山下圭介) 【授業時間外の学修内容】前回の授業の復習を行い、今回の授業の確認をしておくこと。	B	第13回	【テーマ】石膏、3D プリンタでの出力物の写真撮影1 【計画内容】作品の写真の照明・撮影について学びます。(松澤衛) 【授業時間外の学修内容】第12回に配付した資料を読んでおくこと。	B、L
第6回	【テーマ】モデリング1 【計画内容】作成した立体物をコンピュータで作成するための方法を学びます。(松澤衛) 【授業時間外の学修内容】第5回に配付した資料を読んでおくこと。	B、L	第14回	【テーマ】石膏、3D プリンタでの出力物の写真撮影2 【計画内容】作品の写真の照明・撮影について学びます。(松澤衛) 【授業時間外の学修内容】第13回に配付した資料を読んでおくこと。	B、L
第7回	【テーマ】モデリング2 【計画内容】コンピュータで作成した立体物の修正の方法を学びます。(松澤衛) 【授業時間外の学修内容】第6回に配付した資料を読んでおくこと。	B、L	第15回	【テーマ】作品発表と講評 【計画内容】作成された立体物、印刷された写真の発表会を行います。(松澤衛・山下圭介) 【授業時間外の学修内容】発表の準備を行い、自分の作品を説明できるようにしておくこと。	B、F、L
第8回	【テーマ】モデリング3 【計画内容】様々なモデリング方法を学びます。(松澤衛) 【授業時間外の学修内容】第7回に配付した資料を読んでおくこと。	B、L			

テキスト	プリントを使用します
参考書	プリントを使用します

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			25%	40%	20%	15%
補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	松澤衛／情報映像系事業経営
		科目との関連	松澤衛／3DCG 作成の経験を活かし、3次元モデリングについて教授する。

質問への対応	E-Mail:mmamoru@hokusho-u.ac.jp この授業は Microsoft Teams を使用します。
資格	
その他	第15回に、作品の講評を行います。

科目名	ブランディングデザイン論	授業形態	演習	単位数	2
教員名	冨田　玲子				

授業の目的

ねらい	1990年代から続くファッションのグローバル化、情報ネットワーク化、消費社会の成熟化とファッション生活をめぐる環境は、急激な変貌を遂げています。一方、最近では長く愛せるものも人気で、手仕事から新たなものを生むデザイン力が求められるようになってきました。ここでは、ファッションに対する欲求を読み取る力を身に付け、世の中から求められるブランド･エクイティ（価値あるブランド）を創造し提供することをねらいとしています。
到達目標	(1)市場調査に基づいたブランドコンセプトを立案する。 (2)体験、学習、共有が新しい価値を見出し自作ブランド商品を制作する。 (3)一連の過程の中での経験により、人とのコミュニケーションに重要なバランス感覚を養う。

授業の計画

第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】授業を紹介し、15回の授業展開を説明します。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】試着補正① 【計画内容】各自トワルで仮縫いをします。試着して体型に合わせて補正をします。 【授業時間外の学修内容】トワル組みをしてくること。	H
第2回	【テーマ】ファッションブランドと消費者との関係性について 【計画内容】ニーズとライフスタイル、ファッションブランドを自分の価値観をとおして分析します。 【授業時間外の学修内容】プリントを熟読しておく。	D	第10回	【テーマ】縫製仕様書の作成 【計画内容】各自デザイン、素材に合わせた縫製手順を作り提出します。 【授業時間外の学修内容】補正箇所の確認および CAD で訂正をしてくること。	H
第3回	【テーマ】ブランディングとコミュニケーションについて 【計画内容】不満、悩み、願望」を把握することで「世の中では、何が求められているのか？」を考え、アンケート調査の項目を検討します。 【授業時間外の学修内容】プリントを熟読してくること。	H	第11回	【テーマ】本縫い① 【計画内容】見返し、接着芯、ノッチの入れ方、寸法の確認など行います。 【授業時間外の学修内容】縫製仕様書を熟読しておくこと。	H
第4回	【テーマ】学外実践授業：アンケート調査の実施 【計画内容】体験、学習、共有が新しい価値を見出すことから、ブランドデザインを立案します。 【授業時間外の学修内容】プリントを熟読してくること。	H	第12回	【テーマ】本縫い② 【計画内容】衿、袖、身頃を作ります。職業用ミシンやロックミシン（普通ロック、巻きロック）の扱い方を学びます。 【授業時間外の学修内容】縫製仕様書を熟読しておくこと。	H
第5回	【テーマ】調査結果の整理･まとめ 【計画内容】調査結果をもとにグループごとにブランドデザインを立案します。 【授業時間外の学修内容】各自調査結果をまとめておく。	H	第13回	【テーマ】本縫い③ 【計画内容】身頃に衿と袖を付けます。 【授業時間外の学修内容】各自のデザインに合った縫製手順をまとめてくること。	H
第6回	【テーマ】ブランド商品の製作 【計画内容】参考資料をもとに裁断、縫製方法を学びます。 【授業時間外の学修内容】プリントを熟読してくること。	H	第14回	【テーマ】本縫い④ 【計画内容】裾の始末、ボタン付け、仕上げ、最終チェックをします。 【授業時間外の学修内容】前回までの作業を終わらせておく。	H
第7回	【テーマ】各自のパターン作成 【計画内容】平面裁断、立体裁断についての方法を学びます。衿、袖の展開方法を学びます。 【授業時間外の学修内容】デザイン画をもとにパターンを作成してくること。	H	第15回	【テーマ】まとめとレポート 【計画内容】総合的なプロセスを学習します。グループごとにプレゼンテーションを行い、相互理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】前回までの作業を終わらせておく。	H
第8回	【テーマ】トワル作成 【計画内容】製図が出来上がり、天竺で裁断し仮に縫い合わせます。 【授業時間外の学修内容】デザイン画をもとにパターンを作成してくること。	H			

テキスト	プリントを使用します
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分				70%	30%	
補足				作品に対するこだわり	平時	

課題に関するフィードバックの方法	一連の過程の中での経験により、人とのコミュニケーションに重要なバランス感覚を養い、他者における講評によるフィードバックを行い、学習に対する理解の一助となるようにする。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。E-Mail:reiko@hokusho-u.ac.jp
資格	
その他	街を歩いているときにふと眼に留まるお店や商品、ディスプレイなど、その魅力や世界観を感じながら、つくり手の視点に立つことが重要です。

科目名	ディスプレイデザイン	授業形態	実習	単位数	2
教員名	早坂　眞梨子				

授業の目的		
	ねらい	販売促進のためにディスプレイの必要性と商品装飾展示技能士の基礎知識、技術を学び、ディスプレイのデザインから制作を限られた時間内に協力し合って完成できるようになることを目的にします。
	到達目標	(1)ディスプレイの役割と必要性を理解する。 (2)テーマが伝わるディスプレイデザインができる。 (3)購買意欲をそそる魅力的な商品演出ができる。 (4)想像したことを創造する。

授業の計画						
第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】授業紹介と授業展開を説明する。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第16回	【テーマ】ウィンドーディスプレイ 【計画内容】ウィンドーディスプレイを時間内にすべて完成させる。 【授業時間外の学修内容】不必要なものを整理しておくこと。	D
第2回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】過去の学内ウィンドーディスプレイの写真鑑賞をする。 【授業時間外の学修内容】店舗のディスプレイを見ておくこと。	A	第17回	【テーマ】ギフトラッピング 【計画内容】プレゼントの基本的な包み方とリボンのかけかたと結び方を習得する。 【授業時間外の学修内容】何を打ち出したいのかを考えておくこと。	D
第3回	【テーマ】ヴィジュアルマーチャンダイジングについて 【計画内容】ディスプレイの役割と必要性について学習する。 【授業時間外の学修内容】最近、気になる店舗のディスプレイを見ておくこと。	A	第18回	【テーマ】リボン掛け 【計画内容】リボンのアレンジ 【授業時間外の学修内容】ラッピングの手直し	D
第4回	【テーマ】ピンナップ 【計画内容】商品を平面にディスプレイする 仮想の三角形のアウトラインの中にバランスよくまとめる構成法を学ぶ 【授業時間外の学修内容】最近、気になる店舗のディスプレイを見ておくこと。	D	第19回	【テーマ】服飾小物のアレンジ 【計画内容】スカーフ、ふろしきの結び方 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを予習しておくこと。	D
第5回	【テーマ】ピンナップ 【計画内容】商品を平面にディスプレイする 【授業時間外の学修内容】構成を決めておくこと。	D	第20回	【テーマ】服飾小物のアレンジ 【計画内容】ネクタイ、ポケットチーフの基本的なアレンジ 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを予習しておくこと。	D
第6回	【テーマ】テグスワーク 【計画内容】空間にイメージ通りにものを吊る。 【授業時間外の学修内容】構成を決めておくこと。	D	第21回	【テーマ】学外ウィンドーディスプレイデザイン 【計画内容】ディスプレイのスケッチ 【授業時間外の学修内容】何を打ち出したいのかテーマ、コンセプトを決めてディスプレイのデザインをイメージする	D
第7回	【テーマ】学内ウィンドーディスプレイデザイン(1) 【計画内容】テーマを決めてウィンドーのディスプレイをイメージする。 【授業時間外の学修内容】何を打ち出したいのかを決めておくこと。	D	第22回	【テーマ】学外ウィンドーディスプレイデザインのプレゼンテーション 【計画内容】デザインスケッチを基に具体的に提案、発表する。 【授業時間外の学修内容】提案内容をまとめておくこと。	F
第8回	【テーマ】学内ウィンドーディスプレイデザイン 【計画内容】デザインのラフスケッチをする。 【授業時間外の学修内容】ウィンドーのサイズを確認すること。	D	第23回	【テーマ】製作準備 【計画内容】デザインに基づいて製作する 【授業時間外の学修内容】役割分担してけっていしたデザインの製作方法を考えておくこと。	D
第9回	【テーマ】学内ウィンドーディスプレイデザイン(1) 【計画内容】色、形、サイズを描いてスケッチを完成させる。 【授業時間外の学修内容】着色できるまでに仕上げておくこと。	D	第24回	【テーマ】製作準備 【計画内容】作業工程をしっかり考えて時間内に終了できるように協力して製作する 【授業時間外の学修内容】デザインパースを確認しておくこと。	D
第10回	【テーマ】プレゼンテーション 【計画内容】デザインスケッチを基に具体的に提案、発表する。 【授業時間外の学修内容】提案内容をまとめておくこと。	F	第25回	【テーマ】製作準備 【計画内容】作業工程をしっかり考えて時間内に終了できるように協力して製作する 【授業時間外の学修内容】不足しているものを把握しておくこと。	D
第11回	【テーマ】製作準備 【計画内容】デザインに基づいて製作する。 【授業時間外の学修内容】役割を分担して決定したデザインの製作法を考えておくこと。	D	第26回	【テーマ】製作準備 【計画内容】協力して、ウィンドーの完成を目標に時間内に製作する。 【授業時間外の学修内容】デザインパースを再度確認すること。	D
第12回	【テーマ】製作準備 【計画内容】作業工程をしっかり考えて時間内に終了するように協力して製作する。 【授業時間外の学修内容】デザインパースを確認すること。	D	第27回	【テーマ】製作準備 【計画内容】協力して、ウィンドーの完成を目標に時間内に製作する。 【授業時間外の学修内容】レイアウトの確認をしておくこと。	D
第13回	【テーマ】製作準備 【計画内容】作業工程をしっかり考えて時間内に終了するように協力して製作する。 【授業時間外の学修内容】不足しているものを把握しておく。	D	第28回	【テーマ】製作準備 【計画内容】協力して、ウィンドーの完成を目標に時間内に製作する。 【授業時間外の学修内容】デザインパースを再度確認する。	D
第14回	【テーマ】製作準備 【計画内容】協力して、ウィンドーの完成を目標に時間内に製作する。 【授業時間外の学修内容】デザインパースを再度確認すること。	D	第29回	【テーマ】フィニッシュワーク 【計画内容】デザインパースに基づいてウィンドーディスプレイを完成させる。 【授業時間外の学修内容】進捗状況の確認	D
第15回	【テーマ】フィニッシュワーク 【計画内容】デザインパースに基づいてディスプレイを完成させる。 【授業時間外の学修内容】進捗状況を確認しておくこと。	D	第30回	【テーマ】フィニッシュワーク 【計画内容】デザインパースに基づいてウィンドーディスプレイを完成させる。 【授業時間外の学修内容】不必要な物は片づけておく。	D

テキスト	プリントを使用します
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			30%	40%	30%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
該当	経験内容	デコレーター
	科目との関連	想定したイメージを視覚伝達するための商品装飾展示技術

質問への対応	授業中に対応します。
資格	
その他	授業の進み具合で内容を変更することがあります。

科目名	インテリア設計Ⅱ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	千里　政文				

授業の目的		
	ねらい	インテリア設計製図の基本的な知識と設計プロセス、設計図面・作成手法について商業施設の設計課題を通し学ぶ。
	到達目標	(1)本授業は、商業施設の設計を通し、インテリアデザイン・設計製図の基礎を修得することを目標とする。 (2)本授業を通じて、インテリアデザイン及び建築設計製図のための必要な知識と技術を身に付ける。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション①(課題説明：設計計画・設計製図・断面図・パース) 【計画内容】「設計課題：商業施設の設計」(プレゼンボードの製作)により建築設計製図を具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】関連する分野の資料を事前に学習し、講義ノートを1冊用意しておくこと。	A	第9回	【テーマ】断面図の設計製図①(製図) 【計画内容】演習課題により建築設計製図を具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	B、J
	第2回	【テーマ】オリエンテーション②(課題説明：設計計画・設計製図・断面図・パース) 【計画内容】演習課題により建築設計製図を具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A	第10回	【テーマ】断面図の設計製図②(着色) 【計画内容】演習課題により建築設計製図を具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	B、J
	第3回	【テーマ】基本計画①(プランニング) 【計画内容】演習課題により建築設計製図を具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	B、J	第11回	【テーマ】パースの制作①(製図) 【計画内容】演習課題により建築設計製図を具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	B、J
	第4回	【テーマ】基本計画②(プランニングと建築基準法のチェック) 【計画内容】演習課題により建築設計製図を具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	B、J	第12回	【テーマ】パースの制作②(製図・着色) 【計画内容】演習課題により建築設計製図を具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	B、J
	第5回	【テーマ】製図のための室内装飾、家具、建築設備等の選択 【計画内容】演習課題により建築設計製図を具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	B、J	第13回	【テーマ】プレゼンボードの製作① 【計画内容】演習課題により建築設計製図を具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	F
	第6回	【テーマ】平面図の設計製図①(製図) 【計画内容】演習課題により建築設計製図を具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	B、J	第14回	【テーマ】プレゼンボードの製作② 【計画内容】演習課題により建築設計製図を具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	F
	第7回	【テーマ】平面図の設計製図②(製図・着色) 【計画内容】演習課題により建築設計製図を具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	B、J	第15回	【テーマ】課題の提出・プレゼンテーション 【計画内容】演習課題により建築設計製図を具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	F
	第8回	【テーマ】平面図の設計製図③(着色) 【計画内容】演習課題により建築設計製図を具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	B、J			

テキスト	『建築関係法令集』、霞ヶ関出版
参考書	関連資料・演習用資料を適宜配付します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			60%		40%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	1級建築士
		科目との関連	1級建築士として働いた知識を実践的教育に役立てる。

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[芸]1・2級建築士_選必、インテリアプランナー_選必
その他	

科目名	店舗デザイン			授業形態	演習	単位数	2
教員名	新貝　孝之						
授業の目的	ねらい	飲食店、販売店などの業務を行うオフィスやショッピングセンター等の商業施設について、建築計画の基本的な考え方、手法にもとづき、具体的に計画・設計する方法を、設計演習を通じて習得する。					
	到達目標	(1)本授業は、飲食店の設計・小規模事務所ビルの設計を通し、設計製図の基礎を修得することを目標とする。 (2)本授業を通じて、インテリアデザイン及び建築設計製図のための必要な知識と技術を身に付ける。					

授業の計画						
第1回	【テーマ】飲食店の設計：設計条件の整理(テナント入居) 【計画内容】演習課題により建築設計製図を具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】小規模事務所ビルの設計：設計条件の整理・法的規制条件 【計画内容】演習課題により建築設計製図を具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A、B
第2回	【テーマ】飲食店の設計：コンセプト、機能図・規模計画 【計画内容】演習課題により建築設計製図を具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A、B	第10回	【テーマ】小規模事務所ビルの設計：配置計画、ゾーニング・平面計画 【計画内容】演習課題により建築設計製図を具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	B
第3回	【テーマ】飲食店の設計：エスキス 【計画内容】演習課題により建築設計製図を具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	B	第11回	【テーマ】小規模事務所ビルの設計：各階平面図 【計画内容】演習課題により建築設計製図を具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	B
第4回	【テーマ】飲食店の設計：平面図・展開図① 【計画内容】演習課題により建築設計製図を具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	B	第12回	【テーマ】小規模事務所ビルの設計：断面図 【計画内容】演習課題により建築設計製図を具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	B
第5回	【テーマ】飲食店の設計：平面図・展開図② 【計画内容】演習課題により建築設計製図を具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	B	第13回	【テーマ】小規模事務所ビルの設計：立面図 【計画内容】演習課題により建築設計製図を具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	B
第6回	【テーマ】飲食店の設計：インテリア模型① 【計画内容】演習課題により建築設計製図を具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	B	第14回	【テーマ】小規模事務所ビルの設計：図面まとめ・面積表 【計画内容】演習課題により建築設計製図を具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	B
第7回	【テーマ】飲食店の設計：インテリア模型② 【計画内容】演習課題により建築設計製図を具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	B	第15回	【テーマ】小規模事務所ビルの設計：発表・講評(配置・平面図、断面図・立面図によるプレゼン) 【計画内容】演習課題により建築設計製図を具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	B、F
第8回	【テーマ】飲食店の設計：発表・講評(平面図・展開図・模型によるプレゼン) 【計画内容】演習課題により建築設計製図を具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	B			

テキスト	初回講義時に説明します
参考書	関連資料・演習用資料を適宜配付します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			60%		40%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連	該当	経験内容	1級建築士
		科目との関連	1級建築士として働いた知識を実践的教育に役立てている。

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[芸]1・2級建築士_選必、インテリアプランナー_選必
その他	

科目名	ステージ総合実習	授業形態	実習	単位数	2
教員名	端谷　真子				
授業の目的	ねらい	造形実習で制作した作品の総まとめとしての研究発表をショー形式で実施します。自作自演によるファッションショーの企画、構成、振付、音楽、照明などをプランニングし、創ること、着こなすこと、表現することを持続させるパワフル感を育成します。			
	到達目標	(1)ショーを作り上げるまでのプロセスを学ぶ。 (2)ひとつのことを成し遂げることによる達成感、満足感を体験する。 (3)コミュニケーション能力を身につける。			

授業の計画						
第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】授業の紹介をして、30回の授業展開を説明します。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第16回	【テーマ】ウォーキングレッスン 【計画内容】モデルとして最も重要な表現力を学びます(モデルが作品着用)。 【授業時間外の学修内容】「作品におけるポイントはどこか、どこを見ていただきたいか」などまとめておく。	E、H
第2回	【テーマ】ファッションショー企画 【計画内容】多くの要素を含んでいるファッションショーの全容を学びます。 【授業時間外の学修内容】本学におけるファッションショー(DVD)および学外のコレクションなどを鑑賞すること。	A	第17回	【テーマ】ウォーキングレッスン 【計画内容】モデルとして最も重要な表現力を学びます(モデルが作品着用)。 【授業時間外の学修内容】実際にウォーキングの練習をとおして表現力を身につけること。	E、H
第3回	【テーマ】全体の構成 【計画内容】学生とテーマや全体の構成について話し合い、ショーの構成を考えます。 【授業時間外の学修内容】本学におけるファッションショー(DVD)および学外のコレクションなどを鑑賞すること。	A	第18回	【テーマ】テクニカルリハーサル 【計画内容】テクニカルリハーサル(舞台美術、音響、照明など)を行います。 【授業時間外の学修内容】パートごとに音響照明にあわせてウォーキングをとおしての表現力を身につけておくこと。	E、H
第4回	【テーマ】ウォーキングレッスン 【計画内容】作品を効果的に表現するために基本的なウォーキングを学びます。 【授業時間外の学修内容】実際にウォーキングの練習をしておくこと。	E	第19回	【テーマ】テクニカルリハーサル 【計画内容】テクニカルリハーサル(舞台美術、音響、照明など)を行います。 【授業時間外の学修内容】パートごとに音響照明にあわせてウォーキングをとおしての表現力を身につけておくこと。	E、H
第5回	【テーマ】ウォーキングレッスン 【計画内容】作品を効果的に表現するために基本的なウォーキングを学びます。 【授業時間外の学修内容】実際にウォーキングの練習をしておくこと。	E	第20回	【テーマ】テクニカルリハーサル 【計画内容】テクニカルリハーサル(舞台美術、音響、照明など)を行います。 【授業時間外の学修内容】パートごとに音響照明にあわせてウォーキングをとおしての表現力を身につけておくこと。	E、H
第6回	【テーマ】ウォーキングレッスン 【計画内容】作品を効果的に表現するために基本的なウォーキングを学びます。 【授業時間外の学修内容】実際にウォーキングの練習をしておくこと。	E	第21回	【テーマ】ドレスリハーサル 【計画内容】作品が立体的、行動的に表現するためのリズム感、ボージングを実践的に学びます(作品着用)。 【授業時間外の学修内容】パートごとに音響照明にあわせてウォーキングをとおしての表現力を身につけておくこと。	E、H
第7回	【テーマ】舞台美術 【計画内容】ステージや会場全体の空間を創造する舞台美術について学びます。 【授業時間外の学修内容】本学におけるファッションショー(DVD)および学外のコレクションなどを参考にまとめておくこと。	A	第22回	【テーマ】ドレスリハーサル 【計画内容】作品が立体的、行動的に表現するためのリズム感、ボージングを実践的に学びます(作品着用)。 【授業時間外の学修内容】パートごとに曲にあわせてウォーキングをとおしての表現力を身につけておくこと。	E、H
第8回	【テーマ】企画・演出 【計画内容】企画・演出方法を学びます。企画するにあたり、総作品点数およびテーマ別パートの作品点数を確認します。また、出順についても話し合います。 【授業時間外の学修内容】テーマ別パートを一覧にまとめておくこと。	A、F、H	第23回	【テーマ】ドレスリハーサル 【計画内容】作品が立体的、行動的に表現するためのリズム感、ボージングを実践的に学びます(作品着用)。 【授業時間外の学修内容】パートごとに音響照明にあわせてウォーキングをとおしての表現力を身につけておくこと。	E、H
第9回	【テーマ】音楽 【計画内容】ショーを効果的にする作品のイメージやポリシーをより鮮明に表現する音楽について学びます。 【授業時間外の学修内容】テーマ別パートごとに作品のイメージを理解し、曲を選定しておくこと。	A、F、H	第24回	【テーマ】ドレスリハーサル 【計画内容】作品が立体的、行動的に表現するためのリズム感、ボージングを実践的に学びます(作品着用)。 【授業時間外の学修内容】パートごとに音響照明にあわせてウォーキングをとおしての表現力を身につけておくこと。	E、H
第10回	【テーマ】照明 【計画内容】作品をより印象的に見せるための重要な視覚的要素となる照明について学びます。 【授業時間外の学修内容】テーマ別パートごとに作品のイメージを理解し、照明について確認しておくこと。	A、F、H	第25回	【テーマ】ドレスリハーサル 【計画内容】作品が立体的、行動的に表現するためのリズム感、ボージングを実践的に学びます(作品着用)。 【授業時間外の学修内容】パートごとに音響照明にあわせてウォーキングをとおしての表現力を身につけておくこと。	E、H
第11回	【テーマ】構成(企画演出、音楽、照明) 【計画内容】ステージ効果を考えたテーマ別パートにおける音楽、照明などを話し合います。 【授業時間外の学修内容】テーマ別パートにおける企画演出、音楽、照明など最終チェックをしておくこと。	A、F、H	第26回	【テーマ】プランニング(BGM、照明、振付など) 【計画内容】最終的にファッションとシチュエーションが織り成すストーリーが作られます。 【授業時間外の学修内容】BGM、照明、振付など確認し、パートごとに音響照明にあわせてウォーキングをとおしての表現力を身につけておくこと。	E、F、H
第12回	【テーマ】フィッティングボード作成 【計画内容】出順ごとに一覧を作成します。 【授業時間外の学修内容】最終出順をまとめておくこと。	F、G、H	第27回	【テーマ】プランニング(BGM、照明、振付など) 【計画内容】最終的にファッションとシチュエーションが織り成すストーリーが作られます。 【授業時間外の学修内容】BGM、照明、振付など確認し、パートごとに音響照明にあわせてウォーキングをとおしての表現力を身につけておくこと。	E、F、H
第13回	【テーマ】ウォーキングレッスン 【計画内容】パートごとに演出方法を探り、実践的に学びます。 【授業時間外の学修内容】パートごとに演出方法をまとめておくこと。	E、H	第28回	【テーマ】当日本番 【計画内容】第1回目ショー開始。 【授業時間外の学修内容】これまで学んだ内容について理解を深め、個々に最終チェックをすること。	E、F、H
第14回	【テーマ】ウォーキングレッスン 【計画内容】パートごとに演出方法を探り、実践的に学びます。 【授業時間外の学修内容】パートごとに演出方法をまとめておくこと。	E、H	第29回	【テーマ】当日本番 【計画内容】第2回目ショー開始。 【授業時間外の学修内容】これまで学んだ内容について理解を深め、個々に最終チェックをすること。	E、F、H
第15回	【テーマ】ウォーキングレッスン 【計画内容】モデルとして最も重要な表現力を学びます(モデルが作品着用)。 【授業時間外の学修内容】「作品におけるポイントはどこか、どこを見ていただきたいか」などまとめておく。	E、H	第30回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】ファッションショー企画をとおして学んだ事柄をレポートにして提出します。 【授業時間外の学修内容】ファッションショー企画を振り返り、まとめておくこと。	L

テキスト	過去の DVD を使用します
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	20%	20%	20%	20%	20%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します
資格	
その他	平面のデザイン画から立体的に創り上げられた作品がステージ上で、生き生きと華やかにスポットを浴びる。

科目名	地域と芸術	授業形態	演習	単位数	2
教員名	森井　綾、浅井　貴也、大信田　静子、小室　晴陽、千里　政文、冨田　玲子、林　亨、松澤　衛、村松　幹男、山下　圭介				

授業の目的		
	ねらい	芸術学科は、芸術を学ぶことによって、創造力とコミュニケーション能力が人生のどのような場面でも生き抜く“力”となり、より豊かな人生を送る“力”となると考えている。そのうえで、本学科は教育目標として、その“力”を社会に役立て、幅広い世代の人々が豊かな人生を送ることをサポートし、地域の活性化に貢献することができるような人材を育成することに置いている。その教育目標に沿って、自ら学ぶ芸術分野と地域との関係に関心を持ち、どのような貢献ができるかを考察する。
	到達目標	(1)自ら学ぶ芸術分野と地域との関係を考えることができる。 (2)自ら学ぶ芸術分野を通して地域に貢献することができる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】「地域と芸術」の授業内容について説明する。(各分野教員) 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	B	第9回	【テーマ】中間報告会② 【計画内容】中間報告会の実施②各分野ごとに活動予定をプレゼンテーションする。報告に対する質疑応答を行う。(各分野教員) 【授業時間外の学修内容】各報告の内容を理解しておく。具体的な内容については、各分野の担当教員の指示を仰ぎながら制作を進めること。具体的な内容については、各分野の担当教員の指示を仰ぎながら￥自分たちの作業を進めること。	B
	第2回	【テーマ】講演：「地域貢献と芸術」 【計画内容】外部講演もしくは学内の教員による「地域貢献と芸術」についての講演(各分野教員) 【授業時間外の学修内容】講師の活動について調べておくこと。	B	第10回	【テーマ】分野別対応⑥各分野での具体的取組内容の見直し及び最終決定 【計画内容】分野別の展開⑥中間報告会での参考意見を基に計画を見直し、最終決定する。(各分野教員) 【授業時間外の学修内容】各報告の内容を理解しておく。具体的な内容については、各分野の担当教員の指示を仰ぎながら制作を進めること。具体的な内容については、各分野の担当教員の指示を仰ぎながら￥自分たちの作業を進めること。	B
	第3回	【テーマ】分野別対応①各分野での地域との関わりを考える 【計画内容】分野別の展開①各分野における地域との関わりについて考え、各自が意見を出し合う。 (各分野教員) 【授業時間外の学修内容】前回の講演の内容について理解し、自分の分野との関連性や可能性について考えておくこと。	B	第11回	【テーマ】分野別対応⑦地域での芸術活動の実践(1) 【計画内容】分野別の展開⑦それぞれの計画に基づき地域での芸術活動を実践する(1)。(各分野教員) 【授業時間外の学修内容】計画通りに実践できるよう、地域との連携を含め準備しておくこと。具体的な内容については、各分野の担当教員の指示を仰ぎながら進めること	B
	第4回	【テーマ】分野別対応②分野での取り組みの可能性を探る 【計画内容】分野別の展開②各分野における取組の可能性について考え、意見を出し合う。(各分野教員) 【授業時間外の学修内容】前回までの内容を理解し、自分たちが取り組む内容について可能性を考え、分野ごとにプリントにまとめておくこと。	B	第12回	【テーマ】分野別対応⑧地域での芸術活動の実践(2) 【計画内容】分野別の展開⑧それぞれの計画に基づき地域での芸術活動を実践する(2)。(各分野教員) 【授業時間外の学修内容】計画通りに実践できるよう、地域との連携を含め準備しておくこと。具体的な内容については、各分野の担当教員の指示を仰ぎながら進めること	B
	第5回	【テーマ】分野別対応③取り組み課題の絞り込み 【計画内容】分野別の展開③各分野における現実的な取り組み課題について意見を出し合い、絞り込む。 (各分野教員) 【授業時間外の学修内容】前回までの内容を踏まえ、現実的な可能性について考えておく。具体的な内容については、各分野の担当教員の指示を仰ぎながら進めること。	B	第13回	【テーマ】分野別対応⑨まとめ 【計画内容】分野別の展開⑨最終報告会に向け、実践記録を含めまとめを行う。(各分野教員) 【授業時間外の学修内容】最終報告に向け、どのような報告の仕方が良いか考えておくこと。具体的な内容については、各分野の担当教員の指示を仰ぎながら作業を進めること	B
	第6回	【テーマ】分野別対応④活動内容の決定及び活動開始への準備 【計画内容】分野別の展開④活動内容を決定し、活動を開始するために必要な準備や、予定を考える。 (各分野教員) 【授業時間外の学修内容】どのような活動を行うべきか自分の意見をまとめておく。実施のために必要な準備は何かを考えておくこと。	B	第14回	【テーマ】最終報告会① 【計画内容】最終報告会の実施①各分野ごとに最終報告を行う。(各分野教員) 【授業時間外の学修内容】最終報告会ができるように準備すること。具体的な内容については、各分野の担当教員の指示を仰ぎながら進めること	B
	第7回	【テーマ】分野別対応⑤具体的な活動準備と地域との連携確認 【計画内容】分野別の展開⑤決定した活動を実行するために必要な準備を具体的に行う。地域関係者との関わり方を確認する。(各分野教員) 【授業時間外の学修内容】具体的な活動を実施するために必要な地域関係者との連携について考えておくこと。	B	第15回	【テーマ】最終報告会② 【計画内容】最終報告会の実施②各分野ごとに最終報告を行う。(各分野教員) 【授業時間外の学修内容】最終報告会ができるように準備すること。具体的な内容については、各分野の担当教員の指示を仰ぎながら進めること	B
	第8回	【テーマ】中間報告会① 【計画内容】中間報告会の実施①各分野ごとに活動予定をプレゼンテーションする。報告に対する質疑応答を行う。 (各分野教員) 【授業時間外の学修内容】中間報告ができるような準備をしておくこと。具体的な内容については、各分野の担当教員の指示を仰ぎながらまとめ作業を進めること。	B			

テキスト	講義時に説明します
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			20%	40%	40%	
	補足			講義レポート	成果物と最終発表	積極的参加、貢献度	

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	各分野の先生へ直接申し出てください。
資格	
その他	評価方法その他は、企画の具体的内容と実施内容によります。年ごとにテーマが変化する場合あります。

科目名	ポートフォリオ制作Ⅰ	授業形態	演習	単位数	1
教員名	浅井　貴也、大信田　静子、小室　晴陽、千里　政文、冨田　玲子、林　亨、松澤　衛、村松　幹男、森井　綾、山下　圭介				

授業の目的		
	ねらい	芸術を学ぶ学生にとって、これまでの成果物を記録しておくものとしてポートフォリオ(作品集、記録集)が重要になります。特に卒業後の進路において、就職活動や作家活動などにおける活用の機会は確実に増えていきます。この科目を通して受講生一人一人が自己のポートフォリオを制作することで、自らの成長を振り返ることで、今後に向けた更なる学習への気づきやきっかけにします。
	到達目標	(1)ポートフォリオとは何か？その重要性を理解する。 (2)ポートフォリオを通して、これまでに自分が取り組んだ作品制作や学内外での活動を振り返るきっかけとする。 (3)これまでの成果物を整理し、ストーリー、コンセプトを考え、形としてまとめる。 (4)様々なメディアを活用したポートフォリオを制作する。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】15回の流れ、受講の際の心構え、成績評価、出欠席に関するルールの説明をします。 【授業時間外の学修内容】これまでに学んできた授業内で、あるいはそれ以外の制作で作った作品や、その写真・資料等を集めておく。	A	第9回	【テーマ】ポートフォリオ制作3 【計画内容】それぞれポートフォリオの制作を進めます。第7回～11回は、それぞれのポートフォリオ制作に対し、個別または、グループ単位で指導します。 【授業時間外の学修内容】継続して制作を進めること。	B、H
	第2回	【テーマ】ポートフォリオとは何か？ 【計画内容】ポートフォリオとは何か？その必要性と重要性について説明します。実際の制作の流れについて過去の事例をもとに解説します。 【授業時間外の学修内容】紹介された事例を研究し、自身のポートフォリオをどのような物にしたいのか考えます。	A、J	第10回	【テーマ】ポートフォリオ制作4 【計画内容】それぞれポートフォリオの制作を進めます。第7回～11回は、それぞれのポートフォリオ制作に対し、個別または、グループ単位で指導します。 【授業時間外の学修内容】継続して制作を進めること。	B、H
	第3回	【テーマ】ポートフォリオに掲載するレジュメの作成 【計画内容】通常の履歴書とは別に、アーティスト、デザイナーとしての履歴書を作成します。この中にはアーティスト(デザイナー)としての使命(ミッション)、知識やスキルの紹介、使用できるメディア等を含みます。 【授業時間外の学修内容】レジュメを完成させること。(継続して今後も修正を加えて完成度を高めていきます。)	B、K	第11回	【テーマ】ポートフォリオ制作5 【計画内容】それぞれポートフォリオの制作を進めます。第7回～11回は、それぞれのポートフォリオ制作に対し、個別または、グループ単位で指導します。 【授業時間外の学修内容】ポートフォリオを完成させる。	B、H
	第4回	【テーマ】ポートフォリオのコンセプト 【計画内容】自分らしさ、個性をどう一冊のポートフォリオを使って表現するか、そのコンセプト考えます。 【授業時間外の学修内容】ポートフォリオのコンセプトを決定する。	B、K	第12回	【テーマ】オンラインポートフォリオサイト制作1 【計画内容】無料、有料にて使用可能なオンラインのポートフォリオサイトの活用方法を学び、実際に制作します。 【授業時間外の学修内容】印刷物として制作したポートフォリオに合わせたデザインを考える。	B
	第5回	【テーマ】ポートフォリオの構成 【計画内容】これまでの成果物をリストアップし整理します。ポートフォリオに掲載する際にどのような順番で何を紹介するのか、その構成を考えます。 【授業時間外の学修内容】ポートフォリオの構成を確定させる。	B、K	第13回	【テーマ】オンラインポートフォリオサイト制作2 【計画内容】オンラインポートフォリオサイトを引き続き制作します。 【授業時間外の学修内容】オンラインポートフォリオを完成させる。	B
	第6回	【テーマ】ポートフォリオの企画中間発表 【計画内容】後半で行う制作の前に、どのようなポートフォリオを作るのか、その企画とコンセプト、構成について発表し、講評します。 【授業時間外の学修内容】みんなから受けたフィードバックをもとに修正を加えること。	B、F、L	第14回	【テーマ】オンラインポートフォリオサイト制作3 【計画内容】完成したオンラインポートフォリオサイトを授業内で発表し講評します。 【授業時間外の学修内容】最終プレゼンテーションに向けての準備	B、F、L
	第7回	【テーマ】ポートフォリオ制作1 【計画内容】それぞれポートフォリオの制作を進めます。第7回～11回は、それぞれのポートフォリオ制作に対し、個別または、グループ単位で指導します。 【授業時間外の学修内容】継続して制作を進めること。	B、H	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】印刷物とオンラインのポートフォリオをセットとして最終プレゼンテーションし、お互いに講評します。その後、今後の更新や改良についてどのようにすれば良いか、皆さんと考えます。 【授業時間外の学修内容】受けた講評を参考にポートフォリオを今後も改訂していくこと。	B、F、L
	第8回	【テーマ】ポートフォリオ制作2 【計画内容】それぞれポートフォリオの制作を進めます。第7回～11回は、それぞれのポートフォリオ制作に対し、個別または、グループ単位で指導します。 【授業時間外の学修内容】継続して制作を進めること。	B、H			

テキスト	必要に応じてプリントを配付します
参考書	MdN 編集部、2019年、『デザイン・クリエイティブ業界を目指す人のための ポートフォリオ見本帳』、MdN コーポレーション、484436829X 佐藤良仁ほか、2014年、『人の心を動かす三ツ星ポートフォリオの企画「虎の巻」』、六耀社、9784897376929 尾形美幸、2011年、『クリエイティブ業界を目指す人のためのポートフォリオ見本帳』、エムディエヌコーポレーション、9784844362272

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			30%	30%	40%	
補足			作品・レポート等	ポートフォリオ	授業参加・貢献度	

課題に関するフィードバックの方法	担当教員による1対1の評価やディスカッションなどを通して振り返ります。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	この科目についての質問、問い合わせはメールでも受付しています。 芸術学科　浅井 貴也 先生　takaya@hokusho-u.ac.jp
資格	
その他	ポートフォリオは自身の制作を記録することに加え、どの職業に就く場合でも持つべき必需品です。まだ持っていない人は、将来への自己投資と思って今から作りませんか？受講生はこれまでに制作した作品(自主制作、課題制作)や学内外で参加した取り組み等の記録を授業に持参してください。

科目名	専門演習Ⅰ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	担当教員				
授業の目的	ねらい	1年次から学習した基礎知識をもとに、芸術学科の5つの分野(美術、メディアデザイン、インテリア建築、服飾美術、舞台芸術)に関連する専門分野を、それぞれのゼミナールで教員と学生とが協力して運営し、実践を交えながら学習を深めます。			
	到達目標	(1)専門分野に関する自らの課題を見つける。 (2)学習・研究・実践によって、専門性を深める。			

授業の計画		
【計画内容】		
第1回	オリエンテーション:「専門演習Ⅰ」としてゼミナールで学ぶことについて 自らの課題を見つけ出し、学習成果を上げる方法についての概要を学びます。	B
第2回	専門領域を深めるということ1: ゼミナールでの学習の仕方(1) 教員と学生が協力し合い、課題研究を深めていくスキル(技術)を学びます。	B
第3回	専門領域を深めるということ2: ゼミナールでの学習の仕方(2) 教員と学生が協力し合い、課題研究を深めていくスキル(技術)を学びます。	B
第4回	専門領域を深めるということ3: ゼミナールでの学習の仕方(3) 教員と学生が協力し合い、課題研究を深めていくスキル(技術)を学びます。	B
第5回	専門領域を深めるということ4: ゼミナールでの学習の仕方(4) 教員と学生が協力し合い、課題研究を深めていくスキル(技術)を学びます。	B
第6回	専門領域を深めるということ5: ゼミナールでの学習の仕方(5) 教員と学生が協力し合い、課題研究を深めていくスキル(技術)を学びます。	B
第7回	専門領域を活用するということ1: 作品制作・パフォーマンス(1) 専門領域の実践として自らの表現方法を深化させます。	B
第8回	専門領域を活用するということ2: 作品制作・パフォーマンス(2) 専門領域の実践として自らの表現方法を深化させます。	B
第9回	専門領域を活用するということ3: 作品制作・パフォーマンス(3) 専門領域の実践として自らの表現方法を深化させます。	B
第10回	専門領域を活用するということ4: 作品制作・パフォーマンス(4) 専門領域の実践として自らの表現方法を深化させます。	B
第11回	専門領域を活用するということ5: 作品制作・パフォーマンス(5) 専門領域の実践として自らの表現方法を深化させます。	B
第12回	専門領域において課題を見つけるということ1: 研究領域の確立(1) 専門領域の中でも　独自の課題を発見するためのスキル(技術)を学びます。	B
第13回	専門領域において課題を見つけるということ2: 研究領域の確立(2) 専門領域の中でも　独自の課題を発見するためのスキル(技術)を学びます。	B
第14回	専門領域において課題を見つけるということ3: 研究領域の確立(3) 専門領域の中でも、独自の課題へ取り組むためのスキル(技術)を学びます。	B
第15回	「専門演習Ⅰ」のまとめ 14回の演習内容から独自の課題について作品・公演・ショー・パフォーマンスなどで発表します。	B
【授業時間外の学修内容】	各講義ごとに、自らの課題を見つけ出し(復習)、問題の解決として学習成果を上げる方法を考察し、記録・実践しておく。	

テキスト	初回講義時に指定します
参考書	初回講義時に指定します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分				70%	30%	
	補足				作品制作・公演・ショー・パフォーマンス他		

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		経験内容	
		科目との関連	

質問への対応	各担当教員から説明します
資格	
その他	

科目名	専門演習Ⅱ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	担当教員				
授業の目的	ねらい	「専門演習Ⅰ」から学習した知識や表現方法をもとに、芸術学科の5つの分野(美術、メディアデザイン、インテリア建築、服飾美術、舞台芸術)に関連する専門的な内容を、それぞれのゼミナールで教員と学生とが協力して運営し、実践を交えながら学習を深めます。			
	到達目標	(1)専門分野に関する自らの課題を見つける。 (2)学外での表現活動によりコミュニケーションとしての芸術の意義を学習する。			

授業の計画

【計画内容】

第1回	オリエンテーション:「専門演習Ⅱ」としてゼミナールで学ぶことについて 自らの課題を見つけ出し、学習成果を上げる方法についての概要を学びます。	B
第2回	専門領域を深めるということ1: 鑑賞学習の仕方(1) 専門領域での鑑賞学習のスキル(技術)を学びます。	B
第3回	専門領域を深めるということ2: 鑑賞学習の仕方(2) 専門領域での鑑賞学習のスキル(技術)を学びます。	B
第4回	専門領域を深めるということ3: 鑑賞学習の仕方(3) 専門領域での鑑賞学習のスキル(技術)を学びます。	B
第5回	専門領域を活用するということ1: 学外での表現活動の仕方(1) 専門演習で学んだ表現方法を学外で実践します。	B
第6回	専門領域を活用するということ2: 学外での表現活動の仕方(2) 専門演習で学んだ表現方法を学外で実践します。	B
第7回	専門領域を活用するということ3: 学外での表現活動の仕方(3) 専門演習で学んだ表現方法を学外で実践します。	B
第8回	専門領域を活用するということ4: 学外での表現活動の仕方(4) 専門演習で学んだ表現方法を学外で実践します。	B
第9回	専門領域を活用するということ5: 学外での表現活動の仕方(5) 専門演習で学んだ表現方法を学外で実践します。	B
第10回	専門領域において課題を見つけるということ1: 研究領域の確立(1) 専門領域の中でも、独自の課題へ取り組むためのスキル(技術)を学びます。	B
第11回	専門領域において課題を見つけるということ2: 研究領域の確立(2) 専門領域の中でも、独自の課題へ取り組むためのスキル(技術)を学びます。	B
第12回	専門領域において課題を見つけるということ3: 研究領域の確立(3) 専門領域の中でも、独自の課題へ取り組むためのスキル(技術)を学びます。	B
第13回	専門領域において課題を見つけるということ4: 研究領域の確立(4) 専門領域の中でも、独自の課題へ取り組むためのスキル(技術)を学びます。	B
第14回	専門領域において課題を見つけるということ5: 研究領域の確立(5) 専門領域の中でも、独自の課題へ取り組むためのスキル(技術)を学びます。	B
第15回	「専門演習Ⅱ」のまとめ 14回の演習内容から独自の課題について作品・公演・ショー・パフォーマンスなどで発表します。	B

【授業時間外の学修内容】各講義ごとに、自らの課題を見つけ出し(復習)、問題の解決として学習成果を上げる方法を考察し、記録・実践しておく。

テキスト	初回講義時に指定します
参考書	初回講義時に指定します

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分				60%	40%	
補足				作品制作・公演・ショー・パフォーマンス他		

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	各担当教員から説明します
資格	
その他	

教職に関する科目

科目名	教育課程論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	諏江　康夫				

授業の目的	
ねらい	中学校及び高等学校学習指導要領の総則を手がかりに、学習指導要領や教育課程の役割・機能・意義などを理解する。 ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業を通して、学習指導要領改訂の趣旨を踏まえた教育課程編成や指導計画の作成方法を身につける。 ・学習指導要領改訂の背景を踏まえ、「社会に開かれた教育課程」やカリキュラム・マネジメントの重要性・意義について理解を深める。
到達目標	(1)学習指導要領や教育課程の役割、機能、意義を理解する。 (2)教育課程編成の基本原理などを理解するとともに、教科等横断的な視点から教育課程や指導計画を編成・例示することができる。 (3)教科等横断的な視点や学校段階間の接続を踏まえ、カリキュラム・マネジメントの重要性・意義を理解する。

授業の計画						
第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】授業のねらい、展開、評価、参考文献などについて説明します。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で学びたいことを整理して、関連する資料を調べておくこと。	A	第9回	【テーマ】教育課程編成の基本原理・高等学校(2) 【計画内容】教育課程編成において、中学校と異なる基本事項があることを理解するとともに、学校や生徒の多様な実態等に対応する教育課程編成の具体的方策を相互に検討する。 【授業時間外の学修内容】中学校・高等学校の学習指導要領・総則のポイントを整理しておく。	A、G、H
第2回	【テーマ】学習指導要領改訂の変遷と社会的背景 【計画内容】学習指導要領改訂の歴史を概観し、それぞれの内容や社会的背景などについて学ぶとともに、カリキュラム・マネジメントなど、今回の改訂のポイントを理解する。 【授業時間外の学修内容】『中学校学習指導要領解説総則編』の第1章、『高等学校学習指導要領(総則)』を予習しておく。	A、H	第10回	【テーマ】教育課程の編成・高等学校(1) 【計画内容】これまでの学びをもとに、協同学習を通して高等学校の教育課程を編成(例示)する。 【授業時間外の学修内容】配付する資料に教育課程表の下書きを作成する。	A、G、H
第3回	【テーマ】学習指導要領、教育課程の意義と役割 【計画内容】学習指導要領の性格や位置付け、教育課程編成の目的などについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】『中学校学習指導要領解説総則編』の第2章、『高等学校学習指導要領(総則)』を予習しておく。	A、H	第11回	【テーマ】教育課程の編成・高等学校(2) 【計画内容】編成(例示)した教育課程について、「教科等横断的な視点が十分か」「学校段階間の接続」などを相互に検討し、改善を図る。 【授業時間外の学修内容】配付する資料に教育課程表の修正版を作成する。	A、G、H
第4回	【テーマ】教育課程の役割・機能と育成すべき資質・能力 【計画内容】教育課程が社会に果たす役割や機能、教育課程の実施を通して育成すべき資質・能力などについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】『中学校学習指導要領解説総則編』の第3章第1節、『高等学校学習指導要領(総則)』を予習しておく。	A、G	第12回	【テーマ】各教科・科目の年間指導計画の作成(1) 【計画内容】任意の教科・科目について、年間指導計画を作成(例示)する。 【授業時間外の学修内容】任意の教科・科目の学習指導要領を読み、改訂のポイントなどを調べておく。	A、B、G、H
第5回	【テーマ】教育課程編成の基本原理・中学校 【計画内容】中学校における教育課程編成の基本的事項や留意事項について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】『中学校学習指導要領解説総則編』の第3章第2節を予習しておく。	A、H	第13回	【テーマ】各教科・科目の年間指導計画の作成(2) 【計画内容】作成(例示)した年間指導計画を相互に検討し、望ましい年間指導計画に近づける。 【授業時間外の学修内容】作成した年間指導計画を見直し、説明のポイントなどを整理しておく。	A、B、G、H
第6回	【テーマ】教育課程の編成・中学校(1) 【計画内容】これまでの学びをもとに、協同学習を通して中学校の教育課程を編成(例示)する。 【授業時間外の学修内容】配付する資料に教育課程表の下書きを作成する。	A、G、H	第14回	【テーマ】教育課程の実施と学習評価 【計画内容】カリキュラム・マネジメント、授業改善、学習評価の充実、生徒の発達支援等について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】『中学校学習指導要領解説 総則編』の第3章第3～4節、『高等学校学習指導要領(総則)』を予習しておく。	A
第7回	【テーマ】教育課程の編成・中学校(2) 【計画内容】編成(例示)した中学校の教育課程について、「教科等横断的な視点が十分か」「学校段階間の接続」などを相互に検討し、改善を図る。 【授業時間外の学修内容】配付する資料に教育課程表の修正版を作成する。	A、G、H	第15回	【テーマ】教育課程の改善と学校運営 【計画内容】教育課程の評価と改善、家庭・地域・学校間の連携、道徳教育との関連などについて学ぶとともに、これまでの学習を総括する。 【授業時間外の学修内容】『中学校学習指導要領解説総則編』の第3章第5～6節、『高等学校学習指導要領(総則)』を予習しておく。これまでの資料などを整理しておく。	A、L
第8回	【テーマ】教育課程編成の基本原理・高等学校(1) 【計画内容】高等学校における教育課程編成の基本的事項や留意事項について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】『高等学校学習指導要領』の総則を予習しておく。	A、G、H				

テキスト	文部科学省、2018年、『中学校学習指導要領解説　総則編』、東山書房、9784827815801 文部科学省、2018年、『高等学校学習指導要領解説　総則編』、東洋館出版社、9784491036397
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			60%		40%	
補足			レポート		提出物や発言など	

課題に関するフィードバックの方法	提出物やレポートについて、その都度、解説・講評し、学習の深化を図ります。

実務経験と授業の関連		
該当	経験内容	高等学校教諭、教育委員会指導主事
	科目との関連	教職実務の経験を活かし、教育課程編成や実践的指導の力量を育成する

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[芸]中・高1種(美術)_必修 [教]養教1種_必修
その他	取得希望の教員免許教科の『学習指導要領解説』が必要となります。講義の際に具体的に説明します。

科目名	美術科教育法Ⅲ	授業形態	講義	単位数	2
教員名	林　亨、山下　圭介				

授業の目的

ねらい	本講義は、これまでに学んできた美術科教育法の授業をふまえ、中学校・高等学校の美術科の幅広い教育活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を持った生徒を育てることができる指導者の育成を目指す。
到達目標	(1)中学校・高等学校の美術教育の目標や内容を理解する。 (2)教材の作成やその指導方法を研究することを学ぶ。

授業の計画

第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】現在の社会における美術の重要性と、日常生活と美術とのつながりが感じられる素材による美術教育の方法。 【授業時間外の学修内容】これまでに学んできた「美術科教育法」の授業を復習しておく。	A、L	第9回	【テーマ】模擬授業2(彫刻・立体分野) 【計画内容】自分たちが作成した学習指導案をもとに、実際に模擬授業を行う。 【授業時間外の学修内容】前時までの授業をふまえ、自分たちが作成した学習指導案を完成させてくること。	F、I
第2回	【テーマ】中学校の美術科の目標と内容 【計画内容】現在の中学校の美術で学ばせたい授業の目標と内容について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】自分たちが中学校で学んできた授業について考えておくこと。	A	第10回	【テーマ】教材研究3(デザイン分野) 【計画内容】前時までの授業をふまえ、デザイン分野の授業について教材研究を行う。 【授業時間外の学修内容】自分たちが中学校や高等学校で学んできたデザインの授業について考えておくこと。	A、L
第3回	【テーマ】高等学校の美術科の目標と内容 【計画内容】現在の高等学校の美術で学ばせたい授業の目標と内容について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】自分たちが高等学校で学んできた授業について考えておくこと。	A	第11回	【テーマ】学習指導案作成3(デザイン分野) 【計画内容】前時までの授業をふまえ、自分たちが作成した学習指導案について考えてみる。 【授業時間外の学修内容】前時までの授業をふまえ、学習指導案を作成してくること。	A、K
第4回	【テーマ】教材研究1(絵画・平面分野) 【計画内容】指導案の作成や教材研究の準備の仕方を学び、それらをふまえて絵画・平面分野について教材研究を行う。 【授業時間外の学修内容】自分たちが中学校や高等学校で学んできた美術の授業について考えておくこと。	A、I	第12回	【テーマ】模擬授業3(デザイン分野) 【計画内容】自分たちが作成した学習指導案をもとに、実際に模擬授業を行う。 【授業時間外の学修内容】前時までの授業をふまえ、自分たちが作成した学習指導案を完成させてくること。	F、I
第5回	【テーマ】学習指導案作成1(絵画・平面分野) 【計画内容】前時の授業をふまえ、自分たちが作成した学習指導案について考えてみる。 【授業時間外の学修内容】学習指導案を作成してくること。	A、K	第13回	【テーマ】現在の社会における美術の役割 【計画内容】現在の社会における美術の役割について考え、美術科教育の目的と意義について考えてみる。 【授業時間外の学修内容】この授業の中でとりあげた美術科教育の目的と意義について考えておくこと。	A
第6回	【テーマ】模擬授業1(絵画・平面分野) 【計画内容】自分たちが作成した学習指導案をもとに、実際に模擬授業を行う。 【授業時間外の学修内容】前時の授業をふまえ、自分たちが作成した学習指導案を完成させてくること。	F、I	第14回	【テーマ】美術科教育の目的と意義1 【計画内容】現代の日本社会における美術科教育の目的と意義について考える。 【授業時間外の学修内容】美術科教育の目的と意義についてレポートにまとめておくこと。	A、I
第7回	【テーマ】教材研究2(彫刻・立体分野) 【計画内容】前時までの授業をふまえ、彫刻・立体分野の授業について教材研究を行う。 【授業時間外の学修内容】自分たちが中学校や高等学校で学んで来た美術の授業について考えておくこと。	A、L	第15回	【テーマ】美術科教育の目的と意義2 【計画内容】前時の授業の内容をふまえ、現代の日本社会における美術科教育の目的と意義について考える。理解度調査も実施する。 【授業時間外の学修内容】美術科教育の目的と意義について、再度考察しておくこと。	A、G
第8回	【テーマ】学習指導案作成2(彫刻・立体分野) 【計画内容】前時までの授業をふまえ、自分たちが作成した学習指導案について考えてみる。 【授業時間外の学修内容】学習指導案を作成してくること。	A、K			

テキスト	文部科学省、『中学校学習指導要領解説　美術編』 文部科学省、『高等学校学習指導要領解説　芸術編』 その他(美術科の教科書など)
参考書	福田隆眞、2011年、『美術科教育の基礎知識』、建帛社

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			50%		20%	30%
補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連

該当	経験内容	林亨／中学校、高等学校教諭
	科目との関連	林亨／中学校および高等学校教諭の業務経験をもとに実務に即した指導を行う。

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[芸]中・高1種(美術)_必修
その他	「美術科教育法Ⅰ・Ⅱ」を修得していることが望ましい。引き続き「美術科教育法Ⅳ」を受講することが望ましい。

科目名	美術科教育法Ⅳ	授業形態	講義	単位数	2
教員名	林　亨、山下　圭介				

授業の目的

ねらい	「美術科教育法Ⅳ」の授業では、「美術科教育法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」で学んだ美術的知識、実践的な指導方法の研究を踏まえ、美術を通して生涯にわたり美術を愛好する心を育て、豊かな情操と創造の能力を高めることのできる指導者の育成を目指します。中学校および高等学校教育における美術科の教材研究を中心に学習し、美術教育のあり方や全体構造の理解を深めます。
到達目標	(1)美術科教育の目標や内容、実情を理解する。 (2)中学校および高等学校美術における各領域間の関連や発達段階を考慮した年間指導計画を作成する。 (3)絵画や彫刻領域における学習指導案を作成し、模擬授業を通して具体的な授業の進め方を実践的に学ぶ。 (4)デザイン・映像領域における学習指導案を作成し、模擬授業を通して具体的な授業の進め方を実践的に学ぶ。 (5)鑑賞を題材とした授業のあり方を研究し、模擬授業を通して具体的な授業の進め方を実践的に学ぶ。

授業の計画

第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】授業の内容を紹介し、15回の授業展開を説明します。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】デザイン・映像領域を題材とした模擬授業 【計画内容】立案した学習指導案に沿い、授業の導入部分から展開・整理までの模擬授業を行います。 【授業時間外の学修内容】指導案は関係教員にチェックしてもらう。授業で使用する資料や機器を準備する。	F、I
第2回	【テーマ】中学校および高等学校美術の目標と内容 【計画内容】中学校および高等学校美術の学習指導要領に沿って内容を理解します。 【授業時間外の学修内容】中学校および高等学校美術教科書を持参する。学習指導要領はプリント資料を配付する。	A、I	第10回	【テーマ】模擬授業の事後検討会 【計画内容】授業観察メモを取り、それを参考に、授業の進め方や資料・機器の扱い方等の良さや課題を交流します。 【授業時間外の学修内容】授業観察メモをしっかり取り準備する。活発に交流し、成果や課題を共有化する。	F、H
第3回	【テーマ】中学校および高等学校美術の時数に合わせた年間指導計画の作成 【計画内容】学習指導要領及び美術教科書を参考に単元を選び配列します。 【授業時間外の学修内容】中学校および高等学校美術教科書持参する。年間指導計表を配付する。様々な条件を考慮し、単元を選んでおくこと。	A、I	第11回	【テーマ】鑑賞を題材とした学習指導案の作成 【計画内容】中学校美術教科書、高校美術教科書より題材を選び、生徒が意欲的に取り組む学習指導案を作成します。 【授業時間外の学修内容】題材を選び、扱う作品・資料の下調べを入念に行う。学習指導案は関係教員にチェックしてもらう。	B
第4回	【テーマ】美術科教育における効果的な視聴覚機器及び資料の扱い方 【計画内容】補助教材の重要性、具体的な資料、機器の利用の仕方について学びます。 【授業時間外の学修内容】今までの模擬授業で使った資料を持参する。機器の扱い方を予習する。	A	第12回	【テーマ】鑑賞を題材とした模擬授業 【計画内容】立案した学習指導案に沿い、授業の導入部分から展開・整理までの模擬授業を行います。 【授業時間外の学修内容】授業で使う資料や機器を準備する。授業観察メモを準備する。	F、I
第5回	【テーマ】絵画・彫刻領域を題材とした学習指導案の作成 【計画内容】中学校美術教科書、高校美術教科書より題材を選び、生徒が意欲的に取り組む学習指導案を作成します。 【授業時間外の学修内容】取り上げる題材を選び、目標や興味、関心を持つ授業の工夫を考えておく。	B	第13回	【テーマ】模擬授業の事後検討会 【計画内容】授業観察メモを取り、それを参考に授業の意図が達成されたか、活発に意見交流を行います。 【授業時間外の学修内容】活発に意見交流し、成果や課題を共有化する。	F、H
第6回	【テーマ】絵画・彫刻領域の単元を題材とした模擬授業 【計画内容】立案した学習指導案に沿い、授業の導入部分から展開・整理までの模擬授業を行います。 【授業時間外の学修内容】指導案は関係教員にチェックしてもらう。授業で使用する資料や機器を準備する。	F、I	第14回	【テーマ】中学校および高等学校美術の成績評価のあり方・授業過程における評価の方法 【計画内容】仮想の学級を想定し、成績をつける側に立って評価を試みます。生徒が意欲を持って取り組む評価のあり方、美術に親しむ感性を育てる評価のあり方を考えます。 【授業時間外の学修内容】プリント資料及び生徒の作品を準備する。	A、B
第7回	【テーマ】模擬授業の事後検討会 【計画内容】授業観察メモを取り、それを参考に授業の進め方の良さや課題を検討します。 【授業時間外の学修内容】授業観察メモをしっかり取り準備する。また、活発に話し合い、成果を共有する。	F、H	第15回	【テーマ】自分が目指す美術教育と教師像 【計画内容】自分が目指す美術教育、教師像について意見交換し、レポートを書きます。 【授業時間外の学修内容】自分が目指す美術教育と教師像について考えておくこと。	A、G
第8回	【テーマ】デザイン・映像領域を題材とした学習指導案の作成 【計画内容】中学校美術教科書、高校美術教科書より題材を選び、生徒が意欲的に取り組む学習指導案を作成します。 【授業時間外の学修内容】取り上げる題材を選び、目標や興味、関心を持つ授業の工夫を考えておく。	B			

テキスト	『中学美術1・中学美術2・3』、開隆堂出版 『高校美術Ⅰ・高校美術Ⅱ・高校美術Ⅲ』、日文 プリントを使用します
参考書	文部科学省、『中学校学習指導要領解説　美術編』 文部科学省、『高等学校学習指導要領解説　芸術編』

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			50%		20%	30%
補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連

該当	経験内容	林亨／中学校、高等学校教諭
	科目との関連	林亨／中学校および高等学校教諭の業務経験をもとに実務に即した指導を行う。

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[芸]中・高1種(美術)_選択
その他	「美術教育法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」を履修していることが望ましい。

科目名	教育方法論(情報機器・教材活用を含む)	授業形態	講義	単位数	2

教員名	西出　勉

授業の目的		
	ねらい	本講義では、様々な教育活動を効果的に展開するための教育方法などについて学びます。中学校学習指導要領等について理解し、授業の指導計画の作成や教材研究(ICT の効果的な活用を含む)、学習評価、教師の具体的なかかわり方等について、学習指導案の作成や模擬授業等を通して実践的に学んでいきます。
	到達目標	(1)中学校学習指導要領等の内容について理解することができる。 (2)指導計画の作成や教材研究(ICT の効果的な活用を含む)、学習評価について理解することができる。 (3)授業の進め方や教師のかかわり方について理解することができる。 (4)学習指導案の作成等を行い、振り返ることができる。 (5)学習評価に関する基本的な考え方について理解することができる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】授業の進め方や教育方法に関する基本的な概念等について説明します。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で学びたいことを整理して、関連する資料を調べておくこと。	A	第9回	【テーマ】学習指導と教育活動の展開⑤ 【計画内容】授業に関する教育技術等について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A、H、K
	第2回	【テーマ】学習指導要領① 【計画内容】中学校教育等の基本と育成したい資質能力について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A	第10回	【テーマ】学習指導と教育活動の展開⑥ 【計画内容】教育評価に関する基本的な考え方等について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A、H、K
	第3回	【テーマ】学習指導要領② 【計画内容】中学校教育等の教育課程の役割と編成について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A、K	第11回	【テーマ】学習指導と教育活動の展開⑦ 【計画内容】音楽科や美術科における学習評価ついて学びます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A、H、K
	第4回	【テーマ】学習指導要領③ 【計画内容】中学校教育等の指導計画の作成と評価について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A、J	第12回	【テーマ】指導計画の作成① 【計画内容】具体的な指導計画の作成について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	B、H、K
	第5回	【テーマ】学習指導と教育活動の展開①【学習過程】 【計画内容】問題解決的学習(探求的学習)と系統学習について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A	第13回	【テーマ】指導計画の作成② 【計画内容】作成した指導計画(学習指導案)をもとに、評価の計画を立案します。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	B、H、K、L、M
	第6回	【テーマ】学習指導と教育活動の展開②【学びの形態：個人・グループ・学級全体】 【計画内容】学習(指導)形態等について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A、H、K	第14回	【テーマ】指導計画の作成③ 【計画内容】作成した指導計画をもとに、具体的な指導方法等について振り返ります。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	B、H、K、L、M
	第7回	【テーマ】学習指導と教育活動の展開③ 【計画内容】教材研究の基本的な考え方やICT の効果的な活用等について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A、J、K	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】教育方法に関する考え方や具体的な実践について、教師の立場から振り返り、まとめます。 【授業時間外の学修内容】これまで配付したプリントを振り返り、内容を再確認すること。	A、G、L
	第8回	【テーマ】学習指導と教育活動の展開④ 【計画内容】授業に関する教育技術等について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A、H、K			

テキスト	講義時に説明します
参考書	文部科学省、2018年、『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説　美術編』、日本文教出版 文部科学省、2018年、『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説　音楽編』、教育芸術社

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			70%		30%	
	補足			レポート			

課題に関するフィードバックの方法	レポート等を返却し、学んだ内容を振り返りながら講評します。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	小学校教諭
		科目との関連	小学校教諭としての業務経験をもとに、実務に即した指導を行う。

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[芸]中・高1種(美術)_必修 [教]中・高1種(音楽)_必修
その他	

科目名	教育相談論(カウンセリングを含む)	授業形態	講義	単位数	2
教員名	三浦　公裕				

授業の目的	ねらい	多くの教員が、いじめ、不登校、虐待、非行問題など、児童生徒の生命・健康に関わる問題に直面し、その対応に苦慮している。教師はカウンセリングの意義、理論や技法に関する基礎的知識をもち、児童生徒をより深く理解し、適切に接することやカウンセラーや専門機関と円滑に連携し、組織的に対応することが求められている。本講義では、教師としての教育相談の資質を身につけることと、保護者との相談の実際や専門家との連携のあり方について理解を深める。
	到達目標	(1)子供たちが自己理解を深め好ましい人間関係を築くための目的や方法について理解し支援することができる。 (2)教育相談の基本的な知識(カウンセリングの意義や理論)や技法を身につけることができる。 (3)児童生徒に生起する諸問題の背景についての理解とその対応策を考えることができる。

授業の計画					
第1回	【テーマ】オリエンテーション / 教育相談・カウンセリング・心理療法の理解 【計画内容】授業のすすめ方及び教育相談の意義や基本的な事柄について理解する。 【授業時間外の学修内容】生徒指導提要第5章 pp.92を読み、教育相談の意義や特質について深めておくこと。	A、K	第9回	【テーマ】教育相談・カウンセリングと事例研究・校内研修のすすめ方 【計画内容】学校において実施する事例研究のすすめ方について理解する。 【授業時間外の学修内容】心理教育的援助サービスとは具体的にどのようなことかを調べる。	A、K
第2回	【テーマ】学校における教育相談・カウンセリングの意義と役割 【計画内容】児童生徒への接し方、保護者への対応などの基本的考えや方法について理解する。 【授業時間外の学修内容】日常生活で見せる子どもたちの様々なサインの意味を考える。	A、K	第10回	【テーマ】いじめの発生メカニズムの理解と対応(含む専門機関との連携) 【計画内容】いじめ問題の構造とその予防について理解するとともに専門機関との連携について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】過去に発生したいじめ問題について事前に調べておく。	A、K
第3回	【テーマ】学校における教育相談・カウンセリングの基本的な理論 【計画内容】教育相談、マイクロカウンセリングの関わり技法、傾聴技法ついて理解する。 【授業時間外の学修内容】アイビ、カーカフの人物、考え方を事前に学習する。	A、K	第11回	【テーマ】不登校問題発生のメカニズムの理解と対応(含む専門機関との連携) 【計画内容】学校不適応がおこる背景とその対応について理解するするとともに専門機関との連携について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】学級経営のあり方について事前に確認する。	A、K
第4回	【テーマ】学校における教育相談・カウンセリングの実際的方法 【計画内容】授業、学級経営に教育相談の考えを生かす方法について理解する。 【授業時間外の学修内容】教育相談の考えを授業に生かす具体的方法について事前に考える。	A、K	第12回	【テーマ】虐待のメカニズムの理解と対応(含む専門機関との連携) 【計画内容】虐待の定義とその防止(早期発見等)の対策について理解し専門機関との連携について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】不登校の状況について事前に確認する。	A、K
第5回	【テーマ】学級担任の行う教育相談・カウンセリングの具体的方法 【計画内容】児童生徒理解の方法、個別面接のすすめ方、エンカウンターなどの方法について理解する。 【授業時間外の学修内容】児童を多面的に理解する方法、面接のすすめ方を事前に学習する。	A、K	第13回	【テーマ】非行問題における具体的な事例と組織的な対応の在り方 【計画内容】具体的な事例を通して、校内指導体制の整備や相談・指導計画の作成方法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】ロジャースの考え等について事前に学習する。	A、K
第6回	【テーマ】自己理解と学級雰囲気の理解と教育相談・カウンセリング(含むアセスメント) 【計画内容】エゴグラム、Q-U の実際と活用方法について理解する。 【授業時間外の学修内容】エゴグラム、Q-U について事前学習する。	A、H、K	第14回	【テーマ】養護教諭の行う教育相談(含む校内指導体制等) 【計画内容】保健室等で展開される教育相談の在り方について理解を深める。 【授業時間外の学修内容】保健室の現状について、事前に学習する。	A、K
第7回	【テーマ】教育活動と教育相談・カウンセリング 【計画内容】授業及び学校行事等で教育相談の考えを生かす方法について理解する。 【授業時間外の学修内容】「親和的風土」「自己決定」「共感的理解」の言葉の意味を事前に調べる。	A、K	第15回	【テーマ】学校で活用できるカウンセリングの理論及びまとめと確認 【計画内容】教育相談の考え、方法、技術、そして児童生徒が抱えている問題等の理解を深める。 【授業時間外の学修内容】教育相談の基本的内容を事前に学習する。	L
第8回	【テーマ】校内体制と教育相談室の活用と運営(含む保護者に対する相談) 【計画内容】スクールカウンセラー、教育相談員、相談室担当教員との連携の在り方について理解する。 【授業時間外の学修内容】スクールカウンセラーの役割と教師の役割について事前に学習する。	A、K			

テキスト	プリントを配付する
参考書	藤田哲也他、2017年、『絶対役立つ 教育相談』、ミネルヴァ書房、978623081097 文部科学省、『中学校学習指導要領』 文部科学省、『高等学校学習指導要領』

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	10%		20%		50%	20%
補足			レポート		ワークシート作成	発表

課題に関するフィードバックの方法	ワークシートを返却し、学んだ内容や疑問点について考察するとともに、グループ討議や全体の場において意見交流を行う。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	公立学校スクールカウンセラー 教育相談及び特別支援教育コーディネーター
		科目との関連	学校心理士・教育カウンセラーとしての研修及び業務経験をもとに実践的な指導を行う。

質問への対応	随時440研究室にて対応する。
資格	[芸]中・高1種(美術)_必修 [教]養教1種_必修、中・高1種(音楽)_必修
その他	各回の講義後半に、次回講義のテーマを紹介することで事前学習を促す。 小グループによる演習(ロールプレイ等)を行う。 各自作成したレポートを返却し、学んだ内容を個人やグループで振り返り、まとめの講評を行う。

科目名	教育実習事前指導	授業形態	講義	単位数	1
教員名	林　亨、山下　圭介				
授業の目的	ねらい	教育実習を意義あるものとするため教育実習の意義や心構え、観察実習・参加実習・授業実習の要点、及び学習指導案作成の基礎・基本などを学習します。特に、実習校の受入れに感謝の気持ちを深め実習生としての資質・態度や心得を確実に身に付けることをねらいとしています。			
	到達目標	(1)教育実習の意義や目的を認識し、自己を変革する。 (2)教師に求められる豊かな人間性や社会性を身に付ける。 (3)研修の重要性を認識し、確かな指導観に基づく指導力を高める。			

授業の計画					
第1回	【テーマ】授業ガイダンス 【計画内容】授業のねらい、展開、評価と受講生への期待について説明します。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読んでおくこと。	A、L	第9回	【テーマ】模擬授業① 【計画内容】学習指導案をもとに、一人ずつ模擬授業を実施し、全体で講評を行います。 【授業時間外の学修内容】模擬授業の準備をしておくこと。	F、I
第2回	【テーマ】教育実習の意義 【計画内容】教育実習の意義と実習形態の概要(観察、参加、実習)について学習します。 【授業時間外の学修内容】『教育実習の手引き』の該当部分を読んでおくこと。	A	第10回	【テーマ】模擬授業② 【計画内容】学習指導案をもとに、一人ずつ模擬授業を実施し、全体で講評を行います。 【授業時間外の学修内容】模擬授業の準備をしておくこと。	F、I
第3回	【テーマ】準備と心得 【計画内容】教育実習のための準備と心得について学習します。教師になるため、社会人になるための基本的な心構えについて学びます。 【授業時間外の学修内容】『教育実習の手引き』の該当部分を読んでおくこと。	A	第11回	【テーマ】教育実習日誌の書き方① 【計画内容】教育実習の目的と内容を考え、教育実習日誌の書き方を学習します。 【授業時間外の学修内容】『教育実習の手引き』の該当部分を読んでおくこと。	A、B
第4回	【テーマ】義務と責任 【計画内容】教育実習生の義務と責任について学習します。学生でもあり教師でもある実習生の二面性と、実習先の生徒・教員への責任について学びます。 【授業時間外の学修内容】『教育実習の手引き』の該当部分を読んでおくこと。	A、I	第12回	【テーマ】教育実習日誌の書き方② 【計画内容】教育実習に臨む心構えや日誌を書く上での言葉遣い、表記について学習します。 【授業時間外の学修内容】『教育実習の手引き』の該当部分を読んでおくこと。	A、B
第5回	【テーマ】教科外指導 【計画内容】教科外指導のあり方について学習します。道徳、総合的な学習の時間、学級活動、部活動についての基本事項を学びます。 【授業時間外の学修内容】『教育実習の手引き』の該当部分を読んでおくこと。	A、I	第13回	【テーマ】教育実習調査書の書き方 【計画内容】実際の調査書を使い下書き及び清書を作成し、点検のうえ完成します。 【授業時間外の学修内容】実習調査書作成の準備(これまでの履修状況や体験活動の整理など)をしておくこと。	A、B
第6回	【テーマ】教職の適正について 【計画内容】これまでの教職の学びを振り返り、自らの適正について確認する。 【授業時間外の学修内容】『教育実習の手引き』の該当部分を読んでおくこと。	A、I	第14回	【テーマ】教育実習のまとめ 【計画内容】実習の意義や教師に求められていることを確認し、各自の実習課題について具体的な項目をあげて実習に臨む姿勢を確認します。 【授業時間外の学修内容】講義全般についてまとめておくこと。	A、B
第7回	【テーマ】学習指導案の作成① 【計画内容】学習指導案作成の基本について再確認します。 【授業時間外の学修内容】学習指導要領を読み、取得を希望する教科の目標等について理解を深めておくこと。	A、B	第15回	【テーマ】教育実習の心得(面接指導) 【計画内容】教育実習全般にわたる心得(事前準備、実習心得、事後の仕事)を確認します。教育実習に行く服装で、面接指導を実施します。 【授業時間外の学修内容】面接等の事前準備。	B、G
第8回	【テーマ】学習指導案の作成② 【計画内容】各自の作成した学習指導案について発表するとともに、全体で講評を行います。 【授業時間外の学修内容】学習指導案を発表する準備を整えておくこと。	B			

テキスト	文部科学省、2008年、『中学校学習指導要領』、東山書房、9784827814613 文部科学省、2009年、『高等学校学習指導要領』、東山書房、9784827814781
参考書	北翔大学・北翔大学短期大学部、2018年、『教育実習の手引き』

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			30%		30%	40%
補足			学習指導案の作成			模擬授業

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連	該当	経験内容	林亨／中学校、高等学校教諭
		科目との関連	林亨／中学校および高等学校教諭の業務経験をもとに実務に即した指導を行う。

質問への対応	講義時に説明します。
資格	[芸]中・高1種(美術)_必修
その他	教師になる固い決意をもち、実習に臨む心構えや態度等を十分に身につけていること、また「北海道・札幌市公立学校採用候補者選考検査」などを受検することが受講条件です。 取得を希望する教員免許教科の『学習指導要領解説編』が必要となりますので、もっていなければ各自用意してください。

心理カウンセリング学科
学 科 専 門 科 目

科目名	コミュニケーション心理学(学習・言語心理学Ⅱ)	授業形態	講義	単位数	2

教員名	風間　雅江

授業の目的	
ねらい	人間が社会生活を送るうえで言語は必要不可欠である。そして人間の言語は、誕生の後、学習を通して獲得され、発達していき、成長のプロセスにおいて精神活動を支える重要な心的機能である。本講義では、心理学の観点から、言語に関する理論や研究知見を幅広く学ぶ。さらに、言語の習得における機序、言語の生物学的基礎、子どもおよび成人における言語の障害に関する知識を習得する。また、より広い意味でのコミュニケーションについて、それを成立させるための要件や、豊かなコミュニケーションを築くための方法などについても考察する。
到達目標	(1)言語およびコミュニケーションに関する心理学の諸理論や最新知見について知識を習得する。 (2)言語の習得における機序について知識を習得する。 (3)言語の生物学的基盤と言語障害についての知識を習得する。 (4)言語と非言語の両側面からコミュニケーションの心理的プロセスについて考察する。 (5)豊かなコミュニケーションの構築のために何が必要であるのかを考察する。

授業の計画						
第1回	【テーマ】学習·言語心理学とは 【計画内容】心理学の歴史における、学習および言語の研究の系譜について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキストの第1章を熟読すること。	A、K	第9回	【テーマ】非言語的コミュニケーション 【計画内容】コミュニケーションの成立において極めて重要な役割を果たしている非言語的行動。表情、動作行動、接触行動、パラ言語、空間行動などのさまざまな非言語的行動について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキストの第8章を熟読すること。	A、D、K
第2回	【テーマ】学習理論の対人援助への応用 【計画内容】学習にかかわる心理学の基礎知識を確認し、行動療法や応用行動分析にどのように理論が応用されているかについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキストの第2章を熟読すること。	A、K	第10回	【テーマ】心的辞書 【計画内容】心的辞書、スキーマをはじめとした認知心理学の概念やモデルについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキストの第9章を熟読すること。	A、B、K
第3回	【テーマ】技能学習と熟達化 【計画内容】技能学習における知覚系と運動系の関連、学習曲線、熟達化を支える実践知などについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキストの第3章を熟読すること。	A、K	第11回	【テーマ】成人の言語障害 【計画内容】失語症をはじめとした成人の言語障害について理解し、人生の途中でコミュニケーション手段を失った人の心理面の理解や対応について考察する。 【授業時間外の学修内容】テキストの第9章を熟読すること。成人の言語障害の当事者会について調べる。	A、G、K
第4回	【テーマ】社会的学習としての言語 【計画内容】言語は社会的学習の一例と考えることができる。社会的認知理論、モデリング学習など関連する理論および概念について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキストの第4章を熟読すること。	A、K	第12回	【テーマ】子どもの言語障害 【計画内容】言語発達の遅れ、対人関係の問題も含めた子どものコミュニケーションの問題について学び、子どものコミュニケーション障害への対応と支援について考察する。 【授業時間外の学修内容】テキストの第8章を熟読すること。	A、G、K
第5回	【テーマ】言語と知覚 【計画内容】言語音および音韻の知覚にかかわる心的プロセスについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付資料および第7章を熟読すること。	A、K	第13回	【テーマ】言語理解と産出 【計画内容】言語の理解と産出をめぐる心理学の理論およびモデルについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキストの第10章を熟読すること。	A、B、K
第6回	【テーマ】欲求と動機づけ 【計画内容】コミュニケーションは、「伝えたい」という心理·社会的欲求によって生じる。動機づけをめぐる心理学の基本的概念を理解し、コミュニケーションとの関連を考察する。 【授業時間外の学修内容】テキストの第6章を熟読すること。	A、B、K	第14回	【テーマ】言語と推論 【計画内容】推論について、言語との関連から考える。 【授業時間外の学修内容】テキストの第11章を熟読すること。	A、D、K
第7回	【テーマ】言語獲得1 【計画内容】成長の過程において人間はどのように言語を獲得していくのか、そのプロセスや、言語発達を支える認知的基盤や環境的要因について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキストの第7章を熟読すること。	A、H、K	第15回	【テーマ】言語、思考、文化 【計画内容】言語と思考、そして文化との関係について考える。豊かなコミュニケーションの構築のために何が必要であるのかを考察する。 【授業時間外の学修内容】テキストの第12章を熟読すること。	A、H、K
第8回	【テーマ】言語獲得2 【計画内容】社会·文化的要因が人間の言語獲得にどのような影響を及ぼすのかについて事例を通して考察する。 【授業時間外の学修内容】配付資料を熟読すること。	A、H、K			

テキスト	楠見孝編、2019年、『公認心理師の基礎と実践⑧学習·言語心理学』、遠見書房、9784866160580
参考書	深田博己編、1999年、『コミュニケーション心理学 - 心理学的コミュニケーション論への招待 -』、北大路書房、4762821608 小林春美·佐々木正人編、1997年、『子どもたちの言語獲得』、大修館書店、4469212121

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	30%		30%		40%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	提出物に対して講評を行います。

実務経験と授業の関連		
該当	経験内容	言語聴覚士および臨床心理士として、言語障害のある人や心理の支援を要する人への対人援助業務にあたった実務経験をもつ。
	科目との関連	上記の専門職としての勤務経験をふまえ、学習や言語に関する心理学の知識がどのように対人援助に応用できるかを教授する。

質問への対応	講義終了時等に直接か、あるいは、メールでの質問を受けます。
資格	[心]公認心理師_必修、認定心理士_選必、福祉心理士_選必
その他	

科目名	家族心理学(社会・集団・家族心理学Ⅱ)	授業形態	講義	単位数	2
教員名	飯田　昭人				

授業の目的

ねらい

本講義は、家族心理学分野を中心に、家族、集団および文化が個人におよぼす影響について取り扱っていくこととする。
その中で、近年、さまざまな社会情勢の変化に伴い、家族の在り方や形態、その存在意義なども大きく変わってきたと一方では言われているが、家族の何が変わり、何が変わっていないのかをしっかり吟味していくことが求められているだろう。
このような家族や集団・社会の問題が背景にあるであろう、さまざまな諸問題について、心理学的視点から考えていくことを本講義の目的とする。

到達目標

(1)現代家族のさまざまな状況について理解できる。
(2)現代家族の抱える問題や悩みについて理解できる。
(3)現代家族の抱える問題や悩みについての対応の在り方を考えることができる。

授業の計画

第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】講義の進め方や成績評価について説明する。そして、家族心理学に学んでいただきたい事柄について説明していく。 【授業時間外の学修内容】テキストをよく読んでおくこと。	A、K、L	第9回	【テーマ】家族心理学トピックス(2) 【計画内容】児童虐待や社会的養護の子どもの実情や、支援方策について考えていく。 【授業時間外の学修内容】配付資料をよく読んでおくこと。	A、H、K、L
第2回	【テーマ】家族、集団及び文化が個人に及ぼす影響① 家族とは何か 【計画内容】これまでの家族について知見などを概観し、家族についての定義や機能などについて考えていく。 【授業時間外の学修内容】テキストをよく読んでおくこと。	A、K、L	第10回	【テーマ】家族心理学トピックス(3) 【計画内容】不登校やひきこもりにおける個人と家族について考えていく。 【授業時間外の学修内容】配付資料をよく読んでおくこと。	A、H、K、L
第3回	【テーマ】家族、集団及び文化が個人に及ぼす影響② 家族の健康とは 【計画内容】家族の健康をめぐる実証的研究について概観し、家族の発達や家族理解について考えていく。 【授業時間外の学修内容】テキストをよく読んでおくこと。	A、K、L	第11回	【テーマ】家族心理学トピックス(4) 【計画内容】熟年離婚や老老介護の問題の実情や、支援方策について考えていく。 【授業時間外の学修内容】配付資料をよく読んでおくこと。	A、H、K、L
第4回	【テーマ】家族、集団及び文化が個人に及ぼす影響③ 家族づくりの準備 【計画内容】思春期、成人期の視点からの家族について説明していくとともに、家族づくりのありようについて考えていく。 【授業時間外の学修内容】テキストをよく読んでおくこと。	A、K、L	第12回	【テーマ】家族心理学トピックス(5) 【計画内容】子どもや家族の貧困について、ビデオ視聴等をもとに考えていく。 【授業時間外の学修内容】配付資料をよく読んでおくこと。	A、H、K、L
第5回	【テーマ】家族、集団及び文化が個人に及ぼす影響④ 夫婦について 【計画内容】夫婦のきずなやコミュニケーションについて考えていく。 【授業時間外の学修内容】テキストをよく読んでおくこと。	A、K、L	第13回	【テーマ】家族心理学トピックス(6) 【計画内容】子どもや家族の貧困について、ゲストスピーカーをお招きして考えていく。 【授業時間外の学修内容】配付資料をよく読んでおくこと。	A、H、K、L
第6回	【テーマ】家族、集団及び文化が個人に及ぼす影響⑤ 子どもが育つ場としての家族 【計画内容】養育のためのシステムづくりについて着目し、養育や親子関係のありようについて考えていく。 【授業時間外の学修内容】テキストをよく読んでおくこと。	A、K、L	第14回	【テーマ】「私」の視点から家族を考える 【計画内容】自分の家族を素材にして、家族の意味や目的、今後の家族のありようについて考えていく。 【授業時間外の学修内容】配付資料をよく読んでおくこと。	A、H、K、L
第7回	【テーマ】家族、集団及び文化が個人に及ぼす影響⑥ 変化する社会の中の家族 【計画内容】システムや社会構成主義の視点からの家族について考えていく。 【授業時間外の学修内容】テキストをよく読んでおくこと。	A、K、L	第15回	【テーマ】まとめ～家族心理学の展望 【計画内容】講義のまとめと振り返りを行う。 【授業時間外の学修内容】配付資料をよく読んでおくこと。	A、H、K、L
第8回	【テーマ】家族心理学トピックス(1) 【計画内容】ドメスティックバイオレンスや家庭内暴力の実情や対応のあり方などについて考えていく。 【授業時間外の学修内容】配付資料をよく読んでおくこと。	A、H、K、L			

テキスト	平木典子・中釜洋子、2006年、『家族の心理』、サイエンス社、4781911447
参考書	村瀬嘉代子、2001年、『子どもと家族への統合的心理療法』、金剛出版、4772407073

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			50%		20%	30%
補足						小レポート

課題に関するフィードバックの方法	最終レポート課題により判定する。

実務経験と授業の関連

該当	経験内容	臨床心理士、公認心理師
	科目との関連	臨床心理士及び公認心理師としての諸活動は、本講義で述べることに通底している。

質問への対応	直接研究室を訪問するか、メールで尋ねること。E-Mail:iida@hokusho-u.ac.jp
資格	[心]公認心理師_必修、認定心理士_選必、福祉心理士_選必
その他	家族について取り上げる講義です。家族という概念はもちろんのこと、さまざまな問題の背景に家族の問題が内在されている場合も少なくありません。自分自身の家族についても振り返り、意欲的に受講してください。 なお、講義のフィードバックに関しては、学生から提出された小レポートにコメントすることをもってあてます。

科目名	産業・組織心理学	授業形態	講義	単位数	2
教員名	小坂　守孝				

授業の目的	
ねらい	産業･組織心理学とは心理学の応用分野の一つであり、企業等の組織に関与する人間の問題及び人間関係の問題を扱う学問領域である。本講義では、産業･労働分野における公認心理師として必要な基礎知識である「組織における人の行動」「職場における問題(キャリア形成に関することを含む。)に対して必要な心理に関する支援」について習得することを目的とする。
到達目標	(1)働く場における組織の特徴について理解できるようになる。 (2)職務満足に関わる諸要因について理解できるようになる。 (3)消費者心理に影響を及ぼす諸要因について理解できるようになる。 (4)職場におけるストレスの問題について理解できるようになる。

授業の計画						
第1回	【テーマ】産業･組織心理学の意義と方法 【計画内容】産業･組織心理学を学ぶことの意義、組織観の歴史、主要な研究対象について学びます。 【授業時間外の学修内容】事前にテキスト pp.11-22を熟読のこと。	A、K	第9回	【テーマ】産業保健の視点 【計画内容】働く場における心身の健康を扱う研究･実践分野に関して、関連施策や法令、メンタルヘルス対策について学びます。 【授業時間外の学修内容】事前にテキスト pp.106-118を熟読のこと。	A、K
第2回	【テーマ】産業組織とは 【計画内容】産業の場における組織を理解するための諸理論について学びます。 【授業時間外の学修内容】事前にテキスト pp.23-35を熟読のこと。	A、K	第10回	【テーマ】従業員支援プログラム(EAP) 【計画内容】働く場における心理学的支援の一つとして、職場のパフォーマンス向上を目的とした個人･組織への介入方法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前にテキスト pp.121-133を熟読のこと。	A、K
第3回	【テーマ】組織における人間の行動 【計画内容】仕事へのモチベーション、リーダーシップについて学びます。 【授業時間外の学修内容】事前にテキスト pp.36-48を熟読のこと。	A、K	第11回	【テーマ】組織へのコンサルテーション 【計画内容】組織への心理学的支援の方法としてのコンサルテーション･心理教育について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前にテキスト pp.134-146を熟読のこと。	A、K
第4回	【テーマ】働くことと法 【計画内容】働く人をとりまく法律･規則や現代の産業社会をとりまく諸問題について学びます。 【授業時間外の学修内容】事前にテキスト pp.49-79を熟読のこと。	A、K	第12回	【テーマ】職場復帰支援 【計画内容】職業人のメンタルヘルス保持増進策の一つとして、メンタルヘルス不調による休業からの職場復帰支援について学びます。 【授業時間外の学修内容】事前にテキスト pp.147-158を熟読のこと。	A、K
第5回	【テーマ】キャリア形成 【計画内容】キャリアの定義、キャリアの発達に関する諸理論について学びます。 【授業時間外の学修内容】事前にテキスト pp.60-75を熟読のこと。	A、K	第13回	【テーマ】再就職･障害者就労における心理的支援 【計画内容】失業者や障害者(特に精神障害者)の就労に向けての心理学的支援について学びます。 【授業時間外の学修内容】事前にテキスト pp.159-171を熟読のこと。	A、K
第6回	【テーマ】職場における安全管理 【計画内容】作業負荷、ヒューマンエラーなど、職場の安全管理に関わる諸要因について学びます。 【授業時間外の学修内容】参考書(1)pp.156-171に基づいた配付資料を熟読のこと。	A、K	第14回	【テーマ】職場におけるストレスとトラウマケア 【計画内容】職場特有のストレスやトラウマの現状、トラウマに対するケアについて学びます。 【授業時間外の学修内容】事前にテキスト pp.172-184を熟読のこと。	A、K
第7回	【テーマ】消費者行動とマーケティング 【計画内容】消費者が商品･サービスの購入にいたるまでのプロセスに関する諸理論について学びます。 【授業時間外の学修内容】参考書(1)pp.140-155に基づいた配付資料を熟読のこと。	A、K	第15回	【テーマ】産業･労働分野における心理療法 【計画内容】働く場における心理相談機関において使用される頻度の高い心理療法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前にテキスト pp.185-212を熟読のこと。	A、K
第8回	【テーマ】産業臨床心理学の視点 【計画内容】働く場における心理学的支援に関する主要な理論と組織への関わり方について学びます。 【授業時間外の学修内容】事前にテキスト pp.93-105を熟読のこと。	A、K			

テキスト	新田泰生編、2019年、『産業･組織心理学』、遠見書房、9784866160702
参考書	山口裕幸･金井篤子編、2007年、『よくわかる産業･組織心理学』、ミネルヴァ書房、9784623048717 産業･組織心理学会編、2009年、『産業･組織心理学ハンドブック』、丸善、9784621081181

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			70%		30%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	企業内健康管理部門の専任心理職
		科目との関連	企業内での経験をもとに実践に基づいた指導を行う。

質問への対応	メールにて受け付けます。E-Mail:kosaka@hokusho-u.ac.jp
資格	[心]公認心理師_必修、認定心理士_選必、福祉心理士_選必
その他	私語や携帯電話の着信音を鳴らすなど、他の学生が講義を受ける権利を侵害する行為を一切禁止します。守れない場合には受講態度評価に加味します。

科目名	ポジティブ心理学	授業形態	講義	単位数	2
教員名	風間　雅江				

授業の目的

ねらい	ポジティブ心理学は、心理学の歴史の流れを変える新しい観点にたち、人間の優れた機能(human strength)に焦点を当て、科学的な手法でウェルビーイングに繋がる研究を展開しようとする学問である。本講義では、ポジティブ感情、楽観性、ユーモア、希望などのテーマを扱い、これまでポジティブ心理学の世界で明らかにされてきた知見を紹介する。授業で学んだことをふまえて、受講者自らが自他の肯定的な資質や資源を発見し、問題解決において建設的な観点をもつようになることをめざす。
到達目標	(1)ポジティブ心理学についての知識を幅広く習得する。 (2)ポジティブ心理学の知識をふまえて、自他の理解についての洞察を深める。 (3)ポジティブ心理学の知識を、現在および将来の自他の生活の改善と社会への貢献に活用する具体的方法を考察する。

授業の計画

第1回	【テーマ】ガイダンス：ポジティブ心理学とは 【計画内容】心理学の歴史の中でも極めて新しい領域であるポジティブ心理学とはどのような学問なのか学びます。 【授業時間外の学修内容】本講義で習得したい内容を整理すること。	A、K	第9回	【テーマ】情動知能 【計画内容】知能指数(IQ)と情動知能(EQ)の違いについて学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの第6章をあらかじめ読んでおくこと。	A、H、K
第2回	【テーマ】ウェルビーイングと心理学 【計画内容】ウェルビーイング(well-being)とは何か、心理学の観点からとらえるとどのような要因が関係しているのかについて、ポジティブ心理学の観点から考えます。 【授業時間外の学修内容】テキストの第2章をあらかじめ読んでおくこと。	A、H、K	第10回	【テーマ】セルフエスティーム 【計画内容】自分自身に対するポジティブな評価であるセルフエスティームについての心理学の知見について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの第7章をあらかじめ読んでおくこと。	A、H、K
第3回	【テーマ】ポジティブ感情の働き 【計画内容】ポジティブ感情とネガティブ感情のそれぞれは人間にどのような影響を及ぼすのか、心理学の知見をもとに考えます。 【授業時間外の学修内容】テキストの第3章をあらかじめ読んでおくこと。	A、H、K	第11回	【テーマ】品性について 【計画内容】ポジティブ心理学の研究対象としての品性についてどのような研究が行われているのか、さまざまな知見を学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの第8章をあらかじめ読んでおくこと。	A、H、K
第4回	【テーマ】ポジティブ感情をめぐるポジティブ心理学の理論 【計画内容】ポジティブ感情が、思考や行動、ひいては人間的成長に及ぼす影響について、フレドリクソンの拡張－形成理論の観点から考えます。 【授業時間外の学修内容】テキストの第3章をあらかじめ読んでおくこと。	A、H、K	第12回	【テーマ】ウェルビーイングと労働 【計画内容】労働、働きがいについて、ポジティブ心理学の観点から考えます。 【授業時間外の学修内容】テキストの第9章をあらかじめ読んでおくこと。	A、H、K
第5回	【テーマ】夢中になるという心のはたらき 【計画内容】何かに夢中になっているときの、フロー経験について、どのような状態であるのか等について、さまざまな観点から検討します。 【授業時間外の学修内容】テキストの第4章をあらかじめ読んでおくこと。	A、H、K	第13回	【テーマ】リーダーシップについて 【計画内容】自己と組織を高めるリーダーシップとはいかなるものか、ポジティブ心理学の知見から考えます。 【授業時間外の学修内容】テキストの第9章をあらかじめ読んでおくこと。	A、H、K
第6回	【テーマ】楽観性について 【計画内容】ポジティブ心理学の領域で、楽観性についての研究から得られた知見について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの第5章をあらかじめ読んでおくこと。	A、H、K	第14回	【テーマ】文化と幸福感 【計画内容】ポジティブ心理学における幸福感の国際比較研究の知見を通して、異なる国、異なる文化による共通点と相違点について考えます。 【授業時間外の学修内容】テキストの第9章をあらかじめ読んでおくこと。	A、H、K
第7回	【テーマ】希望について 【計画内容】希望と目標設定、希望とモチベーション、希望と見通し、等の関係性について、スナイダーの希望理論を通して考えます。 【授業時間外の学修内容】テキストの第5章をあらかじめ読んでおくこと。	A、H、K	第15回	【テーマ】まとめと確認 【計画内容】講義全体を通して学んだことを振り返り、ポジティブ心理学の知識を自他のウェルビーイングにどのように活かすことができるか考えます。 【授業時間外の学修内容】これまでの講義で学んだことを復習しておくこと。	A、G、K
第8回	【テーマ】ポジティブ感情と創造性 【計画内容】ポジティブ感情が思考や知的能力に及ぼす影響について考えます。 【授業時間外の学修内容】テキストの第6章をあらかじめ読んでおくこと。	A、H、K			

テキスト	島井哲志、2009年、『ポジティブ心理学入門』、星和書店、9784791107148
参考書	堀毛一也、2019年、『ポジティブなこころの科学 - 人と社会のよりよい関わりをめざして -（セレクション社会心理学）』、サイエンス社、9784781914589 マーティン・セリグマン、2014年、『ポジティブ心理学の挑戦』、ディスカヴァー・トゥエンティワン、9784799315767 島井哲志編、2006年、『ポジティブ心理学 21世紀の心理学の可能性』、ナカニシヤ出版、4779500621

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	30%		40%		30%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	提出シートのフィードバックを全体への講評として行う。最終回に試験結果についてのコメントを伝える。

実務経験と授業の関連

該当	経験内容	医療、保健、教育、福祉領域で心理援助職として勤務
	科目との関連	心理援助職としての勤務経験を活かし、広く健康に貢献する心理学の理論と実践について教授する。

質問への対応	講義終了時に直接対応する。
資格	[心]認定心理士_選必、福祉心理士_選必
その他	

科目名	臨床心理援助技法論Ⅰ（精神分析療法）	授業形態	講義	単位数	2
教員名	澤　聡一				

授業の目的

ねらい	「治療におけるエビデンス」の重要性が広く知られるようになって以来、フロイトを創始者とし、かつて心理療法の中心的立場の一つであった精神分析療法（精神力動的アプローチ）は、徐々にその立場を変えていきました。しかしながら、今なお精神力動的アプローチの実践や視点は消え去ることなく、対人援助職を目指す者が学ぶべき事柄として在り続けています。本講義では、心の奥深さ・多様性に迫る学問として精神分析学を中心に取り上げ、人間理解の深化と広がりを目指します。
到達目標	(1)精神力動的アプローチの視点を学び、目に見えない心の働きや成り立ちについての理解を深める。 (2)精神力動的アプローチの理解を通して、対人援助に必要な態度や構造についての理解を深める。 (3)対人援助の現場であるセラピストークライエント間で起きていることへの理解を深める。

授業の計画

第1回	【テーマ】精神力動的アプローチの概要 【計画内容】来談者中心療法や認知行動療法など他の立場の心理療法との比較検討を通して、精神分析理論の特徴について概説します。 【授業時間外の学修内容】「臨床心理学概論」などの関連科目の内容を復習すること。	A、K	第9回	【テーマ】クラインの対象関係論 【計画内容】「現実」には「客観的現実（事実）」のほかに「心的現実」があります。「心的現実」に注目し、人生の最早期の発達に注目したクラインの対象関係論について解説します。 【授業時間外の学修内容】配付資料や講義中に紹介した文献等を用いて、復習や予習に努めること。	A、K
第2回	【テーマ】精神分析の理論①フロイトの人物と人格理論 【計画内容】フロイトという人物について知り、精神分析学の生まれた背景とそこで必要とされた人格理論について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付資料や講義中に紹介した文献等を用いて、復習や予習に努めること。	A、K	第10回	【テーマ】ウィニコットの独立学派 【計画内容】自我心理学や対象関係論とも異なる「独立学派（中間学派）」として、子育てや福祉など現在も様々な領域で用いられているウィニコットの理論と実践を紹介します。 【授業時間外の学修内容】配付資料や講義中に紹介した文献等を用いて、復習や予習に努めること。	A、K
第3回	【テーマ】精神分析の理論②自我の諸機能と力動論 【計画内容】主に自我心理学の観点から、精神分析の主要理論の一つである自我の機能に関する理論や防衛機制について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付資料や講義中に紹介した文献等を用いて、復習や予習に努めること。	A、K	第11回	【テーマ】コフートの自己心理学 【計画内容】精神力動的アプローチにおいて「自己愛」は重要な概念の一つですが、「自己愛」の発達に注目し、治療実践に結びつく理論を整理したコフートの理論（自己心理学）を紹介します。 【授業時間外の学修内容】配付資料や講義中に紹介した文献等を用いて、復習や予習に努めること。	A、K
第4回	【テーマ】精神分析の理論③発達論 【計画内容】前回学んだ力動論的視点をもとに精神分析の発達論を学び、精神分析が目指す人格について考えます。 【授業時間外の学修内容】配付資料や講義中に紹介した文献等を用いて、復習や予習に努めること。	A、K	第12回	【テーマ】観て学ぶ精神分析療法 【計画内容】人間の無意識が描かれたファンタジー作品や、精神分析の治療場面を描いた映像作品などをもとに、精神力動的アプローチについての理解を深め、議論を行います。 【授業時間外の学修内容】配付資料や講義中に紹介した文献等を用いて、復習や予習に努めること。	A、H、K
第5回	【テーマ】精神分析の理論④治療論 【計画内容】フロイト自身の事例の紹介などを行いながら、自由連想法や治療抵抗、転移などの鍵概念について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付資料や講義中に紹介した文献等を用いて、復習や予習に努めること。	A、K	第13回	【テーマ】日本における精神分析 【計画内容】精神力動的アプローチは欧米で誕生し、発展しましたが、日本独自の理論も数多く誕生しています。ここでは、古澤平作の『阿闍世コンプレックス』、小此木啓吾の『治療構造論』などを紹介します。 【授業時間外の学修内容】配付資料や講義中に紹介した文献等を用いて、復習や予習に努めること。	A、K
第6回	【テーマ】ユング心理学①ユングの人物と理論 【計画内容】フロイトと並び称されるユングの人物像とフロイトとの交流を知り、ユング心理学（分析心理学）についての理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】配付資料や講義中に紹介した文献等を用いて、復習や予習に努めること。	A、K	第14回	【テーマ】事例を通した精神力動的アプローチの理解 【計画内容】心理療法の実践事例をもとに、現代社会における精神力動的アプローチの利用について考えます。 【授業時間外の学修内容】配付資料や講義中に紹介した文献等を用いて、復習や予習に努めること。	A、H、K
第7回	【テーマ】ユング心理学②イメージの治癒力 【計画内容】ユング心理学が重視する「夢」や「イメージ」とその治癒力について学び、箱庭療法や風景構成法など関連する技法についての理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】配付資料や講義中に紹介した文献等を用いて、復習や予習に努めること。	A、K	第15回	【テーマ】精神力動的アプローチとエビデンス 【計画内容】ここまでの講義を振り返りながら、「精神力動的アプローチにおけるエビデンス」とは何かを考えます。 【授業時間外の学修内容】配付資料や講義中に紹介した文献等を用いて、復習や予習に努めること。	A、K
第8回	【テーマ】アドラー心理学 【計画内容】フロイト・ユングと共に「深層心理学の三大巨頭」と呼ばれるアドラーが創始し、近年日本でも注目を集めているアドラー心理学（個人心理学）について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付資料や講義中に紹介した文献等を用いて、復習や予習に努めること。	A、K			

テキスト	プリントを配付します
参考書	馬場禮子、2008年、『精神分析的人格理論の基礎』、岩崎学術出版社、9784753308088 長尾博、2013年、『ヴィジュアル精神分析ガイダンス』、創元社、9784422115337

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			40%		30%	30%
補足			レポート			毎回の感想・考察シート

課題に関するフィードバックの方法	希望者には、最終回後に提出するレポートへの講評を行います。

実務経験と授業の関連		
該当	経験内容	医療・保健、教育、福祉等の各領域における心理援助職としての勤務等
	科目との関連	心理援助職としての勤務経験を活かし、基礎から応用まで幅広い専門的知識の教授を行う。

質問への対応	リアクションペーパー等で講義の都度質問するか、E-Mail:sawat@hokusho-u.ac.jp を用いてください。
資格	[心]認定心理士_選必、福祉心理士_選必
その他	精神分析療法は独特な用語を用いることが多いため、事前に「臨床心理学概論」等の講義内容を復習しておくことが望ましいです。

科目名	臨床心理援助技法論Ⅱ（認知行動療法）	授業形態	講義	単位数	2

教員名	入江　智也

授業の目的	
ねらい	心身の問題に関する治療法として、多くの研究によってその効果が実証されている認知行動療法について、その基礎理論と実際について講義を行う。講義では、出来事や状況への解釈や考え方に焦点を当てる認知的アプローチ、行動とその結果に焦点を当てる行動的アプローチ、そして新しい流れであるマインドフルネス・アプローチを含んだ認知行動療法について、その理論的展開の経緯を踏まえながら解説する。また、実践的な小ワークやロールプレイを実施することで体験的な理解をし、その効用と限界について考察できるようになることを目指す。
到達目標	(1)認知行動療法の基本的な考え方を説明することができる。 (2)認知行動療法における主な介入方法を説明することができる。 (3)認知行動療法のスキルを用いて支援計画を立案することができる。

授業の計画						
第1回	【テーマ】認知行動療法とは何か 【計画内容】認知行動療法の定義、歴史的背景、主要なキーワードについて理解を深めていく。 【授業時間外の学修内容】認知行動療法について調べておくこと。	A	第9回	【テーマ】さまざまな問題に対する認知行動療法 【計画内容】認知行動療法における基本的な考え方について、その他の精神障害や慢性疾患など、認知行動療法が適応される実践例に触れながらディスカッション等を通じて理解を深める。 【授業時間外の学修内容】参考文献を熟読のこと。	A、H、K
第2回	【テーマ】認知行動療法の理論的背景 【計画内容】認知行動療法を実践する上で基本となる、認知療法、行動療法の枠組みについて理解を深める。 【授業時間外の学修内容】参考文献を熟読のこと。	A	第10回	【テーマ】認知行動療法の評価方法 【計画内容】認知行動療法を実施したことによる効果の測定の仕方や、クライエントへのフィードバックの仕方などについて、理解を深める。 【授業時間外の学修内容】参考文献を熟読のこと。	A、K
第3回	【テーマ】ケースフォーミュレーション 【計画内容】認知行動療法を実践するうえで必要になるクライエントの状態把握の方法について理解を深める。 【授業時間外の学修内容】参考文献を熟読のこと。	A、K	第11回	【テーマ】認知行動療法の発展 【計画内容】第3世代と呼ばれる、マインドフルネス等を含む新しい認知行動療法について、実践例に触れながら理解を深める。 【授業時間外の学修内容】参考文献を熟読のこと。	A
第4回	【テーマ】考え方を振り返る：認知再構成法 【計画内容】認知行動療法のうち、認知に働きかける具体的な方法について、前半部分となる問題の特定、気分の種類と強さの特定、自動思考の特定に関する理解を深める。 【授業時間外の学修内容】参考文献を熟読のこと。	A、K	第12回	【テーマ】認知行動療法に基づく支援計画(1) 【計画内容】模擬事例について、グループでケースフォーミュレーションから支援計画の立案までの理解を深める。 【授業時間外の学修内容】参考文献を熟読のこと。	A、H
第5回	【テーマ】考え方を確かめる：行動実験 【計画内容】認知行動療法のうち、認知に働きかける具体的な方法について、行動実験を通じた変容法に関する理解を深める。 【授業時間外の学修内容】参考文献を熟読のこと。	A、K、N	第13回	【テーマ】認知行動療法に基づく支援計画(2) 【計画内容】模擬事例のロールプレイを通じて、ケースフォーミュレーションから支援計画の立案までの理解を深める。 【授業時間外の学修内容】参考文献を熟読のこと。	A、N
第6回	【テーマ】望まれる習慣を形成する：モデリング、シェイピング 【計画内容】認知行動療法のうち、行動に働きかける具体的な方法について、行動形成の手続きであるモデリングやシェイピングといった手続きに関する理解を深める。 【授業時間外の学修内容】参考文献を熟読のこと。	A、K	第14回	【テーマ】認知行動療法に基づく支援計画(3) 【計画内容】模擬事例のロールプレイを通じて、ケースフォーミュレーションから支援計画の立案までの理解を深める。 【授業時間外の学修内容】参考文献を熟読のこと。	A、N
第7回	【テーマ】苦手な状況に慣れる：エクスポージャー 【計画内容】認知行動療法のうち、行動に働きかける具体的な方法について、不安に対するアプローチを中心にエクスポージャーに関する理解を深める。 【授業時間外の学修内容】参考文献を熟読のこと。	A、K、N	第15回	【テーマ】認知行動療法の応用 【計画内容】本講義で学んできたことを日常生活や様々な領域における対人援助に活かすための方法について理解を深める。 【授業時間外の学修内容】参考文献を熟読のこと。	A、H
第8回	【テーマ】うつや不安に対する認知行動療法 【計画内容】認知行動療法における基本的な考え方について、うつ病と不安症を対象としたの実践例に触れながらディスカッション等を通じて理解を深める。 【授業時間外の学修内容】参考文献を熟読のこと。	A、H、K			

テキスト	プリントを使用します
参考書	坂野雄二監修、2005年、『実践家のための認知行動療法テクニックガイドー行動変容と認知変容のためのキーポイントー』、北大路書房、476282478X

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			50%		20%	30%
補足			最終レポート			毎回の感想等シート

課題に関するフィードバックの方法	講義終盤において感想等シートを返却し、学んだ内容を振り返りながら講評をします。

実務経験と授業の関連		
該当	経験内容	臨床心理士、公認心理師
	科目との関連	臨床心理士、公認心理師としての実務経験をもとに実務に即した指導を行う。

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[心]認定心理士_選必、福祉心理士_選必
その他	ロールプレイやグループワークなどを含む実践的な内容であるため、講義への意欲的な参加を期待する。

科目名	臨床心理援助技法論Ⅲ(ブリーフ・セラピー)	授業形態	講義	単位数	2

教員名	新川　貴紀

授業の目的		
	ねらい	今日の心理療法の世界は、より短期の効果的、効率的な治療が求められています。本講義ではこれらの問題を解決するために、ブリーフ・セラピーの理論と技法を学びます。
	到達目標	(1)家族の問題の理解と家族への支援について理解できる。 (2)効果的、効率的な心理療法について理解できる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】講義の紹介をし、15回の講義展開を説明します。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A、G、L	第9回	【テーマ】ブリーフセラピーの治療モデル : ストラテジック・モデル 【計画内容】ストラテジック・モデルついて事例などを通して学びます。 【授業時間外の学修内容】プリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、G、L、N
	第2回	【テーマ】家族療法の歴史 【計画内容】家族療法の誕生について学びます。 【授業時間外の学修内容】プリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、G、L、N	第10回	【テーマ】ブリーフセラピーの治療モデル :NLP モデル 【計画内容】NLP モデルについて事例などを通して学びます。 【授業時間外の学修内容】プリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、G、L、N
	第3回	【テーマ】家族療法家の人物像 【計画内容】サティアなど代表的な家族療法家について学びます。 【授業時間外の学修内容】プリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、G、L、N	第11回	【テーマ】ブリーフセラピーの治療モデル :MRI モデル 【計画内容】MRI モデルについて事例などを通して学びます。 【授業時間外の学修内容】プリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、G、L、N
	第4回	【テーマ】家族療法の理論 【計画内容】家族システム論などの代表的な家族療法の理論について学びます。 【授業時間外の学修内容】プリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、G、L、N	第12回	【テーマ】ブリーフセラピーの治療モデル : 解決志向アプローチ 【計画内容】解決志向アプローチについて事例などを通して学びます。 【授業時間外の学修内容】プリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、G、L、N
	第5回	【テーマ】家族療法の技法 【計画内容】代表的な家族療法の技法について学びます。 【授業時間外の学修内容】プリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、G、L、N	第13回	【テーマ】ブリーフセラピーの治療モデル : オハンロン・モデル 【計画内容】オハンロン・モデルについて事例などを通して学びます。 【授業時間外の学修内容】プリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、G、L、N
	第6回	【テーマ】家族療法の進め方 【計画内容】各段階における家族療法の進め方について学びます。 【授業時間外の学修内容】プリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、G、L、N	第14回	【テーマ】ブリーフセラピーの治療モデル : 物語モデル 【計画内容】物語モデルについて事例などを通して学びます。 【授業時間外の学修内容】プリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、G、L、N
	第7回	【テーマ】ブリーフセラピーの展望 【計画内容】ブリーフセラピーの今日的な意義について学びます。 【授業時間外の学修内容】プリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、G、L、N	第15回	【テーマ】まとめと確認 【計画内容】振り返りと考えの共有を行います。 【授業時間外の学修内容】これまで配付したプリントを復習し、問題を整理しておくこと。	A、G、L、N
	第8回	【テーマ】ブリーフセラピーの治療モデル : エリクソン・モデル 【計画内容】エリクソン・モデルについて事例などを通して学びます。 【授業時間外の学修内容】プリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、G、L、N			

テキスト	プリントを使用します
参考書	亀口憲治編、2006年、『家族療法』、ミネルヴァ書房、4623045064 宮田敬一編、1994年、『ブリーフセラピー入門』、金剛出版、4772404546 吉川悟、2004年、『セラピーをスリムにする！ブリーフセラピー入門』、金剛出版、4772408444

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			30%		70%	
	補足			最終レポート		小レポート	

課題に関するフィードバックの方法	毎回の小レポートについては次の講義開始時にフィードバックを行います。

実務経験と授業の関連		経験内容	
		科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[心]認定心理士_選必、福祉心理士_選必
その他	カウンセリングのロールプレイ(カウンセラーやクライアント役を演じる)を随時行います。

科目名	心理演習	授業形態	演習	単位数	4
教員名	小坂　守孝、飯田　昭人、風間　雅江、佐藤　至英				

授業の目的

ねらい	本授業のねらいは、公認心理師が行う心理支援の実際について、少人数での演習を通して基本的な知識と技能の理解を確実にし、実践に活かすことができるように体験的に修得することである。特に、「心理に関する支援を要する者等に関する以下の知識及び技能の修得」、「心理に関する支援を要する者等の理解とニーズの把握及び支援計画の作成」、「心理に関する支援を要する者の現実生活を視野に入れたチームアプローチ」、「多職種連携及び地域連携」、「公認心理師としての職業倫理及び法的義務への理解」について、具体的な場面を想定した役割演技（ロールプレイング）および事例検討等を通して、知識及び技能の基本的な水準を修得することである。
到達目標	(1)心理に関する支援を要する者等に関する「コミュニケーション」「心理検査」「心理面接」「地域支援等」について説明できる。 (2)心理に関する支援を要する者等の理解とニーズの把握及び支援計画の作成について説明できる。 (3)心理に関する支援を要する者の現実生活を視野に入れたチームアプローチについて説明できる。 (4)多職種連携及び地域連携について説明できる。 (5)公認心理師としての職業倫理及び法的義務について説明できる。

授業の計画

第1回	【テーマ】オリエンテーション1 【計画内容】心理支援とは何か、公認心理師が行う心理支援と倫理について知識を確認し、ディスカッションを通して理解を深める。(全担当者) 【授業時間外の学修内容】これまで学んだ臨床心理学関連科目の復習をしておくこと。	B、H、L	第16回	【テーマ】心理支援を要する人の理解とニーズの把握2 【計画内容】ICFの観点から心理支援を要する人のニーズを把握する考え方について事例検討を通して学ぶ。(全担当者) 【授業時間外の学修内容】プリント等で示された課題に取り組んでおくこと。	B、H、J、L
第2回	【テーマ】オリエンテーション2 【計画内容】公認心理師法と公認心理師の法的義務について知識を確認し、事例検討を通して理解を深める。(全担当者) 【授業時間外の学修内容】配付資料をもとに復習しておくこと。	B、L、N	第17回	【テーマ】心理支援を要する人の理解とニーズの把握3 【計画内容】当事者研究を通してニーズの把握について検討する。(全担当者) 【授業時間外の学修内容】プリント等で示された課題に取り組んでおくこと。	B、H、J、L
第3回	【テーマ】心理支援におけるコミュニケーション1 【計画内容】心理職における言語的および非言語的コミュニケーションのあり方について知識を確認し、ロールプレイングの意義と目的、具体的な実施要領について学ぶ。(全担当者) 【授業時間外の学修内容】前年度科目「臨床心理学概論」における該当部分を復習しておくこと。	B、H、L	第18回	【テーマ】支援計画の作成1 【計画内容】保健医療領域における支援計画について学ぶ。(全担当者) 【授業時間外の学修内容】プリント等で示された課題に取り組んでおくこと。	B、L
第4回	【テーマ】心理支援におけるコミュニケーション2 【計画内容】カウンセリングのデモンストレーション場面の動画を視聴し、面接場面におけるコミュニケーションについてイメージを深める。(全担当者) 【授業時間外の学修内容】前回の内容を復習しておくこと。	B、L	第19回	【テーマ】支援計画の作成2 【計画内容】福祉領域における支援計画について学ぶ。(全担当者) 【授業時間外の学修内容】プリント等で示された課題に取り組んでおくこと。	B、L
第5回	【テーマ】心理支援におけるコミュニケーション3 【計画内容】心理支援の場面におけるコミュニケーションをロールプレイングの実践を通して体験的に学ぶ。(全担当者) 【授業時間外の学修内容】前回の内容を復習しておくこと。	B、H、L、N	第20回	【テーマ】支援計画の作成3 【計画内容】教育領域における支援計画について学ぶ。(全担当者) 【授業時間外の学修内容】プリント等で示された課題に取り組んでおくこと。	B、L
第6回	【テーマ】心理検査1 【計画内容】「心理的アセスメント」で学んだことを確認し、演習課題を通して基礎的知識を確実なものにする。(全担当者) 【授業時間外の学修内容】「心理的アセスメント」のテキスト・講義資料を復習しておくこと。	B、L	第21回	【テーマ】チームアプローチ1 【計画内容】保健医療領域におけるチームアプローチについて学ぶ。(全担当者) 【授業時間外の学修内容】プリント等で示された課題に取り組んでおくこと。	B、L
第7回	【テーマ】心理検査2 【計画内容】知能検査の実施と報告書の作成、伝え方、倫理について学ぶ。(全担当者) 【授業時間外の学修内容】「心理的アセスメント」のテキスト・講義資料を復習しておくこと。	B、L	第22回	【テーマ】チームアプローチ2 【計画内容】福祉領域におけるチームアプローチについて学ぶ。(全担当者) 【授業時間外の学修内容】プリント等で示された課題に取り組んでおくこと。	B、L
第8回	【テーマ】心理検査3 【計画内容】人格検査の実施と報告書の作成、伝え方、倫理について学ぶ。(全担当者) 【授業時間外の学修内容】「心理的アセスメント」のテキスト・講義資料を復習しておくこと。	B、L	第23回	【テーマ】チームアプローチ3 【計画内容】教育領域におけるチームアプローチについて学ぶ。(全担当者) 【授業時間外の学修内容】プリント等で示された課題に取り組んでおくこと。	B、L
第9回	【テーマ】心理面接1 【計画内容】「心理学的支援法」で学んだことを確認し、演習課題を通して基礎的知識を確実なものにする。(全担当者) 【授業時間外の学修内容】「心理学的支援法」のテキスト・講義資料を復習しておくこと。	B、L	第24回	【テーマ】チームアプローチ4 【計画内容】司法・犯罪領域におけるチームアプローチについて学ぶ。(全担当者) 【授業時間外の学修内容】プリント等で示された課題に取り組んでおくこと。	B、L
第10回	【テーマ】心理面接2 【計画内容】ロールプレイングによりインテーク面接の実践練習を行う。(全担当者) 【授業時間外の学修内容】前回の講義資料を復習しておくこと。	B、H、L、N	第25回	【テーマ】多職種連携1 【計画内容】保健医療、福祉、教育，司法・犯罪の各領域における多職種連携について事例検討を通して学ぶ。(全担当者) 【授業時間外の学修内容】プリント等で示された課題に取り組んでおくこと。	B、H、J、L
第11回	【テーマ】心理面接3 【計画内容】ロールプレイングにより継続面接の実践練習を行う。(全担当者) 【授業時間外の学修内容】前回の講義資料を復習しておくこと。	B、H、L、N	第26回	【テーマ】多職種連携2 【計画内容】産業領域における多職種連携について事例検討を通して学ぶ。(全担当者) 【授業時間外の学修内容】プリント等で示された課題に取り組んでおくこと。	B、H、J、L
第12回	【テーマ】地域支援1 【計画内容】保健医療領域における地域支援について事例検討を通して学ぶ。(全担当者) 【授業時間外の学修内容】「心理学的支援法」の講義資料を復習しておくこと。	B、L、N	第27回	【テーマ】地域連携1 【計画内容】コミュニティ心理学の観点から事例を通して学ぶ。(全担当者) 【授業時間外の学修内容】プリント等で示された課題に取り組んでおくこと。	B、H、J、L
第13回	【テーマ】地域支援2 【計画内容】福祉領域における地域支援について事例検討を通して学ぶ。(全担当者) 【授業時間外の学修内容】「心理学的支援法」の講義資料を復習しておくこと。	B、L、N	第28回	【テーマ】地域連携2 【計画内容】患者会や自助グループなどの実践報告から学ぶ。(全担当者) 【授業時間外の学修内容】プリント等で示された課題に取り組んでおくこと。	B、H、J、L
第14回	【テーマ】地域支援3 【計画内容】教育領域における地域支援について事例検討を通して学ぶ。(全担当者) 【授業時間外の学修内容】「心理学的支援法」の講義資料を復習しておくこと。	B、L、N	第29回	【テーマ】まとめ1 【計画内容】倫理的配慮と法的義務を伴う心理的支援の実際について事例検討を通して確認する。(全担当者) 【授業時間外の学修内容】これまでの講義資料を復習しておくこと。	B、H、J、L
第15回	【テーマ】心理支援を要する人の理解とニーズの把握1 【計画内容】心理支援を要する人のニーズを把握するための具体的方法に関連するコミュニケーションのあり方についてロールプレイングを通して学ぶ。(全担当者) 【授業時間外の学修内容】プリント等で示された課題に取り組んでおくこと。	B、H、L、N	第30回	【テーマ】まとめ2 【計画内容】公認心理師の行う心理支援についてこれまで学んだことを確認し、全体を振り返り、自己洞察をふまえて発表を行う。(全担当者) 【授業時間外の学修内容】これまでの講義資料を復習しておくこと。	B、F、H、L

テキスト	資料を配付します
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			50%		50%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連

該当	経験内容	担当者全員が心理職経験あり。
	科目との関連	実務経験をもとに実践に即した指導を行う。

質問への対応	各担当者から説明します。
資格	[心]公認心理師_必修、認定心理士_選必、福祉心理士_選必
その他	未提出の課題がある場合、単位は認定されない。

科目名	心理実習	授業形態	実習	単位数	2
教員名	新川　貴紀、飯田　昭人、風間　雅江、小坂　守孝、澤　聡一、佐藤　至英				
授業の目的	ねらい	1. 心理実習を通して、心理に関する支援を要する者へのチームアプローチを理解する。 2. 多職種連携の重要性、適切な情報共有、及び地域連携の実際について理解する。 3. 公認心理師としての職業倫理及び法的義務を理解する。			
	到達目標	(1)所定の期間(80時間)を学外の指定機関(事前・事後学習を含む)で学習する。 (2)事前に立てた実習課題の達成を目指す。 (3)将来公認心理師として活動するための基本的態度を身につける。			
授業の計画	【計画内容】 ・80時間を充足する実習とする。 (1)学外実習については、保健医療、福祉、教育、司法・犯罪の各分野の実習施設において、見学、および、当該施設の実習指導者による講話、ならびに実習指導者と引率する実習指導教員による指導を受ける。 実習先は保健医療分野として、精神科病院4施設、児童精神科病院1施設の合計5施設の医療機関のうちの最低1施設、福祉分野として、児童相談所1施設、児童養護施設2施設、児童自立支援施設1施設の合計4施設の福祉施設全て、教育分野として、幼稚園1施設、および、司法・犯罪分野として、少年鑑別所1施設と少年院1施設の合計2施設、合計で最低8施設において実習を行う。 (2)学外実習の事前事後学習として、実習生は事前準備として実習施設についての理解のための学習、事後の報告および発表を行う。 (3)配付される「心理実習要綱」の指定のフォーマットによる「実習記録」の提出をする。 実習① :2年次後学期 精神科病院における施設見学および指導者による講話、ならびに事前事後学習、報告会 実習② :3年次 その他の施設見学および指導者による講話、ならびに事前事後学習、報告会 ＜実習内容＞ (ア)心理に関する支援を要する者へのチームアプローチ ・保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働の各分野における心理的支援の在り方 （産業・労働分野は、当該領域を専門とする担当教員による学内での実習を主とする） ・チームアプローチとしての支援の実際 ・養育者および乳幼児への心理的支援 ・高齢者および介護者への心理的支援 ・学校等の教育機関での心理的支援 ・福祉機関での心理的支援 ・司法・犯罪分野での心理的支援 ・職場のメンタルヘルスにかかわる心理的支援 (イ)多職種連携及び地域連携 ・多職種との連携の重要性 ・適切な情報共有 ・地域連携の実際 (ウ)公認心理師としての職業倫理及び法的義務への理解 ・守秘義務 ・職業倫理の遵守 ・法的義務 【授業時間外の学修内容】 実習先の理念、設立根拠法、歴史、関連講義資料の復習				D
テキスト	講義時に説明します				
参考書	教員・実習指導者から紹介します				

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			40%			60%
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	医療、教育、福祉、産業領域の心理職
		科目との関連	それぞれの心理職経験を活かしての指導

質問への対応	疑問や質問は、すみやかに担当教員へ問い合わせること。
資格	[心]公認心理師_必修
その他	

科目名	スクールカウンセリング	授業形態	講義	単位数	2
教員名	新川　貴紀				

授業の目的		
	ねらい	不登校やいじめ、校内暴力、学級崩壊、中途退学などの問題が学校で生じており、その支援を行うことが教育・心理・福祉分野共通の課題となりつつある。本講義では、子どもを取巻く様々な問題を取り上げ、どのような対応が求められているのかを考え、学校カウンセリングの理論や方法と、その実情について学びを深めることを目的とする。
	到達目標	(1)現在の学校が抱えている心理社会的な支援ニーズを理解する。 (2)そのニーズに応えるためのカウンセリング的な支援方法の基礎について学ぶ。

授業の計画						
第1回	【テーマ】スクールカウンセリングの概説 【計画内容】講義の全体の流れとスクールカウンセリングの基本的な枠組みを紹介する。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A、G	第9回	【テーマ】家族への関わり方(2) 【計画内容】子どもだけではなく、家族そのものが大変さを抱えている場合の支援の在り方を考える。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、G、L
第2回	【テーマ】現代社会における子どもの問題(1) 【計画内容】不登校についての様々な理解の枠組みと支援方法について考える。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、G、L	第10回	【テーマ】学校システムへのアプローチ(1) 【計画内容】生徒個々の相談だけではなく、生徒と教職員を含んだ学校全体を支援する方法を考える。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、G、L
第3回	【テーマ】現代社会における子どもの問題(2) 【計画内容】いじめ、友人関係のトラブル、非行や暴力などの問題について、現状と対応方法を考える。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、G、L	第11回	【テーマ】学校システムへのアプローチ(2) 【計画内容】子どもを支えるためのシステムをいかに作り上げていくかを考える。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、G、L
第4回	【テーマ】学校臨床における子どもの心理的発達(1) 【計画内容】小学校・中学校を中心に、子どもの健康な成長のために必要な支援のあり方を考える。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、G、L	第12回	【テーマ】コンサルテーション(1) 【計画内容】学校の教職員とスクールカウンセラーとの協働や連携について考える。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、G、L
第5回	【テーマ】学校臨床における子どもの心理的発達(2) 【計画内容】現代の子どもの特徴をふまえて、心身の成長のための課題と支援を考える。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、G、L	第13回	【テーマ】コンサルテーション(2) 【計画内容】学校内外の資源を巻き込んだ支援の在り方について考える。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、G、L
第6回	【テーマ】子どもへの関わり方(1) 【計画内容】学校や地域を生徒のための支援資源ととらえ、チームとして行う支援アプローチの実際を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、G、L	第14回	【テーマ】学校における危機介入 【計画内容】自殺危機、犯罪被害など、学校で起こる突発的な事態に対する緊急対応を考える。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、G、L
第7回	【テーマ】子どもへの関わり方(2) 【計画内容】小学校・中学校の生徒とよりよい関係を作る上で重要なことについて考える。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、G、L	第15回	【テーマ】まとめ 【計画内容】振り返りと考えの共有を行う。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、G、L
第8回	【テーマ】家族への関わり方(1) 【計画内容】大変さを抱えた子どもと、その家族に対する支援を考える。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、G、L			

テキスト	適宜指示します
参考書	黒沢幸子、2002年、『指導援助に役立つスクールカウンセリング・ワークブック』、金子書房、4760825967 村山正治・滝口俊子・河合隼雄、2007年、『事例に学ぶスクールカウンセリングの実際』、創元社、4422113860 石隈利紀、1999年、『学校心理学 教師・スクールカウンセラー・保護者のチームによる心理教育的援助サービス』、誠信書房、4414301491

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			35%		65%	
	補足			最終レポート		小レポート	

課題に関するフィードバックの方法	毎回の小レポートについては次の講義開始時にフィードバックを行います。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に説明します。
資格	[心]認定心理士_選必、福祉心理士_選必
その他	

科目名	生命倫理学	授業形態	講義	単位数	2
教員名	森口　眞衣				

授業の目的

ねらい

「倫理」とは人が生きていくための価値や規範としての「ありかた」を問い続ける学問です。そしてその領域の一部として展開する「生命倫理学」は「人の生命」が極めて曖昧で流動的な実態をもつ概念の上に成り立っているにもかかわらず、その「あるべき姿」を考え、さらにその時点ごとになんらかの答を提示することも求められるという特徴をもっており、常にジレンマを抱えてきました。基礎的内容を通して、なんとなく「分かっている」つもりの生命概念の境界がいかに不透明であるか、人間がその境界でどのように悩まされてきたかを学びます。

到達目標

(1)倫理的判断に必要な視点や方法論を理解できる。
(2)時代の変遷と技術の進歩に左右される「生命」の概念を理解できる。
(3)医療者や患者が現場で感じている倫理的ジレンマについて理解できる。
(4)生命倫理の議論と社会との関係について考察できる。

授業の計画

第1回	【テーマ】講義ガイダンス 【計画内容】講義内容の紹介と15回の展開について説明します。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A、G	第9回	【テーマ】小まとめ：生命倫理の基本概念 【計画内容】生命倫理の基盤概念について授業で学んだことを振り返り、自分の考えを整理します。 【授業時間外の学修内容】中間レポート2の課題を指示するので、第6～第8回の配付資料を復習しておくこと。	A、G、K、L
第2回	【テーマ】倫理学と生命倫理の関係(1) 【計画内容】哲学史における「倫理学」の位置づけと、生命倫理学の誕生背景について学びます。 【授業時間外の学修内容】第1回の内容を確認しておくこと。	A、G、K	第10回	【テーマ】生命倫理実践の歴史(1) 【計画内容】日本では欧米と適用事情が大きく異なるとされてきた「パターナリズム」について、その背景をもとに特徴と影響、問題点などを学びます。 【授業時間外の学修内容】授業開始時に前回の内容確認をするので、配付資料を確認し理解を深めておくこと。	A、G、K
第3回	【テーマ】倫理学と生命倫理の関係(2) 【計画内容】生命倫理学における基本的な原則・理論について学びます。 【授業時間外の学修内容】授業開始時に前回の内容確認をするので、配付資料を確認し理解を深めておくこと。	A、G、K	第11回	【テーマ】生命倫理実践の歴史(2) 【計画内容】現代医療では倫理実践の基本である「インフォームド・コンセント」について、パターナリズムとの関係や成立経緯をもとに開発された具体的モデルを学びます。 【授業時間外の学修内容】授業開始時に前回の内容確認をするので、配付資料を確認し理解を深めておくこと。	A、G、K
第4回	【テーマ】倫理学と生命倫理の関係(3) 【計画内容】生命倫理学における基本的な判断の基準と立場について学びます。 【授業時間外の学修内容】授業開始時に前回の内容確認をするので、配付資料を確認し理解を深めておくこと。	A、G、K	第12回	【テーマ】小まとめ：生命倫理実践の歴史 【計画内容】「生命」に対する倫理的判断の議論展開について授業で学んだことを振り返り、自分の考えを整理します。 【授業時間外の学修内容】中間レポート3の課題を指示するので、第10～第11回の配付資料を復習しておくこと。	A、G、K、L
第5回	【テーマ】小まとめ：倫理学と生命倫理の関係 【計画内容】生命倫理の位置づけと基本的事項について授業で学んだことを振り返り、自分の考えを整理します。 【授業時間外の学修内容】中間レポート1の課題を指示するので、第2～第4回の配付資料を復習しておくこと。	A、G、K、L	第13回	【テーマ】「生命」の取り扱いにおける倫理(1) 【計画内容】生殖医療の発達により変化する「生命」に関わる新たな技術や基準について、歴史的変遷と将来的展望を踏まえ、現在の社会で問題意識をもつ必要性を学びます。 【授業時間外の学修内容】授業開始時に前回の内容確認をするので、配付資料を確認し理解を深めておくこと。	A、G、K
第6回	【テーマ】生命倫理の基本概念(1) 【計画内容】生命倫理の基盤となる「人」概念の範囲について、様々な議論の展開と今後の方向性について学びます。 【授業時間外の学修内容】授業開始時に前回の内容確認をするので、配付資料を確認し理解を深めておくこと。	A、G、K	第14回	【テーマ】「生命」の取り扱いにおける倫理(2) 【計画内容】医療の実態から明確化してきた生命の「選別」について、社会的認識と法的基準の関係、倫理的判断と心理的苦痛など、困難なジレンマの実態を通して学びます。 【授業時間外の学修内容】授業開始時に前回の内容確認をするので、配付資料を確認し理解を深めておくこと。	A、G、K
第7回	【テーマ】生命倫理の基本概念(2) 【計画内容】生命倫理の基盤となる「病気」概念の境界について、判断基準としての「利益」「危害」の視点から学びます。 【授業時間外の学修内容】授業開始時に前回の内容確認をするので、配付資料を確認し理解を深めておくこと。	A、G、K	第15回	【テーマ】まとめ：総括と発展的考察 【計画内容】全体の流れを振り返り、自分の考えを整理したうえで、最終演習としての課題レポートに取り組みます。 【授業時間外の学修内容】これまでの配付資料を確認しておくこと。	A、G、K、L
第8回	【テーマ】生命倫理の基本概念(3) 【計画内容】生命倫理の基盤となる「善行」概念の特徴について、実践基準としての「正義」の視点から学びます。 【授業時間外の学修内容】授業開始時に前回の内容確認をするので、配付資料を確認し理解を深めておくこと。	A、G、K			

テキスト	スライド・配付プリントを使用します
参考書	スライド・配付プリントを使用します

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			60%		40%	
補足			レポート			

課題に関するフィードバックの方法	小まとめ回・まとめ回でレポートなどの論述内容を振り返り、考察を深めるための材料にします。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に説明します。
資格	
その他	歴史・宗教・医療・社会など広範囲の知識を前提として考えるので、教養を深めたいという意欲を歓迎します。

科目名	地域福祉論Ⅰ	授業形態	講義	単位数	2
教員名	尾形　良子				

授業の目的		
	ねらい	これからの地域福祉において地域の福祉課題の把握や社会資源の調整･開発、ネットワークの形成を図るなど、地域福祉の増進に働きかける役割等を適切に果たすことが求められるようになった。 そこで「地域福祉論Ⅰ」はまず地域福祉の基本的な考え方、新しい社会福祉システムとしての地域福祉の考え方や地域福祉の理念、地域福祉を担う主体の形成および公私協働の実際を学習する。
	到達目標	(1)地域福祉の意味が分かる。 (2)地域福祉に関わる概念が理解できる。 (3)地域福祉に関わるキーワードと自分の生活が結びつくようになる。 (4)地域福祉の実際と課題を把握する。 (5)地域福祉の概要を理解する。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション、新しい社会福祉システムとしての地域福祉 【計画内容】「地域福祉論Ⅰ」のオリエンテーションを行い、授業を始めるにあたり現在の「地域福祉」の位置を確認する。 【授業時間外の学修内容】シラバスをよく読んでおくこと。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	A、L	第9回	【テーマ】地域福祉における生活課題･地域課題と福祉教育 【計画内容】福祉教育の概要を学び、福祉教育が地域福祉にどう機能するかを考える機会とする。 【授業時間外の学修内容】前回の資料を復習しておくこと。	A、K
	第2回	【テーマ】地域福祉の発展過程 【計画内容】地域福祉の源流とされる過去の実践から現在の地域福祉のあり方まで、歴史について学習する。 【授業時間外の学修内容】前回の資料を復習しておくこと。	A、K	第10回	【テーマ】地方分権化と地域福祉計画① 【計画内容】地方分権と地域福祉の関係について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の資料を復習しておくこと。	A、K
	第3回	【テーマ】福祉コミュニティ 【計画内容】福祉コミュニティの概念について学び、このキーワードを活用する意義を考える。 【授業時間外の学修内容】前回の資料を復習しておくこと。	A、K	第11回	【テーマ】地方分権化と地域福祉計画② 【計画内容】地域福祉計画の概要を解説する。 【授業時間外の学修内容】前回の資料を復習しておくこと。	A、K
	第4回	【テーマ】地域福祉理論 【計画内容】現在の地域福祉の考え方の源流はどこで、どのように発展してきたのか。現在の枠組みを理解するために理論の展開を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の資料を復習しておくこと。	A、K	第12回	【テーマ】社会福祉協議会① 【計画内容】地域福祉を推進する中心的存在である社会福祉協議会の概要やキーワードについて学習する。 【授業時間外の学修内容】前回の資料を復習しておくこと。	A、K
	第5回	【テーマ】地域福祉の理念、地域自立生活支援 【計画内容】地域福祉が目指すものは何かを説明する。 【授業時間外の学修内容】前回の資料を復習しておくこと。	A、K	第13回	【テーマ】社会福祉協議会② 【計画内容】実際の社会福祉協議会の業務やあり方を理解する機会とする。 【授業時間外の学修内容】前回の資料を復習しておくこと。	A、K
	第6回	【テーマ】地域と福祉圏域 【計画内容】地域とは「どこ」のことか。「地域」と考えられる場所や単位を体験の中からあげつつ、福祉圏域という考え方を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の資料を復習しておくこと。	A、K	第14回	【テーマ】地域福祉における行政と民間 【計画内容】地域福祉の中の行政組織と民間組織の概要や役割を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の資料を復習しておくこと。	A、K
	第7回	【テーマ】地域福祉における連携 【計画内容】地域福祉を行う上で必要な連携の在り方について解説する。 【授業時間外の学修内容】前回の資料を復習しておくこと。	A、K	第15回	【テーマ】前学期のまとめ 【計画内容】地域福祉の概要をまとめる。 【授業時間外の学修内容】前回の資料を復習しておくこと。	A、K
	第8回	【テーマ】地域福祉の主体形成 【計画内容】地域福祉を担う主体である住民の主体化について学習する。 【授業時間外の学修内容】前回の資料を復習しておくこと。	A、K			

テキスト	井村圭壮、2019年、『地域福祉の原理と方法第3版』、学文社、9784762028748
参考書	適宜紹介します

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			40%		60%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必、社会福祉主事_選必 [健]介護福祉士_選必、社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必
その他	

科目名	地域福祉論Ⅱ	授業形態	講義	単位数	2
教員名	尾形　良子				

授業の目的	
ねらい	「地域福祉論Ⅰ」の内容を踏まえながら、地域福祉の実践主体である社会福祉法人やボランティア団体、専門職の役割と実際を学ぶ。また地域福祉を実施するための地域におけるネットワーク、社会資源の活用整・調整・開発、福祉ニーズの把握方法、サービスの評価方法など、地域福祉の推進方法について理解する。
到達目標	(1)コミュニティワークやコミュニティソーシャルワークといった地域福祉の方法を理解する。 (2)地域福祉の具体的な方法を学ぶことによって、実践する能力を形成する。

授業の計画						
第1回	【テーマ】社会福祉法人および特定非営利法人、ボランティアおよび福祉コミュニティビジネスと企業の社会貢献の役割と実際 【計画内容】地域福祉を担う機関の概要やボランティア、特定非営利法人、NPOの概要を学習する。またNPOなどが担うコミュニティビジネスや企業の活動についても視野を広げていく。 【授業時間外の学修内容】「地域福祉論Ⅰ」での学習をふりかえってくる。	A、K、L	第9回	【テーマ】ソーシャルサポートネットワーク 【計画内容】コミュニティソーシャルワーク等でも活用できるソーシャルサポートネットワーク概念について確認し、経験的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の資料で復習しておく。	A、K、L
第2回	【テーマ】民生委員・児童委員・保護司 【計画内容】特殊なボランティアといわれる民生委員や更生保護の領域で活躍する保護司の概要を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の資料で復習しておく。	A、K、L	第10回	【テーマ】社会資源の活用・調整・開発 【計画内容】支援において利用する社会資源の内容とコーディネートの仕方を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の資料で復習しておく。	A、K、L
第3回	【テーマ】住民による地域福祉活動の実際 【計画内容】ボランティア活動の例を紹介し、具体的な活動内容や地域福祉の中の役割を理解する機会とする。 【授業時間外の学修内容】前回の資料で復習しておく。	A、K、L	第11回	【テーマ】ソーシャルアクション 【計画内容】地域におけるソーシャルアクションの実際を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の資料で復習しておく。	A、K、L
第4回	【テーマ】地域福祉の方法～コミュニティワーク① 【計画内容】コミュニティワークの概要および発展、そしてコミュニティワークの展開過程を一つの問題を通して体験的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の資料で復習しておく。	A、K、L	第12回	【テーマ】福祉ニーズの把握の方法 【計画内容】質的な福祉ニーズおよび量的な福祉ニーズの把握の方法を学び、ニーズ把握の基礎を作る。 【授業時間外の学修内容】前回の資料で復習しておく。	A、K、L
第5回	【テーマ】地域福祉の方法～コミュニティワーク② 【計画内容】コミュニティワークの概要および発展、そしてコミュニティワークの展開過程を一つの問題を通して体験的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の資料で復習しておく。	A、K、L	第13回	【テーマ】地域トータルケアシステム 【計画内容】地域トータルケアシステムの概要を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の資料で復習しておく。	A、K、L
第6回	【テーマ】地域福祉の方法～コミュニティソーシャルワーク① 【計画内容】個別の支援から地域における社会資源の開発まで総合的に捉える地域福祉の方法の概要を学び、具体的な問題を通して考える。 【授業時間外の学修内容】前回の資料で復習しておく。	A、K、L	第14回	【テーマ】福祉サービス評価 【計画内容】福祉サービス評価が必要とされる背景や評価の内容、方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の資料で復習しておく。	A、K、L
第7回	【テーマ】地域福祉の方法～コミュニティソーシャルワーク② 【計画内容】個別の支援から地域における社会資源の開発まで総合的に捉える地域福祉の方法の概要を学び、具体的な問題を通して考える。 【授業時間外の学修内容】前回の資料で復習しておく。	A、K、L	第15回	【テーマ】まとめ 【計画内容】まとめを実施する。 【授業時間外の学修内容】前回までの資料で復習しておく。	A、K、L
第8回	【テーマ】住民参加と方法 【計画内容】住民参加の意義や地域福祉計画策定への参加など、主体的に地域に関わっていく際の考え方や方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の資料で復習しておく。	A、K、L			

テキスト	井村圭壮、2019年、『地域福祉の原理と方法第3版』、学文社、9784762028748
参考書	適宜紹介します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	40%				60%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必、社会福祉主事_選必 [健]社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必
その他	

科目名	医療福祉論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	寺田　香				

授業の目的

ねらい	この講義では、保健医療分野におけるソーシャルワークについて、その理念、価値、視点を学習します。現在の保健医療制度が成立した歴史的背景や制度・政策動向、社会環境の変化を理解することを通して、この分野においてソーシャルワークがどのような役割を担うのか、また他の福祉分野や制度・サービスとどのようにつながっているのかについて学びを深めます。
到達目標	(1)相談援助活動において必要となる医療保険制度や保健医療サービスについて理解します。 (2)保健医療サービスにおける専門職の役割と実際、多職種協働について理解します。 (3)疾病や障害を負うことで生じる生活の諸問題について学び、保健医療分野を入り口とした他福祉分野との関連について理解します。 (4)保健医療分野の制度・政策動向を理解し、求められるソーシャルワークの在り方について学びます。

授業の計画

第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】保健医療分野において生じている社会的な問題を取り上げ、ソーシャルワークとの関連について理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】保健医療分野における制度・政策・サービスについて② 【計画内容】各種手帳制度、年金、介護保険の運用などについて学びます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組むこと。	A
第2回	【テーマ】「傷病」による生活問題について 【計画内容】疾病や障害を負うことによって生じる生活の問題について考えます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組むこと。	A、H	第10回	【テーマ】保健医療ネットワーク① 【計画内容】専門職種との連携、協働の実際について理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組むこと。	A、H
第3回	【テーマ】保健医療分野におけるソーシャルワークの歴史① 【計画内容】欧米の歴史について学び、保健医療の分野でどのようなソーシャルワークが行われてきたのかを理解します。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組むこと。	A	第11回	【テーマ】保健医療ネットワーク② 【計画内容】地域ケアの実践について求められる連携のあり方について学びます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組むこと。	A、H
第4回	【テーマ】保健医療分野におけるソーシャルワークの歴史② 【計画内容】日本において、保健医療分野のソーシャルワークがどのように行われてきたのかを理解します。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組むこと。	A	第12回	【テーマ】事例から学ぶ① 【計画内容】急性期医療からリハビリテーション、慢性期に至るまでに求められる保健医療サービスについて、事例を通して理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組むこと。	A、H
第5回	【テーマ】保健医療サービスの実際①「保健医療機関の理解」 【計画内容】保健医療サービスが提供されている機関の種類や機能について学びます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組むこと。	A	第13回	【テーマ】事例から学ぶ② 【計画内容】終末期医療に求められる保健医療サービスについて、事例を通して理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組むこと。	A、H
第6回	【テーマ】保健医療サービスの実際②「職種の理解」 【計画内容】保健医療サービスに携わるさまざまな専門職種について、その職務内容と職域等ついて学びます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組むこと。	A、H	第14回	【テーマ】事例から学ぶ③ 【計画内容】慢性疾患や障害を抱えながら生活をしていく際に求められる保健医療サービスについて、事例を通して理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組むこと。	A、H
第7回	【テーマ】保健医療サービスの実際③「ソーシャルワークの理解」 【計画内容】保健医療分野におけるソーシャルワーカーの専門性と職務内容について学びます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組むこと。	A、H	第15回	【テーマ】まとめと確認 【計画内容】保健医療分野におけるソーシャルワークの課題と展望についてまとめ、振り返りと確認を行います。 【授業時間外の学修内容】前回分までのプリントを熟読してください。	L
第8回	【テーマ】保健医療分野における制度・政策・サービスについて① 【計画内容】医療保険制度、診療報酬、医療法などについて学びます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組むこと。	A			

テキスト	毎時プリントを配付します
参考書	社会福祉士養成講座編集委員会、2017年、『新・社会福祉士養成講座17「保健医療サービス」第5版』、中央法規、9784805854327

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	50%		20%		30%	
補足			レポート			

課題に関するフィードバックの方法	第15回で課題内容を振り返り、講評を通して理解を深めます。

実務経験と授業の関連

該当	経験内容	精神保健福祉士　社会福祉士
	科目との関連	保健医療機関における相談支援職の業務経験を活かして講義を行います。

質問への対応	毎回、リアクションペーパーを配付します。意見や感想等を積極的に書いてください。また不明な点などがあった際にも遠慮なく記入してください。次回の講義時に回答します。
資格	[心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必、社会福祉主事_選必
その他	第16回に最終確認のためのテストを行います。

科目名	権利擁護と成年後見制度	授業形態	講義	単位数	2
教員名	森田　弘之				

授業の目的

ねらい	基本的人権の尊重、個人の尊厳と生命・自由・幸福追求の権利を保障した憲法等の実現をめざして、市民社会の基本秩序を規定した近代民法は私有財産制を保障している。そしてその下では、各個人は原則として自己の意思に基づいてのみ、権利を取得し義務を負担する(私的自治の原則)。しかし、障害や高齢などにより、自己の自由な意思形成の基礎となる判断能力が不十分な方を支援し補充するための成年後見制度を活用するには、相談支援活動と法との関わりを通じて、どのような方法があるのか等について、他の制度及び権利擁護にかかわる組織・団体等と共に理解する。
到達目標	(1)権利擁護の概念と役割を理解する。 (2)成年後見制度の概要及び課題等を学び、他の支援事業との相違を理解する。 (3)相談援助の活動と法との関連を理解する。 (4)相談援助の活動において必要となる成年後見制度について理解する。 (5)虐待や認知症など支援を必要な者に対する権利擁護活動の実際について理解する。

授業の計画

第1回	【テーマ】オリエンテーション・権利擁護の概念 【計画内容】授業の展開等を説明するのと、人権を支える法の仕組みについても学びます。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】成年後見人等の義務と課題 【計画内容】成年後見人等の後見実務とその限界ないし課題について学び、これからの市民後見人及び最近の動向についても考察します。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストの第2章 pp.112-127を読んでおくこと。	A
第2回	【テーマ】日本国憲法の理解1 【計画内容】主に日本国憲法の基本的人権について学びます。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストの第1章 pp.2-11を読んでおくこと。	A	第10回	【テーマ】日常生活自立支援事業と成年後見制度利用支援事業 【計画内容】日常生活自立支援事業及び成年後見制度利用支援事業の概要と成年後見制度との相違点及び江別市などの取組みについて学びます。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストの第3章 pp.130-145を読んでおくこと。	A
第3回	【テーマ】日本国憲法の理解2 【計画内容】自由権と社会権ないし公私分離の原則などについて学びます。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストの第1章 pp.11-27を読んでおくこと。	A	第11回	【テーマ】権利擁護にかかわる組織、団体の役割と実際 【計画内容】家庭裁判所、法務局及び市町村などの各役割を学び、いつでも相談できるようなネットワークを築くことを学びます。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストの第5章 pp.148-171を読んでおくこと。	A
第4回	【テーマ】行政法の理解 【計画内容】主に行政組織法、行政作用法、行政救済法の三分類について学びます。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストの該当箇所を読んでおくこと。	A	第12回	【テーマ】権利擁護にかかわる専門職の役割 【計画内容】権利擁護の制度は、国民みんなで支えるもので、親族以外の第三者のうち、特に身上監護を行うのに適した社会福祉士などについて学びます。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストの第6章 pp.174-196を読んでおくこと。	A
第5回	【テーマ】民法の理解1 【計画内容】総則、物権、債権及び契約の類型などについて学びます。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストの第1章 pp.48-62を読んでおくこと。	A	第13回	【テーマ】成年後見活動の実際 【計画内容】社会的排除や虐待などの権利侵害や認知症などの判断能力の不十分な高齢者などについて、テキストの事例から支援の留意点や対応方法など、権利擁護活動の実際について学びます。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストの第7章 pp.198-205を読んでおくこと(レポート)。	A
第6回	【テーマ】民法の理解2 【計画内容】不法行為、親族法及び相続法などについて学びます。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストの第1章 pp.62-79を読んでおくこと。	A、G	第14回	【テーマ】権利擁護活動の実際 【計画内容】障害のある子の将来への対応と実務について事例を通じて学び、関係機関との連携を図ることを学習します。また、成年後見制度の利用と促進についても説明します。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストの第7・8章 pp.206-243を読んでおくこと。	A、G
第7回	【テーマ】法定後見制度1 【計画内容】成年後見制度の基本理念と成年後見、保佐及び補助の各概要について学びます。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストの第2章 pp.82-97を読んでおくこと。	A	第15回	【テーマ】最高裁の後見統計とこれまでの復習と国試対策 【計画内容】権利擁護及び成年後見制度について、最高裁の後見統計とレポートの振り返りによる要点の確認を行います。 【授業時間外の学修内容】これまでに配付したプリントを復習しておくこと。	A、L
第8回	【テーマ】法定後見制度2 【計画内容】法定後見の申立ての流れと任意後見制度の概要について学びます。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストの第2章 pp.98-111を読んでおくこと。	A			

テキスト	社会福祉士養成講座編集委員会、2014年、『社会福祉士養成講座 第19巻 権利擁護と成年後見制度第4版』、中央法規、9784805839362 講義時に説明します。
参考書	福祉臨床シリーズ編集委員会編、2018年、『権利擁護と成年後見制度[第4版]』、弘文堂、9784335611889 プリントを使用します

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			50%		50%	
補足			レポート			

課題に関するフィードバックの方法	第15回にレポートの評価と再度、要点の整理を行います。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に説明します。
資格	[心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必 [健]社会福祉士_必修
その他	成年後見制度や認知症などの報道等に関心を抱き、これからの指針や方策等についても関心をもってもらいたい。

科目名	精神保健Ⅰ	授業形態	講義	単位数	2
教員名	武藤　福保				

授業の目的	
ねらい	精神保健とは「心の健康」のことをいう。今日、わが国においても精神保健の重要性が指摘されるところとなってきている。本講義では精神保健に関する歴史的経緯とその意義を概観しつつ、ライフサイクルや具体的な生活の場面を通じて精神保健全般のもつ役割について講義する。具体的には、精神障害の概略、分類、各精神障害（疾患）について年代別（小児期、成人期、老年期）に講義を行う。加えて、精神障害に関する基礎知識、精神保健福祉施策の概要、保健センター等の行政機関、地域社会における実践活動などについても知識を獲得する。
到達目標	(1)精神医学に関して医学的に正確な知識を身につけること。 (2)精神障害全般に関して医学的に正確な知識を身につけること。 (3)精神障害者（児）に対する偏見をなくすこと。

授業の計画						
第1回	【テーマ】概論：精神保健（メンタルヘルス）とは 【計画内容】講義のガイダンスを行い、精神保健の概略と精神保健の意義について解説する。また「病跡学」を通して精神障害を身近なものと理解する。 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。精神障害を有する著名人を調べておくこと。	A、G	第9回	【テーマ】児童期における精神保健：各論（情緒と行動の障害、発達障害など） 【計画内容】児童期の精神障害を分類ごとに解説する。具体的には自閉症・広汎性発達障害・ADHD・学習障害・知的障害などの発達障害や情緒と行動の障害などに関して詳説する。 【授業時間外の学修内容】参考図書などにより児童期における精神保健の各論について学習しておくこと。	A、G
第2回	【テーマ】精神障害に関する基礎知識と分類 【計画内容】精神障害の成り立ち、原因、分類体系、診断、検査などを解説する。 【授業時間外の学修内容】参考図書などにより精神障害の成り立ち、原因、分類体系、診断、検査などについて学習しておくこと。	A、G	第10回	【テーマ】思春期・青年期における精神保健と人格障害 【計画内容】思春期・青年期に生じやすい精神障害（摂食障害やアパシーなど）と人格障害について解説する。 【授業時間外の学修内容】参考図書などにより思春期・青年期に生じやすい精神障害と人格障害について学習しておくこと。	A、G
第3回	【テーマ】心因性の精神障害 【計画内容】心因性の精神障害の原因、分類、症状、治療などについて解説する。 【授業時間外の学修内容】参考図書などにより心因性の精神障害について学習しておくこと。	A、G	第11回	【テーマ】講義の復習と家庭・学校・職場における精神保健 【計画内容】これまでの講義の復習と地域における精神保健について解説する。 【授業時間外の学修内容】参考図書などにより家庭・学校・職場における精神保健について学習しておくこと。また、これまでの講義の概略を復習しておくこと。	A、G
第4回	【テーマ】統合失調症 【計画内容】統合失調症の原因、分類、症状、治療などについて解説する。 【授業時間外の学修内容】参考図書などにより統合失調症について学習しておくこと。	A、G	第12回	【テーマ】てんかんと睡眠障害 【計画内容】てんかんと睡眠障害の原因、分類、症状、治療などについて解説する。 【授業時間外の学修内容】参考図書などによりてんかんと睡眠障害について学習しておくこと。	A、G
第5回	【テーマ】気分障害（感情障害、躁うつ病、うつ病） 【計画内容】気分障害（感情障害、躁うつ病、うつ病）の原因、分類、症状、治療などについて解説する。 【授業時間外の学修内容】参考図書などにより気分障害（感情障害、躁うつ病、うつ病）について学習しておくこと。	A、G	第13回	【テーマ】精神保健の歴史・精神保健の今日的意義と重要性（理念） 【計画内容】現代社会における精神保健の重要性と諸課題、および精神保健福祉士の役割について解説する。 【授業時間外の学修内容】参考図書などにより精神保健の歴史と精神保健の今日的意義について学習しておくこと。	A、G
第6回	【テーマ】成人期・老年期における精神保健 【計画内容】成人期および老年期に生じる精神障害の特徴を概説する。 【授業時間外の学修内容】参考図書などにより成人期および老年期に生じる精神障害について学習しておくこと。	A、G	第14回	【テーマ】精神保健福祉制度の概要 【計画内容】わが国および他の国々や国際連合における精神保健福祉制度、精神障害者の人権・社会復帰に向けた援助について解説する。 【授業時間外の学修内容】参考図書などにより精神保健福祉制度について学習しておくこと。	A、G
第7回	【テーマ】精神障害の治療と認知症 【計画内容】精神障害の治療と認知症についてその概略を説明する。特に老年期の認知症に関して詳説する。 【授業時間外の学修内容】参考図書などにより精神障害の治療と認知症について学習しておくこと。	A、G	第15回	【テーマ】「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（精神保健福祉法）」の概要 【計画内容】精神保健福祉法の趣旨、精神科治療現場での実際について説明する。 【授業時間外の学修内容】参考図書などにより精神保健福祉法について学習しておくこと。	A、G
第8回	【テーマ】児童期における精神保健：総論（人間の成長と発達の基礎的理解） 【計画内容】人間の成長と発達を身体的・心理的・社会的側面から解説し、それぞれの観点から児童期の精神障害の発生原因と分類体系などを解説する。 【授業時間外の学修内容】参考図書などにより児童期における精神保健について学習しておくこと。	A、G				

テキスト	プリントを使用します
参考書	山下格、2010年、『精神医学ハンドブック 第7版　医学・保健・福祉の基礎知識』、日本評論社、9784535983335 一般社団法人日本精神保健福祉士養成校協会編集、2015年、『新・精神保健福祉士養成講座2「精神保健の課題と支援」第2版』、中央法規

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	40%		20%		20%	20%
補足			毎回のミニ・レポート		質問や発言	

課題に関するフィードバックの方法	毎回ミニ・レポートを提出してもらいますが、次回の講義時に講評や参考事項があれば補足説明するなどのフィードバックを行います。

実務経験と授業の関連		
該当	経験内容	医師、精神保健指定医
	科目との関連	医師、精神保健指定医としての業務経験にもとに実務に即した指導・授業を行う。

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。次のメール・アドレスでも受け付けます。 E-Mail: drmutoh406cp@yahoo.co.jp（メールのタイトルに「北翔大学」＋「学生番号と氏名」を記載すること）
資格	[心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必
その他	私語は厳禁です。積極的な質問や意見の発表などは歓迎します。授業中に簡単な質問をすることがあります。間違いを恐れずに意見を述べて下さい。

科目名	精神保健Ⅱ	授業形態	講義	単位数	2
教員名	橋本　菊次郎				

授業の目的	
ねらい	精神保健福祉士として求められる精神保健の基礎知識習得を目指し、今日の複雑な精神保健問題に対応できるよう、多角的視点を養い、精神保健福祉士の役割について理解することを目的とする。
到達目標	(1)精神保健の基本概念の理解を一層深める。 (2)今日の精神保健問題への理解を深め、諸外国、国連やWHOの活動などを理解し、その発展の可能性を把握する。 (3)事例検討を通じて、その疾患及び障害の特性を理解するとともに「生活」に及ぼす影響について総合的に理解できるようにする。

授業の計画						
第1回	【テーマ】オリエンテーション：「精神保健Ⅰ」の内容の確認・復習 【計画内容】講義内容、展開方法について説明し、「精神保健Ⅰ」(前学期)の内容を振り返る。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読んでおくこと。「精神保健Ⅰ」の復習をしておくこと。	L	第9回	【テーマ】精神保健問題3 疾病障害の理解3 【計画内容】自殺問題とメンタルヘルス(うつ)について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付された資料に目を通しておくこと。	A、K、L
第2回	【テーマ】現代社会におけるメンタルヘルス 【計画内容】精神保健の定義から今日の精神保健を概観し、社会構造の変化、健康観、ライフサイクルについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】「精神保健Ⅰ」の復習をしておくこと。	A、H、L	第10回	【テーマ】精神保健問題4　疾病障害の理解4 【計画内容】学校、職場のメンタルヘルスから自殺対策について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回講義の復習をしておくこと。	A、L
第3回	【テーマ】精神障害と行動障害1 【計画内容】精神障害と行動障害の要因について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回講義の復習をしておくこと。	A、K、L	第11回	【テーマ】精神保健政策1 政策の開発・サービス提供 【計画内容】自殺の現状から、政策の必要性について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】自殺の統計を確認しておくこと。	A、K、L
第4回	【テーマ】精神障害と行動障害2 【計画内容】精神障害と行動障害がもたらす影響、負担について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回講義の復習をしておくこと。	K、L	第12回	【テーマ】精神保健政策2 精神保健活動の促進 【計画内容】国および地方自治体の自殺対策についてDVDを視聴し、先駆的活動から学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回講義の復習をしておくこと。	A、L
第5回	【テーマ】事例検討1 疾病障害の理解1 【計画内容】グループによる事例検討(統合失調症)を行い、精神保健福祉士の役割、かかわりについて考える。 【授業時間外の学修内容】前回講義の復習をしておくこと。	J、L	第13回	【テーマ】地域精神保健に関する諸活動1 【計画内容】地域精神保健の普及啓発における、当事者活動の意義と影響について学ぶ。ゲストスピーカーを招き、ロールプレイにより実際のプログラムを体験する。 【授業時間外の学修内容】前回講義の復習をしておくこと。	A、H、K、L、N
第6回	【テーマ】精神保健問題1 【計画内容】依存症のリハビリテーション施設に勤務する精神保健福祉士および当事者をゲストスピーカーとして招き、依存症及び、その支援の実際について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】精神保健Ⅰで学習した、依存症について復習しておくこと	A、G、L	第14回	【テーマ】地域精神保健に関する諸活動2 【計画内容】精神保健福祉士の資源開発やネットワークづくりから、地域精神保健への精神保健福祉士の関与・役割について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回講義の復習をしておくこと。	A、H、L
第7回	【テーマ】精神保健問題2 疾病障害の理解2 【計画内容】高次脳機能障害のリハビリテーション施設に勤務する精神保健福祉士および当事者をゲストスピーカーとして招き、依存症及び、その支援の実際について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】医療福祉論で学習した、高次脳機能障害について復習しておくこと	A、G、L	第15回	【テーマ】まとめと確認 【計画内容】振り返りの確認行い、まとめを行う。 【授業時間外の学修内容】これまでの講義内容を復習しておくこと。	A、G、L
第8回	【テーマ】事例検討2 【計画内容】グループによる事例検討(依存症)を行い、精神保健福祉士の役割について理解を深める。 【授業時間外の学修内容】依存症について復習しておくこと。	F、H、J、L			

テキスト	レジュメを配付します
参考書	精神保健福祉士養成セミナー編集委員会、2017年、『精神保健福祉士養成セミナー②精神保健学〈第6版〉』、へるす出版、9784892699054 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編、2018年、『精神保健の課題と支援(新・精神保健福祉士養成講座2)第3版』、中央法規出版、9784805855959 必要に応じて、講義内で紹介します。

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	50%		35%		15%	
補足			講義時間内に2回課す予定		教員の質問へのレスポンス	

課題に関するフィードバックの方法	・リアクションシートの質問については授業内で回答し、また感想や意見等も幾つか紹介し共有する。 ・中間レポートについては、事前に採点基準を示し、レポート提出後、解説・講評を行う。 ・テストについては、解答例・解説資料をテスト終了後に配付する。

実務経験と授業の関連	該当	経験内容	精神保健福祉士、厚生労働省指定ストレスチェック実施者
		科目との関連	精神科病院、リハビリテーション施設での実践経験に基づいた内容を盛り込み教授する。

質問への対応	講義内での質問時間を確保するほか、メールでも受け付ける。E-Mail:kikujiro@hokusho-u.ac.jp
資格	[心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必
その他	「精神保健Ⅰ」を単位取得していることが望ましく(3年次前学期開講の「精神保健Ⅰ」を履修することにより、精神保健福祉士受験資格指定科目「精神保健の課題を支援」を履修したことになる。)、講義内容も「精神保健Ⅰ」での内容を理解していることを前提に展開する。また精神保健福祉援助実習と関連付けて講義を展開する。 レジュメは、過去に配付したものも使用することがあるので、各自ファイリングするなどして、毎回持参すること。

科目名	精神科リハビリテーション	授業形態	講義	単位数	4

教員名	橋本　菊次郎

授業の目的		
	ねらい	精神障害リハビリテーション学の概念と構成など基礎的学習を踏まえ、各領域でのリハビリテーション実践および精神保健福祉士の役割について理解を深め、全国および世界の先駆的な取り組みから今後の展望について考察を加えていく。
	到達目標	(1)精神障害リハビリテーションのプロセス、実施機関や施設などにおいてどのような援助技術や方法が用いられているのかを理解する。 (2)精神保健福祉士が行うリハビリテーションの実際を理解する。 (3)精神障害リハビリテーションにおける他の専門職者との連携のあり方などを理解する。 (4)精神障害リハビリテーションの今後の展望について考察できる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション　リハビリテーションの理解 【計画内容】授業の展開方法など説明する。リハビリテーション定義の確認。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第16回	【テーマ】医療機関におけるリハビリテーション(2) 【計画内容】認知行動療法について理解する。 【授業時間外の学修内容】前回配付資料をもとに復習し、テキストの該当部分を読んでおくこと。	A、G、H、N、L
	第2回	【テーマ】精神障害リハビリテーションにおける専門職の姿勢 【計画内容】視聴覚教材を用いて、精神障害リハビリテーションにおける専門職について考える。 【授業時間外の学修内容】リハビリテーションの一般的イメージについて整理しておくこと。	A、G、L	第17回	【テーマ】医療機関におけるリハビリテーション(3) 【計画内容】生活技能訓練の理解を深める。 【授業時間外の学修内容】前回配付資料をもとに復習し、テキストの該当部分を読んでおくこと。	A、B
	第3回	【テーマ】精神障害リハビリテーションの概念(1) 【計画内容】精神障害リハビリテーションの概念と歴史について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容のレポートを作成しておくこと。	A	第18回	【テーマ】医療機関におけるリハビリテーション(4) 【計画内容】生活技能訓練の演習を行う。 【授業時間外の学修内容】前回配付資料をもとに復習し、テキストの該当部分を読んでおくこと。	A、G、H、N、L
	第4回	【テーマ】精神障害リハビリテーションの概念(2) 【計画内容】精神障害リハビリテーションの理念、意義と基本原則を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回配付資料をもとに復習し、テキストの該当部分を読んでおくこと。	A、H、L	第19回	【テーマ】医療機関におけるリハビリテーション(5) 【計画内容】デイケア・ナイトケア、アウトリーチ支援の実際について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回配付資料をもとに復習し、テキストの該当部分を読んでおくこと。	A
	第5回	【テーマ】精神障害リハビリテーションの概念(3) 【計画内容】精神障害リハビリテーションの概念、理念と意義を理解する。 【授業時間外の学修内容】精神科医療の変遷などについて復習しておくこと。	A	第20回	【テーマ】医療機関におけるリハビリテーション(6) 【計画内容】退院・地域移行支援について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回配付資料をもとに復習し、テキストの該当部分を読んでおくこと。	A、G、H、L
	第6回	【テーマ】精神障害リハビリテーションの概念(4) 【計画内容】精神障害リハビリテーションの基本原則と技法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回配付資料をもとに復習し、テキストの該当部分を読んでおくこと。	A、G、H、L	第21回	【テーマ】精神保健福祉士が行うリハビリテーション(1) 【計画内容】グループワークにおける精神保健福祉士の役割と視点について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回配付資料をもとに復習し、テキストの該当部分を読んでおくこと。	A
	第7回	【テーマ】精神障害リハビリテーションの概念(5) 【計画内容】我が国及び諸外国の精神障害リハビリテーションの現状に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回配付資料をもとに復習し、テキストの該当部分を読んでおくこと。	A	第22回	【テーマ】精神保健福祉士が行うリハビリテーション(2) 【計画内容】アウトリーチ支援における精神保健福祉士の役割と視点について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回配付資料をもとに復習し、テキストの該当部分を読んでおくこと。	A、G、H、N、L
	第8回	【テーマ】精神障害リハビリテーションの構成(1) 【計画内容】精神障害リハビリテーションの対象と精神保健福祉士の役割について理解を深める。 【授業時間外の学修内容】前回配付資料をもとに復習し、テキストの該当部分を読んでおくこと。	A、G、H、L	第23回	【テーマ】精神保健福祉士が行うリハビリテーション(3) 【計画内容】地域生活移行、日常生活支援について理解を深める。 【授業時間外の学修内容】前回配付資料をもとに復習し、テキストの該当部分を読んでおくこと。	A、B
	第9回	【テーマ】精神障害リハビリテーションの構成(2) 【計画内容】精神障害リハビリテーションに関わる専門職等との連携について考える。 【授業時間外の学修内容】前回配付資料をもとに復習し、テキストの該当部分を読んでおくこと。	A	第24回	【テーマ】精神保健福祉士が行うリハビリテーション(4) 【計画内容】社会参加、社会復帰支援の実際について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回配付資料をもとに復習し、テキストの該当部分を読んでおくこと。	A、G、H、L
	第10回	【テーマ】精神障害リハビリテーションの構成(3) 【計画内容】精神障害リハビリテーションの施設、関連領域について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回配付資料をもとに復習し、テキストの該当部分を読んでおくこと。	A、G、H、L	第25回	【テーマ】地域リハビリテーション1 【計画内容】ネットワーク、ケアマネジメントの理解。 【授業時間外の学修内容】前回配付資料をもとに復習し、テキストの該当部分を読んでおくこと。	A
	第11回	【テーマ】精神障害リハビリテーションのプロセス(1) 【計画内容】リハビリテーション計画について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回配付資料をもとに復習し、テキストの該当部分を読んでおくこと。	A、B	第26回	【テーマ】地域リハビリテーション2 【計画内容】家族会、セルフヘルプグループの理解。 【授業時間外の学修内容】前回配付資料をもとに復習し、テキストの該当部分を読んでおくこと。	A、F、G、H、L
	第12回	【テーマ】精神障害リハビリテーションのプロセス(2) 【計画内容】リハビリテーション評価について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回配付資料をもとに復習し、テキストの該当部分を読んでおくこと。	A、B、G、H、L	第27回	【テーマ】職業リハビリテーション 【計画内容】職業リハビリテーションの施策について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回配付資料をもとに復習し、テキストの該当部分を読んでおくこと。	A、B
	第13回	【テーマ】精神障害リハビリテーションのプロセス(3) 【計画内容】実施機関におけるアプローチを学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回配付資料をもとに復習し、テキストの該当部分を読んでおくこと。	A、B	第28回	【テーマ】職業リハビリテーションの実際 【計画内容】職業リハビリテーションのプロセスと支援について学ぶ。(IPS モデルを中心に) 【授業時間外の学修内容】前回配付資料をもとに復習し、テキストの該当部分を読んでおくこと。	A、G、H、L
	第14回	【テーマ】精神障害リハビリテーションのプロセス(4) 【計画内容】疾病の経過、ライフサイクルと精神障害リハビリテーションについて理解する。 【授業時間外の学修内容】前回配付資料をもとに復習し、テキストの該当部分を読んでおくこと。	A、G、H、L	第29回	【テーマ】テストと解答解説 【計画内容】テストを実施して解答の解説を行う。 【授業時間外の学修内容】これまでの講義内容について復習しておくこと。	A、G
	第15回	【テーマ】医療機関におけるリハビリテーション(1) 【計画内容】様々な療法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回配付資料をもとに復習し、テキストの該当部分を読んでおくこと。	A、B	第30回	【テーマ】精神障害リハビリテーションの今後 【計画内容】精神障害リハビリテーションの課題と発展の可能性について考える。 【授業時間外の学修内容】これまでの講義内容について復習しておくこと。	G、H、K、L

テキスト	新版・精神保健福祉士養成セミナー編集委員会、2017年、『精神保健福祉士養成セミナー5精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ(第6版)「精神保健福祉におけるリハビリテーション」』、へるす出版、9784892699085
参考書	授業内で都度紹介します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	50%		35%		15%	
	補足	テキスト等持込不可		2回予定		教員の質問へのレスポンス等	

課題に関するフィードバックの方法	・リアクションシートの質問については授業内で回答し、また感想や意見等も幾つか紹介し共有する。 ・中間レポートについては、事前に採点基準を示し、レポート提出後、解説・講評を行う。 ・テストについては、解答例・解説資料をテスト終了後に配付する。

実務経験と授業の関連	該当	経験内容	精神保健福祉士
		科目との関連	精神科病院、リハビリテーション施設での実践経験に基づいた内容を盛り込み教授する。

質問への対応	授業内で随時受け付けるほか、メールでも受け付ける。E-Mail:kikujiro@hokusho-u.ac.jp
資格	[心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必
その他	精神保健福祉援助実習を視野に入れた内容であり、精神保健福祉士受験資格取得希望者の履修が望ましい。 グループワーク、演習およびロールプレイを多く取り入れる。 2コマ続きの展開であり、遅刻や2コマ目からの出席、早退などは授業進行にも支障が出るので気をつけること。 過去配付したレジュメも使用することがあるので、各自ファイリングするなどして、毎回持参すること。

科目名	精神保健福祉援助技術各論Ⅱ	授業形態	講義	単位数	2

教員名	今井　博康

授業の目的		
	ねらい	精神保健福祉士には専門職として精神障害者の疾病・障害に配慮した援助が求められる。本科目では、精神保健福祉の価値・知識を基盤に置いた実際的な支援方法について、「精神保健福祉援助技術総論」および「精神保健福祉援助技術各論Ⅰ」で学習した内容を踏まえ、精神保健福祉士に求められる援助技術について理解を深める。
	到達目標	(1)講義や事例検討を通じて、疾病・障害に配慮した支援について理解する。 (2)精神保健福祉実践(領域)で用いられる、援助技術について具体的に理解する。 (3)演習を交えて、精神保健福祉士に求められる視点に基づいた社会福祉援助活動の「目的・価値・原則」を確認する。 (4)クライエント・家族・グループ・コミュニティを包括的に捉え、必要に応じた援助技術を用いる判断力を涵養する。 (5)記録法、スーパービジョン、コンサルテーション等の関連技術への理解を深める。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーションと復習(精神保健福祉援助技術各論Ⅰの理解度の確認) 【計画内容】「精神保健福祉援助技術総論」で学習した相談援助活動の視点や概念、「精神保健福祉援助技術各論Ⅰ」で学習した援助技術について復習する。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A、H	第9回	【テーマ】精神障害者福祉援助活動の共通技術(2) 【計画内容】面接技法、面接態度についてそのスキルについて再学習する。また精神保健福祉士に求められる「自己の課題の発見」について理解を深める。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組むこと。	A、H
	第2回	【テーマ】ケアマネジメント(1) 【計画内容】ケアマネジメントの誕生した経緯を復習しつつ、当事者参加・自己決定の原則に基づくケアマネジメント展開過程について学び、精神障害を抱える人の生活ニーズ充足について理解する。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組むこと。	A	第10回	【テーマ】精神障害者福祉援助活動の共通技術(3) 【計画内容】記録法について、その目的、様式などについて振り返り、その場に最も適した記録法のあり方について学ぶ。演習を通して精神保健福祉士の書く記録について理解を深める。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組むこと。	A、H
	第3回	【テーマ】ケアマネジメント(2) 【計画内容】ACTプログラムやストレングスモデルを活用したケアマネジメントについて学び、その際の精神保健福祉士に求められる視点及び具体的なスキルについて理解する。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組むこと。	A	第11回	【テーマ】精神障害者福祉援助活動の共通技術(4) 【計画内容】スーパービジョンの意義、機能、過程について学ぶ。特にスーパービジョン契約、プロセス、スーパーバイジーの権利と責務について解説するとともに、今日の課題について検討する。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組むこと。	A、H
	第4回	【テーマ】チームアプローチと連携 【計画内容】医療関係職種とのチーム、ならびに他職種からのコンサルテーションの意義、他機関とのチームアプローチの展開と実際について事例を用いて紹介する。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組むこと。	A、H	第12回	【テーマ】精神障害者福祉援助活動の共通技術(5) 【計画内容】演習形式によるスーパービジョンを実施し、スーパーバイザー・スーパーバイジーそれぞれの立場について理解を深める。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組むこと。	A、H
	第5回	【テーマ】ソーシャルサポート・ネットワーク 【計画内容】生活を支えるサポートネットワークの意味を復習し、形成とその機能について理解する。当事者－市民－専門職の関係性、非専門職のもつ力を理解しつつ精神保健福祉士としての役割・スキルについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組むこと。	A、H	第13回	【テーマ】精神障害者援助活動の共通技術(6) 【計画内容】今日のソーシャルワーク実践モデルのうち、代表的なものを紹介し、そのアプローチの特徴について学ぶ。また、実践の評価(効果)、モニタリングの方法について多角的に理解する。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組むこと。	A、H
	第6回	【テーマ】障害者計画(1) 【計画内容】障害者計画、障害福祉計画の作成に際しての基本的な考え方について、国政との関連から理解するとともに、その作成過程について事例を用いつつイメージを形成する。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組むこと。	A	第14回	【テーマ】ジェネラリストソーシャルワークに関する理解 【計画内容】古典的な3分法から脱却し、必要な場合に必要な技法を用いることができることの重要性について解説する。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組むこと。	A
	第7回	【テーマ】障害者計画(2) 【計画内容】障害者計画、障害福祉計画の作成に際しての基本的な考え方について、国政との関連から理解するとともに、その作成過程について事例を用いつつイメージを形成する。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組むこと。	A	第15回	【テーマ】まとめ 【計画内容】「精神保健福祉援助技術総論」、「精神保健福祉援助技術各論Ⅰ」、「精神科リハビリテーション」での学習内容との関連について整理をする。また、「精神保健福祉援助演習Ⅰ」、「精神保健福祉援助実習」への動機付けを行う。 【授業時間外の学修内容】前回までの講義を振り返り、学びを深めておくこと。	A
	第8回	【テーマ】精神障害者福祉援助活動の共通技術(1) 【計画内容】ここまでの学習を振り返り、精神保健福祉士に共通して求められる援助技術について整理する。また、ジェネラリストソーシャルワークの理解、ストレングスモデルやナラティブモデルの登場を解説し理解を広げる。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組むこと。	A、H			

テキスト	柏木昭ほか編、『精神保健福祉士養成セミナー第3巻「精神保健福祉相談援助の基盤」』、へるす出版
参考書	初回講義時に説明します。

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	40%		20%		40%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に説明します。
資格	[心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必
その他	精神保健福祉援助技術総論、精神保健福祉援助技術各論Ⅰの講義内容を十分に理解できていない学生が少なくないため、必ず復習すること。学生の理解度を確認する必要から、内容が多少変わることがあります。

科目名	精神保健福祉援助演習Ⅰ	授業形態	演習	単位数	2

教員名	橋本　菊次郎、寺田　香

授業の目的	
ねらい	精神保健福祉士に求められる相談援助に係る基礎的な知識と技術について実践的に習得するとともに、これまで学んできた関連科目の基礎を復習し、価値に基づく実践の理解ならびに実践根拠を示す能力の涵養をはかります。 専門的援助技術として概念化、理論化し、体系立てていくことができる能力を培います。
到達目標	(1)価値を基底とした相談支援についての認識を深めます。 (2)クライエント理解、自己理解、個人と環境の交互作用の理解について、その必要性を理解します。 (3)精神保健福祉士として求められる相談支援の技法を模擬的に用いることができます。 (4)ジェネラリスト・ソーシャルワーカーとしての基礎を構築します。

授業の計画					
第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】「人間の尊厳とは何か」「人権とは何か」「精神保健福祉士の存在意義とは何か」について事例を通して学びます。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、演習授業の展開についてイメージしてください。	A、H	第9回	【テーマ】基本的面接技法③ 【計画内容】ロールプレイを通して、課題発見・分析・解決方法の提示、クライエントとの協働による相談援助過程の展開方法について学び、相互評価を行います。 【授業時間外の学修内容】授業終了時に示す予習課題に取り組んでください。	A、H
第2回	【テーマ】クライエント理解と自己覚知① 【計画内容】「クライエントを理解する」ことについて諸モデルを通して多面的に理解し、クライエント及び自己への働きかけについて学びます。 【授業時間外の学修内容】授業終了時に示す予習課題に取り組んでください。	A、H	第10回	【テーマ】ソーシャルワーク記録法 【計画内容】記録の目的と種類、保管上の注意点について理解し、面接場面の逐語記録や要約記録を作成することを通して記録作成の実際について学びます。 【授業時間外の学修内容】授業終了時に示す予習課題に取り組んでください。	A、H
第3回	【テーマ】クライエント理解と自己覚知② 【計画内容】自己理解、自己覚知の重要性を学び、いろいろな手法を用いて自己の傾向について理解します。 【授業時間外の学修内容】授業終了時に示す予習課題に取り組んでください。	A、H	第11回	【テーマ】集団力動・グループワーク展開法① 【計画内容】グループワークの有用性、その種類、展開過程について学び、集団力動の特性について話し合い、発表します。 【授業時間外の学修内容】授業終了時に示す予習課題に取り組んでください。	A、H
第4回	【テーマ】クライエント理解と自己覚知③ 【計画内容】語ることのできる範囲内で気づいた自己について、指導教員を相手として個別に語る機会を設定します(プライバシーに関連する事項の取り扱いは演習の中で説明します)。 【授業時間外の学修内容】授業終了時に示す予習課題に取り組んでください。	A、H	第12回	【テーマ】集団力動・グループワーク展開法② 【計画内容】ロールプレイを通してグループワークにおける精神保健福祉士の役割について理解し、相互評価を行います。 【授業時間外の学修内容】授業終了時に示す予習課題に取り組んでください。	A、H
第5回	【テーマ】基本的な対人コミュニケーション① 【計画内容】バーバル、ノンバーバルなコミュニケーションがどのような影響をもたらすのかについて理解し、実際に体験することによって望ましいコミュニケーション姿勢を習得します。 【授業時間外の学修内容】授業終了時に示す予習課題に取り組んでください。	A、H	第13回	【テーマ】地域社会における活動展開① 【計画内容】精神保健福祉に関する地域活動、特にアウトリーチとニーズ把握について理解し、アセスメントの手法について学びます。また、個別に精神保健福祉士による地域活動例 を調べ、その活動形成に至るプロセスやネットワーク、社会資源の活用等について分析をします。 【授業時間外の学修内容】授業終了時に示す予習課題に取り組んでください。	A、H
第6回	【テーマ】基本的な対人コミュニケーション② 【計画内容】相談援助場面を想定したロールプレイを通して、クライエントとのコミュニケーションのありようについて学び、精神保健福祉士役及びクライエント役を演じることで相互評価を行います。 【授業時間外の学修内容】授業終了時に示す予習課題に取り組んでください。	A、H	第14回	【テーマ】地域社会における活動展開② 【計画内容】臨床の精神保健福祉士をゲストスピーカーとして招き、地域アセスメント、社会資源の活用や調整・開発、地域福祉計画の策定、サービス評価の実際について学びます。質疑応答を通して地域活動への理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】授業終了時に示す予習課題に取り組んでください。	A、H
第7回	【テーマ】基本的面接技法① 【計画内容】ロールプレイを通して、信頼関係構築を主眼に置く面接技法について学び、相互評価を行います。 【授業時間外の学修内容】授業終了時に示す予習課題に取り組んでください。	A、H	第15回	【テーマ】まとめ(援助過程の整理) 【計画内容】演習を通して学んださまざまなアプローチ法やモデルについて整理し、個人と環境との交互作用、ストレングス、エンパワメント、クライエントとの協働等の概念について理解します。また、地域移行や地域生活の支援の重要性について学びます。 【授業時間外の学修内容】前回までの授業内容について、理解を深めてください。	A、H
第8回	【テーマ】基本的面接技法② 【計画内容】ロールプレイを通して、信頼関係構築とともに情報収集を行う面接技法と、収集した情報の整理及びクライエントとの情報共有をはかる技法を学び、相互評価を行います。 【授業時間外の学修内容】授業終了時に示す予習課題に取り組んでください。	A、H			

テキスト	精神保健福祉士養成セミナー編集委員会、2017年、『精神保健福祉士養成セミナー⑦精神保健福祉援助演習[基礎] [専門](第6版)』、へるす出版、9784892699108 プリントを配付します
参考書	川村隆彦、2011年、『ソーシャルワーカーの力量を高める理論・アプローチ』、中央法規、9784805834282

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分		35%	50%		15%	
	補足		ロールプレイ	レポート・レジュメ			

課題に関するフィードバックの方法	課題については事前に採点基準を示し、採点後返却し、解説・講評する。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	精神保健福祉士
		科目との関連	精神科病院、リハビリテーション施設での実践経験に基づいた内容を盛り込み教授する。

質問への対応	授業内、授業後に対応するほか、以下メールでも受け付ける。 E-Mail:terada@hokusho-u.ac.jp E-Mail:kikujiro@hokusho-u.ac.jp
資格	[心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必
その他	本科目を履修登録していない者は、「精神保健福祉援助実習」「精神保健福祉援助実習指導」を履修できない。 実習に行くために必要不可欠な内容であることから、出席・提出物を重視する。またグループワークなど積極的な参加態度が求められる。

科目名	精神保健福祉援助実習指導	授業形態	演習	単位数	3

教員名　橋本　菊次郎、今井　博康、寺田　香

授業の目的

ねらい

3年次後学期からの4年次後学期にわたり展開される科目であり、学期ごとの目的･ねらいは以下のとおりである。
(1)(3年次後学期)実習の意義について理解し、実習に於いて必要な態度、職業倫理の涵養および精神保健福祉援助に係る知識と技術の習得する。春休みに実施する障害福祉サービス事業所等での実習①に備え、実習現場の性格とその概況および対象者について理解し、実習目標を設定する。
(2)(4年次前学期)障害福祉サービス事業所等での実習①での実習態度および課題への取り組み、達成状況を振り返る。また医療機関での実習②に備え、実習現場の性格と概況および対象者について理解し、主体的な実習目標を設定する。
(3)(4年次後学期)実習①と②､実習全体の総括を行い、専門的知識および技術について体系立てて理解する。また、特に自己の実習の主体的評価を行い、実習の意義を確認する。

到達目標

(1)精神保健福祉士に必要な価値について理解する。
(2)精神保健福祉士に必要な基本的知識を獲得する。
(3)精神保健福祉士に必要な援助技術を習得する。
(4)実習機関で求められるマナー等を獲得する。
(5)主体的な学習態度の必要性を自覚する。

授業の計画

第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】精神保健福祉援助実習の目的および精神保健福祉援助指導の意義、養成カリキュラム全体の中での位置づけ、専門職倫理とは何かについて講義。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第16回	【テーマ】実習①帰学指導 【計画内容】教員によるスーパービジョン。1週目ということで、実習内容の確認およびご自身の健康状況及び困りごとなどについて話し合う。2週目に向けて、実習課題を確認する。また実習日誌の記載方法の確認および指導を行う。 【授業時間外の学修内容】実習記録(日誌、各週達成状況報告)を整理しておくこと。	D、F、H	第31回	【テーマ】実習②帰学指導(1) 【計画内容】教員によるスーパービジョン。1週目ということで、実習内容の確認およびご自身の健康状況及び困りごとなどについて話し合う。2週目に向けて、実習課題を確認する。また実習日誌の記載方法の確認および指導を行う。 【授業時間外の学修内容】実習記録(日誌、各週達成状況報告)を整理しておくこと。	D、F、H
第2回	【テーマ】精神保健福祉援助実習とは(1) 【計画内容】精神保健福祉援助実習の構成要素、実習の構造について、実習契約全体の中で捉えることを目的とした講義。また、プライバシー保護と守秘義務について確認する。 【授業時間外の学修内容】『精神保健福祉援助実習のてびき』を読んでおくこと。	A、K	第17回	【テーマ】実習①巡回指導 【計画内容】巡回指導。学生と教員、現場実習指導者と教員、学生と現場実習指導者と教員の三者面談を行う。2週目ということで1回目の帰学指導内容について確認し、実習課題とその達成状況を確認し、残りの実習の方向性について確認作業を行う。 【授業時間外の学修内容】実習記録(日誌、各週達成状況報告)を整理しておくこと。	D、G	第32回	【テーマ】実習②帰学指導(2) 【計画内容】2回目の帰学指導。教員によるスーパービジョン。実習内容の確認およびご自身の健康状況及び困りごとなどについて話し合う。3週目に向けて、実習課題を確認する。 【授業時間外の学修内容】実習記録(日誌、各週達成状況報告)を整理しておくこと。	D、F、H
第3回	【テーマ】精神保健福祉援助実習とは(2) 【計画内容】自己覚知をはじめとする、社会福祉援助専門職の態度について整理し、実習生に求められる態度について理解を深め、実習への心構えを図る。 【授業時間外の学修内容】『精神保健福祉援助実習のてびき』を読んでおくこと。	A、H	第18回	【テーマ】グループスーパービジョン(1) 【計画内容】実習を終えた学生同士で、教員が展開するグループスーパービジョンを実施する。実習の主体的振り返りと、可能な限り客観的かつ内省的な評価を行う。実習課題の達成状況を確認し残りの実習の方向性について確認作業を行う。 【授業時間外の学修内容】実習記録等から実習内容を振り返っておくこと。	F、H、L	第33回	【テーマ】実習②巡回指導 【計画内容】巡回指導。学生と教員、現場実習指導者と教員、学生と現場実習指導者と教員、学生と現場実習指導者と教員の三者面談を行う。実習課題の達成状況を確認し残りの実習の方向性について確認作業を行う。 【授業時間外の学修内容】巡回指導記録、実習記録(日誌、各週達成状況報告)を整理しておくこと。	D、G
第4回	【テーマ】精神保健福祉士の理解 【計画内容】精神保健福祉士の実践指針である「倫理綱領」について復習し、社会福祉専門職としての倫理的態度への理解を深める。 【授業時間外の学修内容】『精神保健福祉援助実習のてびき』を読んでおくこと。	A、H、K	第19回	【テーマ】グループスーパービジョン(2) 【計画内容】実習を終えた学生同士で、教員が展開するグループスーパービジョンを実施する。実習の主体的振り返りと、可能な限り客観的かつ内省的な評価を行う。 【授業時間外の学修内容】実習記録等から実習内容を振り返っておくこと。	F、H、L	第34回	【テーマ】実習②帰学指導(3) 【計画内容】3回目の帰学指導。巡回指導後の実習課題取り組み状況について確認する。 【授業時間外の学修内容】実習記録(日誌、各週達成状況報告)を整理しておくこと。	D、F、H
第5回	【テーマ】関連法制の整理(1) 【計画内容】『精神保健福祉援助実習のてびき』を活用し、実習施設が依拠する法制及び精神保健福祉士に求められる関連法制についてグループで整理を行い、関連する文献収集、ならびに要点を整理し、グループメンバーで共有する。 【授業時間外の学修内容】『精神保健福祉援助実習のてびき』及び、過去の講義科目の資料等を整理しておくこと。	H	第20回	【テーマ】個人スーパービジョン及び実習①報告書作成 【計画内容】教員の個人スーパービジョンを実施する。また実習報告書の作成に着手する。 【授業時間外の学修内容】グループスーパービジョンの内容をまとめておくこと。	G	第35回	【テーマ】グループスーパービジョン(1) 【計画内容】実習を終えた学生同士で、教員が展開するグループスーパービジョンを実施する。実習の主体的振り返りと、可能な限り客観的かつ内省的な評価を行う。 【授業時間外の学修内容】実習記録等から実習内容を振り返っておくこと。	F、H、L
第6回	【テーマ】実習報告(1) 【計画内容】4年次学生の実習報告を聞き、質疑を通じて精神保健福祉援助実習に対する具体的イメージを膨らませる。 【授業時間外の学修内容】講義の中で必要な準備学習を伝達する。	G	第21回	【テーマ】実習①報告書作成と修正 【計画内容】グループセミナー方式により、それぞれが作成した実習報告書を発表し、相互に必要な修正を加える。 【授業時間外の学修内容】個人スーパービジョンの内容をまとめておくこと。	F、H	第36回	【テーマ】グループスーパービジョン(2) 【計画内容】実習を終えた学生同士で、教員が展開するグループスーパービジョンを実施する。実習の主体的振り返りと、可能な限り客観的かつ内省的な評価を行う。 【授業時間外の学修内容】実習記録等から実習内容を振り返っておくこと。	F、H、L
第7回	【テーマ】実習報告(2) 【計画内容】4年次学生の実習報告を聞き、質疑を通じて精神保健福祉援助実習に対する具体的イメージを膨らませる。 【授業時間外の学修内容】講義の中で必要な準備学習を伝達する。	G	第22回	【テーマ】実習①報告書の完成 【計画内容】スーパービジョン及びグループセミナーで獲得した知見に加え、個別及び教員の指導によって実習報告書を完成する。 【授業時間外の学修内容】個別、教員の指導内容をまとめておくこと。	G	第37回	【テーマ】個人スーパービジョン及び実習②報告書作成 【計画内容】教員の個人スーパービジョンを実施する。また実習報告書の作成に着手する。 【授業時間外の学修内容】グループスーパービジョンの内容をまとめておくこと。	B、G
第8回	【テーマ】実習報告(3) 【計画内容】4年次学生の実習報告を聞き、質疑を通じて精神保健福祉援助実習に対する具体的イメージを膨らませる。 【授業時間外の学修内容】講義の中で必要な準備学習を伝達する。	G	第23回	【テーマ】実践者に学ぶ 【計画内容】精神科医療機関に勤務する精神保健福祉士をゲストスピーカーに迎え、精神科医療機関の現状、精神保健福祉士の業務内容、必要とされる精神保健福祉援助に係る専門的知識と技術、実践上の諸課題について理解を深める。 【授業時間外の学修内容】講義の中で必要な準備学習を伝達する。	A、G	第38回	【テーマ】実習②報告書の完成 【計画内容】スーパービジョン及びグループセミナーで獲得した知見に加え、個別及び教員の指導によって実習報告書を完成する。 【授業時間外の学修内容】個別、教員の指導をまとめておくこと。	G、H
第9回	【テーマ】見学実習(1) 【計画内容】障害福祉サービス事業所の見学、体験実習を行い、施設･機関･事業者･団体･地域社会等の概要、全体を理解する。 【授業時間外の学修内容】見学先の依拠する法制について復習しておくこと。	M	第24回	【テーマ】見学実習(2) 【計画内容】精神科医療機関の見学、体験実習を行い、施設･機関･事業者･団体･地域社会等の概要、全体を理解する。 【授業時間外の学修内容】見学先の依拠する法制、関連法制について復習しておくこと。	M	第39回	【テーマ】実習②報告書の修正･確認 【計画内容】第22回で完成させた実習報告書①について、実習②で獲得した知見を踏まえ、内容等を確認し、修正を行う。 【授業時間外の学修内容】実習②の報告書を確認しておくこと。	G
第10回	【テーマ】実習生としての態度を考える(1) 【計画内容】精神保健福祉援助実習直前の不安要因を抽出し､それを可能な限り言語化する。その上で実習に臨む他学生と共有する。 【授業時間外の学修内容】講義の中で必要な準備学習を伝達する。	H	第25回	【テーマ】関連法制の整理(2) 【計画内容】『精神保健福祉援助実習のてびき』を活用し、実習施設が依拠する法制及び精神保健福祉士に求められる関連法制についてグループで整理を行い、関連する文献収集、ならびに要点を整理し、グループメンバーで共有する。 【授業時間外の学修内容】『精神保健福祉援助実習のてびき』及び、過去の講義科目の資料等を整理しておくこと。	H	第40回	【テーマ】プレ実習報告会(1) 【計画内容】3年次学生を対象としたプレ報告会において実習報告を行い、質疑を受け、さらに内容の整理と検討を行う。 【授業時間外の学修内容】講義の中で必要な準備学習を伝達する。	F、G、L
第11回	【テーマ】実習生としての態度を考える(2) 【計画内容】共有化された不安要因を全員で再検討し､行動指針･倫理綱領を作成、文章化したのち、全員で共有を計り､実習への心構えを形成する。 【授業時間外の学修内容】講義の中で必要な準備学習を伝達する。	H	第26回	【テーマ】実習②個別課題作成(1) 【計画内容】医療機関を利用する当事者を想定し、求められる面接技法やグループワーク技法を確認する演習を実施し実習課題や実習目標を立てる。 【授業時間外の学修内容】『精神保健福祉援助実習のてびき』を読んでおくこと。	B、G	第41回	【テーマ】プレ実習報告会(2) 【計画内容】3年次学生を対象としたプレ報告会において実習報告を行い、質疑を受け、さらに内容の整理と検討を行う。 【授業時間外の学修内容】講義の中で必要な準備学習を伝達する。	F、G、L
第12回	【テーマ】実習①個別課題作成(1) 【計画内容】各々の実習施設を利用する当事者を想定し、面接技法及びグループワーク技法に関する演習を実施するとともに、自らの問題意識を整理し、実習課題や実習目標を立てる。 【授業時間外の学修内容】『精神保健福祉援助実習のてびき』を読んでおくこと。	B、G	第27回	【テーマ】実習②個別課題作成(2) 【計画内容】設定された実習課題及び目標を達成するためにどのような実習展開を希望するか、その具体案を検討するとともに課題設定の意義を整理し、実習課題及び目標を達成するための実習展開を具体的に検討し、課題設定の意義を整理する。 【授業時間外の学修内容】『精神保健福祉援助実習のてびき』を読んでおくこと。	L	第42回	【テーマ】プレ実習報告会(3) 【計画内容】3年次学生を対象としたプレ報告会において実習報告を行い、質疑を受け、さらに内容の整理と検討を行う。 【授業時間外の学修内容】講義の中で必要な準備学習を伝達する。	F、G、L
第13回	【テーマ】実習生としての態度を考える(3) 【計画内容】設定された実習課題及び目標を達成するためにどのような実習展開を希望するか、その具体案を検討するとともに課題設定の意義を整理し、実習課題及び目標を達成するための実習展開を具体的に検討し、課題設定の意義を整理する。 【授業時間外の学修内容】『精神保健福祉援助実習のてびき』を読んでおくこと。	L	第28回	【テーマ】実習②個別課題完成･教員との面談 【計画内容】教員との対面による個人スーパービジョンにより、個別学習目標と実習個別課題を確認する。スーパービジョンによって確認された内容に基づき実習課題等を仕上げる。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容をまとめておくこと。	B	第43回	【テーマ】プレ実習報告会(4) 【計画内容】3年次学生を対象としたプレ報告会において実習報告を行い、質疑を受け、さらに内容の整理と検討を行う。 【授業時間外の学修内容】講義の中で必要な準備学習を伝達する。	F、G、L
第14回	【テーマ】実習①個別課題完成･教員との面談 【計画内容】教員との対面による個人スーパービジョンにより、個別学習目標と実習個別課題を確認する。スーパービジョンによって確認された内容に基づき実習課題等を仕上げる。 【授業時間外の学修内容】講義の中で必要な準備学習を伝達する。	B	第29回	【テーマ】実習②事前訪問 【計画内容】実習先への事前訪問を行い、実習指導者と具体的な実習展開方法の確認及び修正を行う。 【授業時間外の学修内容】個別課題、個人票等、提出物を確認しておくこと。	M、G	第44回	【テーマ】報告書①報告書②の修正･完成 【計画内容】プレ実習報告会での質疑等を踏まえ、報告書①報告書②の見直しを行い、完成させる。 【授業時間外の学修内容】プレ実習報告会での質疑内容について整理、まとめておくこと。	G、L
第15回	【テーマ】実習①事前訪問 【計画内容】実習先への事前訪問を行い、実習指導者と具体的な実習展開方法の確認および修正を行う。 【授業時間外の学修内容】個別課題、個人票等、提出物を確認しておくこと。	M、G	第30回	【テーマ】個別課題の修正･実習事前学習のまとめ 【計画内容】事前訪問時の実習指導者による指導内容を確認し､必要に応じて個別課題の修正等を行う。 また、事前学習内容について再確認、まとめの作業を行う。 【授業時間外の学修内容】事前訪問報告書を作成しておくこと。	K、L	第45回	【テーマ】実習報告会 【計画内容】実習指導者(スーパーバイザー)を本学に招き､実習報告会を開催する。スーパーバイザー及び他学生からの助言や意見を受け､実習の総括を行う。 【授業時間外の学修内容】講義の中で必要な準備学習を伝達する。	F、L

テキスト　北翔大学､『精神保健福祉援助実習のてびき』
教員作成のレジュメを配付する

参考書　適宜紹介する

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			55%		45%	
補足			実習先への提出書類も含む			

課題に関するフィードバックの方法　提出物については､3教員確認の上､コメントを入れ返却する。
課題(実習先に提出)については､教員のチェックを受け､指摘事項については修正すること。

実務経験と授業の関連

該当	経験内容	精神保健福祉士
	科目との関連	病院勤務時およびリハビリテーション施設勤務時の実習生受け入れ経験および､これまでの実習指導経験に基づき､指導する。

質問への対応
E-Mail(今井):imai@hokusho-u.ac.jp
E-Mail(寺田):terada@hokusho-u.ac.jp
E-Mail(橋本):kikujiro@hokusho-u.ac.jp
講義内での積極的な質疑､対面式による質疑を期待する。

資格　[心]精神保健福祉士_必修､福祉心理士_選必

その他　本科目を履修登録していない者は､「精神保健福祉援助演習Ⅰ･Ⅱ･Ⅲ」「精神保健福祉援助実習」を履修出来ない。
遅刻､無断の欠席および課題の提出期限は厳禁。
出席･受講態度を重視するので､積極的な参加が求められる。

科目名	精神保健福祉援助実習	授業形態	実習	単位数	7

教員名　橋本　菊次郎、今井　博康、寺田　香

授業の目的

ねらい

1. 精神保健福祉援助実習を通して、精神保健福祉援助並びに障害者等の相談援助にかかる専門的知識・技術について具体的かつ実際的に理解し、実践的な技術等を体得する。
2. 精神保健福祉援助実習を通して、精神障害者のおかれている現状を理解し、その生活実態や生活上の課題について理解する。
3. 精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握など、総合的に対応できる能力を修得する。
4. 総合的かつ包括的な地域生活支援と関連分野の専門職との連携のあり方およびその具体的内容を実践的に理解する。

到達目標

(1)所定の期間(210時間)を学外の指定機関で学習する。
(2)事前に立てた実習課題の達成を目指す。
(3)将来精神保健福祉士として活動するための基本的態度を身につける。

授業の計画　D

【計画内容】
・210時間(およそ30日間)を充足する配属実習とする。
・精神科医療機関(90時間以上)及び精神障害者を対象とした障害福祉サービス事業所等に配属する。
・「精神保健福祉援助演習Ⅰ・Ⅱ」、「精神保健福祉援助実習指導」で教授された内容・方法を充足するプログラムを編成し、それに基づいて行う。以下、基本の展開を示すが、各実習施設の実情および実習期間に基づいて実施される。
実習① :3年次後学期(2月～3月)障害福祉サービス事業所等で実施 :70時間(約10日間)
実習② :4年次(8月～10月)精神科医療機関で実施 :140時間(約20日間)
・毎日の実習日誌の作成を義務付け、現場スーパーバイザーのコメントを得る。
・教員は巡回および学生を帰校させスーパービジョンを行う。
＜実習内容＞
・利用者を始めとし、利用者を取り巻く関係者、施設・機関、ボランティア等との基本的なコミュニケーションなど円滑な人間関係の形成。
・利用者理解とニーズの把握および支援計画の作成。
・利用者やその関係者(家族等)への権利擁護および支援とその評価。
・精神医療・保健・福祉に係る多職種連携をはじめとする支援におけるチームアプローチの実際について学ぶ。
・精神保健福祉士としての職業倫理と法的義務への理解。
・実習先の職員の就業に関する規定への理解と組織の一員として役割・責任についての理解。
・施設、機関の経営やサービスの管理運用の実際についての理解。
・実習先の地域社会の中での位置づけについて理解し、具体的な地域社会への働きかけとしてのアウトリーチ、ネットワーキング、社会資源の活用・調整・開発に関する理解。
◎各機関で実施される実習内容
＜精神科病院＞
・利用者(患者)の個別支援
・入院時又は急性期の患者およびその家族への相談援助
・退院又は地域移行・地域支援に向けた、患者およびその家族への相談援助
・他職種や地域障害福祉サービス事業等の関係機関との連携
＜精神科診療所＞
・利用者(患者)の個別支援
・治療中の利用者(患者)および家族への相談援助
・日常生活や社会生活上の問題に関する、利用者(患者)および家族への相談援助
・他職種や地域障害福祉サービス事業所等の関係機関との連携
＜障害福祉サービス事業所等＞
・利用者(患者)の個別支援
・事業所における利用者およびその家族への相談援助
・医療機関等の関係機関および他職種との連携
【授業時間外の学修内容】
実習配属先の理念、設立根拠法、歴史、関連講義資料の復習、実習事前訪問。
個別課題および事前学習の手引きなどを活用し、実習に備えること。

テキスト　北翔大学、『精神保健福祉援助実習のてびき』

参考書　教員・実習指導者から紹介する

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			40%			60%
補足						教員巡回指導及び帰校日指導20%・実習指導者評価40%

課題に関するフィードバックの方法　実習中は帰学日指導、実習巡回において達成状況など確認し、実習終了後は実習指導者による実習評価を個別に面談を実施し確認する。

実務経験と授業の関連　該当

経験内容	精神保健福祉士
科目との関連	実習受け入れ経験及びこれまでの実習指導経験も踏まえ、個別スーパービジョン、グループスーパービジョンを行う。

質問への対応
実習中は原則、実習指導者(スーパーバイザー)に聞くこと。なお解決しない場合、あるいは実習展開上の疑問や質問は、すみやかに担当教員・福祉実習支援室へ問い合わせること。
E-Mail(今井):imai@hokusho-u.ac.jp
E-Mail(寺田):terada@hokusho-u.ac.jp
E-Mail(橋本):kikujiro@hokusho-u.ac.jp
福祉実習支援室(011)387-3971

資格　[心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必

その他　「精神保健福祉援助実習指導」を履修登録していない者は、本科目を履修出来ない。
また、「精神保健福祉援助演習Ⅰ」(3年次後学期)、「精神保健福祉援助演習Ⅱ」(4年次前学期)、「精神保健福祉援助演習Ⅲ」(4年次後学期)も履修すること。

科目名	就業力特別演習	授業形態	演習	単位数	1
教員名	澤　聡一、橋本　菊次郎				
授業の目的	ねらい	3年次になり、卒業後の就職について具体的に検討していく時期である。 心理・福祉領域の仕事について、主体的に学び、仕事内容、就職活動の方法などについて理解することを目的とする。			
	到達目標	(1)心理・福祉領域の仕事について理解する。 (2)心理・福祉領域の就職活動方法等について理解する。 (3)就職に必要な準備等について計画をたてることができる。			

授業の計画			
	第1回	【テーマ】オリエンテーション　イントロダクション 【計画内容】まず、これまでの就業力養成科目などを振り返り、自らにとっての仕事の意義、目的を考える。 【授業時間外の学修内容】これまでの就業力養成科目を振り返り、配付資料等を整理しておく。	B、G
	第2回	【テーマ】心理職の紹介① 【計画内容】心理職について、学生が調べたことを報告する。 【授業時間外の学修内容】関連する資料を参照したり、インターネットで調べておく。	B、F
	第3回	【テーマ】福祉職の紹介① 【計画内容】福祉職について、学生が調べたことを報告する。 【授業時間外の学修内容】関連する資料を参照したり、インターネットで調べておく。	B、F
	第4回	【テーマ】心理職の紹介② 【計画内容】心理職について、学生が調べたことを報告する。 【授業時間外の学修内容】関連する資料を参照したり、インターネットで調べておく。	B、F
	第5回	【テーマ】福祉職の紹介② 【計画内容】福祉職について、学生が調べたことを報告する。 【授業時間外の学修内容】関連する資料を参照したり、インターネットで調べておく。	B、F
	第6回	【テーマ】ゲストスピーカーによる心理職の紹介 【計画内容】現職のゲストスピーカーによる講話。目指したきっかけや、その仕事に就くために努力したこと、就職活動方法についてお話いただく。 【授業時間外の学修内容】これまでの授業内容を復習し、ゲストスピーカーへの質問を考えておく。	A、B、L
	第7回	【テーマ】ゲストスピーカーによる福祉職の紹介 【計画内容】現職のゲストスピーカーによる講話。目指したきっかけや、その仕事に就くために努力したこと、就職活動方法についてお話いただく。 【授業時間外の学修内容】これまでの授業内容を復習し、ゲストスピーカーへの質問を考えておく。	A、B、L
	第8回	【テーマ】まとめ 【計画内容】本科目での学びや考えたことなどを、各自でまとめる。 【授業時間外の学修内容】これまでの授業内容を復習すること。	G、H

テキスト	講義時に紹介します
参考書	適宜紹介します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			40%		60%	
	補足			プレゼン、最終課題			

課題に関するフィードバックの方法	課題の評価・採点基準については事前に示し、説明・講評する。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	医療・保健、福祉、教育等の各領域における精神保健福祉士、公認心理師、臨床心理士としての勤務等
		科目との関連	精神保健福祉士、公認心理師、臨床心理士としての勤務経験を活かし、現場で求められる人材に関する知識の教授を行う。

質問への対応	授業時に説明する。
資格	
その他	自ら調べ、学ぶことを基本とする。授業時間外で調べたり、レジュメを作成する必要がある。 公認心理師、臨床心理士、精神保健福祉士など、心理職、福祉職を希望している学生の履修が望ましい。

科目名	専門演習Ⅰ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	担当教員				

授業の目的	
ねらい	2年次の「心理学基礎演習」で習得したスタディスキルズを、オリジナリティをもった研究へと発展させるのが、この演習のねらいです。学生個々の興味関心や問題意識に基づき、少人数のセミナー形式で、各指導教員のもとで演習を展開します。次年度の「卒業研究」の準備段階として、研究テーマを設定すること、先行研究をレビューすること、研究の目的を明確にすること、研究方法に習熟すること、研究をデザインすることができるようになることをめざします。
到達目標	(1)多くの文献を詳読し、個々の学生ごとに、関心ある研究テーマにそって先行研究を整理し、未解決の問題を明確にします。 (2)新たな問題提起をして研究計画を立案します。 (3)ゼミナール内での発表や質疑応答などのディスカッションの経験を通してコミュニケーション能力を高めます。

授業の計画		
【計画内容】		
第1回	オリエンテーション：指導教員ごとに少人数のセミナー形式で行い、通年のスケジュールや扱う研究テーマなどについて説明します。展開の詳細は指導教員によって異なるところがあります。	B
第2回	研究とは何か：個人的な問題意識から、学術的「研究」にむけて、改めて「研究」とは何かについて考えます。	B
第3回	先行研究の探し方(1)：文献資料の収集方法、データベースの利用方法などについて学びます。	B
第4回	先行研究の探し方(2)：パソコンを使った情報検索、論文資料のダウンロード、文献データベースのツールの活用等のスキルの向上をめざします。	B
第5回	先行研究を読む(1)：専門性の高い論文を読んで得られた知見について理解するスキルを学びます。	B
第6回	先行研究を読む(2)：専門性の高い論文を読んで、理解した内容をレジュメ等にまとめ、考察を述べる等の、書くスキルの向上をめざします。	B
第7回	先行研究を紹介する(1)：専門性の高い論文を読んで、理解した内容を、わかりやすく発表し、質疑応答に対応するディスカッションのスキルの向上をめざします。	B
第8回	先行研究を紹介する(2)：他者の発表をきいて理解する力、問題点を見いだし質問する力、情報を共有したうえで新しい知恵を生み出す意味のあるディスカッションのスキルの向上をめざします。	B
第9回	問題意識を明確にする(1)：先行研究をふまえて、新たな研究課題を設定します。	B
第10回	問題意識を明確にする(2)：セミナーでの発表、ディスカッションを通して、問題意識から設定した課題の意義について再考します。	B
第11回	研究方法を考える(1)：さまざまな研究方法について学び、どの方法が自分の問題意識にみあったものであるかを検討します。	B
第12回	研究方法を考える(2)：さまざまな研究方法について学び、どの方法が自分の問題意識にみあったものであるかを検討します。	B
第13回	研究計画をたてる(1)：現実的で具体的な研究計画を立案します。	B
第14回	研究計画をたてる(2)：現実的で具体的な研究計画を立案します。	B
第15回	中間報告と振り返り：半年間を通じての反省点、不明点、問題点、後学期にむけての課題などについてディスカッションします。	B
【授業時間外の学修内容】 担当教員から提示された内容について調べ、レジュメを準備して臨みます。		

テキスト	授業のはじめに担当教員から指示します
参考書	随時紹介します

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			60%		40%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	担当教員から説明があります。オフィスアワーを活用してください。
資格	[心]認定心理士_選必
その他	次年度の「卒業研究」につながる専門演習です。自らの問題意識を探り、研究という形に発展させましょう。

科目名	専門演習Ⅱ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	担当教員				
授業の目的	ねらい	前学期の「専門演習Ⅰ」で習得したスタディスキルズを、オリジナリティをもった研究へと発展させるのが、この演習のねらいです。学生個々の興味関心や問題意識に基づき、少人数のセミナー形式で、各指導教員のもとで演習を展開します。次年度の卒業研究の準備段階として、研究テーマを設定すること、先行研究をレビューすること、研究の目的を明確にすること、研究方法に習熟すること、研究をデザインすることができるようになることを目指します。				
	到達目標	(1)多くの文献を詳読し、個々の学生ごとに、関心ある研究テーマにそって先行研究を整理し、未解決の問題を明確にします。 (2)新たな問題提起をして研究計画を立案します。 (3)ゼミナール内での発表や質疑応答などのディスカッションの経験を通してコミュニケーション能力を高めます。				

授業の計画		
	【計画内容】	
	第1回　学内外の活動(1): ゼミごとに、フィールドワーク、ボランティア活動、学内外の研究会や学会に参加する、などの活動を行います。	B
	第2回　学内外の活動(2): ゼミごとに、フィールドワーク、ボランティア活動、学内外の研究会や学会に参加する、などの活動を行います。	B
	第3回　学内外の活動(3): ゼミごとに、フィールドワーク、ボランティア活動、学内外の研究会や学会に参加する、などの活動を行います。	B
	第4回　先行研究精査および研究計画精査(1): 新しい研究知見を確認し、自分の研究計画の問題点について検討します。	B
	第5回　先行研究精査および研究計画精査(2): 新しい研究知見を確認し、自分の研究計画の問題点について検討します。	B
	第6回　予備的にデータを収集する(1): 小数のデータを収集し、分析方法も想定しながら調査内容に不適切な部分がないか検討します。	B
	第7回　予備的にデータを収集する(2): 小数のデータを収集し、分析方法も想定しながら調査内容に不適切な部分がないか検討します。	B
	第8回　研究方法を再検討する(1): 研究テーマにそった妥当な方法であったか、研究協力者への負担、その他について検討します。	B
	第9回　研究方法を再検討する(2): 研究テーマにそった妥当な方法であったか、研究協力者への負担、その他について検討します。	B
	第10回　研究の実施(1): 立案した計画にそってデータを収集するなど、体験的に研究活動の実際を学びます。	B
	第11回　研究の実施(2): 立案した計画にそってデータを収集するなど、体験的に研究活動の実際を学びます。	B
	第12回　研究の実施(3): 立案した計画にそってデータを収集するなど、体験的に研究活動の実際を学びます。	B
	第13回　研究報告(1): 予備的に実施した研究活動について発表し、ディスカッションをします。	B
	第14回　研究報告(2): 予備的に実施した研究活動について発表し、ディスカッションをします。	B
	第15回　振り返りと確認 :1年間のセミナーでの研究活動をふりかえり、反省点などをあげ、次年度の卒業研究にむけて方向性を明確にします。	B
	【授業時間外の学修内容】 担当教員から提示された内容について調べ、レジュメを準備して臨みます。	

テキスト	授業のはじめに担当教員から指示します
参考書	随時紹介します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			60%		40%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	担当教員から説明があります。オフィスアワーを活用してください。
資格	[心]認定心理士_選必
その他	次年度の「卒業研究」につながる専門演習です。自らの問題意識を探り、研究という形に発展させましょう。

講義要綱

SYLLABUS

教育文化学部　3 年次

2020年 4 月　発行
北翔大学・北翔大学短期大学部
〒069-8511　江別市文京台23番地
TEL（011）386－8011
FAX（011）387－1542